



Comprehensive English

Elementary

STUDY COLLABO 

Contents

No1	《時制 I》	23
【1】	〔確認テスト〕	23
【2】	〔文法〕《時制 TEN》	23
【3】	〔標準問題〕	25
(1)	《新潟大》	25
(2)	《山形大》	25
(3)	《岡山大》	25
	発展問題	26
(1)	《東京大》	26
(2)	《横浜市立大》	26
	構文解説	27
	長文読解 1	28
NO2	《時制 II》	29
【1】	〔確認テスト〕	29
【2】	〔文法総合①〕《時制》	29
【3】	〔標準問題〕	32
(1)	《愛知県立大》	32
(2)	《センター》	32
(3)	《京都府立医科大》	33
(4)	《電気通信大》	33
(5)	《福井県立大》	33
	発展問題	34
(1)	《北海道大》	34
(2)	《九州大》	34
	構文解説	35
NO3	《受動態 I》	36
【1】	〔確認テスト〕	36
【2】	〔文法〕《受動態 TEN》	36
【3】	〔標準問題〕	38
(1)	《山梨大》	38
(2)	《小樽商科大》	38

(3) 《香川大》	39
(4) 《熊本県立大》	39
発展問題	40
(1) 《滋賀医科大》	40
(2) 《日本医科大》	40
構文解説	41
長文読解 2	43
NO4 《受動態Ⅱ》	45
【1】 [確認テスト]	45
【2】 [文法総合②] 《態》	45
【3】 [標準問題]	47
(1) 《神戸商科大》	47
(2) 《福島大》	47
(3) 《茨城大》	48
(4) 《鳥取大》	48
発展問題	49
(1) 《東京大》	49
(2) 《三重大》	49
No5 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>	50
【1】 [講習会確認テスト]	50
【2】 [リスニング]	50
【3】 [整序・英作文] 《関西学院大》	50
NO6 《受動態Ⅲ》《Vocablury Check》	51
【1】 [語彙検定]	51
【2】 [標準問題]	51
(1) 《新潟大》	51
(2) 《福島大》	51
(3) 《神戸大》	52
発展問題	52
(1) 《神戸大》	52
(2) 《信州大》	52
構文解説	53

NO7 《助動詞Ⅰ》 55

【1】 [確認テスト] 55

【2】 [文法] 《助動詞 TEN》 55

【3】 [標準問題] 57

(1) 《愛媛大》 57

(2) 《北海道大》 57

(3) 《九州大》 57

(4) 《一橋大》 58

(5) 《弘前大》 58

発展問題 59

(1) 《大阪府立大》 59

(2) 《早稲田大》 59

(3) 《島根大》 59

構文解説 60

NO8 《助動詞Ⅱ》 64

【1】 [確認テスト] 64

【2】 [文法総合③] 《助動詞》 64

【3】 [標準問題] 66

(1) 《東京工業大》 66

(2) 《東京都立大》 66

(3) 《お茶の水女子大》 67

(4) 《横浜国立大》 67

発展問題 68

(1) 《神戸大》 68

(2) 《神奈川大》 68

NO9 《助動詞Ⅲ》 69

【1】 [確認テスト] 69

【2】 [標準問題] 69

(1) 《金沢大》 69

(2) 《立教大》 69

(3) 《駒澤大》 70

(4) 《滋賀大》 70

発展問題	71
(1) 《秋田大》	71
(2) 《東京大》	71
NO10 《仮定法 I》	72
【1】 [確認テスト]	72
【2】 [精選問題] 《仮定法 TEN》	72
【3】 [標準問題]	74
(1) 《センター》	74
(2) 《香川大》	74
(3) 《大阪府立大》	75
(4) 《北海道大》	75
発展問題	76
(1) 《愛知教育大》	76
(2) 《大阪大》	76
構文解説	77
長文読解 3	78
NO11 《仮定法 II》	80
【1】 [確認テスト]	80
【2】 [文法総合④] 《仮定法》	80
【3】 [標準問題]	83
(1) 《東京都立大》	83
(2) 《大阪府立大》	83
(3) 《徳島大》	84
(4) 《東京学芸大》	84
発展問題	85
(1) 《大阪府立大》	85
(2) 《岐阜大》	85
長文読解 4	86
NO12 《不定詞 I》	88
【1】 [確認テスト]	88
【2】 [精選問題] 《不定詞 TEN》	88
【3】 基本 [英文解釈]	90

(1) 《お茶の水女子大》	90
(2) 《鹿児島大》	90
(3) 《信州大》	90
(4) 《小樽商科大》	91
(5) 《鹿児島大》	91
(6) 《関西大》	91

発展問題

(1) 《九州大》	92
(2) 《岐阜大》	92

構文解説

自習問題 [整序英作文] 《不定詞②》

NO13 《不定詞Ⅱ》

【1】 [確認テスト]	96
-------------------	----

【2】 [文法総合⑤] 《不定詞》	96
-------------------------	----

【3】 基本 [英文解釈]	99
---------------------	----

(1) 《名古屋市立大》	99
--------------------	----

(2) 《東京工業大》	99
-------------------	----

(3) 《首都大学東京》	99
--------------------	----

(4) 《関西学院大》	100
-------------------	-----

(5) 《新潟大》	100
-----------------	-----

発展問題

(1) 《神戸大》	101
-----------------	-----

(2) 《愛媛大》	101
-----------------	-----

構文解説

NO14 《動名詞Ⅰ》

【1】 [確認テスト]	103
-------------------	-----

【2】 [精選問題] 《動名詞 TEN》	103
----------------------------	-----

【3】 [文法総合⑥] 《動名詞》	105
-------------------------	-----

【4】 基本 [英文解釈]	107
---------------------	-----

(1)	107
-----------	-----

(2)	107
-----------	-----

(3) 《東京医科歯科大》	107
---------------------	-----

(4) 《下関市立大》	108
-------------------	-----

(5) 《京都大》	108
発展問題	109
(1)	109
(2) 《首都大》	109
自習問題 [整序英作文] 《分詞》	110
NO15 《動名詞Ⅱ》	112
【1】 [確認テスト]	112
【2】 [文法] 《動名詞》	112
【3】 [整序] 《動名詞》	113
【4】 基本 [英文解釈]	114
(1) 《岐阜大》	114
(2)	114
(3)	114
(4) 《山口大》	115
(5) 《富山大》	115
(6)	115
発展問題	116
(1)	116
(2) 《北九州市立大》	116
(3)	117
構文解説	117
NO16 《分詞Ⅰ》	119
【1】 [確認テスト]	119
【2】 [精選問題] 《分詞 TEN》	119
【3】 [文法総合⑦] 《分詞》	121
【4】 基本 [英文解釈]	124
(1) 《お茶の水女子大》	124
(2) 《お茶の水女子大》	124
(3)	124
(4) 《山形大》	125
(5)	125
発展問題	126
(1) 《山形大》	126

(2) 《九州大》	126
構文解説	127
自習問題 [整序英作文] 《分詞》	128
NO17 《分詞Ⅱ》	130
【1】 [確認テスト]	130
【2】 [整序] 《分詞》	130
【3】 基本 [英文解釈]	131
(1)	131
(2)	131
(3) 《関西学院大》	131
(4) 《東北大》	132
(5)	132
発展問題	133
No18 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>	136
【1】 [確認テスト]	136
【2】 [リスニング選択]	136
【3】 [整序・英作文] 《関西学院大》	136
NO19 《不定詞と動名詞》	137
【1】 [確認テスト]	137
【2】 [語法] 《不定詞と動名詞》	137
【3】 基本 [英文解釈]	139
(1) 《福島県立医科大》	139
(2) 《金沢大》	139
(3) 《お茶の水女子大》	139
(4) 《東北大》	140
(5) 《弘前大》	140
発展問題	141
(1) 《山口大》	141
(2) 《京都府立大》	141
NO20 《関係詞Ⅰ》	142
【1】 [確認テスト]	142

【2】	〔精選問題〕《関係詞 TEN》	142
【3】	〔文法総合⑧〕《関係詞①》	144
【4】	基本〔英文解釈〕《関係詞の基本》	146
(1)	《京都府立大》	146
(2)	《関西学院大》	146
(3)	《神戸大》	146
(4)	《北海道大》	147
(5)	《群馬大》	147
発展問題		148
(1)		148
(2)	《愛知教育大》	148
(3)	《富山大》	148
構文解説		149
NO21	《関係詞Ⅱ》	150
【1】	〔確認テスト〕	150
【2】	〔文法総合⑦〕《関係詞②》	150
【3】	基本〔英文解釈〕《関係詞の省略》	153
(1)	《明治大》	153
(2)		153
(3)	《東北大》	154
(4)	《東北大》	154
(5)	《佐賀大》	154
発展問題		155
(1)		155
(2)	《関西学院大》	155
(3)	《神戸大》	155
NO22	《関係詞Ⅲ》	156
【1】	〔確認テスト〕	156
【2】	〔文法〕前置詞+関係代名詞	156
【3】	〔整序〕前置詞+関係代名詞	157
【4】	基本〔英文解釈〕《前置詞+関係代名詞》	158
(1)		158
(2)	《神戸大》	158

(3) 《北海道大》	159
(4) 《徳島大》	159
発展問題	160
(1) 《大阪市立大》	160
(2) 《高知大》	160
(3)	160
構文解説	161
No23 《関係詞Ⅳ》	162
【1】 [確認テスト]	162
【2】 [重要構文] 関係代名詞 what.....	162
【3】 [文法] 関係詞 what	162
【4】 [整序] 関係詞 what	163
【5】 基礎 [英文解釈]	164
(1)	164
(2) 《岩手大》	164
(3)	164
(4)	165
(5) 《センター》	165
構文解説	166
No24 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>	167
【1】 [講習会確認テスト]	167
【2】 [リスニング]	167
【3】 [整序・英作文] 《関西学院大》	167
No25 《Vocablury Check》	168
【1】 [語彙検定]	168
【2】 [英文解釈]	168
(1)	168
(2) 《早稲田大》	168
(3) 《愛知教育大》	169
【3】 [整序・英作文] 《関西学院大》	170
NO26 《関係詞Ⅴ》	171

【1】	〔確認テスト〕	171
【2】	〔文法〕 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞	171
【3】	〔整序〕 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞	172
【4】	基本〔英文解釈〕	173
	(1)	173
	(2)	173
【5】	基本〔英文解釈〕	174
	(1) 《山口大》	174
	(2) 《大阪大》	174
	発展問題	175
	(1) 《筑波大》	175
	(2)	175
	構文解説	176
	長文読解 5	176
NO27	《関係詞》[発展問題 PLUS]	178
	(1)	178
	(2) 《青山学院大》	178
	(3) 《佐賀大》	179
	(4)	179
	(5)	180
	(6)	180
	(7)	181
	(8)	181
	(9) 《慶応大》	182
	(10)	182
	構文解説	183
No28	《比較 I》	184
	【1】 〔確認テスト〕	184
	【2】 〔精選問題〕 《比較 TEN》	184
No29	《比較 II》	186
	【1】 〔確認テスト〕	186
	【2】 〔基本構文〕	186

【3】	〔英作文〕	187
【4】	基本〔英文解釈〕	188
(1)		188
(2)	《東京工業大》	188
(3)	《山形大》	189
(4)		189
	構文解説	190
No30	《比較Ⅲ》	191
【1】	〔確認テスト〕	191
【2】	〔英作文〕	191
【3】	〔基本構文〕	192
(1)		192
(2)	《奈良女子大》	192
(3)		193
(4)	《早稲田大》	193
No31	《比較Ⅳ》	194
【1】	〔確認テスト〕	194
【2】	〔基本構文〕	194
【3】	基本〔英文解釈〕《比較級》	196
(1)		196
(2)	《金沢大》	196
(3)		197
(4)	《九州大》	197
	構文解説	198
	発展問題	199
(1)		199
(2)	《千葉大》	199
No32	《比較Ⅴ》	200
【1】	〔確認テスト〕	200
【2】	〔英作文〕	200
【3】	基本〔英文解釈〕《比較級》	201
(1)		201

(2) 《広島大》	201
(3) 《県立広島大》	202
(4) 《弘前大》	202
構文解説	203
発展問題	204
(1) 《名古屋大》	204
(2) 《県立広島大》	204
(3) 《秋田大》	205
長文読解 6	205
No33 《比較VI》	207
【1】 [確認テスト]	207
【2】 [基本構文]	207
【3】 [英作文]	207
【4】 基本 [英文解釈] 《no で始まる原級・比較級》	208
(1)	208
(2) 《大阪市立大》	208
(3)	209
(4) 《慶應義塾大》	209
構文解説	210
練習問題	210
(1)	211
(2)	211
(3) 《大阪市立大》	212
(4) 《滋賀大》	212
No34 《比較VII》	213
【1】 [確認テスト]	213
【2】 [基本構文]	213
【3】 [英作文]	214
【4】 標準 [英文解釈]	215
(1)	215
(2)	215
(3) 《中央大》	216
(4) 《岐阜大》	216

構文解説	217
発展問題	218
(1) 《佐賀大》	218
(2) 《京都大》	218
No35 《比較Ⅶ》	219
【1】 [確認テスト]	219
【2】 [基本構文]	219
【3】 [英作文]	220
【4】 標準 [英文解釈]	221
(1) 《北海道大》	221
(2) 《神戸大》	221
(3) 《大阪大》	222
(4) 《明治大》	222
構文解説	223
発展問題	224
(1) 《一橋大》	224
(2) 《岩手大》	224
No36 《比較Ⅷ》	225
【1】 [確認テスト]	225
【2】 [基本構文]	225
【3】 [文法確認]	226
【4】 基本 [英文解釈]	227
(1).....	227
(2).....	227
(4).....	228
(5).....	228
構文解説	229
(1) 《県立広島大》	230
(2) 《山口大》	230
No37 《比較Ⅸ》	231
【1】 [確認テスト]	231
【2】 [基本構文]	231

【3】	〔文法確認〕	231
【4】	基本〔英文解釈〕	233
	(1)	233
	(2)	233
	(3)	233
	(4)	234
	(5)	234
	発展問題	235
	(1) 《奈良女子大》	235
	(2) 《立教大》	235
	構文解説	236
	長文読解 5	237
No38	〈LISTENING//ENGLISH COMPOSITION〉	238
【1】	〔講習会確認テスト〕	238
【2】	〔リスニング〕	238
【3】	〔整序・英作文〕《関西学院大》	238
No39	《that I》	239
【1】	〔確認テスト〕	239
【2】	〔基本構文〕	239
【3】	〔英文解釈〕	241
	(1) 《県立広島大》	241
	(2) 《岩手大》	241
	(3) 《九州大》	242
	(4) 《群馬大》	242
	発展問題	244
	(1) 《京都工芸繊維大》	244
	(2) 《県立広島大》	244
	(3) 《横浜市立大》	245
	(4) 《横浜市立大医》	245
No40	《that II》	246
【1】	〔確認テスト〕	246
【2】	〔基本構文〕	246

【3】	〔文法〕	246
【4】	〔英文解釈〕《強調構文》	248
(1)	《群馬大》	248
(2)	《茨城大》	248
(3)		248
(4)	《群馬大》	249
(5)	《九州大》	249
(6)		249
発展問題		250
(1)	《鹿児島大》	250
(2)	《埼玉大》	250
構文解説		251
No41	《English composition》	253
【1】	〔確認テスト〕	253
【2】	〔リスニング選択〕	253
【3】	〔英作文選択〕	253
No42	《thatⅢ》	254
【1】	〔確認テスト〕	254
【2】	〔基本構文〕程度・結果を表わす構文	254
【3】	〔文法〕	255
【4】	〔標準 英語構文〕	256
(1)	《富山大》	256
(2)	《神戸大》	256
(3)	《佐賀大》	257
(4)	《中央大》	257
(5)	《センター》	257
発展問題		258
(1)	倒置構文	258
(2)	《茨城大》倒置構文	258
構文解説		259
No43	《LISTENING//ENGLISH COMPOSITION》	261
【1】	〔講習会確認テスト〕	261

【2】	〔リスニング〕	261
【3】	〔整序・英作文〕《関西学院大》	261
No44	《Vocablury Check》	262
【1】	〔語彙検定〕	262
【2】	〔英作文選択〕	262
No45	《省略構文Ⅰ》	263
【1】	〔確認テスト〕	263
【2】	〔基本構文〕	263
【3】	〔文法〕	264
【4】	〔標準 英文解釈〕	265
(1)		265
(2)	《首都大東京》	265
(3)	(代不定詞)《埼玉大》	266
(4)		266
	発展問題	267
(1)	《関西学院大》	267
(2)	《新潟大》	267
	構文解説	268
No46	《省略構文Ⅱ》	270
【1】	〔確認テスト〕	270
【2】	〔基本構文〕	270
【3】	〔標準 英文解釈〕	271
(1)	《宮崎大》	271
(2)	《京都府立大》	271
(3)	《高知大》	272
(4)	《宮崎大》	272
	発展問題	273
(1)	《福井大》	273
(2)	《信州大》	273
	構文解説	274
	ハイレベル英文解釈Ⅱ	276

(1)	《東京大》	276
(2)	《鳥取大》	276
(3)	《上智大》	277
(4)	《一橋大》	277

No47 《副詞節 I》 278

【1】	[確認テスト]	278
【2】	[基本構文]	278
【3】	[基本構文]	279
【4】	[標準 英文解釈]	281
(1)	《京都教育大》	281
(2)	《大阪府立大》	281
(3)	《東京工業大》	282
(4)	《岐阜大 医》	282
	発展問題	283
(1)	《大阪市立大》	283
(2)	《愛知教育大》	283
	構文解説	284

No48 《副詞節 II | while / though》 288

【1】	[確認問題]	288
【2】	[基本構文]	288
【3】	[標準 英文解釈]	289
(1)	《北海道大》	289
(2)	《一橋大》	289
(3)	《名古屋大》	289
(4)	《北海道大》	290
(5)	《北海道大》	290
	発展問題	291
(1)	《島根大》	291
(2)	《東京大》	291
	構文解説	292

No49 《副詞節 III | if》 294

【1】	[確認問題]	294
-----	--------	-----

【2】	〔基本構文〕《重要接続詞の攻略 if》	294
【3】	〔標準問題〕副詞節の攻略《only if SV... / unless SV...》	295
(1)	《早稲田大》	295
(2)	《北九州市立大》	295
(3)	《九州大》	296
(4)	《名古屋大》	296
	発展問題	297
(1)	《滋賀大》	297
(2)	《信州大》	297
	構文解説	298
No50	《副詞節IV as》	300
【1】	〔確認問題〕	300
【2】	《基本 as》	300
【3】	〔標準問題〕《重要接続詞の攻略 as》	301
(1)	《神戸大》	301
(2)	《東京大》	301
(3)	《香川大》	302
(4)	《山口大》	302
(1)	《関西学院大》	303
(2)	《神戸大》	303
	構文解説	304
	ハイレベル英文解釈Ⅲ	306
(1)	《愛知教育大》	306
(2)	《東京工業大》	306
(3)	《東北大》	307
(4)	《福島大》	307
(5)	《京都府立医科大》	308
(6)	《福井大》	308
No51	《LISTENING//ENGLISH COMPOSITION》	309
【1】	〔確認テスト〕	309
【2】	〔リスニング〕	309
【3】	〔整序・英作文〕《関西学院大》	309

No52 《副詞節 V | whether/when》 310

【1】 [確認テスト] 310

【2】 [基本構文] 310

【3】 [基本構文] 310

【4】 [標準問題] 《重要接続詞の攻略 whether》 311

(1) 《高崎経済大》 311

(2) 《高知大》 311

(3) 《九州大》 312

(4) 《鹿児島大》 312

構文解説 313

構文解説 313

長文読解 6 314

ハイレベル英文解釈IV エラー! ブックマークが定義されていません。

- (1) 《慶應義塾大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (2) 《茨城大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (3) 《広島市立大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (4) 《下関市立大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (5) 《島根大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (6) 《宮崎大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (7) 《岩手大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (8) 《埼玉大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (9) 《和歌山大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (10) 《北海道大》 エラー! ブックマークが定義されていません。
- (11) 《関西学院大》 エラー! ブックマークが定義されていません。

テキストの使用手法”予習”と”復習”

本テキストは、”文法・語法”“英文解釈”“長文読解(テーマ読解)”の3本の柱から構成されています。以下に、予習と復習のポイントを挙げておきます。テキストを効果的に使用するために、熟読しておいてください。

文法・語法

予習:授業前に予習が必要です。1題20秒前後を目安に解答しましょう。

問題に取り組むにあたっては、以下の点に注意してください。

解答の根拠を明確にすること(根拠となる部分に下線等で目立たせること)

不明な点・未知の表現は、授業前に参考書等で確認しておくこと

復習:間違った問題だけでなく、解答根拠が曖昧だった問題をすべて再確認してください。確認の回数を増やすことで記憶を強化しましょう。

解答根拠練習(頭の中で解答の根拠を述べる・手を使って解答の根拠を示す)を1題5秒を目安にできるように何度も復習しましょう。一目即解を目指そう。

英文解釈

予習:授業前に予習が必要です。テキスト内の解答時間を目安に問題に取り組もう。

(注)解答は、必ず書くようにしてください。白紙答案は、絶対に避けましょう。難解な問題であっても、粘り強く解答に当たることが大切です。”逃げない”姿勢こそ、真の実力養成には不可欠です。

問題に取り組むにあたっては、以下の点に注意してください。

第1段階

最初に設問の確認をすること [設問確認]

英文に全体に目を通すこと [スキヤニング]

その際、1.段落の論理展開に注意すること(ディスコースマーカーに注意)

2.前後の文の論理《言換/対照》を押さえること 3.同意語・反意語にはチェックしておくこと

第2段階

パラグラフ(できれば全体の趣旨)を押さえながら設問に当たること

下線部中および前後の文で、《言換/対照》となっている表現をチェックすること

下線部の文構造をビジュアル化すること

未知の単語は、1.分解 2.対応などを用いて推測すること(辞書は使わない)

解答は、丁寧に書くこと(本番を意識した答案作成を心がける)

復習 I:授業での解説をもとに、自己添削を行いましょ。自己添削を通じて、今後の答案作成能力を高めるのが狙いです。不明な点、あいまいな点は、参考書等を活用して、徹底的に潰すことが大切です。そのうえで、担当講師に不明な点は質問をしましょ。(授業当日または翌日までにすべての問題を解決しておきましょ)

復習Ⅱ:本文を文法的に正しく理解し、内容(論理展開)が掴めてから、いよいよ本当の復習が始まります。徹底した音読を通じて、英文を頭の中に叩き込んでいきます。

第1段階 *授業後3日以内

全文を滞りなく音読する(発音のできない単語は辞書で確認すること)

第2段階 *授業後1週間以内

100語30秒を目安に音読を繰り返してください。(授業後1週間以内)

第3段階 *授業後～大学入試直前

月に1～2回程度音読を繰り返してください。

No1 《時制 I》



【1】〔確認テスト〕

【2】〔文法〕《時制 TENSE》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) I usually () home at around eight o'clock.
 ①have studied ②leave ③am leaving ④will study
- (2) He () when the telephone rang.
 ①is sleeping ②sleeps ③will sleep ④was sleeping
- (3) Tom () home just now.
 ①comes ②came ③has come ④had come
- (4) "That famous cherry tree () because of pollution."
 "Yes, we have to do something to save it."
 ①has death ②has died ③is dead ④is dying
- (5) Listen! I () a funny noise outside.
 ①had been hearing ②am hearing
 ③had heard ④hear
- (6) We () each other since we were children.
 ①have known ② will have known
 ③have been knowing ④know
- (7) Ken () in England for two years when the war broke out.
 ①will have been ②had been
 ③has been ④would be
- (8) I () my homework all this evening, but I've still got a lot more to do.
 ①have done ②had done
 ③do ④have been doing
- (9) We () for nearly thirty minutes when the train arrives.
 ①have waited ②have been waiting
 ③will have been waiting ④will have been waited
- (10) I will tell him to call you when he () from his trip.
 ①return ②returned ③returns ④will return

(4) pollution 「汚染」 (7) break out 「発生する」

- (1) I usually () home at around eight o'clock.
「私は通常 8 時頃に家を出る」 usually→習慣を表す
- (2) He () when the telephone rang.
「電話が鳴ったとき、彼は眠っていた」
when ~ rang は then/at that time と置換可。時の一点+動作動詞 sleep
- (3) Tom () home just now.
「トムはたった今帰宅したところ」 just now = a moment ago
- (4) “That famous cherry tree () because of pollution.”
“Yes, we have to do something to save it.”
「あの有名な桜の木が汚染のために死にかけている」 「はい、我々はそれを保存するために何かをしなければならない」
do something to save it→「まだ枯れていない(移行)」
- (5) Listen! I () a funny noise outside.
「聞いて！外で変な音が聞こえる」 hear 「知覚動詞」 or 「動作動詞」 進行形にできない！？
- (6) We () each other since we were children.
「私たち、子供のころからお互いを知っています」 since we were children 「子供のころから(今まで)」
- (7) Ken () in England for two years when the war broke out.
「戦争が勃発したとき、ケン は 2 年間のイギリスにいた」
「戦争がおこったとき(過去)」 + 「それまでの 2 年間」 + 住む「状態」
- (8) I () my homework all this evening, but I've still got a lot more to do.
「私はずっと今晚宿題をやっているが、私はまだやるべきことがもっとたくさんある」
宿題は未完了(途中)なので、現在完了進行形を用いる。a lot more to do 「すべきことがたくさんある」から判断
- (9) We had been waiting for nearly thirty minutes when the train arrives.
「列車が到着したときに私たちは、ほぼ 30 分を待っていた」
「列車が着くとき(未来)」 + 「それまでの 30 分間」 + 待つ「動作」
- (10) I will tell him to call you when he () from his trip.
「旅行から戻ったときに彼にあなたに電話するように言うつもりだ」
I will ~ call you=完全文⇒when he () ~ trip は名詞節 or 副詞節

【3】(1)realize A [ri(:)elàiz] 「A に気づく」 imitating 「模倣」 (imitate [ímitèit] 「模倣する」「真似る」) apply A [əpláí] 「A を適用する」 a principle [prínsəpl] 「原理」 (a) species [spí:jí(:)z] (単複同形) 「種」 thrive [θraiv] 「栄える」
(3)run A 「A を経営する」「A を動かす」 a decade [dékeid] 「10 年」 invite A out[inváit] 「A を誘い出す」

【3】〔標準問題〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《新潟大》

More and more, people are realizing how much we can learn from nature. Maybe what works in nature will work for us, too. These ideas lie at the heart of biomimicry — “bios” means life and “mimicry” means imitating.

Biomimicry is a way of thinking that encourages scientists, inventors and ordinary people to study nature and use its solutions to solve our problems. By applying nature’s principles, maybe we can find a way for all species to thrive on this planet.

(注) encourage A to V [enkəːrɪdʒ] 「A が V するように仕向ける」

(2) 《山形大》

After dinner, my brothers and I went to our rooms to do our homework. Mom called me from the living room. She was lying on the sofa, watching the evening news as she always did. I came to the sofa where she sat to see what she wanted, and she sat up and slapped me across the face.

(3) 《岡山大》

以下の記事は、2001年4月号の雑誌に掲載されたものである。

A few months ago I went to Princeton University to see what the young people who are going to be running our county in a few decades are like. Faculty members gave me the names of a few dozen students, and I sent them e-mails, inviting them out to lunch or dinner in small groups. I would go to sleep in my hotel room at around midnight each night, and when I awoke, my mailbox would be full of replies — sent at 1:15 A.M., 2:59 A.M., 3:23 A.M.

(注) Princeton University [ˈprɪnstən] 「プリンストン大学」 faculty [ˈfækəlti] 「教職員」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《東京大》

次の英文は、有名人にあった時の私たちの態度について述べたものである。

We were now only a few feet from each other. I was just about to break into a smile, when suddenly I recognized him. It was Anthony Quinn, the famous movie actor. Naturally, I had never met him in my life, nor he me. In a half of a second I was able to check myself, and I walked past him, my eyes staring into space.

(注) Anthony Quinn 「アンソニー・クイン」(1915年-2001年)アメリカで活躍した俳優、画家及び作家。

(2) 《横浜市立大》

Do women talk more than men? Proverbs and sayings in many languages express the view that women are always talking. Indeed, there is a Japanese character which consists of three instances of the character for the concept 'woman' and which translates as 'noisy'! My favourite proverb, because it attributes not noise but rather power to the woman speaker is this Chinese one: The tongue is the sword of a woman and she never lets it become rusty.

発展問題(1)break into a smile 「突然ニッコリと笑う」 recognize A [rɛkəgnàiz] 「A と気づく」 naturally [nætʃərəli] 「当然」 stare into space 「宙を見据える」

(2)express A [eksprɛs] 「A を表す」 a Japanese character [kæɪrəktər] 「日本語の文字」 consist of A 「A からなる」 a concept [kɒnsɛpt] 「概念」 translate as A [trænsleɪt] 「A と訳す」 a sword [sɔːrd] 「剣」 rusty [rʌsti] 「錆びた」

長文読解 1 impression [ɪmprɛʃən] 「印象」 consumption [kɒnsʌmpʃən] 「消費(量)」 「購買」 vulgarization [vʌlg(ə)rɪzɪj(ə)n] 「下品」「低俗」 cruelty [krúːəl[krúːəlti]] 残酷さ explosion [ɪkspləʊʒən] 「爆発」 exclusive [ɪksklúːsɪv] 「排他的な」「高級な」 aristocrats [əɪrɪstəkræ] 「上流階級の人」「貴族」「最高級品」 priests [priːst] 「司祭」「牧師」 pathfinder [pæθ fàɪndər] 「開拓者」「探検者」 plunged [plʌndʒ] 「突っ込む」 propagate [prəˈpəgeɪt] 「増殖する」「伝える」 fantastically [fæntəˈstɪk(ə)li] 「飛びぬけて」 (ofantastic [fæntəˈstɪk] 飛び抜けて素晴らしい) bothersome [bəˈðərsəm] 「面倒な」 (bother [bədər] 困らせる)

構文解説

(1) 現在時制

現在形は基本的に、現在を中心とした過去から未来に及ぶ事実や状態を表す。今という現在に限るのではなく、現在・過去・未来を全て含んだイメージである。具体的には、①現在の状態②習慣③不変の真理④確定未来等を表す。”He is kind.“「彼は親切である」(現在の状態)という英文は、今だけのことを行っているのではない。「彼は普段から親切である」ということである。例”He drinks coffee after a meal.“「彼は食後にコーヒーを飲む」(現在の習慣)も、今だけに限ったことではない。こうしたことから、現在時制は、過去・現在・未来に含んだものと考えられる。現在進行形が「動」のイメージであるのに対して、現在時制は「静」「変化しない」イメージである。現在時制が「不変の真理」「確定度の高い未来(変わりがないこと)」を表すのもこの「変化しない」の意から考えるよい。

(2) 過去時制

過去形は過去の動作・状態・事実・経験・習慣などを表す。現在とは切り離された(現在とは無関係)イメージを持つ。例”It rained heavily yesterday.“「昨日激しい雨が降った」(今降っているかどうかは不明)。なお、過去時制を用いるときは、文脈から明らかな場合を除き過去を表す表現とともに用いるのが原則である。例”It rained.“「雨が降った」では、意味的に何の情報もない。なぜなら、雨が降ったのは、昨日かもしれないし、先月かもしれない。過去のいずれかの地点では必ず雨は降っていたのだから。したがって、”It rained yesterday.“「昨日雨が降った」のように過去を表す副詞と併用が必要なのである。

(3) 未来時制

未来時制を表す形には、①will V [単純未来] ②be going to V③現在進行形④be to V⑤現在形などがある。①will V(単純未来) [時間の経過の中で自然に起こることや予測を表す場合、ふつう will を用いる] ②be going to V [既に前兆がある場合、既に取り掛かっている場合、既に決めていた場合に用いられる] ③現在進行形 [すでに決められている近い未来の予定を表す場合、始まろうとしているできごとを表す場合に用いる] 例”I am going to see a doctor today.“「私は今日医者に行く予定だ」”Black clouds are gathering. It is going to rain.“「雲が集まってきた。雨が降りそうだ」 ④be to V [「V することに向かう」を表す不定詞(to V)が、”be to V”の形で未来を表すことができる。通例、未来を表す副詞とともに用いる] 例”He is to come here tonight.“「彼は今晚ここに来ることになっている」 ⑤現在形 [確定している未来の予定や計画を表す場合。公的な行事や公共機関などで用いることが多い] 例”The next bus leaves at seven.“「次のバスは7時に出発します」未来を表す語句には、上記以外に”be about to V”「今にも V しそうだ」がある。目前の未来を表し、未来を表す副詞とはともに用いることはできない。例”Our train is about to leave.“「私たちの列車は出発しようとしている」

(4) 進行形

“is[am/are] Ving”の形で現在進行中の動作を表す。現在進行形には、①一時的動作②継続・反復③移行④近未来などを表す。①一時的動作 [「今」行われている動作を表す。例”He is reading a book.“「彼は本を読んでいる」通常、進行形にしない動詞を進行形で用いて一時的状態を表す。例”He is now living in Osaka.“「彼は大阪に住んでいる」(「普段は大阪以外に住んでいる」を含意)”She is being kind to the lady.“「彼女はその夫人に親切にしている(ふるまっている)」(“be 動詞”の進行形”is being 形容詞/過去分詞...”は、一時的動作を表す] ②継続・反復 [進行形が、always / constantly / all the time とともに用いられると、「いつも～ばかりしている」と不快・非難を表す] 例”My son is always forgetting homework.“「私の息子は宿題を忘れてばかりいる」 ③移行 [進行形が、目の前の動作が(近)未来へと移行(変化)するイメージを持つことがある] 例”He is dying now.“「彼は死にかけている」(≠He is dead. 「彼は死んでいる」) ④近未来 [移行(変化)と同じく、現在進行形が未来を表すことがある] 主に、往来発着を表す動詞(arrive, come, leave など)が使われることが多い。未来を表す副詞とともに用いる

のが原則。例”My uncle is coming to see me next week.”「私の叔父が来週会いにやって来る」

(5) 現在形と現在進行形の違い

現在・過去・未来を含む「幅」のイメージで「静」「一定」を表す現在形に対して、「今まさに動いている」現在進行形は「動」「変化」「一時的」を表す。例”Our grandparents usually live in Osaka, but are now living in Okinawa.”「私の祖父母は普段は大阪に住んでいるが、今は沖縄にいる」”He usually sings well, but he is now singing badly.”「彼は普段は歌がうまいが、今は下手だ」

長文読解 1

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

The impression seems to be that the age we live in is the age of the masses. (1)Half the times you open a book or start a discussion you find yourself dealing with mass production, mass consumption, mass media and mass culture. We blame the masses for all our ills: the vulgarization of culture and politics, the meaninglessness of our way of life, the cruelty of our wars and, of course, the population explosion.

Actually, America is the only country in which the masses impressed their tastes and values on the whole of a society. Everywhere else, from the beginning of time, societies have been shaped by exclusive minorities of aristocrats, scholars, traders, manufacturers and priests. (2)Only in America did the masses have a chance to show what they could do on their own, without masters to push them around; a new world had to be discovered to give them the chance. But in America just now the masses are on their way out. With the coming of automation, 90 percent of the common people will become unneeded and unwanted. Nor is there room any longer for the special skills and talents of the masses.

There was a time in this country when the masses acted as pathfinders and pioneers. They plunged into the unknown, cleared the land, built cities, founded states and propagated new faiths. The masses built America, and for almost a century shaped its future. But (4)America's future is now being shaped in fantastically complex and expensive laboratories which supermen work in, and the masses are on the way to becoming a bothersome waste product no one knows what to do with.

NO2 《時制Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合①] 《時制》

解答時間 15分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

(1) 祖父が亡くなって5年になる。

My grandfather () for five years.

①died ②has died ③has been dead ④has dead

(2) その問題を解決することは、私たちが考えていたよりも難しかった。

Solving the problem was more difficult than ().

①we had thought ②our thinking ③our thoughts ④we did

(3) 「ビルはまだきみの車を使っているの」

「うん、彼はいつそれを返してくれるのかなあ」

“Is Bill still using your car?” “Yes, I wonder when he () it.”

①has returned ②returned ③returns ④will return

(4) 私は初めてロンドンに行ったとき、20歳だった。

I () twenty years old when I went to London for the first time.

①am ②was ③will be ④am going to be

(5) 「ジュンコが何をしているかわかりますか」

「ええと、私が少し前に彼女を見たときには、彼女は本を読んでいた」

“Do you know what Junko is doing?”

“Well, she () a book when I saw her a while ago.”

①has been reading ②is reading
③may be reading ④was reading

(6) ケンとマイクは親友だ。彼らは子どもの頃からの知り合いだ。

Ken and Mike are good friends. They () each other since childhood.

①are knowing ②are known ③have been knowing ④have known

(7) 部屋を出るときには、明かりを必ず消しなさい。

Be sure to turn off the lights when you () the room.

①leave ②will leave ③left ④leaving

(8) サキ、少し休んではどう? あなたは最近働き過ぎよ。

Saki, why don't you take some time off? You () too hard lately.

①would work ②had worked
③should have worked ④have been working

(9) もし明日雨が降ったら、私たちは釣りに行かないだろう。

If it () tomorrow, we won't go fishing.

①rains ②will rain ③is going to rain ④rained

(10)その映画をもう1度見ると、3回見ることになる。

I () the movie three times if I see it again.

①see ②will see ③have seen ④will have seen

(11)次の火曜日は私たちの結婚記念日で、その時までには私たちは結婚して10年になる。

It's our wedding anniversary next Tuesday, and by then we () married for ten years.

①are ②will have ③will have been ④would have

(12)今夜、リサは家でパーティーを開くことになっているので、今朝からずっと料理をしている。

This evening Lisa will have a party at her house, so she () since this morning.

①is cooking ②was cooking ③has been cooking ④had cooked

(13)私が駅に着いたとき、その列車はすでに出発していた。

When I got to the station, the train ().

①is leaving ②has just left
③has been leaving ④had already left

(14)部屋は暑かったけれども、ビルはコートを着たままだった。

Bill kept his coat on, although it () warm in the room.

①is ②was ③has been ④must be

(15)電話が鳴ったとき、トムはシャワーをあびていた。

Tom () a shower when the telephone rang.

①takes ②took ③was taking ④have taken

(16)雨がひどく降り始めたとき、私たちは野球を30分ほどしていた。

We () playing baseball for about half an hour when it started to rain very heavily.

①had been ②have been ③might be ④would be

(17)もしあなたが注文した本を明日までに受け取らなければ、お知らせください。

If you () the book you ordered by tomorrow, please let us know.

①wouldn't receive ②haven't received
③won't receive ④didn't receive

(18)私は子どもの頃3年間中国に住んでいたが、中国語はまったく話せない。

I () in China for three years when I was a child, but I can't speak Chinese at all.

①have been ②have once stayed ③lived ④went

- (19) 「本屋の隣のあのイタリア料理店は新しいのですか」
 「いいえ、もう1年以上も営業していると思いますよ」
 “Is that Italian restaurant next to the bookstore new?”
 “No, I think () for more than a year now.”
 ①it was open ②it's open ③it's opened ④it's been open
- (20) もし明日晴れたら、私たちは森へピクニックに行くつもりだ。
 If it () fine tomorrow, we are going on a picnic in the woods.
 ①be ②is ③will be ④would be
- (21) この市で働くために家をでてから、10年になる。
 Ten years () since I left my home to work in this city.
 ①had passed ②has passed ③have passed ④is passed
- (22) 私の祖父は1965年に亡くなった。
 My grandfather () in 1965.
 ①died ②dead ③was died ④has died
- (23) 今度の土曜日はテニスをしないつもりだ。私は試験のために勉強をしなければならぬだろう。
 I'm () play tennis next Saturday. I'll have to study for the exam.
 ①won't ②not going to ③will not ④going to not

(11) wedding anniversary 「結婚記念日」

【2】〔文法総合①〕《時制》(1)③(2)①(3)④(4)②(5)④(6)④(7)①(8)④(9)①(10)④(11)③(12)③(13)④(14)②(15)③(16)①(17)②(18)③(19)④(20)②(21)③(22)①(23)②

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《愛知県立大》

The therapeutic use of pets as companions has gained increasing attention in recent years for a wide variety of patients — people with AIDS or cancer, the elderly, and the mentally ill. Unlike people, with whom our interactions may be quite complex and unpredictable, animals provide a constant source of comfort and focus for attention. Animals bring out our nurturing instinct. They also make us feel safe and unconditionally accepted. We can just be ourselves around our pets.

(注) therapeutic[θèrəpjú:tik] 「診療の」 an interaction[intərəékʃən] 「相互交流」 nurturing 「育成」 (nurture A[nə:rtʃər] 「A を育てる」)

(2) 《センター》

The Japanese government has been making efforts to establish a system to promote volunteer activities. Indeed, Japan was the driving force behind the United Nations making 2001 the “International Year of the Volunteer.” Although variations among and within countries will likely continue for quite some time, it is hoped that government support for this important activity will encourage more people to help their neighbors and their communities.

(注) encourage A to V [enkə:ridʒ] 「A が V するように仕向ける」

【3】 (1) a companion [kəmpeɪnjən] 「仲間」 gain A [geɪn] 「A を得る」 a cancer 「がん」 unpredictable [ʌnprɪdɪktəbl] 「予測できない」 provide A [praʊvaɪd] 「A を与える」 constant [kənstənt] 「絶え間無い」 unconditionally [ʌnkəndɪʃənəli] 「無条件に」

(2) make efforts to V 「V する努力をする」 establish A [estæblɪʃ] 「A を確立する」「A を設立する」 promote A [praʊmóut] 「A を促進する」 the driving force 「原動力」 a variation [vəəriəʃən] 「種類」「違い」 continue [kən'tɪnju:] 「続く」

(3) be supposed to V 「V すると思われている」 a priest [pri:st] 「司祭、聖職者」 combined [kəmbeɪnd] 「結合した」

(5) dramatic [drəmə'tɪk] 「劇的な」 decline [dɪklaɪn] 「低下する」 expand [ɪkspænd] 「拡大する」 at birth 「誕生時」

impressive [ɪm'presɪv] 「印象的な」 increase [ɪnkrɪ:s] 「増える」 S is predicted to V 「SV と予測される」

(predict[pri(:)dɪkt])active [æktɪv] 「元気な」「活動的な」

(3) 《京都府立医科大》

It was after midnight. I was driving back to the hotel, which was supposed to take 10 minutes. We had been driving for close to 45, and were lost in the dark backstreets of Brooklyn. An elderly priest, his wife, and his sister sat in the back seat. They had been at the party, too, and we were going to drop them off at the same hotel. In front, beside me, sat my mother. Our combined age in the car was close to 400 years.

(4) 《電気通信大》

When I was fourteen years old, I got a new, very nice bicycle. I did not like my old bicycle, because I thought that it was too heavy. I really liked this new one, though, because it was much lighter. I had been asking my dad to give me some money to buy a new bicycle for quite a while, so I was really excited to finally get it.

(5) 《福井県立大》

By the year 2025, more than a third of the UK's population will be aged over 55. In a dramatic way, the number of young people is declining while the older part of the population is rapidly expanding. By 2014, it is forecast that the number of over-65-year-olds will overtake the under-16s, and by 2025, the over-60s will have passed the under-25s. Life expectancy at birth is increasing, but life expectancy after 60 is even more impressive. On average, a man who turned 60 in 1981 could expect to live another 16 years and a woman almost 21 years. By 2003, this had increased to 20 years for men and 23 for women, and by 2026 it is predicted to rise to 24 years for men and 27 for women. It is clear that we are living longer and staying active until much later in life.

(注) UK(United Kingdom) 「連合王国」
life expectancy[ɪkspɛktənsi] 「寿命」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《北海道大》

I'd just arrived at Reykjavik airport in Iceland and headed straight for the rental car desk. I was second in line and the man ahead of me was just passing in his keys. “Two weeks’ rental. That comes to €3,900, sir.” A quick calculation in my head told me that he had paid nearly ¥500,000. I wondered whether he had rented a fleet of luxury cars.

(注) Reykjavik airport[réik(j)əvɪk] 「レイキャビク 《アイスランドの首都》」 a fleet of A [fli:t] 「すべての A」 € 「ユーロ記号：ユーロ通貨のために使われる通貨記号」

(2) 《九州大》

Rachel stood by the tombstone. Her father had been a hard man to live with, awkward in his affection, never saying much. But he had raised a daughter, and Rachel thought he had done it as well as any man could have done alone. She had never lacked food and clothing. There were plenty of things he had not taught her, maybe could not teach her, but she had learned about crops, plants and animals, and also how to build and mend a fence or cabin. He had had her do these things herself while he watched.

(注) Rachel[réitʃəl] 「レイチェル(女性名)」

発展問題(1)head for A 「A に向かう」 in line 「列」 calculation [k'ælkjuléifən] 「計算」 luxury [lʌkʃəri] 「贅沢な」
(2)awkward [ɔ:kwɔ:d] 「不器用な」 affection [əfékʃən] 「愛情」 raise A [reɪz] 「A を育てる」 lack A [læk] 「A を欠いている」 cabin [kæbɪn] 「小屋」

構文解説

(1) 現在完了形

現在完了形は、「過去と現在」を結びつける表現である。言い換えれば、現在のことを過去とのつながりを意識して表すものである。例”I have already finished lunch.”「私はすでに昼食を食べた」では、「今おなかがいっぱいである」の意味を含意している。”I finished lunch (today).”「私は(今日)昼食を食べた」と述べているだけで、「今おなかがいっぱいなのか、それともおなかがすいているのか」については何も述べていない。

(2) 現在完了形

現在完了形(have 過去分詞)は、通例3つないし4つの意味で分類される。現在完了形も、他の時制と同じく、時を表す副詞とセットで用いるのが原則である(時を表す副詞がない場合は、前後の文脈から”いつの出来事”かが判断可能)。意味は併用される副詞によって分類する。①結果例”He has lost my umbrella.”「傘をなくしてしまった」②完了例”I have just written my report.”「私はたったいまレポートを書き終えた」”She hasn't cleaned her desk yet.”「彼女はまだ机を片付けていない」③継続例”He has been absent from school for three days.”「彼は3日間学校を休んでいる」He has lived here since he graduated from school.「彼は学校を卒業してからずっとここに住んでいる」④経験例”I have traveled in China four times.”「私はこれまで4回中国を旅行したことがある」”Have you ever read his works?”「彼の作品を読んだことがありますか」

(3) 過去完了形・未来完了形

現在完了が、現在の地点までの広がりを表すのに対して、過去完了(had 過去分詞)は、過去の1時点(基準)までの広がりを、未来完了(will have 過去分詞)は未来のある1時点(基準)までの広がりを表す。過去完了・未来完了には、同一文中または前後の文で、1時点(基準)を表す語句・表現があるのが原則である。過去完了・未来完了とも表す意味は、現在完了と同じく、を表す。例”She had lived by herself for six years when I first met her.”「私が彼女に初めて会った時には、彼女6年間独り暮らしをしていた」”Next month we will have been married for ten years.”「来月で私たちは結婚して10年になる」

(4) 現在完了進行形・過去完了進行形・未来完了進行形

現在完了進行形(have been Ving)は、過去から現在までの動作の継続を表す。今後も続くことを含意している。例”She has been taking piano lessons since she was three.”「彼女は3歳からピアノのレッスンを受けている」”過去完了進行形(had been Ving)は、過去の1時点までの動作の継続を表す。例”He had been waiting for two minutes when she came back.”「彼は彼女が戻ってくるまで20分待ち続けた」

- (1) The dog () by them.
「その犬は、彼らにジョンと名付けられた」
name OC の受動態
- (2) The boy was () everybody.
「その少年はみんなに笑われた」
laugh=自動詞 / laugh at A=他動詞扱い
- (3) Monkeys can often () in the mountains.
「サルは、しばしば、山の中で見ることができます」
助動詞の受動態
- (4) My dog was () Lucy.
「私の犬はルーシーに世話をしてもらいました」
take care of A の受動態。
- (5) They told my family I was killed () the war.
「彼らは、私が戦争で死んだと私の家族に伝えました」
by 以外をとる受動態
- (6) My car () now.
「私の車は現在は修復されています」
進行形の受動態
- (7) We were () for hours at the airport until the fog cleared.
「私たちは霧が晴れるまで空港で数時間待たされた」
keep O waiting 「O を待たせ続ける」の受動態
- (8) Mary was seen () the building last night.
「メアリーは昨夜建物の中に入るのを見られました」
知覚動詞の受動態：知覚動詞 O 原形不定詞⇒be 知覚動詞の過去分詞 to V
- (9) I was made () by him though it was raining very hard.
「私は雨が非常に激しく降っていたにもかかわらず、彼によって行かざるを得なかった」
使役動詞の受動態：使役動詞 O 原形不定詞⇒be 使役動詞の過去分詞 to V
- (10) A man is () the company he keeps.
「人は付き合いの仲間によってわかります」
by 以外をとる受動態：be known to A 「A に知られている」 be known as A 「A として知られている」 be known by A 「A によってわかる」

【3】〔標準問題〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《山梨大》

Sometimes parents are surprised to realize that teenagers don't seem to understand the connection between hard work and success. Certainly the images of success as depicted in the media rarely show the years of struggle and practice that musicians, actors, or athletes engage in before their “instant” successes.

(注) depict A [dɪpɪkt] 「Aを見つける」

(2) 《小樽商科大》

The United States is a country of immigrants. These immigrants come from all over the world. They speak many different languages. In the past, new immigrants had a hard time in American schools. They could not understand their school work in English, so they often became discouraged and dropped out of school. They were not able to get good jobs without a good education.

(注) an immigrant [ɪmɪgrənt] 「移民」

【3】(1) connection [kəneɪkʃən] 「結びつき」 rarely [rɛərli] 「めったに～しない」 a struggle [strʌgl] 「格闘」 an athlete [æθli:t] 「運動選手」 engage in A [ɪnɡeɪdʒ] 「Aに従事する」
(2) have a hard time 「苦勞する」 drop out of school 「学校を中退する」

(3) 《香川大》

In April 2001, Shim arrived at Tottori Airport with a huge suitcase packed with textbooks she had selected for students. She was given a warm welcome by the principal and teachers of the high school, but after that did not receive any particular instruction about how she should organize the Korean language lessons.

(注) Shim 「シム」

(4) 《熊本県立大》

Today, Americans and the British play small tricks on friends and strangers alike on April 1st. A common trick is to point to a friend's shoe and say 'Your shoelace is untied.' When they look down, they **are laughed at**. Schoolchildren might tell a friend that school has been cancelled. A bag of flour might be balanced on the top of a door so that when the 'victim' opens the door, the flour empties over their head. Sometimes the media gets involved. Once, a British short film was shown on April Fool's Day about spaghetti farmers and how they harvest their crop from spaghetti trees!

Most April Fool jokes are in good fun and not meant to harm anyone. The best trick is the one where everyone laughs, especially the person upon whom the joke has been played.

(3) huge 「巨大な」 be packed with A [pækt] 「A でいっぱいである」 (pack A with B 「A を B で一杯にする」) select A [sələkt] 「A を選択する」 a principal [prɪnsəpəl] 「校長」 receive A [rɪsɪːv] 「A を受け取る」 particular [pəˈtɪkjələr] 「特定の」「具体的な」 organize A [ɔːrgənəɪz] 「A を組み立てる」「A を体系化する」

(4) a trick [trɪk] 「いたずら」 point to A [pɔɪnt] 「A を指差す」 cancel A [kænsəl] 「A を中止する」 balance A [bæləns] 「A をバランス良く置く」 flour [flaʊər] 「小麦粉」 empty A [ɛmptɪ] 「A を空にする」 get involved 「関与する」 harm A [hɑːrm] 「害」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《滋賀医科大》

A positive attitude plays a key role in luckiness, since it strongly affects luck production and luck perception. Wiseman's study shows that a lucky, positive person is far more satisfied with all areas of their life than an unlucky, negative person. A positive person feels lucky for spotting a silver lining, however gray the cloud ... yet a negative person will curse their luck even in the face of good fortune, because they cannot see past the green grass on the other side of the fence.

(注) curse one's luck [kɜːrs] 「(自分の)運の悪さを呪う」

(2) 《日本医科大》

Many would judge, and condemn, the following sentence by the rules of logic: He never said nothing. Sentences like this are said to have a “double negative” construction. Critics maintain they are illogical and should be done away with, because two negatives make a positive: if he never said nothing, this must mean he did say something.

発展問題(1)play a key role in A 「A にて役割を果たす」 affect A[ə'fekt] 「A に影響を与える」 a perception [pə'seɪʃən] 「知覚」 spot A [spɒt]

(2)judge A [dʒʌdʒ] 「A を判断する」 condemn A [kəndem] 「A を非難する」 following [fɔːləʊɪŋ] 「以下の」 be said to V 「V と言われている」 construction [kən'strʌkʃən] 「構造」 「建設」 illogical [ɪ'lɒdʒɪkəl] 「非論理的な」

構文解説

(1) 受動態

動作を受けるものを主語とした英文を受動態(S be 過去分詞)と呼ぶ。be 動詞の文と同じく、否定文は、be 動詞の後に not を置き、疑問文では be 動詞を文頭に出して作る。例
 “This room isn’t cleaned.” 「この部屋は掃除されていない」 “Is this room cleaned?”
 「この部屋は掃除されていますか」

(2) 受動態

「～される」という動作をはっきりと示す場合には、be 動詞の代わりに get が用いられる。“get 過去分詞” 「～される」は動作を、“become 過去分詞” 「～されるようになる」は変化を表す。例 “He is married.” 「彼は結婚している」(状態) “He got married last week.” 「彼は先週結婚した」(動作)。“His failure became known through his school.” 「彼の失敗は学校中に知れ渡った」また、状態をはっきり示す場合には、remain などを用いる。例 “The gate remained closed for a year.” 「その門は一年間しまっている」

(3) 受動態と時制

be 動詞の文である受動態(S be 過去分詞)には、助動詞・現在完了形・進行形と併用することもできる。例えば、「この部屋は使用される」 “This room is used.” をもとに、“This room should be used.” 「この部屋を使用すべきである」 “This room has been used for a year.” 「この部屋は1年使われている」 “This room is now being used.” 「この部屋は今現在使われている」などの形が可能である。受動態と助動詞が組み合わせると助動詞 be 過去分詞、受動態と現在完了形が組み合わせると “have been 過去分詞”、受動態と進行形が組み合わせると “be being 過去分詞” となる。

(4) 受動態の注意点①

日本語「～される」=英語「be 過去分詞」であるとは限らない。例「この花は英語でバラと呼びます」(×) “This flower calls rose in English”(○) “This flower is called rose in English.” “This flower” 「この花」が call 「呼ぶ」のではなく “This flower” 「この花」が “is called” 「呼ばれる」と考えるのが正しい。

(5) 受動態の注意点②

「彼は親切に思われる」を “He is seemed kind.” とすることはできない。なぜなら、“seem C”(能動態)形で「Cのように思われる」を表すからである。第2文型で用いる動詞でよくある間違いである。look C 「Cのように見える」「彼は若く見える」(×) “He is looked young.” (○) “He looks young.” である。ほかにも、日本語につられて間違いやすいものに、take place 「～が行われる」がある(place は take 目的語)。「行われる」を take place を使って表す場合は “S take place.” と能動態の形で用いる。例 「その会議は昨日行われた」 (○) “The meeting took place yesterday.” (×) “The meeting was taken place yesterday.”

(6) 受動態の注意点③

“remind A of B/remind A that SV...” 「AにB/that SV...と思い出させる」など、「使役的な意味を持つ動詞」が受動態で用いられている英文を和訳する場合、「～する」と能動態で訳すとうまくいくことが多い。例 “He was reminded of an appointment.” 「彼は約束を思い出した」 “A be reminded of B/that SV...” 「AはB/that SV...を思い出す」このタイプの動詞には “A be informed of B / that SV...” 「AはB/that SV...を知る」 “A be convinced of B / that SV...” 「AはB/that SV...と確信する」がある。例 “I

was informed that he had been ill in bed for a week.”「私は彼が1週間病気であると知った」
“He was convinced that his brother would win the game.”「彼は、お兄さんがその試合に勝つと確信していた」

(7) SVOの受動態・句動詞の受動態

能動態のSVOを受動態にすると(便宜上SをA/OをBとする:AVB)は、“B be 過去分詞 by A”となる。例 “He wrote this letter last night.” ⇔ “This letter was written by him last night.” 「この手紙は昨夜彼が書いた」動詞(V)が二語以上からなる場合(句動詞:動詞+前置詞)の場合は、前置詞は動詞の一部と考えて、省略せずに動詞の直後に置く。例 “She spoke to me in the bus.” ⇔ “I was spoken to by her in the bus.” 「私はバスで彼女に話しかけられた」 “speak to” を一つの動詞と見なし、受動態にした場合でも、省略せずに to を speak の直後に置く。同じタイプの句動詞には、“laugh at A” 「Aを笑う」 “look up to A” 「Aを尊敬する」 “hear from A” 「Aから便りをもらう」 “do away with A” 「Aを廃止する」他がある。

(8) by以外の前置詞を用いる受動態①

受動態では、動作主は通例 “by 人” で表すが、by以外の前置詞と組むものがある。「～で一杯である」(～で満ちている) 「～で満足である」などの表現では、“be 過去分詞 with A” を用いるものが多い。“be filled with A” 「Aで一杯である」 “be covered with A” 「Aでおおわれている」 “be pleased with A” 「Aが気に入る」 “be satisfied with A” 「Aに満足する」例 “The park was covered with snow yesterday.” 「その公園は昨日雪で覆われていた」 “My father was very pleased with my present.” 「父は私のプレゼントがとても気に入った」失望を表す場合も with を取ることが多い。“be disappointed with A” 「Aに失望する」例 “My mother will be disappointed with the result.” 「私の母はその結果に失望するだろう」

(9) by以外の前置詞を用いる受動態②

「～に驚く」を表す表現では “be 過去分詞 at A” を用いるものが多い。“be surprised at A” 「Aに驚く」 “be amazed at A” 「Aに驚愕する」 “be shocked at A” 「Aにショックを受ける」例 “We were surprised at his sudden visit.” 「私たちは、彼の突然の訪問に驚いた」

(10) by以外の前置詞を用いる受動態③

“be known” に後続する前置詞は、意味・用法によって “to, as, for, by” が用いられる。① “be known to A” 「Aに知られている(不特定)」② “be known as A” 「Aとして知られている」(Aは主語と=関係)③ “be known for A” 「A(理由)で知られている」④ “be known by A” 「A(基準・手段)で知られている」例① “My teacher is known to almost all students around here.” 「私たちの先生はこのあたりのほぼすべての生徒に知られている」② “Arima is known as a hot spring town.” 「有馬は温泉地で有名である」(Arima = a hot spring town)③ “Arima is known for hot spring.” 「有馬は温泉で有名である」(Arima ≠ hot spring)④ “A man is known by the company he keeps.” 「人は付き合い方からわかる」なお、通常の「～に知られている」(特定)の場合には、byを使う。例 “He is known by me.” 「彼と私は面識がある」(=「私は彼のことを知っている」)

(11) by 以外の前置詞を用いる受動態④

上記以外で、by 以外の前置詞と結びつく重要表現には、“be interested in A”「Aに興味を持つ」“be injured in A”「A(事故・場所)でけがをする」“be killed in A”「A(戦争・場所)で死ぬ」“be engaged in A”「Aに従事する」“be devoted to A”「Aに専心する」“be lost in A”「Aにふける」などがある。例 “I am not interested in politics.”「私は政治には興味がない」

長文読解 2

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

There are a lot of people who read poetry frequently and derive a great deal of pleasure from it, but there are far more who find it difficult to read and hard to understand. Indeed, it is possible to read a poem over and over again and yet still remain at a loss as to what it means. One way of overcoming such problems is to give some consideration to the question of what poetry as a whole is about. (1)If we have a simple but clear idea of how poetry usually works and what sort of topics it normally deals with, then we should be in a better position to understand individual poems.

There are, broadly speaking, two main ways of thinking about poetry. One approach is to concentrate on the poet himself. (2)Underlying this approach very often is the idea that poetry is primarily an expression of the poet's emotions. The clearest statement of this viewpoint is a comment by a famous English poet that ‘poetry is the spontaneous overflow of powerful feelings.’ The focus of our attention in this approach is on what the poem can tell us about the poet's innermost being as revealed in the work: we read the poem in order to learn about the figure behind it. Although this is a popular approach to poetry, it is not a very practical one for the reader who is simply baffled by a poem or who cannot see what the ‘feelings’ are that the poet is expressing and therefore cannot appreciate them. The other shortcoming of this way of looking at poetry is that it is more concerned with the mind and personality behind the poem than with the poem itself. (3)It is, then, an unsatisfactory approach, not least because it bypasses the real problem we all experience: reading the poem and trying to understand it.

The second approach concentrates on discussing the poem itself. The focus of our attention here is on the words on the page. Such an approach involves a very different conception of poetry from that outlined above: there the poet is looked upon as an elusive, mysterious figure behind the text; here the emphasis is on the poet as ‘a maker’, a maker of meanings with words.

(4) The moment we stress this element of craftsmanship it becomes possible to talk about both the content and form of poetry in much more tangible terms.

長文読解 frequently 「頻繁に」 (frequent [frí:kwənt] 頻繁な) derive [diráiv] derive A from B 「BからAを見出す」 at a loss as to ... 「…で途方に暮れて」 overcoming [óuvərkam] 「打ち勝つ」「克服する」 as a whole 「(個々としてではなく) 全体としての」 poetry [póuitri] 「詩」 broadly speaking 「広く言えば」 concentrate 「集める」「集中する」 primarily 「主に」「基本的に」 (primary [práimèri] 「主要な」「基本的な」) statement [stéitmənt] 「説明」「声明」 viewpoint [vjú:point] 「見地」「見解」 spontaneous [spantéiniəs] 「無意識の」「自発的な」 overflow [óuvərflou] 「氾濫」「過剰」「あふれでるもの」 innermost [inəməst] 「心の奥底にある」 reveal [riví:l] 「明らかにする」 baffle [bæfl] 「困惑させる」「挫折させる」 appreciate [əprí:ʃi:it] 「正しく理解する」 shortcoming [ʃɔ:tkl`min] 「欠点」 bypass [báipæs] 「迂回する」「無視する」 involve [invól] 「巻き込む」 conception [kənsépsən] 「概念作用[形成]」 look upon A as B 「AをBと見なす」 elusive [ilú:siv] 「捕らえどころのない」 craftsmanship [kræ'ftsmənʃip] 「熟練」「職人芸」 tangible [tændʒəbl] 「有形の」

NO4 《受動態Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合②] 《態》

解答時間 15分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

(1) 旅の計画は、春が終わる前に立てるべきだ。

Plans for the trip should () before the end of spring.

①be organized ②organizing ③organize ④organization

(2) 「彼らはその仕事を終えるのにどのくらいかかるでしょうか」

「来月末までにすべてを終えられると思います」

“How long will it take them to finish the work?”

“I think everything () by the end of next month.”

①did ②was done ③will be done ④will do

(3) その犬は私の妹によって世話をされている。

The dog is taken care () my sister.

①by ②of ③of by ④by of

(4) 国際ドッグショーが来週この都市で開かれる。

The international dog show will () in this city next week.

①be held ②is holding ③be hold ④is held

(5) 「車の衝突で5名が負傷した」

Five people () in the car crash.

①injure ②injured ③injury ④were injured

(6) 山は雪でおおわれている。

The mountain is () snow.

①covering by ②covering with ③covered by ④covered with

(7) 彼の名前は多くの野球ファンに知られている。

His name is known () many baseball fans.

①for ②with ③to ④between

(8) コンピュータは今、私の父によって使われている。

The computer () by my father now.

①used ②is been using ③is being used ④is used being

(9) その少女は有名なピアニストからピアノのレッスンを受けている。

The girl has () in piano by a famous pianist.

①given lessons ②lessons been given

③been given lessons ④had given lessons

(10)私は登校中にひどいにか雨にあった。

I was () in a heavy shower on my way to school.

①hit ②rained ③fell ④caught

(11)私たちはそのレストランのサービスに満足した。

We () the service at the restaurant.

①satisfied ②were satisfied with
③satisfied ourselves ④satisfied with

(12)実を言えば、私はあまりあなたの話に興味がない。

To tell the truth, I'm not much () in your story.

①interesting ②interest ③interestingly ④interested

(13)家の前に道路がつくられているので、最近勉強に集中するのが難しい。

It has been hard to concentrate on my studies lately because a road () in front of my house.

①builds ②has built ③is being built ④is building

(14)私たちの学校では、英語は1998年からブラウン先生によって教えられている。

At our school English () by Mr. Brown since 1998.

①is teaching ②is taught ③has taught ④has been taught

(15)この本はスペイン語で書かれている。

This book () in Spanish.

①is writing ②is written ③was writing ④wrote

(16)フランスではフランス語が話されている。

French is () in France.

①speak ②spoke ③speaking ④spoken

(17)その少女は下校中に知らない人に話しかけられた。

On her way home from school, the little girl was () a stranger.

①spoken ②spoken to by ③spoken to ④spoken by to

【2】〔文法総合②〕《態》

(1)④(2)③(3)②(4)④(5)②(6)①(7)④(8)①(9)④(10)④(11)④(12)③(13)③(14)①(15)①(16)③(17)②

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《神戸商科大》

London provides a good example of the problems facing many major urban centres. It was the world's first megacity — the first with a population of a million people. Its expansion was made possible by the invention of the steam engine, which, among other things, powered the world's first underground railway.

(注) among other things 「とりわけ」

(2) 《福島大》

Reading is generally regarded as an act of interpreting printed and written words. It is a basic tool of education and one of the most important skills in everyday life. We live in a world of printed words. Through reading we acquire new ideas, obtain needed information, seek support for our ideas, add to our personal pleasure, and broaden our interests. Reading performs many important functions in our life. The ability to read helps distinguish human beings from other animals.

【3】 (1) provide A [prouváid] 「A を供給する」 face A [feis] 「A に直面する」 a megacity 「巨大都市」 (an) invention [invénʃən] 「発明(品)」 underground [ʌndərgraʊnd] 「地下の」
 (2) interpret A [intəːrprət] 「A を解釈する」 acquire A [əkwáɪər] 「A を獲得する」 obtain A [əbtéin] 「A を得る」 seek 「A を求める」 broaden A [brɔːdn] 「A を広げる」 perform A [pərfɔːrm] 「A を果たす」 distinguish A from B [distɪŋgwɪʃ] 「A と B を区別する」

(3) 《茨城大》

Scientists have been studying the effects of television for decades, generally focusing on whether watching violence on TV correlates with being violent in real life. **Less attention has been paid to the basic attractiveness of the small screen — the medium, as opposed to the message.**

(注) correlate with A [kɔ(:)rələɪt] 「A と相関関係がある」 as opposed to A [əpəʊzd] 「A とは対照的に」

(4) 《鳥取大》

Death is a fact of life that every child must face. For some, the death of a goldfish is their first exposure; for others, it is the death of a grandparent. **In many cultures, death is viewed as a natural occurrence, and no attempt is made to separate it from everyday life.** Our culture, on the other hand, remains very uneasy about the whole thing. People tend to die in institutions, not at home with family present. We use indirect expressions to talk about death: “He kicked the bucket... went to sleep... bought the farm” — anything to distance us from the reality that, in fact, he died. And we wonder whether young children would be too stressed by attending the funeral.

(3) an effect [ɪfekt] 「影響」 focus on A [fóukəs] 「A に焦点を合わせる」 basic [béisik] 「基本的な」 attractiveness [ətráektiv] 「魅力」 medium [mí:diəm] 「媒体」

(4) face A 「A に直面する」 exposure [ekspóuzə] 「暴露」「触れること」 view A as B 「A を B とみなす」 a natural occurrence 「自然に発生すること」 (occur [ækə:r] 「発生する」) separate A from B [séparèit] 「A と B を分ける」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《東京大》

Briefly, the Japanese use of English means we are modern, we are progressive, we are fashionable. It also means that we would like to be thought of as being cosmopolitan enough to understand English even if we don't. In other words, English has become an accessory, just as a Dior belt or an Yves Saint Laurent scarf is an accessory. Indeed these fashionable items carry much the same connotations (modern, fashionable) as does English itself.

(注) cosmopolitan 「国際的な」 a Dior belt 「ディオールのベルト」 Yves Saint Laurent scarf 「イブ=サンローランのスカーフ」 a connotation [kànətéifən] 「意味合い」

(2) 《三重大》

次の英文は、子供に育児を教えるべきであるという趣旨の英文の結論の部分である。

She said: 'Fifty years ago, children and young people would have learned hands-on parenting skills from looking after younger brothers and sisters. Now, however, with smaller families and less contact with the extended family, the first time many people have contact with a baby is when they hold their own. We want all young people to be able to learn about relationships and to be equipped with the confidence and knowledge to make good life choices.'

(注) hands-on 「実践的な」 parenting skills 「育児技術」 extended family 「親戚」

発展問題(1)briefly [brɪːfli]「簡単に言うと」progressive [prɒgrɛsɪv]「進歩的」in other words「言い換えれば」an accessory [æksɛsəri] 「アクセサリ」

(2)have contact with A 「A と触れ合う」 a relationship [rɪlɛɪʃənʃɪp] 「関係」 confidence [kɒnfɪdəns] 「自信」

No5 〈L&/ECO〉



【1】 〔講習会確認テスト〕

【2】 〔リスニング〕

【3】 〔整序・英作文〕《関西学院大》

解答時間 15 分

次の設問(A, B)に答えなさい。

設 問

A. 次の日本文(1, 2)に相当する意味になるように、それぞれ下記(a~h)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき、並べ替えた語句の最初から 3 番目と 6 番目に来るものの記号をマークしなさい。

(1) 幸いにも、彼らは秘密の通り道を使って逃げる事ができた。

Fortunately, they () the secret path.

- a. away b. means c. run d. able e. of
f. were g. to h. by

(2) 彼にあなたがしたことをそろそろ謝ってもいい頃だと思うよ。

I think () you did to him.

- a. it b. for c. about d. what
e. time f. apologized g. is h. you

B. 次の日本文に相当する意味になるように英文の空所を埋めなさい。答えは、空所に入れる部分のみを記述式解答用紙の所定欄に記入しなさい。

その教授が昨年退職するまで 30 年間その大学に勤めていたことを、彼は私に教えてくれた。

He told me that ().

NO6 《受動態Ⅲ》《Vocablury Check》



【1】〔語彙検定〕

第1回 語彙検定

【2】〔標準問題〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《新潟大》

A community is a group of people who share the same interests and concerns. People usually think of their neighborhood or town when they **are asked to identify their community**. Most people, however, belong to several different communities. Your family, your school, and your town are communities. For some purposes, your state is a community, and so is the nation. You are even citizens of a global community.

(2) 《福島大》

Experts say the drowsiness many of us feel during the day may not be because we had too little sleep at night, but because we need an early afternoon nap. Humans **were made to sleep** not once, but twice, and a 10-minute nap after lunch will make most of us feel better. This is the reason so many cultures keep the siesta hour.

(注) siesta [siéstə] 「シエスタ: スペイン語でお昼もしくはその時間の昼休憩 (13:00～16:00 が目安)を指す言葉」

【2】(1) a community [kəmjuːnəti] 「共同体」 a concern [kənsəːrn] 「利害」 for ~ purpose [pəːrpəs] 「～の目的で」 global 「地球共同体」

(3) 《神戸大》

次の英文は、ハイヒールの危険性に関して述べた英文の一部である。

The risks to today's teenagers are thought to be particularly great as they begin wearing high heels at an early age, before their bodies are fully developed. They run the risk of hip trouble in adulthood and problems with back pain from the stress placed on their spines as youngsters.

(注) a spine [spain] 「背骨」 place stress on A 「A にストレスを欠ける」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《神戸大》

Learning to use tools from fellow creatures is thought to be very rare. Chimpanzees have been seen to use two stones to crack open nuts, for instance, and this is thought to be a culturally acquired behavior. In other instances tool use seems to be inherited. New Caledonian crows, for example, use twigs to gain access to food in small holes of trees, and can do so without having been taught by another crow.

(2) 《信州大》

Jane Goodall, aged 70, is famous for her field study of chimpanzee social and family life, and is said to have changed the way we think about animals. She has also established an institute which has the aim of supporting chimpanzees and their habitat. Here she talks about what she has learned through all her experiences with chimpanzees.

(注) Jane Goodall 「ジェーン・グドール(Dame Jane Morris Goodall, 1934 年～)。イギリスの動物行動学者、霊長類学者、人類学者」 an institute [ɪnstətju:t] 「研究所」 habitat [hæbit`æt] 「生息地」

[2] (3)a risk 「危険」 run a risk 「危険を冒す」 particularly [pə'tɪkjʊlərlɪ] 「特に」 back pain 「腰痛」
発展問題(1) crack A open [kræk] 「A を割る」 acquired [əkwaɪəd] 「後天的な」 inherit A [ɪnhéɪt] 「A を受け継ぐ」 a twig [twɪg] 「枝」 gain access to A [ækses] 「A を手に入れる」
(2)establish A [estæblɪʃ] 「A を設立する」 support A [səpɔ:rt] 「A を支援する」

構文解説

(1) SVOO の受動態

SVO₁O₂を受動態にする場合には、O₁を主語にする場合と、O₂を主語にする場合の2通りの受動態が可能である。例”He gave me a nice present.”では、O₁(me)と主語にする場合は”I was given a nice present.”となり、O₂(a nice present)を主語とする場合は、”A nice present was given (to) me.”が可能である。ただし、O₂を主語にする場合は、O₁の前に前置詞を置くのが原則である。

また、SVO₁O₂の動詞で make, buy のように第3文型に書き換えた場合に SVO₂ for O₁となるタイプは、O₁人を主語にした受動態に書き換えることはできない。(×)I was bought a bicycle by my father.この場合は、能動態”My father bought me a bicycle.”とするか、a bicycle を主語にした受動態で書かなければならない。例”A bicycle was bought for me by my father.”「私は父に昨日自転車を買ってもらった」

(2) SVOC の受動態

SVOCを受動態にする場合には、”S(O) be 過去分詞 C”とする。例”His son was named Jun.”「彼の息子は純と名付けられた」(name his son(O) Jun(C)). ”He should be left alone for a while.”「彼をしばらく一人にしておくべきだ」(leave him(O) alone(C)) “This room must be kept clean.”「この部屋はきれいに保たなければなりません」(keep this room(O) clean(C))

(3) SV A 前置詞 B の受動態

SV A 前置詞 B の受動態で用いる動詞を受動態は、”A be 過去分詞 前置詞 B”とする。例えば、regard A as B 「A を B と見なす」では、”He is regarded as a good writer.”「彼は字がきれいと思われている」となる。”provide A with B”「A に B を供給する」では、”A be provided with B”となる。例”We were provided with food and milk.”「私たちは食べ物とミルクを供給してもらった」他には、”deprive A of B”「A から B を奪う」。”keep A from Ving”「A に V させない」などがある。例”He was deprived of his eyesight in the accident.”「彼はその事故で視力を失った」”He was prevented from the meeting last night.”「彼は昨日会議に出られなかった」

(4) SV A to V の受動態・SV A V の受動態

SV A to V で用いる動詞の受動態は、”A be 過去分詞 to V”とする。ただし、使役動詞 make(make A V 「A に V させる」V は原形不定詞)や知覚動詞 see,hear,feel(see, hear, feel A V:V は原形不定詞)などは、受動態にする場合には、”原形不定詞”を”to 不定詞”に変えて”S A be 過去分詞 to V”とする。

(5) 隠れているイディオムに注意する受動態

慣用表現・イディオムが受動態となり、見抜きにくい場合がある。例えば、”The attempt was made to explain the fact to him.”を「彼にその事実を説明せざるを得なかった」としてしまふ誤りである。”be made to V”を使役動詞 make の受動態と解釈し「～せざるを得ない」としたのであろう。実は、この英文は make an effort to V 「V しようとする」の an effort が主語とした受動態”(S) made the attempt to explain the fact to him.”である。したがって、「彼にその事実を説明しようとした」が正しい。このように、受動態になると慣用表現・イディオムが使われているのに気付かないことがある。受動態の英文で、?と思えば、能動態に書き換えてみるようにしたい。他には、”His money should be put to good use.”「彼のお金を有効に使うべきだ」(put A to use 「A を使う」)などは頻出である。

(6) S be said to V... 「SV...とされている」

“S be said to V”の形で「～とされている」の意味を表す。不定詞内の動詞が表す時制が主節の動詞よりも前のとき(または完了の意)を表す時は、“S be said to have **過去分詞**”の形で「～だったとされている」とする。【例】He is said to be thoughtful.”「彼は思いやりがあるとされている」”He is said to have been thoughtful.”「彼は思いやりがあったとされている」”S be thought to V”の形で「～と思われている」”S be believed to V”の形で「～と信じられている」も同じように用いる。

演習問題 [整序・英作文] 《関西学院大》

次の日本語(1～5)に相当する意味になるように、それぞれ下記(a～h)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき、並べ替えた語句の最初から 2 番目と 6 番目に来るものの記号をマークしなさい。

- (1) 私は、あなたが免許証を持たずに運転してしまうほどばかな真似はしないと
思っていた。

I thought () a license.

- a. better b. drive c. know d. than e. to
f. without g. would h. you

- (2) 今週末までに報告書を提出していただけますか。

Would () of this week?

- a. by b. end c. mind d. report e. submitting
f. the g. you h. your

- (3) ヘッドホンを持っていないなら、他の人に迷惑をかけないように音を小さくして下さい。

If you don't have any headphones with you, please ().

- a. as b. avoid c. disturbing d. others
e. so f. the volume g. to h. turn down

- (4) 私が駅に着くとすぐに列車が発車してしまった。

No () the train left.

- a. arrived b. at c. had d. I e. sooner
f. station g. than h. the

- (5) どうぞ遠慮なく新しいパソコン用の割引優待券を利用してください。

Please do not () for new computers.

- a. advantage b. coupons c. discount d. hesitate
e. of f. our g. take h. to

NO7 《助動詞 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法] 《助動詞 TEN》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) She () be over thirty; she must still be in her twenties.
①may ②must ③oughtn't ④can't
- (2) I often told you to do your duty, but you () not listen to me.
①had ②might ③ought ④would
- (3) I recommended that she () the professor.
①had seen ②saw ③should see ④would see
- (4) You had better () up late.
①not stay ②not to stay ③to stay not ④stayed not
- (5) The opera starts at seven. We () be late.
①haven't got to ②don't have to ③mustn't ④needn't
- (6) He () go out every Saturday night.
①was used to ②use to ③used to ④is used to
- (7) This street is wet. It () last night.
①cannot have rained ②must have rained
③should rain ④perhaps have rained
- (8) You () be too careful in your choice of friends.
①can't ②don't ③aren't ④ought
- (9) You () me for a ride. I was going to drive to school anyway.
①would rather ask ②should have asked
③might be asking ④were possible to ask
- (10) Tom () there yesterday, but we didn't see him.
①might have been ②may be ③must be ④should be

- (1) She () be over thirty; she must still be in her twenties.
「彼女は 30 を超えているはずはありません。彼女はまだ 20 代で違いない」
推量の助動詞「～はずがない」
- (2) I often told you to do your duty, but you () not listen to me.
「私はしばしば義務を果たすようにあなたに言ったが、あなたは私のことを聞こうとしなかった」強い拒絶を表す「どうしても～しない」
- (3) I recommended that she () the professor.
「私は彼女が教授に会うように勧めた」
命令・提案・要求を表す動詞の that 節内に現れる助動詞
- (4) You had better () up late.
「あなたは夜更かししないほうがよい」had better の否定形 *超頻出
- (5) The opera starts at seven. We () be late.
「オペラは 7 時に始まります。私たちは、遅刻してはいけません」
禁止「～してはいけない」を表す助動詞。mustn't V と don't have to V の区別
- (6) He () go out every Saturday night.
「彼は毎週土曜日の夜に外出したものだ」
過去の習慣を表す助動詞(現在との対比)
- (7) This street is wet. It () last night.
「この通りは濡れている。昨夜は雨が降ったに違いない」
過去のことに對する推量「～だったにちがいない」
- (8) You () be too careful in your choice of friends.
「友人を選ぶとき、用心してもしすぎることはない」
助動詞を用いた慣用表現「～してもしすぎることはない」
- (9) You () me for a ride. I was going to drive to school anyway.
「あなたは、私に車に乗せてくれというべきだった。私はとにかく学校に車で行くつもりだった」
過去のことに對する遺憾「～すべきだったのに」
- (10) Tom () there yesterday, but we didn't see him.
「トムはそこに昨日だったかもしれないが、我々は彼を見ていませんでした」
過去のことに對する推量「～だったかもしれない」

【2】(1)④(2)④(3)③(4)①(5)③(6)③(7)②(8)①(9)②(10)①

【3】(1)an expression [eksprɛʃən]「表現(されたもの)」

(2)given A「A を考慮すると」diversity [dɪvəːrsəti]「多様性」a dialect [daɪəlɛkt]「方言」「訛り」slang [slæŋ]「俗語」
a norm [nɔːrm]「基準」concentrate on A [kənsəntrɛɪt]「A に集中する」communicative competence [kəmjuːnikətɪv
[kəmpətens]「コミュニケーション能力」

(3)a bush [bʊʃ]「低木」underfoot「足下の」extraordinary [ekstrəːrdənəri]「異常なほどの」web「重なり」「巣」up
and down the scales「高い音階から低い音階まで」strain to V [streɪn]「頑張って V する」a chest [tʃɛst]「胸」swell
「膨らむ」(swell-swoll-swollen)a throat「のど」a rooftop「屋根の上」

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《愛媛大》

Dreams are expressions of thoughts, feelings and events that pass through our mind while we are sleeping. People dream about one to two hours each night. We may have four to seven dreams in one night. Everybody dreams. But only some people remember their dreams.

(2) 《北海道大》

Given the diversity of dialects, slang and cultural norms within a linguistic group (particularly English, which is an official language in many countries), there cannot be a comprehensive set of criteria to determine “fluency”, “native speaker” status or “bilingualism”. Perhaps we should concentrate on “communicative competence” instead; in other words, we should develop linguistic abilities to suit our needs rather than worrying about the unattainable goal of speaking a language “completely” or “perfectly”.

(注) linguistic [lɪŋgwɪstɪk] 「言語の」 comprehensive [kəmprɪhénsɪv] 「包括的な」 criteria [kɪrɪə'ʒiəriə] (「基準」(criterion の複数形) status 「地位」「位置づけ」 bilingualism 「二言語が使いこなせること」 unattainable [ʌnətéməbəl] 「到達不能」

(3) 《九州大》

At 5:30 the sun has not yet risen. Trees and bushes are shadows, mist lies on the fields and the grass is wet underfoot. All around me, though, is an extraordinary web of sound, up and down the scales. Some of it must be coming from near me, the sweet, high notes almost at arm's reach; some comes from far off and I must strain to hear it. As the light grows stronger, I make out shapes: small, brown birds with their chests swollen and their throats opened, singing their hearts out from rooftops and branches.

(4) 《一橋大》

次の英文は、素行に問題のある子供たちをあずかる施設で、その施設の職員 Avi と Yusuf が、施設の方針を子供をあずけにきた親たちに説明の場面です。

“Thank you all for coming,” Avi said as he walked to the front of the room. “I’ve been looking forward to meeting you in person and to getting to know your children. First of all, I know you’re concerned about them. Yet you needn’t trouble yourselves about them. They will be well taken care of.”

“In fact,” he said after a brief pause, “they are not my primary concern.”

“Who is, then?” Carol, asked.

“You are, Carol. All of you.”

(5) 《弘前大》

If you’re looking for the latest in home exercise equipment, you may want to consider something with four legs and a wagging tail.

Several studies now show that dogs can be powerful motivators to get people moving. Not only are dog owners more likely to take regular walks, but new research shows that dog walkers are more active overall than people who don’t have dogs.

(注) wag [wæg] 「振る」(wag a tail 「尻尾を振る」) a motivator 「動機づけ」 overall 「全体的に」

(4) look forward to Ving 「Ving を楽しみに待つ」 trouble A 「A を困らせる」 take care of A 「A を世話する」 a pause [pə:z] 「休止」「間」 primary [praɪməri] 「主な」

(5) latest [leɪtɪst] 「最新の」 equipment [ɪkwɪpmənt] 「器具」 not only A but also B 「A だけでなく B も」(A に文が来る場合、A の文が倒置構文となる。ここでは are が主語 dog owners の前に出ていることに注意) be likely to V 「V する可能性が高い」 active 「活動的な」

発展問題(1) a competitor [kəmpeɪtətər] 「競争相手」 propose A [prəpəʊz] 「A を提案する」 be in danger of A 「A の危険がある」 reject A [rɪdʒekt] 「A を拒絶する」 unsuccessfully [ʌnsəkseɪfəli] 「うまくいかない」 affect A [əfekt] 「A に影響を与える」

(2) well-defined 「明確な」 consist of A [kənɪst] 「A からなる」 throughout A [θru:áut] 「A 中で」 except for A [ekssept] 「A を除いて」 spread A [spred] 「A を広げる」 a disaster [dɪzæstər] 「災害」 affected 「影響を受けた」(affect A [əfekt] 「A に影響を与える」) tend to V 「V する傾向にある」

(3) nap [næp] 「うたた寝(をする)」 unusual [ʌnju:zuəl] 「希な」 a memo pad 「メモ帳」

発展問題

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

解答時間各 20 分

(1) 《大阪府立大》

In most families, television is always there as an easy and safe competitor. When another activity is proposed, it **had better** be really special; otherwise it is in danger of being rejected. The parents who have unsuccessfully proposed a game or a story end up feeling rejected as well. They are unaware that television is still affecting their children's enjoyment of other activities, even when the set is off.

(注) end up (in) Ving 「結局 Ving する」 be unaware that SV... 「SV...に気づかない」

(2) 《早稲田大》

Japan has well-defined seasons consisting of spring, summer, fall, and winter, as well as a rainy season from June to July throughout most of the country, except for Hokkaido. We **used to have** typhoons from August to October, often spreading destruction and disaster in affected areas, but due to the recent climate change, we tend to have typhoons before August and after October.

(3) 《島根大》

When I was a teenager, my bedroom was on the second floor of our two-hundred-year-old house. I slept in a twin iron bed beside the window, and there was a small table for a lamp next to the bed. My mother, a single parent who worked long hours at the hospital, **would often nap** in my room. It was not unusual for me to find her memo pad on my bedside table.

構文解説

(1) 助動詞 will

助動詞 will は①未来時制②強い意志「どうしても～する」③習性・習慣・傾向④命令・依頼⑤推量などの用法がある。例①**未来時制**“This summer will be very hot.”「この夏はとても暑そうだ」②**強い意志**“She will have her own way in everything.”「彼女は何でも思い通りにしたがる」“The door won’t open.”「そのドアはどうしても開かない」(拒絶)“I shall be glad to go, if you will accompany me.”「同行してくださるなら喜んで行きましょう」(if 節中に will を用いると、主語の好意を期待して用いる)③**習性・習慣・傾向**“He will often read for hours without saying anything.”「彼はしばしば何も言わずに数時間本を読む」④**命令・依頼**“You will stay in this room by five.”「5時までここにいなさい」“Will you close the window?”「窓を閉めてください」⑤**推量**“This book will be yours.”「この本はあなたのでしょう」

(2) 助動詞 would①

助動詞 would は、時制の一致で will が would になる場合や仮定法で用いられる場合以外には、①過去の習慣「よく～したものだ」②過去の強い意志「どうしても～しようとした」③現在の願望「～であればなあ」④丁寧な表現を表す。例①**過去の習慣**“We would often play the guitar here.”「私たちはよくここでギターを弾いたものだ」②**過去の強い意志**“He would not accept our plan.”「彼はどうしても私たちの提案を受け入れなかった」③**現在の願望**“I’d prefer to start right now.”「私はすぐに出発したいのですが」④**丁寧**“Would you mind waiting for a moment?”「少しお待ちいただけますか」

(3) 助動詞 would②

助動詞 would を用いた慣用表現には、①would like to V「Vしたい」(want to Vより控え目)②would like A to V「AにVしてもらいたい」③would rather V₁ than V₂「V₂するよりむしろV₁したい」(than V₂が省略されてwould rather V「むしろVしたい」となることもある)④would rather S 仮定法 ... 「SVであればなあ」(≒wish S 仮定法...)⑤would sooner V₁ than V₂「V₂するよりむしろV₁したい」(would sooner V「むしろVしたい」)⑥would (just) as soon V₁ as V₂「V₂するよりむしろV₁したい」(would (just) as V「むしろVしたい」)などがある。例①**would like to V**“I would like to ask you a favor.”「お願い事があるのですが」②**would like A to V**“I would like you to come here earlier.”「もっと早く来ていただきたい」③**would rather V₁ than V₂**“I would rather die than surrender.”「降伏するよりむしろ死んだ方がましだ」④**would rather S 仮定法**“I would rather they helped her.”「彼らが彼女の仕事を手伝ってくれればなあ」(=I wish they helped her.)⑤**would sooner V₁ than V₂**“I would sooner starve than betray him.”「私は彼を裏切るよりはむしろ餓死するほうがましだ」⑥**would (just) as soon V₁ as V₂**“I would (just) as soon stay home.”「どちらかといえば家にいたい」

(4) 助動詞 may/might①

助動詞 may/might は①推量「～かもしれない」②許可「～してもよい」③祈願「～であればなあ」④目的「～するために」⑤譲歩「～であるかもしれない」の意味を表す。例①**推量**“He may be tired.”「彼は疲れているのかもしれない」②**許可**“May I come in?”「入っていいですか」canの方が口語的③**祈願**“May you live long!”「あなたが長生きしますように」④**目的**“He walked slowly so that she might catch up with him.”「彼は彼女がついて来られるようにゆっくりと歩いた」(so that S may Vの形)⑤**譲歩**“No matter how tired you may be, you have to finish the work by seven.”「どんなに疲れていようとも、7時までにはその仕事を終えなければならない」(譲歩を表す副詞節中で

用いる may/might は may を弱めた表現で、①仮定法、②may より弱い推量、③婉曲・丁寧等を表す。また、時制の一致で may の過去形として用いられる。

(5) 助動詞 may/might②

助動詞 may/might を用いた慣用表現には、①may well V 「おそらく～だろう」「～するのももつともだ」②may/might (just) as well V1 as V2 「V2 するくらいなら V1 したほうがましだ」(had better よりも弱く婉曲的)③might as well V 「まるで V であるかのようだ」例①may well V “He may well think otherwise” 「彼が違ったように考えるのもつともだ」”His explanation may well be true.” 「彼の説明はおそらく本当だろう」②may/might (just) as well V1 as V2 “I might as well starve as do such a thing.” 「そんなことをするくらいなら飢え死にしたほうがましだ」③might as well V “I can’t understand this book, because it might as well be written in ancient Greek.” 「私はこの本がわからない。なぜなら、古代ギリシャ語で書かれたのと同然だからだ」

(6) 助動詞 can①

助動詞 can/could は①能力「～できる」②可能性「～でありうる」③許可「～してもよい」等を表す。

例①能力 “He can drive a car.” 「彼は車が運転できる」②可能性 “The news cannot be true.” 「その情報は本当であるはずがない」(cannot ... 「～であるはずがない」) “How can I solve this problem?” 「どうやってこの問題を解くことができるの(できるわけがない)」(疑問で用いると強い疑念を表す。反語的表現)許可 “You can stay up till eleven tonight.” 「今夜は 11 時まで起きていてよい」

(7) 助動詞 can②

助動詞 can/could を用いた慣用表現には、①cannot help Ving 「～せざるをえない」(Ving は主に感情を表す表現)②cannot help but V 「V せざるをえない」(=cannot help Ving)③cannot ... too ～ 「～してもしすぎることはない」などがある。例①cannot help Ving “I cannot help being surprised at the news.” 「その知らせを聞いて驚かざるをえなかった」②cannot help but V “I cannot help but admire his courage.” 「彼の勇気をたたえずにいられない」③cannot ... too ～ “You cannot be too careful in crossing the street.” 「その通りを渡るのにいくら注意してもしすぎることはない」

「～してもしすぎることはない」の同意表現に “It is impossible [hard] to over のついた動詞(例 overestimate)” などがあある (cannot ⇔ impossible [hard] / too ～ ⇔ over のついた動詞) 例 “It is impossible to overestimate what he said.” 「彼が言ったことを評価してもしすぎることはない」

(8) 助動詞 must①

助動詞 must は①義務・必要「～しなければならない」「～する必要がある」②推量「～にちがいない」③必然「～するものだ」④勧誘「ぜひ～してください」を表す。例①義務・必要 “We must work together for the project.” 「私たちはその計画に向けて力を合わせなければならない」②推量 “He must be tired after a long walk.” 「彼は長時間歩いたので疲れているに違いない」③必然 “All living things must die.” 「生きとし生けるものは必ず死ぬ」④勧誘 “Tomorrow’s party will be exciting. You must come here.” 「明日のパーティは面白い。ぜひ来て来てください」

must は主観的を表すのに対して、have to は客観的を表す場合に用いることが多い。

(9) 助動詞 must②

must not V 「～してはいけない」 don't have to V 「～する必要はない」 (=don't need V / need not V)を表す。"Must I V...?"に対して、否定で答える場合は"don't have to"を用いる。例) "Must I go to the party?—No, you don't have to." 「パーティに行かなければならないですか。いいえ、必要はありません」

(10) 助動詞 must③

must V は現在形で用いるのが原則なので、過去時制、未来時制では、have to を用いる。例) "I will have to send this e-mail to him by the end of today." 「私はこのメールを彼に今日中に送らなければならないだろう」 "He had to give up smoking last year." 「彼は去年タバコをやめなければならなかった」

(11) 助動詞 should

助動詞 should は①当然・義務・忠告「～すべきである」②感情「～なんて」(It is 感情を表す形容詞 that S should V...)③命令・提案「～すべき」S 命令・提案を表す動詞 that S should V.../ It is 命令・提案を表す形容詞 that S should V...)④lest, for fear, in case などの節内で用いる⑤推量「～のはずだ」⑥if 節内で用いて「万一～」(仮定法)例 ①当然・義務・忠告) "You should listen to this lecture more carefully." 「もっと注意深くこの講義を聴くべきだ」 ②感情) "It is surprising that she should live around here." 「彼女がこのあたりに住んでいるなんて驚きだ」 ③命令・提案) "He suggested that I should speak for her." 「彼は私が彼女の代わりに話すべきだと提案した」 ④lest, for fear, in case などの節内で用いて) "Take this raincoat with you in case it should rain." 「雨が降るといけないからこのレインコートを持っていきなさい」 ⑤推量) "Our mother should come before noon." 「私たちの母は午前には着くはずだ」 ⑥if 節内で用いて) "If I should fail again, I will ask for your help." 「万一もう一度失敗したら、あなたに助けを求めます」

②の感情を表す形容詞には"surprising「驚きだ」" "odd「奇妙な」" "a pity「残念」" などがある。③の命令・提案を表す動詞には"suggest「提案する」" "recommend「勧める」" "insist「主張する」"、命令・提案を表す形容詞には"important" "necessary" "essential「不可欠な」" などがある。

(12) 助動詞 ought to V

助動詞 should は①義務「～すべきである」②推量「～はずだ」を表す。should よりも強意的な意味を表す。例) ①義務) "You ought to take more care of yourself." 「君はもっと体に気を付けるべきだ」 ②推量) "He ought to be here in a few minutes." 「彼は2～3分で戻ってくるはずだ」また、助動詞 ought to V の否定文は、ought not to V となる(not の位置に注意)。例) "You ought not to stare at her." 「君は彼女をじろっと見るべきではない」

(13) 助動詞 need

助動詞 need は「～する必要がある」を表す。疑問文と否定文でのみ用いる。例) "She need not hand in her report today." 「彼女はレポートをきょう提出する必要はない」 "Need we clean this room?" 「私たちがこの部屋を片付ける必要がありますか」肯定文では本動詞 need to V を用いる。例) "You need to have the computer fixed." 「君はそのコンピュータを修理してもらう必要がある」なお、本動詞は、疑問文・否定文でも用いることができる。

(14) 助動詞 have 過去分詞

過去の出来事や、すでに現実化している出来事を助動詞を用いて推量する場合には、”助動詞 have 過去分詞”の形を用いる。①cannot have 過去分詞「～だったはずがない」②may have 過去分詞「～だったかもしれない」③must have 過去分詞「～だったにちがいない」④should have 過去分詞, ought to have 過去分詞「～だったはずだ」また should have 過去分詞, ought to have 過去分詞には、過去の出来事に対して、残念・遺憾を表すこともある「～すべきだったのにしなかった」⑤needn't have 過去分詞「～する必要がなかったのにした」①cannot have 過去分詞”He cannot have done his homework by himself.”「彼がひとりでその宿題をやったはずはない」②may have 過去分詞”She may have wanted to talk to him.”「彼女は彼と話したかったのかもしれない」③must have 過去分詞”This problem must have been more difficult than he thought.”「この問題は彼が思っていたよりも難しかったに違いない」④should have 過去分詞, ought to have 過去分詞”She should have come here by now.”「彼女はいまごろ到着しているはずだ」”You ought to have known her suffering earlier.”「あなたは彼女の苦しみをもっと早く知るべきだった」⑤needn't have 過去分詞”You needn't have given her some advice.”「あなたは彼女にアドバイスする必要はなかったのにした」

NO8 《助動詞Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合③] 《助動詞》

解答時間 15分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) スーザンはとても怒っていたので、この前のパーティの間誰とも話そうとしなかった。
Susan was very angry, so she () talk to anyone during the last party.
①should ②would not ③had ④should not
- (2) 赤ちゃんが寝ている。だからそんなに騒がしくしないほうがよい。
The baby is sleeping. So, you () be so noisy.
①had better not ②had better not to
③had not better ④had not better to
- (3) 「あなたが聞いているその曲は何ですか」
「知らないのですか。ビートルズの『イエスタデイ』です。以前に聞いたことがあるに違いありません」
“What’s that song you’re listening to?”
“You don’t know? It’s ‘Yesterday’ by the Beatles. You () it before!”
①hadn’t heard ②might hear ③must’ve heard ④shouldn’t hear
- (4) 私が警告したときに、あなたは私の言うことを聞くべきでした。
You should () to me when I warned you.
①be listened ②be listening ③have listened ④listen
- (5) 雨が降っている。買い物に出かけるよりはむしろ家にいたい。
It’s raining. I () rather stay home than go shopping.
①may ②might ③will ④would
- (6) 「あなたの辞書を使ってもいいですか」「もちろん。どうぞ」
“() I use your dictionary?” “Sure. Please go ahead.”
①Must ②Can ③Do ④Will
- (7) 先生は生徒全員がその本を読むようにと要求した。
The teacher requested that all the students () read the book.
①may ②could ③should ④would
- (8) ジェームズは夕食をとったところだ。すでに空腹なはずがない。
James has just had dinner. He () be hungry already.
①can’t ②may ③must ④mustn’t
- (9) 「私は今朝、新宿駅で山田さんを見かけました」
「そんなはずはありません。彼はまだハワイで休暇中です」
“I saw Mr. Yamada at Shinjuku Station this morning.”
“You () have. He’s still on vacation in Hawaii.”
①couldn’t ②didn’t ③might ④should

- (10) 私が何度も言ったのに、マリアは喫煙をどうしてもやめようとしなかった。
 Maria () not give up smoking, though I told her to many times.
 ①must ②need ③should ④would
- (11) 彼のラジオの音が聞こえるので、彼は中にいるに違いない。
 He () be in because I can hear his radio.
 ①shall ②must have ③has ④must
- (12) ジョージは今朝から何も食べていない。彼は空腹に違いない。
 George hasn't eaten anything since this morning. He () be hungry.
 ①must ②didn't ③does ④can't
- (13) 子どものころ、私はこの川で泳いだものだった。
 When I was a child, I () in this river.
 ①was used to swim ②used to swimming
 ③used to swim ④am used to swimming
- (14) 私は父に彼の本当の健康状態を言うべきではない。
 I () not to tell my father the true state of his health.
 ①must ②should ③better ④ought
- (15) 私は家にいるより、むしろ映画館に行きたい。
 I () rather go to the movie theater than stay home.
 ①may ②might ③will ④would
- (16) 昨日ジョンはテストの勉強をすべきだったが、1日中テレビを見ていた。
 Yesterday John should () for the exam, but he watched TV all day.
 ①studies ②be studying ③studied ④have studied
- (17) この川で泳がないほうがよい。危険だ。
 You () swim in this river. It's dangerous.
 ①had better not ②had not better
 ③not had better ④had better not to
- (18) 私の姉は以前はシカゴに住んでいたが、昨年ロサンゼルスに引っ越した。
 My sister () in Chicago, but she moved to Los Angeles last year.
 ①is used to live ②used to live
 ③used to living ④was used to be living
- (19) 私は彼女に教授と会うようにすすめた。
 I recommended that she () the professor.
 ①had seen ②saw ③should see ④would see
- (20) 彼女は顔色がよくなかったので、私は彼女の健康を心配せずにはいられなかった。
 I couldn't () worrying about her health because she looked pale.
 ①take ②help ③make ④let

【2】〔文法総合③〕《助動詞》

(1)②(2)①(3)③(4)③(5)④(6)②(7)③(8)①(9)①(10)④(11)④(12)①(13)③(14)④(15)④(16)④(17)①(18)②(19)③(20)②

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《東京工業大》

At the turn of the century forest covered as much as 90 percent of Thailand, and it is assumed that as many as 300,000 elephants may have lived there. The elephant was an essential part of the life of both princes and peasants. Its image can be seen on numerous Buddhist temples; a white elephant was once the symbol that appeared on the national flag.

(注) Thailand [táil`ænd] 「タイ」 Buddhist [bú:dist] 「仏教徒」

(2) 《東京都立大》

‘You should have told me you were coming.’

These were the first words my mother said to me when she arrived home mid-afternoon from the supermarket. Not ‘Hello’. Not ‘How are you?’ But ‘You should have told me you were coming.’ Like my father, my mother liked to do her share of pointing out the obvious, no matter how annoying. I nodded and smiled because I knew that in her own way, this was her biggest, fattest, easiest ‘I have missed you, son.’

(注) do one’s share of A 「A の任務を果たす」

【3】 (1) assume that SV...[əsú:m] 「SV...と推定する」 「SV...と思い込む」 essential [esénʃel] 「不可欠な」 「重要な」 a peasant [pézent] 「小作農」 numerous [njú:merəs] 「数多くの」 symbol [símbel] 「象徴」 the national flag 「国旗」
(2) a puzzle 「パズル」 afterward [æftərwərd] 「その後」 plus A 「Aに加えて」 praise A [preiz] 「Aを褒める」 effort [éfort] 「努力」 seek to V 「Vしようとする」 test A 「Aを検証する」 subtly [sətli] 「微妙に」 an emphasis [émfəsis] 「強調」 shape A 「Aを形成する」 an attitude [ætətjù:d] 「態度」 performance [pərfɔ:rməns] 「成績」

(3) 《お茶の水女子大》

次の英文は、「結果」よりも「努力」を褒めることの大切さを述べたものである。

In 1998, Carol Dweck and a colleague took four hundred eleven-year-olds and gave them a series of simple puzzles. Afterwards, each of the students was given his or her score, plus something else: six words of praise. Half the students were praised for intelligence: 'You must be smart at this!' The other half were praised for effort: 'You **must have worked** really hard!'

Dweck was seeking to test whether these simple words, with their subtly different emphases, could make a difference to the students' mindsets; whether they could shape the students' attitude to success and failure; whether they could make a measurable impact on persistence and performance.

(注) Carol Dweck 「キャロル=ドウエック アメリカの心理学者(1946-)」 a mindset 「思考態度」 measurable [méʒərəbl] 「ある程度の」 persistence [pə'sɪstəns] 「根気」

(4) 《横浜国立大》

Since I have been living alone, many people have recommended that I should get a microwave oven. That would make it easy for me to prepare a meal for myself and would save a lot of time. So, earlier this year, during the post-Christmas sales, I bought myself one. Ever since, I have been wondering how to figure out what it does for me — how to do a cost-benefit analysis.

(注) a cost-benefit analysis 「ある事業の目的を達成するための諸案の採否決定にあたり、費用とそれによって得られる便益を評価し比較すること」

(3) point out A 「Aを指摘する」 obvious [ábviəs] 「明らかな」 (the obvious=something obvious) annoying [ənoɪɪŋ] 「イライラさせる」 nod 「頷く」 fat 「太った」「金持ちの」(ここでは、「最高の」の意)

(4) a microwave oven 「電子レンジ」 prepare A 「Aの準備をする」 for oneself 「自ら」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《神戸大》

Someone once said: “The letter you write is you..” In many ways this is — and should be — true, and it is therefore very important that every letter you send should be your best work so that its reader will gain a good impression of you.

If you do not organize your own thoughts clearly before writing a letter, it will inevitably appear confused to the reader. So decide what you want to say before you write. If you have a number of points to make, write them down and arrange them in a logical order. You will probably find that some are repetitive or are not relevant. Cut them out ruthlessly. Then get straight to the point — and stick to it!

(注) inevitably [inévitable] 「必然的に」 in a logical order [lédzikel] 「論理的な順に」 relevant [rélevant] 「関連がない」「適切でない」 ruthlessly [rú:θlisli] 「容赦なく」

(2) 《神奈川大》

次の英文は、「牛乳配達員(he)がお金を払ってくれない女性(she)に、支払いを要求して、断られたことを悔やんでいること」を筆者に語っている場面である。

“She was a pretty woman,” he said, “with six children and she was expecting another. She was always saying, ‘I’m going to pay you soon, when my husband gets a second job.’ I believed her. What a fool I was! I thought I was doing a good thing, but I’ve learned my lesson. I shouldn’t have trusted her!” All I could say was, “I’m so sorry.”

発展問題(1)an impression [impréʃən] 「印象」 organize A [o:rgənàiz] 「Aを整理する」「必然的に」 confused [kənʃú:zd] 「混乱した」 arrange A [əreindʒ] 「Aを配列する」 repetitive [ripétetiv] 「繰り返し」 get to the point 「本題に入る」 stick to A [stik] 「Aに固執する」

(2)expect A [ekspékt] 「Aを妊娠する」 be always Ving 「Vingばかりしている」 trust A [trʌst] 「Aを信頼する」

NO9 《助動詞Ⅲ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [標準問題]

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《金沢大》

Self-esteem is critical in a child's development, yet the force of this obvious truth is often diminished or forgotten in the later stages of school life. True, a teacher may well have more than 100 pupils coming in and out of his room every week and some of them will be intractable. And as the pupils go up the school the tactics have to become subtler, the strategies more varied. But the basic goal remains the same — build them up. Give them a taste of winning, of succeeding, of celebrating, as well as preparing them for disappointment.

(注) intractable [intræktəbl] 「手に負えない」

(2) 《立教大》

I can't help feeling a little shocked when I hear about studies that show that women are at a disadvantage when it comes to math. They seem to mean that I am somehow abnormal. I'm not, but I do know that if I hadn't, by chance, entered that summer program, I wouldn't be an engineer.

(注) be at a disadvantage [dɪsədʌvæntɪdʒ] 「不利である」 when it comes to A 「Aということになると」

【2】 (1)self-esteem 「自尊心」 critical [krɪtɪkəl] 「欠かせない」 「重要な」 diminish A [dɪmɪnɪʃ] 「Aを減らす」 「Aを弱める」 a tactic [tæktɪk] 「戦術」 subtle [sʌtl] 「微妙な」 varied [vɛəriəd] 「さまざまな」 at a disadvantage 「不利な状態で」

(2)abnormal [æbnɔːrml] 「異常な」 by chance 「偶然」

(3) 《駒澤大》

The quality of our community is crucial for whether we make friends and how safe we feel. Researchers call the quality of the community “social capital.” It is not easy to calculate it, but one good measure is to ask people, “Generally speaking, would you say that most people can be trusted, or that you **can’t** be **too** careful in dealing with people?” This is asked in, and the proportion of those who say “Yes, most people can be trusted” varies from 5% in Brazil to as high as 64% in Norway.

(注) social capital 「社会資本」 calculate A [kælkjulèit] 「A を計算する」 Would you say that SV...? 「SV... と思いますか」

(4) 《滋賀大》

次の英文は、自己主張する(assert yourself)ことの大切さを述べたものである。

Think about the times when you find it difficult to assert yourself — your boss asks you to work overtime and you have plans for that evening; you have just bought a new sweater and a friend asks if she can borrow it; someone asks you out and you don’t want to go with that person.

Saying “yes” when you **would rather say** “no” can give you headaches. If you can say “no,” you put yourself back in control of the situation, your time and your life.

(注) work overtime 「残業する」 put oneself back 「自己を取り戻す」

(3) crucial [krú:ʃel] 「重要な」 a measure [méʒə] 「尺度」 generally speaking 「一般的に言って」 a proportion [prəpɔ:ʃən] 「割合」 vary from A to B 「A から B まで」 Brazil [bræzíl] 「ブラジル」 as high as A 「A も」(「高さ」の強調) Norway [nɔ:rwei] 「ノルウェー」

(4) a headache [hédèik] 「頭痛」 in control of A 「A をコントロールして」 a situation [sitʃuéiʃən] 「状況」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《秋田大》

次の英文は、「ジェンダー(gender)」に関するものである。

Think about meeting people for the first time, at a party or in a classroom. What do you notice? Perhaps you take note of what they are wearing, or the color of their hair. Somewhat less likely, you might note the color of their eyes, or the rings on their fingers. Perhaps you notice the way they move their hands when they talk, or unusual accents in their speech. One thing, though, you are sure to notice — in fact, one thing that you cannot help but notice — is the person's gender. Is this person female or male?

(注) take note of A 「A に注目する」

(2) 《東京大》

本文中の“a mental map”「メンタルマップ」とは、認知心理学において記憶の中に構成される「あるべき姿」のイメージをさす言葉である。

Psychology has shown that the mind best understands facts when they are woven together into a conceptual fabric, such as a story, a mental map, or a theory. Facts which are not connected together in the mind are like unlinked pages on the Web: they might as well not exist. Science has to be taught in a way that knowledge is organized, one hopes permanently, in the minds of students.

(注) psychology [saikálədʒi] 「心理学」 conceptual [kənséptʃuel] 「概念的な」 permanently [pəːrmənəntli] 「常に」

発展問題(1)for the first time 「初めて」 notice A [nóutis] 「A に気づく」 unusual [ʌnjú:ʒuəl] 「普通でない」 an accent [éksent] 「アクセント」「訛り」 in fact 「実際」

(2)weave 「織る」 [wi:v] (weave-wove-woven[wove]) fabric [fæbrik] 「織物」 a mental map [méntl] 「メンタルマップ」 connect A together 「A を結びつける」 unlinked 「リンク先のない」 in a way that SV... 「SV...するように」

NO10 《仮定法 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《仮定法 TEN》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) 真実を知っていれば、あなたに教えるのだが。
If I () the truth, I would tell you.
①know ②knew ③will know ④have know
- (2) その時そう言われていたら、私は今幸せだろう。
If I had been told so then, I () happier now.
①am ②will be ③would be ④have been
- (3) 私は両親に手紙を書いた。さもなければ、両親は私のことを心配していただろう。
I wrote to my parents; () they would have worried about me.
①otherwise ②if ③likewise ④when
- (4) もうそろそろ寝る時間です。
It's time you () to bed.
①went ②have gone ③will go ④are going
- (5) ジムはもっと良い成績を取りたいと思っているが、一生懸命勉強しながらない。
Jim wishes he () better grades, but he isn't willing to study harder.
①has ②have got ③got ④gets
- (6) 私は気分が良くない。そんなに多くのケーキを食べなければよかった。
I don't feel very good. I wish I () so much cake.
①don't eat ②haven't eaten ③hadn't eaten ④wouldn't eat
- (7) もしあなたの助けがなかったなら、私は失敗していただろう。
If it () your help, I would have failed.
①would not be for ②were not been for
③is not for ④had not been for
- (8) 彼はまるで専門家のように話す。
He speaks as if he () an expert.
①seem ②were ③will be ④should be
- (9) そのとき彼が私の手紙を読んでいたら、私のことを理解していただろう。
() he read my letter then, he would have understood me.
①If ②Had ③Did ④Were

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《センター》

Paul and Brian are fond of fishing. Now they want to try fishing in an area which they hear is really nice and where they can catch wonderful salmon. The only trouble is that they might accidentally fish in an area where they do not have permission to fish. If that happened, they would be poaching salmon and the consequences might not be good. They are wondering whether they should go or not.

(注) poach A [poutʃ] 「Aを密猟する」

(2) 《香川大》

One Christmas day when she was preparing a special dinner for her family, her dress caught fire. Within seconds, she became a human torch. The flames burned so quickly and cruelly into her flesh that she was mad with pain. She would have died if her father had not heard her scream. He raced into the kitchen, threw himself on top of her, and put out the fire with his own body.

(注) a human torch 「火だるま」 (torch [tɔ:rtʃ] 「松明」)

【3】 (1) accidentally [ˈæksədəntəli] 「偶然に」 a permission [pəˈmɪʃən] 「許可」 a consequence [kɒnsɪkwəns] 「結果」

(2) prepare A [pri(:)pɛə] 「A の用意をする」 catch fire 「火がつく」 a flame [fleɪm] 「炎」 cruelly [krú:əli] 「残酷に」 flesh [fleʃ] 「肉体」 scream [skri:m] 「絶叫する」 race into A 「A に飛び込む」 put out A 「A を消す」

(3) 《大阪府立大》

After I gave a talk on the subject of happiness, a woman in the audience stood up and said, “I wish my husband had come.” As much as she loved him, she explained, it wasn’t easy being married to someone so unhappy.

This woman enabled me to put into words what I had been searching for — the altruistic, as well as the personal, reasons for taking happiness seriously. I told her that each of us owes it to our spouse, our children, our friends to be as happy as we can be. And if you don’t believe me, ask a child what it’s like to grow up with an unhappy parent, or ask parents what pain they suffer if they have an unhappy child.

(注) altruistic [ˈæltru(:)ɪstɪk] 「利他主義的な」 spouse [spaʊs] 「配偶者」 (= a husband or wife) owe A to B 「AはBのおかげである」

(4) 《北海道大》

When she first started teaching at a London secondary school, Debbie Brown experienced many kinds of discipline problems. However, the thing that irritated her the most was when a mobile phone rang at the back of her class. “If that wasn’t bad enough,” she recalls, “the student answered the phone and carried on his conversation as if it was the most natural thing in the world to do. I didn’t know whether to laugh, cry or shout.”

(注) irritated [ɪrɪtətɪd] 「イライラした」

(3)a subject[sʌbdʒɪkt] 「主題」 as much as SV... 「SV...だけれども」 explain A [eksplɛɪn] 「Aを説明する」 be married 「結婚している」 S enable A to V [enəɪbl] 「SのおかげでAはVできる」(無生物主語構文) put A into words 「Aを言葉にする」 suffer A [sʌfə] 「Aを経験する」

(4)experience A [ɪkspɪəriəns] 「Aを経験する」 a discipline [dɪsəplɪn] 「躾」 recall A [rɪkɔ:l] 「Aを思い起こす」 carry on A 「Aを続ける」 を考える」 trusty [trʌstɪ] 「信頼できる」 a servant [sɔ:rvent] 「召使い」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《愛知教育大》

For centuries it has been used to write our thoughts and show our artistic abilities. With it people have created masterpieces of literature, children have transferred their imaginations to paper and artists have drawn superb pictures. Yet, throughout all of this, the work-horse behind it all has gone unrecognized. Who gives a thought to the pencil? Well, it's about time this was corrected. So, let's take a closer look at the story of our trusty servant.

(注) a masterpiece[mæstəpi: s] 「傑作」 transfer A to B[trænsfə: r] 「A を B に移す」 unrecognized 「正当に認められていない」

(2) 《大阪大》

When we speak of dreams, the first thing that tends to come to mind is the presence of unusual and fantastic events in them. In our dreams we encounter people who have been dead for years. We suddenly find ourselves in far-off lands. Animals speak to us, and we ourselves possess powers that would strike us as completely impossible in waking life. If someone were to tell us that he had similar experiences when awake, we would doubt his sanity.

(注) sanity [sænəti] 「正気」

発展問題(1) literature [lɪtəətʃər] 「文学」 superb [səpə: rb] 「素晴らしい」 throughout A [θru: ˈaʊt] 「A の期間中」 give a thought to A 「A のことを考える」

(2) speak of A 「A について語る」 come to mind 「浮かぶ」 presence [prézens] 「出来事」「存在」 unusual [ʌnju: ˈzʊəl] 「尋常でない」 fantastic [fæntəstɪk] 「現実離れた」 encounter A [enkáuntər] 「A に遭遇する」 far-off 「遠く離れた」 possess A [pəzéz] 「A を所有する」 strike A as B 「A に B と思わせる」 completely [kəmplɪ: tli] 「完璧に」 doubt A [daʊt] 「A を疑う」

構文解説

(1) 仮定法と直接法

頭の中で想像する、現実的でない内容(事実の反対)を表す場合には、仮定法を用いる。現在の事実の反対を表す場合は、"If S 過去形..., S would[could/might] V~." 「もし S が...であれば、S は V~だろう」(仮定法過去)。過去の事実の反対を表す場合は、"If S 過去完了形..., S would[could/might] have 過去分詞~." 「もし S が...であったならば、S は V~だっただろう」(仮定法過去完了)。ある地点の事実の反対を述べる場合には、動詞の時制をひとつ過去へとずらす。また、仮の話なので、必ず主節には助動詞を用いる。例 "If I had enough time, I would help you." 「もし私に十分な時間があれば、あなたを手伝うだろう」(十分な時間がないので、あなたを手伝えない) "If he had been there then, he would have got angry." 「もし彼がその時そこにいたら、怒っていただろう」(彼はその時そこにはいなかった)

(2) If S should V / If S were to V

if 節が未来を表す場合には、"if SV..." が一般的だが、可能性が低い場合や単なる過程を表す場合は、それぞれ "If S should V, S will[would] V~." 「万一 SV すれば、SV するだろう」 "If S were to V, S would V~." 「仮に SV すれば、SV するだろう」を用いる。例 "If I should fail, what will she say?" 「万一失敗したら彼女はなんと言うだろうか」 "If I were to have my life again, I would like to be a lawyer." 「人生をやり直せるなら、弁護士になりたい」

(3) 仮定法を用いた重要表現① 「~であればなあ」「~であったらばなあ」

「~であればなあ」と現実的でない願望を表す場合には、"wish S 過去形" 「~であればなあ」 "wish S 過去完了形" 「~だったならよかったのに」 "wish S would V" 「(未来)~であればなあ」を用いる。例 "I wish I were a bird." 「鳥であればなあ」 "I wish I had told her the truth then." 「あの時彼に本当のことを言っていたらよかったのに」 "I wish he would come to the party tonight." 「今晚彼がパーティに来てくれたらなあ」(こないと分かっているが)。なお、"I hope he will come to the party tonight." 「今晚彼がパーティに来てくれたらなあ」であれば、実際に彼が来る可能性が十分あることになる。

(4) 仮定法を用いた重要表現② 「まるで~のように」「まるで~だったかのように」

「まるで~」を表す "as if 節内" では、仮定法を用いることが多い。"as if[though] S 過去形" 「まるで~のように」 "as if[though] S 過去完了形" 「まるで~だったかのように」例 "He behaves as if he were a king." 「彼はまるで王様であるかのように振舞う」 "He looks pale as if he had been painted blue." 「彼はまるで青いペンキを塗られたかのように青白い顔をしている」なお、現実に関わり得る場合は、直接法で書く場合もある。例 "She speaks as if she knows him well." 「彼女はまるで彼のことをよく知っているかのように話す」また、"as if to V" の形で「まるで to V するかのように」も頻出表現である。例 "They smiled as if to invite us." 「彼らはまるで私たちに歓迎するかのごとく微笑んだ」

(5) 仮定法を用いた重要表現③ 「もうそろそろ~する時間だ」

「もうそろそろ~する時間だ」を表す場合には、"It is (about/high)time that S 過去形" を用いる。例 "It is time that you went to bed." 「もうそろそろ寝る時間です」

(6) 仮定法を用いた重要表現④「もし～がなければ」「もし～がなかったならば」

「もしAがなければ」「もしAがなかったならば」を表す場合には、”If it were not for A, S would V～”「もしAがなければ、SVだろう」 “If it had not been for A, S would have 過去完了形” 「もしAがなかったならばSVだっただろう」を用いる。例”If it were not for the sun, every living thing would die.” 「もし太陽がなければ、すべての生き物は死ぬだろう」 ”If it had not been for your financial support, our plan wouldn’t have been carried out.” 「もしあなたの財政援助がなければ、私たちの計画は実行されなかっただろう」 without A/ but for A を用いても同内容を表すことができる。without A/ but for A は、仮定法過去でも、仮定法過去完了でも用いることができる。

(7) 仮定法と倒置

仮定法の文で、ifが省略されて、”(助)動詞S...”となることがある(文語)。例”Were I free, I would join you.” 「暇であれば、あなたたちに加わるのだが」 (If I were free, ...)”Had he read her letter, he would have cried. 「もし彼が彼女の手紙を読んでいたら、声を上げて泣いただろう」

長文読解 3

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

To write about human aggression is a difficult task because the term is used in so many different senses. Aggression is one of those words which everyone knows, but which is nevertheless hard to define. (1)One difficulty is that there is no clear dividing line between those forms of aggression which we all deplore and those which we must not disown if we are to survive. When a child rebels against authority it is being aggressive; but it is also manifesting a drive towards independence which is a necessary and valuable part of growing up. The desire for power has, in extreme form, disastrous aspects which we all acknowledge; but the drive to conquer difficulties, or to gain mastery over the external world, underlies the greatest of human achievements.

The aggressive part of human nature is not only a necessary safeguard against savage attack. It is also the basis of intellectual achievement, of the attainment of independence, and even of that proper pride which enables a man to hold his head high amongst his fellows. (2)Without the aggressive, active side of his nature man would be even less able than he is to direct the course of his life or to influence the world around him. In fact, it is obvious that man could never have attained his present dominance, nor even have

survived as a species, unless he possessed a large amount of inborn aggressiveness.

It is a tragic paradox that the very qualities which have led to man's extraordinary success are also those most likely to destroy him. (3)His ruthless drive to subdue or to destroy every apparent obstacle in his path does not stop short at his own fellows; and (4)since he now possesses weapons of unparalleled destructiveness and also apparently lacks the built-in safeguards which prevent most animals from killing others of the same species, it is not beyond possibility that he may yet cause the total elimination of mankind.

長文読解 aggression[əgrɛʃən]「攻撃(性)」「積極(性)」define[difaɪn]「定義する」「限定する」dividing「分割する」(divide[dəvaɪd]「分ける」)deplere [diplɔːr]「残念に思う」「深く悲しむ」disown [disəʊn]「関係を否定する」「自分のものと認めない」rebel [rɛbəl]「反抗(する)」「反逆者」manifest[mænɪfɛst]「明らかにする」extreme [ɛkstriːm]「極度の」「極端な」disastrous [dizæstrəs]「悲惨な」aspect [æspekt]「(側)面」「外観」acknowledge[əknəʊlɪdʒ]「(事実と)認める」conquer [kɒŋkər]「克服する」「打ち勝つ」external [ɪkstiːrnl]「外部の」safeguard[sɛɪfgɑːrd]「保護」「保護手段」direct [dɪrɛkt]「指図する」dominance「優勢」「支配」possess [pəzɛs]「所有する」inborn [ɪnbɔːrn]「生まれつきの」tragic [trædʒɪk]「悲劇の」paradox [pəɹədɒks]「逆説」extraordinary [ɪkstriːrdənəri]「普通でない」ruthless [rúːθlɪs]「無情な」「残忍な」subdue [səbduː]「征服する」unparalleled[ʌnpæ'r(ə)leɪd]「匹敵するものがない」「前代未聞の」built-in「埋め込まれた」「生まれつきの」prevent [priː(ː)vɛnt]「妨げる」(prevent A from Ving「AがVingするのを妨げる」)elimination [ɪlɪmənɛɪʃən]「除去」「削除」

NO11 《仮定法Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合④] 《仮定法》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

- (1) 学生時代にさらに別の言語を学んでいればよかったのに。
I wish I () learned another foreign language in my college days.
① have ② had ③ will have ④ should have 〈関西学院大〉
- (2) 「郵便配達人がくればなあ」「君は彼女からの手紙を待っているのか」
“() the post man would come!”
“Are you waiting for a letter from your girlfriend?”
① When ② If only ③ Why ④ Please 〈近畿大〉
- (3) お母さんの話を聞いていたら、彼はそんな間違いをしなかつたらう。
() he listened to his mother, he might not have made such a mistake.
① Had ② Should ③ Supposed ④ Unless 〈近畿大〉
- (4) 彼女の母は、あたかも何事も起こらなかつたかのように話し続けた
His mother continued talking as () nothing had happened.
① for ② like ③ seems ④ if 〈会津大〉
- (5) 最後のバッターがホームランを打たなかつたら、私たちのチームは負けたであろう。If our last batter had not finally hit a home run, our team would () the game.
① have lost ② have won ③ lose ④ win 〈センター試験〉
- (6) 万一明日雪が振れば、私は家にいます。
If it () tomorrow, I would stay at home.
① snowing ② should snow ③ snow ④ will snow
- (7) 彼は職場に立ち寄らないと思います。しかし、万が一私が留守中に彼がやってきましたら、彼にその情報を伝えてください。
I don't think he will stop by my office. But if he () while I'm out, give him more about that information. 〈聖マリアンナ医大〉
① came ② will come ③ should come ④ had come
- (8) あなたの助けがなかつたならば、私は諦めていただろう。
If it () your help, I would have given up. 〈麻布大〉
① were not ② had not been ③ had not been for ④ were without

- (9) もし私が金持ちであれば、世界旅行をするだろう。
If I were rich, I () travel the world.
① would ② want ③ will ④ wished 〈福岡大〉
- (10) もう少し若ければ、私はあなたたちの山登りに参加するだろう。
If I were a little younger, I () you in climbing the mountain.
① have joined ② join ③ will join ④ would join
- (11) もし私があなたであったなら、そんなことをしなかったであろう。
() I been you, I wouldn't have done such a thing.
① Were ② Was ③ Had ④ If
- (12) モス水がなければ、どんな生物も地球上で生きられないだろう。
If it were not () water, no animal could live on earth.
① for ② with ③ about ④ of 〈広島経済大〉
- (13) すでに11時である。もうそろそろ寝る時間だ。
It's already eleven. It's high time you () in bed.
① are ② have been ③ were ④ will be
- (14) もし雨がなければ、今日私たちはハイキングに行くだろう。
If it were not for the rain, we () hiking today.
① can go ② would go ③ may well go ④ were able go
- (15) 太陽と水がなければ、すべての生き物は生きれないだろう。
() the sun and water, all living things would not survive.
① But for ② If not ③ If with ④ If they were not for 〈名城大〉
- (16) 「ジャックはそのパーティにいましたか」「いなかったと思う。彼がいたならば、私は彼を見たであろう」
“Was Jack at the party?” “I don't think so. If he had been, I () him.”
① had seen ② saw ③ would have seen ④ would see
- (17) 若い時にもっと一生懸命英語を勉強していたならなあ。
() I had studied English much harder when I was young!
① How ② If only ③ What if ④ Wishing
- (18) あなたの問題を聞いて気の毒に思います。しかし、もしあなたが私の忠告を聞いていたら、今そんな苦勞をしていないでしょう
I'm sorry to hear about your problem. But if you had taken my advice, you () in such trouble now.
① haven't been ② would be ③ would have been ④ wouldn't be
- (19) 「なんと汚いの。もう部屋を片付ける時間です」〈平安女学院大〉
What a mess! It's about time you () your room!
① cleaned ② will clean ③ have cleaned ④ clean

- (20) もしその橋から落ちたら、助けることは不可能だろう。
If you were to fall from that bridge, it () almost impossible to rescue you.
① is ② was ③ would be ④ would have been 〈センター試験〉
- (21) 水がなければ、地球上の何者も生きれないだろう。
() water, nothing on Earth could live.
① But ② Without ③ Having ④ Except 〈東洋大〉
- (22) 「彼はスキーがうまいよね」「うん、実際そうです。私も彼のようにスキーができればなあ」
“He’s a good skier, isn’t he?”
“Yes, he really is. I wish I () like him.”
① can ski ② could ski ③ ski ④ will ski
- (23) 「あなたが私を助けてくれなかったなら、私は今頃生きていないだろう」
If you hadn’t saved me, I () alive now.
① won’t be ② wasn’t be ③ can’t be ④ wouldn’t be 〈東北工大〉
- (24) 彼の忠告がなければ、私たちは決して時間通りにその仕事を終えなかっただろう。() his advice, we would never have finished the work on time.
① Accepted ② Excluding ③ Not for ④ Without
- (25) 彼は学校までずっと走り続けた。さもなければ、遅刻していただろう。
He came running all the way to school; () he’d have been late.
① however ② because ③ otherwise ④ unless 〈神奈川工大〉
- (26) 私たちはタクシーで行った。さもなければ、私たちは遅刻したであろう。
We went by taxi; () we would have been late.
① otherwise ② therefore ③ in particular ④ instead
- (27) 彼はまるで何でも知っているかのように話す。
He talks as () he knew everything.
① for ② if ③ of ④ to
- (28) 「私は昨日宿題を終えることができなかった」「もし僕に訪ねてくれたら、手伝ってあげたでしょう」〈センター試験〉
“I couldn’t finish my homework yesterday.”
“If you () me, I would have helped.”
① have asked ② would ask ③ should ask ④ had asked

【3】〔文法総合4〕《仮定法》(1) ② (2) ② (3) ① (4) ④ (5) ① (6) ② (7) ③ (8) ③ (9) ① (10) ④ (11) ③ (12) ① (13) ③ (14) ② (15) ① (16) ③ (17) ② (18) ④ (19) ① (20) ③ (21) ② (22) ② (23) ④ (24) ④ (25) ③ (26) ① (27) ② (28) ④

【3】 〔標準問題〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《東京都立大》

次の英文は、シェークスピアの役者を目指す若者(トム)に、仕事につくように勧める筆者の話である。

“Why don’t you work for someone in the daytime and study at night?” I said to Tom.

“I cannot be bothered with such a change at this time,” he said, “Besides, I get five dollars a week plus room and board. That is enough for me. If I should go out and work for someone, I would have to pay for room and board besides carfare, so I would not be richer. And even if I should save a little more, it would not help me become a better Shakespearean actor.”

(注) board 「食事」

(2) 《大阪府立大》

The problem we now face is that the atmosphere is being filled by huge quantities of human-caused carbon dioxide and other greenhouse gases. This traps a lot of the infrared radiation that would otherwise escape. As a result, the temperature of the Earth’s atmosphere and oceans is getting dangerously warmer. This is what the climate crisis is all about.

(注) infrared radiation [ɪnfrəˈreɪd] [rèidiéiʃən] 「赤外線」

【3】 (1)Why don’t you V? 「Vしたらどう」 in the daytime 「日中」 bother A 「Aを困らせる」 besides [bisáidz] 「さらに」 carfare 「交通費」

(2)face A 「Aに直面する」 atmosphere [éitməsfiə] 「大気」 huge [hju:dʒ] 「巨大な」 quantities of A [kwántəti] 「大量の」 human-caused 「人間に起因する」 carbon dioxide [kɑ:rbən] [daiáksaid] 「二酸化炭素」 trap A [træp] 「Aを捉える」 「Aを閉じ込める」 temperature [témperətʃə] 「気候」 a crisis [kráisis] 「危機」

(3) 《徳島大》

Water, soil, and the earth's green mantle* of plants make up the world that supports the animal life of the earth. Although modern man seldom remembers the fact, he could not exist without the plants that harness* the sun's energy and manufacture the basic foodstuffs he depends upon for life.

(注) mantle [mæntl] 「マントル」 harness A [há:rnis] 「Aを利用する」 utility [ju(:)tílətí] 「有用性」 forthwith [fɔ:rθwíθ] 「直ちに」

(4) 《東京学芸大》

次の英文は、墜落事故の直後の客室乗務員(パオラ=チュー)について述べたものである。

Paola Chu was in pain, her right foot twice its normal size, her left leg bloody. One eye was swollen shut and her face was a mass of bruises. Immediately after the crash, an adrenalin rush had pushed her into action. Now, as she rested on the wet ground, a wave of emotion crashed over her. What about her friends on the flight crew? “Where is the rest of the crew?” she asked another stewardess. “They are gone,” her friend replied. Paola felt tears coming. Had she served in the front cabin, she'd be dead too. Right now, she had to hold herself together. She still had a job to do.

(注) Paola Chu 「パオラ=チュー」 adrenalin [ædrénelin] 「アドレナリン」

(3)soil [sɔil] 「土(壤)」 make up A 「Aを構成する」 support A 「Aを支える」 manufacture A [m`ænjufæktʃər] 「Aを作る」 a foodstuff 「食糧」

(4)bloody [blɒdi] 「血まみれの」 swollen [swóulən] 「はれた」 (swell の過去分詞 swell-swelled-swollen)a bruise [bru:z] 「傷」「打撲」 immediately [imí:diitli] 「即座に」 rest on A 「Aにて休む」 the rest of A 「残りのA」 hold oneself together 「気を引き締める」 cabin [kæbin] 「客室」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《大阪府立大》

次の英文は、地球と太陽との距離について述べたものである。

In 1978, an astrophysicist named Michael Hart made some calculations and concluded that Earth would have been uninhabitable had it been just 1 percent farther from or 5 percent closer to the Sun. That's not much, and in fact it wasn't enough. The figures have since been refined and made a little more generous — 5 percent nearer and 15 percent farther are thought to be more accurate assessments for our zone of habitability — but that is still a narrow belt.

(2) 《岐阜大》

次の英文は、現代の「消費主義」に対して疑問を投げかけた英文の一節である。

At any rate, the high value we place on material things is at least in part a cultural value. It is therefore relative and variable, meaning that it will change should the circumstances of our lives change. Anthropology teaches us that much of what we want we want only because we have learned to want it. Should our economies become capable of producing less, and should others around us consume less, we shall learn to want less, to lower our consumption expectations. We probably shall not be less (or more!) happy as a result. If we are willing to see the wants of peoples of the past and present as relative to time, place, and circumstances, perhaps it is time we view our own possible future from the same perspective.

発展問題(1)an astrophysicist [æstrɒfɪsɪsɪst]「宇宙物理学者」a calculation [kælkjʊleɪʃən]「計算」conclude that SV... [kənklú:d]「SV...と結論づける」uninhabitable [ˌʌnɪhəˈæbɪəbl̩]「人が住めない」refine A [rɪfaɪnd]「Aを洗練する」
「Aを修正する」generous [dʒɛnərəs]「寛大な」「ゆるい」be thought to V「Vすると思われる」accurate [ækjʊrɪt]「
「精確な」an assessment [æsɛsmənt]「見積もり」「評価」zone [zoun]「ゾーン」「帯」habitability[hæbətəbɪləti]「居
住」

(2) at any rate「いずれにしても」we place value on A「Aに価値を置く」at least「少なくとも」in part「一部」relative [rɛlətɪv]「
「相対的な」variable [vɛəriəbl̩]「変わりやすい」an anthropology [ˌænθrəpələdʒi]「人類学」lower A [ləʊər]「A
を下げる」consumption [kɒnsʌmpʃən]「消費」an expectation [ɛkspektɪʃən]「期待(度)」from ~ perspective [pɜːspɛktɪv]「
「～の観点で」

長文読解 4

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

(1)The children's books that were my first contact with the universe opened my imagination to thoughts of voyages to the moon, planets and stars. When I was older, however, I visited the Fels Planetarium in Philadelphia and the Hayden Planetarium in New York, and that simple, self-centered perception was shattered. The drama and power of the dynamic universe overwhelmed me. I learned that single galaxies contain more stars than all the human beings who have ever lived, and I saw projections of clusters of such galaxies moving in the empty space like schools of fish swimming in the sea. The reality of the immensity and duration of the universe caused a kind of “existential shock” that shook the foundations of my being. (2)Everything I had experienced or known seemed insignificant placed in that vast ocean of existence.

(3)While my sense of awe at the size and splendor of the universe is a feeling that has never quite left me, reflecting back on my childhood experience, I see that the universe provided a screen upon which I could project my feelings about the immensity of existence; that external ocean mirrored the one within me. Afterwards, as I pursued the study of theoretical physics at Princeton and Stanford Universities, my attitude toward the universe altered. (4)The universe became less a screen for the projection of my feelings and more a puzzle challenging me as a scientist, a puzzle which left scattered, complex clues to its solution. The universe, in spite of its size, is a physical entity governed by the laws of space, time and matter. Someday — and that day is not yet here — physicists may know the laws that describe the creation of the universe and its subsequent evolution. The logical account of the foundations of physical existence will then be complete.

長文読解 voyage[vɔiɪdʒ]「航海」「空の旅」 self-centered「自己中心的な」 perception [pərsəpʃən]「認識」「知覚」 dynamic [daɪnəˈmɪk]「動的な」「力学的な」 overwhelm[ˌoʊvərhwéləm]「圧倒する」 galaxy[gæləksi]「(the G-)銀河」「小宇宙」 contain [kənˈteɪn]「含む」 projection [prɒdʒɛkʃən]「突出」「投影(投影)」「予測」「計画」 cluster[klʌstər]「房」「集まり」 immensity[ɪmɛnsəti]「広大さ」 duration [dʒʊrɪˈeɪʃən]「継続期間」 foundation[faʊndéɪʃən]「基礎」「創設」 insignificant [ɪnˈsɪgnɪfɪkənt]「取るに足らない」 splendor [spléndər]「光輝」「豪華さ」 reflect on A[rɪflékt]「...をよく考える」 provide[prouváɪd]「供給する」 mirror[mírər]「反映する」 pursue [pərsjú:]「(仕事など)従事する」「追跡する」 theoretical [θi(:)əˈrɛtɪkəl]「理論(上)の」 physics [fɪzɪks]「物理学」 alter[ɔːltər]「変える」 puzzle [pʌˈzɪl]「難問」「パズル」 challenging [tʃæləndʒɪŋ]「やりがいのある」「骨の折れる」 scatter[skætər]「散在させる」「追い散らす」 clue [klú:]「手掛かり」 entity [éntəti]「存在」「実在」 govern [gʌvərn]「統治する」「支配する」 describe [dɪskraɪb]「説明する」「描写する」 subsequent [sʌbsɪkwənt]「その後の」 evolution[evólú:ʃən]「(生物の)進化」「発展」

NO12 《不定詞 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《不定詞 TEN》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) おなかがすいたときに赤ちゃんが泣くのは当然だ。
It is natural () babies to cry when they are hungry.
①when ②that ③for ④some
- (2) そんな間違いをするなんて私は愚かだった。
It was stupid () me to make such a mistake.
①by ②for ③of ④to
- (3) 彼は出発を延期すると決心した。
He decided () his departure.
①postpone ②to postpone ③postponing ④postponed
- (4) この車は修理の必要がある。
This car needs repairing.= This car needs ().
①to repairing ②to be repairing ③to repair ④to be repaired
- (5) ジャングルのようなこの生活を無事に切り抜けるには、適切な武器を身につけなければならない。
() go safely through this jungle of life you must equip yourself with the proper weapons.
①Whoever ②So that ③In order to ④For the purpose of
- (6) その石は重すぎて、だれも持ち上げられない。
The stone was () anybody to lift.
①too heavy with ②too heavy so ③too heavy to ④too heavy for
- (7) 彼は若いころ苦労したようだ。
He seems to () a hard life in his youth.
①has ②have ③has had ④have had
- (8) 私は彼に写真を撮ってもらおうつもりです。
I will have him () my photograph.
①take ②to take ③taking ④taken
- (9) この通りには誰も見当たらない。
No one () be seen in the street.
①have to ②had to ③was to ④were to

(10) 態度が悪かったので、彼はパーティを追い出された。

Because of his bad manners, the man was made () the party.

①leave ②left ③to leave ④leaving

- (1) It is natural () babies to cry when they are hungry.
不定詞の意味上主語：It is 形容詞 for A to V... ★普通の形
- (2) It was stupid () me to make such a mistake.
不定詞の意味上主語：It is 形容詞 of A to V... ★人の性格を表わす形容詞の場合
- (3) He decided () his departure.
不定詞のみを目的語とする動詞：decide to V 「Vすることを決心する」
- (4) This car needs repairing. = This car needs ().
目的語が不定詞と動名詞では意味の異なる動詞：need to V 「Vする必要がある」 need Ving 「Vingされる必要がある」 (=need to be 過去分詞)
- (5) () go safely through this jungle of life you must equip yourself with the proper weapons.
副詞的用法 目的を表わす不定詞：in order to V / so as to V
- (6) The stone was () anybody to lift.
副詞的用法 程度・結果を表わす不定詞：too 形 (for A) to V 「～すぎて(Aは)Vできない」
- (7) He seems to () a hard life in his youth.
時制のずれを表わす完了不定詞：seem to have 過去分詞 「～だったようです」
- (8) I will have him () my photograph.
原形不定詞をとる使役動詞 make/have/let O V 「OVさせる」
- (9) No one () be seen in the street.
義務・予定・運命・可能・意図を表わす”be to V”
- (10) Because of his bad manners, the man was made () the party.
使役動詞 make O V の受動態：be made to V ★原形不定詞が to 不定詞に変わる

【2】〔精選問題〕《不定詞 TEN》(1)③(2)③(3)②(4)④(5)③(6)④(7)④(8)①(9)③(10)③

【3】(1)trivial [trɪvɪəl] 「取るに足りない」 well-known 「有名な」 conscious [kənʃəs] 「意識的な」 recognize A [rɛkəɡnəɪz] 「Aを認知する」

(2)get the idea that SV... 「SV...という考えを持つ」

(3)sooner or later 「遅かれ早かれ」 imitate A [ɪmɪtèɪt] 「Aを真似する」 get one's way 「進む」 instead of A [ɪnstéd] 「Aの代わりに」 do the dishes 「皿洗いをする」 put off A 「Aを先延ばしにする」 「Aを後回しにする」 an assignment [əsáɪnmənt] 「宿題」

(4)acombinationofA 「ひと続きのA」 「関連し合うA」 a tie 「絆」「つながり」

(5)theory[θi(:)əri] 「理論」 profound[proufáund] 「深い」 formative[fɔ:rmətɪv] 「発達の」 therapy[θérəpi] 「療法」

(6)irritated[ɪrɪtèɪtɪd] 「イライラした」 fundamental[fʌndəməntl] 「基本的な」

【3】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(6)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《お茶の水女子大》

Look in a mirror and what do you see? Yourself of course. This may seem trivial, but in fact is quite an accomplishment. To be able to see yourself means that you must have a sense of self, and this is why mirror self-recognition has become such a well-known test. If being conscious relies on having a sense of self, as some people argue, then the mirror test might tell us something about animal consciousness. We need to find out which animals can recognize themselves in a mirror.

(注) accomplishment [əkəmplɪʃmənt] 「偉業」 a sense of self 「自己感覚」 self-recognition 「自己認知」

(2) 《鹿児島大》

Parents would have you believe that there were no such things as viruses when they were children. “Today,” they say, “every time you are sick, it is a virus. When I was young, we never had viruses.” To hear them speak, it is easy to get the idea that viruses were invented ten or 20 years ago. Viruses, however, have existed as long as man. They may have been the first life on earth. But it was only 70 years ago that they were first discovered, and only within the last 30 years has real progress been made in understanding what viruses are and how viruses work.

(注) virus [váirəs] 「ウイルス」

(3) 《信州大》

One of the most powerful ways children learn what to do and what not to do is by watching you. As you “model” various behaviors, sooner or later your children will imitate you. If you shout to get your way, you can expect your children to do the same. If you watch television instead of doing the dishes, your child will likely put off a homework assignment.

(4) 《小樽商科大》

Why is it more healthy to have friends? We don't know, exactly. But it is probably a combination of several explanations. In part, people with strong social ties may simply have more to live for. They have friends who call them and ask them how they're doing. They have get-togethers to look forward to.

(注) a get-together 「社交の場」「懇親会」

(5) 《鹿児島大》

One theory about childhood loss is that the earlier the age the more profound the influence and the longer lasting the impact. Five is a formative age. A child of five could easily feel victimized by events, and maybe even think that he or she should have been able to influence them in some way. Certainly, the anger Madonna would feel at losing her mother would be extremely difficult for a five-year-old to handle. Some people never reconcile themselves to such a loss at so early an age, at least not without a great deal of therapy.

(注) victimize A[víktəmàiz] 「A を犠牲にする」 Madonna(マドンナ) 「アメリカ合衆国のポピュラー音楽の歌手」 reconcile oneself to A[rékənsàil] 「A に甘んじる」

(6) 《関西大》

There is a scene in the movie Shrek II, in which the hero, Shrek, and his friend Donkey are traveling to a country called “Far Far Away.” Every few moments Donkey asks, “Are we there yet?” Each time he does so, Shrek becomes more and more irritated until finally he furiously shouts at his childish friend to be quiet. The situation will be familiar to anyone who has been on a long journey with children. It seems that patience is one of the most difficult things for children to learn. Yet, the ability to simply wait is of fundamental importance in later life.

(注) Shrek II(シュレック 2) 「2004年のアメリカ合衆国の映画」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《九州大》

※本文中の she とは、筆者が飼っていたが、突然いなくなった猫のことである。

She could be ten feet away, of course, and I'd never know it. She was relentlessly indifferent to me. Many times I've called her from the doorway late at night, wanting to get her in so that I could go to bed, only to find her sitting not twenty feet away, absorbed in the darkness beyond, not only uninterested in my callings but deliberately ignoring me.

(注) relentlessly [riléntlisli] 「無情なほど」 deliberately [dilíberitli] 「わざと」

(2) 《岐阜大》

During the years that I was at Cambridge, instruction in the Japanese language began with the preface to the Kokinshu. I was astonished to discover that students who could not utter a simple sentence in modern Japanese and who knew extremely few kanji were expected to read a text composed over a thousand years ago, but gradually I became aware of the traditions which had inspired this method of instruction. At that time a knowledge of Latin was required of all students who applied for admission to Cambridge University, and those who “read” Latin while at the university became extremely proficient in the language without ever learning to use it in conversation. (The study of kambun in Japan was very similar in orientation.) Japanese was taught at Cambridge as a dead language, quite as if no one had spoken the language for many centuries.

(注) the Kokinshu 「古今集」 Latin [læten] 「ラテン語」

発展問題(1) be indifferent to A [indíferənt] 「A に無関心である」「A に冷淡である。」 be absorbed in A [əbso:rbd] 「A に没頭する」「A に夢中になる」 beyond 「向こうの側」「遠くの」 be uninterested in A 「A に無関心である」
(2) instruction [instrakʃən] 「教授」「指導」 preface [préfis] 「序文」 utter A 「A を発する」 gradually [grædzuəli] 「徐々に」
inspire A [inspáɪə] 「A を鼓舞する」「A を奨励する」 proficient [proufíʃənt] 「堪能な」「熟練した」

構文解説

(1)

To V...で始まる文では、後続の形によって、To Vの働きによって、用法が異なる。Vが続く場合は、To VはVの主語となる不定詞で名詞的用法となる。To Vのあとに、, SV...(通例カンマ(,)がある)が続く場合は、To Vは副詞的用法であり、目的・条件を表すことがほとんどである。

(2)

疑問詞 to V や whether to V の形で、不定詞を用いることがある。疑問詞 to V はとして働くのが原則である。なお、why to V という形はない。how to V (～する仕方、どのように～すべきか), what to V (何を～すべきか), when to V (いつ～すべきか), where to V (どこで[～]Vすべきか), which to V (どれ[どちら]を～すべきか), whether to V (～すべきかどうか)

(3) ...「難,易」「快,不快」「危険,安全」等を表す形容詞

「難,易」「快,不快」「危険,安全」等を表す形容詞の後に不定詞が続いて、形容詞を修飾することがある。この場合、不定詞の中の「動詞」または「動詞+前置詞」と文の主語とが関係にある。easy(簡単な), difficult(困難な), impossible(不可能な), pleasant(心地よい), hard(大変な), delightful(楽しい), painful(苦しい), dangerous(危険な), safe(安全な)など

(4)

不定詞に含まれる動詞には、意味の上での主語が必ずある。主語を明示する場合は、(for～),(of～)の形を用いる。of を用いる場合は、①「It is 人の性質を表す形容詞 of A to V」の形か、②名詞構文「the ability of A to V」型に限られている。また、①文の主語が不定詞の主語となる場合や、②SVO (to) V の構文で O が不定詞の意味上の主語となる場合、②一般の人々の場合は、文中で明示されてない。

(5)

不定詞句が((代)名詞+不定詞)の話順で、直前の(代)名詞を修飾することがある。これを不定詞の形容詞的用法と呼ぶ。形容詞的用法には、①修飾される(代)名詞が意味的に不定詞の主語に当たる場合〈SV 関係〉、②修飾される(代)名詞が意味的に不定詞の目的語に当たる場合〈VO 関係〉、③修飾される(代)名詞が不定詞の後の前置詞の目的語に当たる場合〈VO 関係〉、④不定詞が修飾される(代)名詞の内容を説明する場合〈同格関係〉がある。特に③の場合、前置詞の目的語が前に出ている形になるため、構文、意味を取り違えやすいので注意が必要である。

(6)

不定詞は文中で動詞や形容詞などを修飾する場合にも用いられる。これを不定詞の副詞用法と言う。副詞として主に、①目的、②結果、③程度、④限定(形容詞を修飾)、⑤判断の根拠、⑥理由など多様な意味を表す。
①目的を表す場合には、その意味を明確にするために、in order to V や so as to V の形を用いることがある。「～しないために」という「否定の目的」を表す場合、一般的には in order not to V , so as not to V の形を用いる。ただし、take care や be careful の場合は、単に not to ～ の形を用いる。②結果を表す場合は、lived to V 「Vまで生きる」 grew up to V 「成長してVになる」 awoke to V 「目覚めるとV」や、否定的結果を表す only to V 「結局Vだった」, never to V 「二度とVしなかった」など限られている。③程度を表す表現として、形容詞 enough to V 「十分～なので、Vする(できる)」 so as 形容詞 to V/ too ～ to V 「～すぎてVできない」
④限定(形容詞を修飾)、be 動詞 形容詞 不定詞の形をとり、不定詞の部分が、O が欠けている(主語がOを兼ねる)形になる。⑤判断の根拠では、must や cannot の文、あるいは感嘆文などで用いられることが多い。⑥理由の場合は、感情を表す動詞・形容詞を修飾して、その感情の原因を表す。

自習問題 [整序英作文] 《不定詞②》

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (16) 奨学金がもらえたおかげで彼は学業を続けることができた。(1語不足)
(continue / for / him / his / it / made / scholarship / studies / the / to).
- (17) 玄関のドアに鍵をかけておこななかったなんて、不注意でしたね。
It (careless / door / front / leave / of / to / the / unlocked / was / you).
- (18) つまらないことにそんなにお金を使うとはなんとおろかなんでしょう。
How foolish (so much money / on / a / to / of / is / trivial thing / it / him / spend) like that!
- (19) 彼は第2次世界大戦で戦死したものだと思われていた。(1語不要) 〈専修大〉
(killed / he / to / thought / been / fought / was / have) in the Second World War.
- (20) 彼女はどうしても外国へ行きたいと言ったが、父は行くなと言った。
She insisted on going abroad, (father / not / but / her / her / told / to).
- (21) 話がうますぎると思った。(1語不足)
I thought (be / it / to / good / true / was). 〈専修大〉
- (22) 今日は暑いから僕たちは海で泳げるよ。
Today (enough / swim / us / for / to / hot / is) in the sea. 〈日本大〉
- (23) 講演者の話は速すぎて誰も理解できなかった。
The lecturer (understand / for / to / spoke / fast / too / anyone).
- (24) しみを取るときには、汚れが広がらないように端から中にむけて取りなさい。
When removing a stain, (from / to / as / enlarge / not / inwards / work / the edge / so) the area affected.
- (25) 外国に長く住んでいれば自分の国を見なおすようになる。(1語句不要)
Long-term residence (makes / your own country / you / in / in a foreign country / enables / see) a new light.
- (26) 手を組んでひざに置き、静かに座っているだけで良いのです。〈慶應大〉
(all / do / have / is / quietly / sit / to / with / you) your hands folded in your lap.
- (27) 彼は彼女を忘れようとして、仕事に没頭した。〈札幌大〉
He (about / to work / to / stop / devoted himself / her / thinking / so as).
- (28) その国際会議は、明後日、開催される予定です。〈愛媛大〉
The (after / be / conference / day / held / international / is / the / to) tomorrow.
- (29) われわれは、現代の世界でうまく生き、また職場で成功するつもりなら、学び続けなければならない。〈東海大〉
(keep / live and work / learning / if we are / we must / to) successfully in today's world.
- (30) 短気を起こして得をすることはなにもない。
Nothing is (be / by / gained / losing / temper / to / your). 〈佛教大〉

自習問題 [整序英作文] 《不定詞②》

(16) The scholarship made it possible for him to continue his studies (possible 不足) (17) was careless of you to leave the front door unlocked (18) it is of him to spend so much money on a trivial thing (19) He was thought to have been killed (fought 不要) (20) but her father told her not to (21) it was too good to be true (too 不足) (22) is hot enough for us to swim (23) The lecturer (spoke too fast for anyone to understand). (24) work inwards from the edge so as not to enlarge (25) in a foreign country makes you see your own country in (enables 不要) (26) All you have to do is sit quietly with (27) He (devoted himself to work so as to stop thinking about her). (28) international conference is to be held the day after (29) We must keep learning if we are to live and work (30) to be gained by losing your temper

NO13 《不定詞Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合⑤] 《不定詞》

解答時間 15分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

(1)私は次に何をすべきかわからない。

I don't know () next.

①what to do ②what of doing ③what do ④about doing what

(2)私の父は、川で泳がないようにと私に言った。

My father told me () in the river.

①don't swim ②not to swim ③to not swim ④swim not

(3)彼女はそれのやり方がわからないので、あなたは彼女を助けなければならぬだろう。

You'll have to help her because she doesn't know () it.

①how to do ②that doing ③doing ④what done

(4)そのお年寄り、若かった頃は素晴らしい運動選手だったと言われている。

The old man is said () a great athlete when he was young.

①to have been ②to be ③being ④was

(5)彼は音楽が好きだ。彼は、ギターは言うまでもなく、ピアノも弾く。

He likes music. He plays the piano, () the guitar.

①to say nothing of ②as soon as possible

③frankly speaking ④in the least

(6)その質問に答えることは私にとって簡単だった。

It was easy for me () the question.

①answer ②that answer ③to answer ④to answering

(7)ジョーンズさんは会社に行って窓が割れているのに気づいた。

Ms. Jones went to her office () that the windows were broken.

①finds ②found ③to find ④to finding

(8)リンダはちょうどオーストラリアからもどったところだ。彼女は旅を楽しんだようだ。

Linda has just returned from Australia. She seems to () her trip.

①enjoy ②enjoys ③enjoyed ④have enjoyed

(9) ジムはその試験のためにまったく勉強をしなかった。言うまでもなく、彼は試験に失敗した。

Jim didn't study for the exam at all. (), he failed it.

- ①Needless to say ②To make matters better
③So to speak ④Strange to say

(10) メアリーはだれか彼女の赤ちゃんの世話をしてくれる人を必要としている。

Mary needs someone () care of her baby.

- ①who take ②to be taken ③taking ④to take

(11) ブラウン氏はその車を買えるほど裕福だ。

Mr. Brown is () to buy the car.

- ①enough rich ②rich enough ③enough of rich ④rich of enough

(12) 6月の試験に合格するように、私はもっと一生懸命勉強するつもりだ。

I'm going to study harder () pass my exams in June.

- ①so to ②for to ③in order that ④in order to

(13) 間違った電車に乗ってしまうなんて、あなたは不注意でしたね。

It was careless () you to take the wrong train.

- ①of ②for ③on ④to

(14) そのを年寄りに席をゆずるとは、彼は親切だ。

It was kind () him to give up his seat to the old man.

- ①of ②by ③at ④with

(15) 「お父様はお元気ですか」

「元気ですよ。父は毎週日曜日にテニスをするほどまだ活動的です」

“How's your father?”

“He's fine. He's () to play tennis every Sunday.”

- ①enough active still ②enough still active
③still active enough ④still enough active

(16) 私には、車を私に貸してくれるよう上司に頼む勇気がない。

I don't have the courage () my boss to lend me his car.

- ①asking ②for asking ③to ask ④which I ask

(17) ナンシーはその警官に話しかける必要がある。

It is necessary for Nancy () to the policeman.

- ①is speaking ②was speaking ③speaks ④to speak

(18) 母親はそうしないように言ったのだけれども、その少年は窓を開けた。

The boy opened the window, although his mother told him ().

- ①don't do ②not do it ③not to ④to not

(19) あなたはその仕事を1日で終わらせることは困難であると気づくだろう。

You will find () finish the job in a day.

- ①difficult it to ②it difficult to ③to difficult it ④to it difficult

(20)私は決断するのが難しいと思う。

I find () difficult to make a decision.

①it ②one ③that ④this

(21)私は勉強するのに忙しすぎて、今夜のパーティーには行けない。

I am too busy studying () to the party tonight.

①by going ②to go ③going ④for going

(22)私は銀行へと急いだが、そこがしまっているのがわかっただけだった。

I hurried to the bank () find it closed.

①only to ②so to ③as to ④much to

【2】〔文法総合⑤〕《不定詞》(1)①(2)②(3)①(4)①(5)①(6)③(7)③(8)④(9)①(10)④(11)②(12)④(13)①(14)①(15)③(16)③(17)④(18)③(19)②(20)①(21)②(22)①

【3】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《名古屋市立大》

We are reluctant to invest in young people in order to achieve multiple benefits in the long term. For example, we tend to forget that with enriched opportunities and high expectations many children with Down syndrome* grow up to become responsible tax-paying citizens who contribute to their communities in many ways.

(注) Down syndrome [sɪndroum] 「ダウン症」

(2) 《東京工業大》

If you know how to take advantage of a chance meeting and use it wisely, it can be of enormous value. But for every chance meeting that bears fruit, another twenty opportunities are lost. Some people are too shy or self-conscious to start chatting, even when they get a friendly smile of invitation. The thought of talking to a stranger can be terrifying and is a major cause of social anxiety that plenty of people would rather just bypass.

(注) bypass A [baɪp`æs] 「A を避けて通る、A を回避する」

(3) 《首都大学東京》

Have you ever seen a greenhouse? Most greenhouses look like a small glass house. Greenhouses are used to grow plants, especially in the winter. Greenhouses work by trapping heat from the sun. The glass panels of the greenhouse let in light but keep heat from escaping. This causes the greenhouse to heat up, much like the inside of a car parked in sunlight, and keeps the plants warm enough to live in the winter.

(注) greenhouse [grí:nhàus] 「温室」

(4) 《関西学院大》

Neuroscientists, scientists who study the human brain, once conducted a simple experiment. Using electrodes, they massaged the brains of a group of depressed women in ways that caused pleasurable feelings. The unhappy women came to no harm — indeed their moods improved, at least for a short time — but after the experiment the women seemed to have fallen in love with the experimenters.

(注) a neuroscientist [njúrouəsàientist] 「神経科学者」

(5) 《新潟大》

次の英文は、モーリタニア(アフリカの旧フランス植民地)からの留学生が書いた英文である。

I particularly enjoyed the discussions and chats I had with students at a university volunteer club even though I needed to mix English, some French and some broken Japanese to express myself. They seemed to understand me even when I couldn't understand myself. I didn't worry about having to do everything right. I had only to try to express myself as it was the challenge I was to meet.

【3】(1) be reluctant to V [rilaktent] 「Vするのが嫌である」 achieve A [ətʃi:v] 「Aを達成する」 multiple [mʌltəpl] 「多数の」 a benefit 「利益」「恩恵」 in the long term 「長期で」 contribute to A [kəntrɪbjʊ:t] 「Aに貢献する」
(2) take advantage of A 「Aを利用する」 enormous [ɪnəˈrməs] 「巨大な」「膨大な」 bear fruit 「実りがある」 terrifying [təˈraɪɪŋ] 「恐ろしい」
(3) trap A 「Aを閉じ込める」 a glass panel 「ガラス板(パネル)」 let in A 「Aを取り込む」
(4) conduct a experiment [kəndʌkt] 名前動後 「実験をする」 an electrode [ɪlɛktrəʊd] 「電極」 depressed [dɪprɛst] 「うつ状態の」 pleasurable [plɛʒərəbl] 「楽しい」
(5) express oneself 「自分の考えを表現する」 challenge [tʃælɪndʒ] 「課題」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《神戸大》

To write about human aggression is a difficult task because the term is used in so many different senses. Aggression is one of those words which everyone knows, but which is nevertheless hard to define. One difficulty is that there is no clear dividing line between those forms of aggression which we all deplore and those which we must not disown if we are to survive.

(注) aggression [əgrɛʃən] 「攻撃性」

(2) 《愛媛大》

By the time her husband came in, I had begun to think she was going to like me. I wanted her to, but I felt I didn't have half a chance with her; her charming, fluent voice, her clear light enunciation bewildered me. And I was never sure whether she was making fun of me or of the thing we were talking about. Her sarcasm was so quick, so fine at the point — it was like being touched by a metal so cold that one doesn't know whether one is burned or chilled. I was fascinated, but very ill at ease, and I was glad when Oswald Henshawe arrived from the hotel.

(注) enunciation [ɪnʌnsiə'teɪʃən] 「発音」 bewilder A [biwɪldər] 「A を狼狽させる」 sarcasm [sɑːrkæzəm] 「皮肉」

発展問題(1) nevertheless [nɛvərðeləs] 「しかしながら」 dividing line 「境界線」 deplore [dɪplɔːr] 「嘆かわしいと思う」 disown A [disəʊn] 「A を否認する」
 (2) making fun of A 「A をからかう」 chill A [tʃɪl] 「A を凍らせる」 fascinated [fæsə'nɛɪtɪd] 「魅了させる」「うっとりする」
 ill at ease 「気まずい」「落ち着かない」

構文解説

(1)

be to V の形で、①義務②予定③運命④可能⑤意図、を表す。使い方から、意味が決まる場合が多い。①義務：公的な予定・取り決めを表す場合が多い。②未来：未来を表す副詞等とともに用いられる。例 **My father is to appear on TV tonight.** 「父は今夜テレビに出演することになっている」③運命：過去時制で用いられる④可能：通例否定文で、受動態の不定詞を用いる。例 **The ring was not to be found anywhere.** 「指輪はどこにも見つからなかった」⑤意図：if 節の中で用いる。(例 **If you are to win, you should to your best.** 「もし勝つつもりなら、最善の努力をなさい」)

(2)

不定詞の部分に、動詞部分(動詞+a)が重複する場合は、動詞+a を省略して to だけを残すことがある。これを「代不定詞」と呼ぶ。ただし、be と have は省略できない。例 **You can read this book if you want to.** (read this book が省略) 「読みたいならば、この本をよんでいいですよ。」**Do you want to be with us ?** “**Yes, I would like to be.**” 「我々と一緒にいたいですか?」「ええ、いたいですね」(be with you が省略)

(3)

述語動詞と同じ時制を表す to V(to 不定詞)とことなり、to have 過去分詞(完了不定詞)は、述語動詞までの完了、結果、継続を表す場合(要するに、現在完了の前に seem、appear や be thought to が置かれる場合)と、述語動詞よりも1つ古い「時」を場合がある。例 **He seem to be ill.** 「彼は病気のようなだ」**He seems to have been ill yesterday.** 「彼は昨日病気だったようだ」**He seems to have been ill for a week.** 「彼は1週間病気のようなだ」

(4)

S seem to V/S seem to have p.p.は、It seems that SV...で書き換えることができる。書き換えは以下の手順である。なお、“S appear to V” “S is thought to V” “S is believed to V”も同じように、It ~ that SV...で書き換えることが可能である。

①It を S と置換

⇒②seem の(無)変換 *人称に注意

⇒③時制の比較：同じ場合 to V / ずれている場合(不定詞のほうが過去)to have 過去分詞

(1) 時制が同じ場合

It seems that he is interested in science.

彼は科学に興味があるとされている。

⇔**He seems to be interested in science.**

①It を he と置換②seems そのまま③seems と is がともに現在形なので is を to be に置換

(2) that 節ないの時制がひとつ古い場合

It seems that he was interested in science.

彼は科学に興味があったとされている。

⇔**He seems to have been interested in science.**

①It を he と置換②seems そのまま③was は seems よりも古い時制なので、was を to have been に置換

NO14 《動名詞 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《動名詞 TEN》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

(1) 明りをつけてくれませんか。

Would you mind () on the light?

①turn ②to turn ③turning ④turned

(2) 私はそんなに朝早く起きることに慣れていない。

I'm not accustomed () up so early.

①get ②getting ③to getting ④to have gotten

(3) あなたからの便りがすぐにあることを楽しみにしています。

I am looking forward () from you soon.

①to hearing ②to be heard ③to hear ④hearing

(4) 明日私たちに何が起きるかはわからない。

There is () what will happen to us tomorrow.

①no having told ②not to tell ③not telling ④no telling

(5) 私は生徒を見分けることが少し難しい。

I had some difficulty () one student from another.

①and telling ②on telling ③in telling ④to telling

(6) 私の母は私が怠慢であると文句を言っている。

My mother complains of () too lazy.

①my being ②me to be ③I am ④I being

(7) 彼は私がお金を払うよう主張した。

He insisted () the money.

①on my paid ②on my paying ③on pay ④paying on my

(8) だれもそこにそんな美しい湖があるとは夢にも思わなかった。

Nobody dreamed () such a beautiful lake there.

①to be ②there being ③of there being ④it to be

(9) その母親は子供たちに暗くなってから公園で遊んではいけないと言った。

The mother insisted on her children () in the park after dark.

①not to have played ②having not to play

③not to play ④not playing

(10) 彼は決して学校に遅刻したことがないことを誇りに思っている。

He is proud () late for school.

①never have been

②never of being

③in never being

④of never having been

- (1) Would you mind () on the light?
目的語に動名詞のみを獲る動詞：mind Ving 「Ving することを気にする」
- (2) I'm not accustomed () up so early.
注意する動名詞を用いた慣用表現：be used[accustomed] to Ving 「Ving に慣れている」
- (3) I am looking forward () from you soon.
注意する動名詞を用いた慣用表現：look forward to Ving 「Ving を期待している」
- (4) There is () what will happen to us tomorrow.
動名詞の重要構文：There is no Ving...=It is impossible to V...=We cannot V...
- (5) I had some difficulty () one student from another.
動名詞の重要構文：have difficulty[trouble] (in) Ving... 「Ving...して苦勞する」
- (6) My mother complains of () too lazy.
動名詞の意味上の主語：所有格[目的格] Ving
- (7) He insisted () the money.
動名詞の意味上の主語：所有格[目的格] Ving : insist that SV...⇔insist on (S) Ving
- (8) Nobody dreamed () such a beautiful lake there.
動名詞の意味上の主語：there being ...の場合
- (9) The mother insisted on her children () in the park after dark.
動名詞の否定：直前に not を置く
- (10) He is proud () late for school.
動名詞の完了形：主節の V より過去の時制[完了]をあらわす場合は、having 過去分詞にする。

【2】(1)③(2)③(3)①(4)④(5)③(6)①(7)②(8)③(9)④(10)④

【3】〔文法総合⑥〕《動名詞》

解答時間 10分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

(1)ルーシーは3人の妹がいる。彼女は、子供の世話を慣れている。

Lucy has three younger sisters. She is used () care of children.

①to taking ②to take ③taking ④being taken

(2)「今日、何したいですか」「ドライブに行きたいです」

“What would you like to do today?”“I feel like () for a drive.”

①going ②I go ③I’m going ④to go

(3)私は列車で老婆に親切にしなかったことを恥ずかしく思っている。

I am ashamed () kind to the old woman on the train.

①not of having been ②of having been not

③of having not been ④of not having been

(4)逃げようとしても無駄だ。

It is no () to escape.

①using to try ②use trying ③using try ④use to tries

(5)彼女がその試験に合格すると確信している。

I’m sure () the exam.

①her to pass ②of her passing③her of passing ④to her pass

(6)明日、私たちに何が起こるかわからないが、すべてがうまくいくことを願っている。

There is () what will happen to us tomorrow, but let’s hope all goes well.

①not having told ②no telling ③not telling ④not to tell

(7)あなたに会えてよかった。あなたから手紙をもらえることを楽しみにしています。

It was nice to see you, and I look forward to () from you.

①be heard ②hearing ③hear ④having heard

(8)いつ大地震が来るかわからない。

() no telling when we will have a big earthquake.

①It is ②That is ③We’re ④There is

(9)彼らは手紙を書くのに忙しい。

They are busy () letters.

①written ②to write ③writing ④write

(10)サトは、馬に乗るのが怖い。

Ms. Sato is afraid of () a horse.

- ①ride ②riding ③to ride ④being ridden

(11)私はスピーチコンテストで勝ったことを誇りに思っています。

I'm proud of () the speech contest.

- ①having won ②my won ③I won ④that I have won

(12)「この気候は、大変ではないですか」「少し。でも、しばらくすれば暑さに慣れます」 “Doesn't this climate bother you?” “A little, but after a while one gets used () hot.”

- ①be ②for being ③to be ④to being

(13)ここで電話をしてもよいですか。

Do you mind () here?

- ①me to get to call ②me to make a phone call
③my getting to call ④my making a phone call

(14)回線が普通です。電話を利用しても無駄である。

The line is dead. There is no use () to use the phone.

- ①trying ②be trying ③to try ④have to try

(15)私の妹は、私がひとりでもんだを解決すべきだと主張した。

My sister insisted () the problem by myself.

- ①me to solve ②on me to solve
③on my solving ④that I should be solved

【3】〔文法総合⑥〕《動名詞》(1)①(2)①(3)④(4)②(5)②(6)②(7)②(8)④(9)③(10)②(11)①(12)④(13)④(14)①(15)③

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) .

Being internationally-minded is, I believe, first and foremost a state of mind; it is having a positive attitude toward foreign people and cultures. It is seeing foreigners as human beings who share the same basic emotions of love, happiness and sadness.

(注) being internationally-minded 「国際的視野を持つこと」 first and foremost 「まず第一に」

(2)

Recent dream research has shown that a person deprived of dreaming, even though not deprived of sleep, is nevertheless wired in his ability to manage reality. He becomes emotionally disturbed because of being unable to work out in dreams the unconscious problems that confuse him.

(3) 《東京医科歯科大》

Our own ancestors long ago left fruit behind as the main source of their nutrition. Between 1 and 2 million years ago, fruit had been largely replaced by meat and by foods such as roots. But even though our early hominid ancestors stopped relying heavily on fruit, humanity shares a deep evolutionary background with other primates. It seems likely that the taste for alcohol arose during that long shared past.

(注) nutrition [nju:ˈtrɪʃən] 「栄養」 hominid [hámənid] 「人科の」

(4) 《下関市立大》

One young mother told me, “I remember listening to another child reading a sophisticated story when my daughter was not yet interested in *The Cat in the Hat*. I was consumed with feelings of jealousy. I found myself not only wishing my child could read like this other child, but that this small, innocent four-year-old would hit a three-syllable word and fall silent. At this point, I realized the *viciousness in my envy, and I didn’t like what I saw.”

(注) *The Cat in the Hat* 「シオドア・スース・ガイゼル(通称ドクター・スース)の書いた童話で、帽子を被った悪戯好きの猫が登場する映画。邦名『ハットしてキャット』」 viciousness 「邪悪」「不道徳」 tailored 「tailor ～」 ～を〔特別の目的・対象のために〕合せる〔to〕

(5) 《京都大》

Glad that we were at last on a bus, we went upstairs in order to take full advantage of the view. All went well until the crossroads two miles from Oxford, where the bus came to an unscheduled halt. Its gears screamed fruitlessly and fell silent.

We went downstairs. The door was open and the driver was not in his seat. The other passengers seemed tied to theirs. “You can’t get out,” said a man, who was clearly obeying the rule about **not leaving** a bus unless it is standing at a stop.

【4】(1) positive [pəzətɪv] 「前向きな、肯定的な」 see A as B 「AをBと見なす」 an emotion [ɪməʊʃən] 「感情」
(2) deprive A of B [dɪpraɪv] 「AからBを奪う」 nevertheless 「しかしながら」 emotionally 「感情的に」 disturb A [dɪstə:rb] 「Aを邪魔する」 unconscious [ʌnknəʃəs] 「無意識な、無意識の」 confuse A [kənˈfju:z] 「Aを混乱させる」
(3) an ancestor [ˌænsesətər] 「祖先」 replace A [rɪpleɪs] 「Aにとって代わる」 rely on A 「Aに依存する」 (=depend on A)
evolutionary [ˌevələʃənəri] 「進化の」 background [ˌbækgraʊnd] 「背景」 a primate [ˈpraɪmɪt] 「霊長類(の動物)」 arise [əˈraɪz] -arouse-arisen
(4) sophisticated [səfɪstəkeɪtɪd] 「教養[知識]人向きの」「高級な」 innocent [ɪnəsnt] 「無邪気な」「罪のない」 syllable [ˈsɪləbl] 「音節」 envy [ˈenvi] 「ねたみ」「嫉妬」
(5) take advantage of A 「Aを利用する」 came to a halt 「停止する」 unscheduled 「予定外の」 a gear 「ギア」「変速装置」 scream [skri:m] 「悲鳴を上げる」 obey A 「Aに従う」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1)

The quality of our living, as human beings, depends very largely on the kind and quality of our feelings, and the quality of our feelings depends partly on our having learned to distinguish true from false feeling, and on our readiness to accept for ourselves, when necessary, the readjustment consequent upon such a recognition.

(2) 《首都大》

When H.G. Wells accused Henry James in a letter of having sacrificed his life to art, James replied, with characteristically artful indignation: 'I live, live intensely, and am fed by life, and my value, whatever it might be, is my own kind of expression of that. Art makes life, makes interest, makes importance.' James's value, he asserts, is in his expression of what he is fed by. Something called life, lived intensely, feeds him; and he makes something of it, something of his own, called art.

(注) H.G. Wells 「H.G. ウェルズ」小説家 Henry James 「ヘンリー・ジェイムズ」小説家 indignation [ɪndɪɡneɪʃən] 「憤り」「憤慨」

発展問題(1)quality [kwɒlɪti] 「質」 S depend on A 「SはAに依存する」「SはA次第である」 partly 「一部」 distinguish A from B [dɪstɪŋɡwɪʃ] 「AとBを区別する」 readiness [ˈredɪnɪs] 「意欲」 (be ready to V 「進んでVする」) accept 「受け入れる」 for oneself 「自ら」 readjustment [riːədʒʌstmənt] 「再調整」 consequent [kɒnsɪkwənt] 「結果として生じる」 recognition [rɪkəɡnɪʃən] 「認識」

(2)sacrifice A 「Aを犠牲にする」 characteristically [kærəktərɪstɪkəlɪ] 「特徴的に」「かなり」 intensely [ɪntensɪli] 「激しく」

自習問題 [整序英作文] 《分詞》

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 彼は若いとき怠慢であったことを悔やんでいる。
He (of / lazy / repents / been / having) in his youth. 〈九州産大〉
- (2) 彼を待ってもむだなようだ。
There (in / be / appears / sense / to / no) waiting for him. 〈近畿大〉
- (3) ホームズは誰にも気づかれずに部屋から出ていった。〈日本福祉大〉
Holmes (by / of / the / out / without / went / noticed / room / anyone / being).
- (4) 彼女は他人が自分のことを笑っていると思ってとても動揺した。(1語句不要) 〈福岡大〉
She was so upset (of / at her / the thought / the others / laughing / at / because).
- (5) トムは弟を泳ぎがよくできないので見下している。〈神戸女学院大〉
(at / being / brother / down / for / good / his / looks / not / on / swimming / Tom).
- (6) そのことで田中氏と議論してもむだだ。
(is / use / Mr. Tanaka / it / arguing with / no / about it). 〈梅花女子大〉
- (7) 彼はこの分野でさらに研究しても無駄だと思った。〈立命館大〉
He (in / no / studying / point / that / there / thought / was) further in this field.
- (8) 担当者は、書類の送付が大幅に遅れたことを謝った。〈中央大〉
(sending / apologized / the long / in / in charge / delay / the person / for) the documents.
- (9) こんな場所があるとは誰も夢にも思わなかった。
(a / being / dreamed / no / of / one / place / such / there). 〈東京理大〉
- (10) あらゆることを前もって計画すると、私たちは自分の時間を最大限に活用することができる。
() () () () time () () () () () ().
①to ②of ③planning ④us ⑤our ⑥everything ⑦maximize
⑧time ⑨allows ⑩ahead
- (11) 一番の理由は、彼らがクラス討論に参加することに慣れていないことだ。
The main reason is that (accustomed / participating / in / are / to / they / not) class discussion.
- (12) 結婚するとなると、男は実際何を考えるものだろうか。〈玉川大〉
(comes / married / when / to / it / getting), what does a man really think?

- (13) とても珍しいコートなので、それを見つけるのはわからないと思います。It is a very unusual coat, so I (don't / have / suppose / will / finding / you / any / trouble) it.
- (14) できるだけ早いお返事をお待ちしております。〈金城学院大〉
I (from / hearing / you / to / at / forward / earliest / look / your / convenience).
- (15) ナンシーは人前で話すのに慣れていない。
(public / not / to / speeches / in / Nancy / is / making / used).
- (16) 私と一緒にちょっと散歩しませんか。(1語不要)
What (to / you / say / do / how) taking a short walk with me?
- (17) 他人のあらさがしをする癖をなおすのに苦労しました。〈慶應大〉
I had difficulty (fault / finding / getting / habit / in / of / over / the / with) others.
- (18) 東京にいつ激しい地震があるか誰にもわからない。〈法政大〉
There (in / knowing / will / no / is / Tokyo / a / happen / when / severe / earthquake).
- (19) あまりたくさん仕事があると、何もしたくなくなることもある。〈龍谷大〉
If one has too many things to do, one may (anything / feel / doing / like / not) at all.
- (20) 健康が富に勝ることは言うまでもない。
(above / goes / health / is / it / saying / that / wealth / without).

自習問題 [整序英作文] 《分詞》

(1) repents of having been lazy (2) appears to be no sense in (3) went out of the room without being noticed by anyone (4) at the thought of the others laughing at her (because 不要)(5) Tom looks down on his brother for not being good at swimming (6) It is no use arguing with Mr. Tanaka about it (7) thought that there was no point in studying (8) (The person in charge apologized for the long delay in sending) the documents. (9) (No one dreamed of there being such a place). (10) ③⑥⑩②・⑨④①⑦⑤⑧ (11) they are not accustomed to participating in (12) When it comes to getting married (13) don't suppose you will have any trouble finding (14) look forward to hearing from you at your earliest convenience (15) Nancy is not used to making speeches in public (16) do you say to (how 不要) (17) in getting over the habit of finding fault with (18) is no knowing when a severe earthquake will happen in Tokyo (19) not feel like doing anything (20) (It goes without saying that health is above wealth).

NO15 《動名詞Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法] 《動名詞》

空所に入れるのに最も適切な語句を，下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) It is no use () to persuade him. 〈徳島文理大〉
①try ②of trying ③trying ④tried
- (2) There is () in standing when there are seats available. 〈早稲田大〉
①one another ②what is more ③each other ④no sense
- (3) You aren't allowed to take photographs, so () a camera.
①it's no point to take ②there's no point to take
③there's no point in taking ④it's no point in taking
- (4) I am looking forward () you soon.
①to seeing ②to see ③see ④seeing
- (5) My husband is an expert when it comes () Chinese food.
①to cook ②to cooking ③for cooking ④of cooking
- (6) What do you say () a cup of coffee?
①to take ②to taking ③for taking ④about taking
- (7) Linda was sixteen but had no trouble () for twenty.
①passing ②passed ③past ④pass
- (8) At first, I had difficulty () people when they spoke too fast.
①understanding ②for understanding
③to understand ④understand 〈京都産大〉
- (9) It goes without (), if you are tired, you should take a rest.
①thinking ②telling ③asking ④saying
- (10) I feel like () to bed early tonight.
①go ②go up ③to go ④going
- (11) I was busy () my mother wash the dishes.
①helped ②to help ③helping ④help
- (12) There is no () what will happen in the near future.
①to know ②knowing ③known ④knowingness

【3】 [整序] 《動名詞》

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) あなたが彼に援助を求めても無駄というものです。
It's no (begging / for / help / him / use / your). 〈慶應大〉
- (2) 彼にスタジアムへの行き方を聞いても無駄でしょうね。〈神奈川大〉
There would be (asking / directions / for / him / no / point / the / to) stadium.
- (3) 一番の理由は、彼らがクラス討論に参加することに慣れていないことだ。
The main reason is that (accustomed / participating / in / are / to / they / not) class discussion.
- (4) とても珍しいコートなので、それを見つけるのはわかりません。
It is a very unusual coat, so I (don't / have / suppose / will / finding / you / any / trouble) it.
- (5) できるだけ早いお返事をお待ちしております。
I (from / hearing / you / to / at / forward / earliest / look / your / convenience).
- (6) 車といえば日本にかなう国はない。(カンマを1箇所用いる) 〈東京薬大〉
When (country / comes / compete / cars / Japan / can / with / it / no / to).
- (7) 他人のあらさがしをする癖をなおすのに苦労しました。〈慶應大〉
I had difficulty (fault / finding / getting / habit / in / of / over / the / with) others.
- (8) 東京にいつ激しい地震があるか誰にもわからない。
There (in / knowing / will / no / is / Tokyo / a / happen / when / severe / earthquake).
- (9) あまりたくさん仕事があると、何もしたくなくなることもある。
If one has too many things to do, one may (anything / feel / doing / like / not) at all.
- (10) 健康が富に勝ることは言うまでもない。
(above / goes / health / is / it / saying / that / wealth / without).

【2】 [文法] 《動名詞》 (1) ③(2) ④(3) ③(4) ① (5) ② (6) ② (7) ① (8) ①(9) ④(10) ④(11) ③(12) ②

【3】 (1) use your begging him for help (2) no point asking him for directions to the (3) they are not accustomed to participating in (4) don't suppose you will have any trouble finding (5) look forward to hearing from you at your earliest convenience (6) it comes to cars, no country can compete with Japan (7) in getting over the habit of finding fault with (8) is no knowing when a severe earthquake will happen in Tokyo (9) not feel like doing anything (10) (It goes without saying that health is above wealth).

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(6)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《岐阜大》

Human mind and culture have developed a formal system of thought for recognizing, classifying, and exploiting patterns. We call it mathematics. By using mathematics to organize and systematize our ideas about patterns, we have discovered a great secret: nature's patterns are not just there to be admired, they are vital clues to the rules that govern natural processes.

(2)

It seemed an obvious question to ask how animals inherit the result of their parents' experience, and enormous amounts of time and energy have been spent on trying to give an answer to it. It is, however, no good asking the question, for the simple reason that no such inheritance of acquired characters exists.

(3)

Children today are different from children in former centuries. They know more, they experience more, they mature more quickly in every way. When I compare my own very narrow and limited childhood with the freedoms and pleasures today's children expect as a natural right, I cannot help wishing I was a little boy again.

【4】 (1)recognize A [rékəgnàiz] 「A を認識する」 classify A [klæsəfài] 「A を分類する」 exploit A [éksplɔit] 「A を活用する」 organize A [ɔ:rgənàiz] 「A を体系化する」 「A をまとめる」 systematize A [sístəmətàiz] 「A を分類する」
(2) obvious [ábviəs] 「明らかな」 inherit A [inhérit] 「A を引き継ぐ」 enormous [ino:rməs] 「多量の」 for the simple reason that SV... 「SV...というりゆうだけで」 acquired [əkwáíərd] 「後天的な」 a character [kæréktər] 「特徴」
(3)mature [mətjúər] 「成熟する」 compare A with B 「A と B を比べる」 a natural right 「当然の権利」

(4) 《山口大》

Children often suffer the most from adult prejudices and fears that the ethnic and racial divisions are falling. For example, Japanese children who have lived in America for some years, have difficulty adjusting to Japanese life once they return to Japan, even though they may speak and read Japanese at the same level as their peers. Often, they are not readily accepted by Japanese society because they ‘don’t think or behave like Japanese.’

(注) ethnic [éθnik] 「民族的」

(5) 《富山大》

After that night, I started carrying a pencil with me wherever I went. It became a habit of mine never to leave the house without making sure I had a pencil in my pocket. It’s not that I had any particular plans for that pencil, but I didn’t want to be unprepared. I had been caught empty-handed once, and I wasn’t about to let it happen again.

(注) empty-handed 「手ぶらで」

(6)

People who actually use the Internet report meeting many new people. Of course, most of these new friends are made by computer. But that doesn’t stop people from going out. Exchanging E-mail messages is often just a way of getting to know someone else before meeting him or her in person.

(3) a prejudice [prédʒudis] 「偏見」 racial [réiʃel] 「人種的」 adjust to A [ədʒʌst] 「A に順応する」 once SV... 「いったん SV...すると」 readily [rédiili] 「すぐに」

(4) make sure SV... 「SV...するのを確かめる」 It is not that SV... 「SV...だからではない」 unprepared 「準備していない」

(5) actually [æktʃʊəli] 「実際」 exchange A [ekstʃéindʒ] 「A をやりとりする」 get to V 「V するようになる」 in person 「直接」 「本人が」 (=directly)

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1)

In trying to manage a language not our own, we find ourselves having to simplify ourselves, committed not to making impressive sentences, but just to making sense. Instead of hiding behind the complicated web of fancy expressions, we are forced to come out into the open and state in simple terms what exactly it is we want to say.

(2) 《北九州市立大》

One of Steve Jobs's great strengths was knowing how to focus. "Deciding what not to do is as important as deciding what to do," he said. "That's true for companies, and it's true for products."

He went to work applying this principle as soon as he returned to Apple. One day he was walking the halls and ran into a young assistant to the previous CEO who said he was just finishing his work. "Well, good, because I need someone to help me," Jobs told him. His new role was to take notes as Jobs met with dozens of product teams at Apple and made them explain what they were doing. He forced them to tell him why their projects or products were worth going ahead with.

(注) CEO 「最高経営責任者」

(3)

Three things are required at a university: professional training, education of the whole man, and research. One cannot be cut off from the others without destroying the intellectual substance of the university and without at the same time crippling itself. All three are factors of a living whole. By isolating them, the spirit of the university perishes.

(注) cripple A [kripl] 「A を無力化する」

発展問題(1) manage [mænidʒ] 「やりくりする」 find oneself Ving 「気づけば Ving している」 simplify A [sɪmpləfaɪ] 「A を単純化する」 be committed to A [kə'mɪtɪd] 「A に専心する」 complicated [kəm'plɛkətɪd] 「複雑な」 be forced to V 「V をせざるを得ない」 in simple terms 「簡単な言葉で」

(2) A be true for B 「A は B に当てはまる」 principle [prɪnsəpl] 「原則」 take notes 「メモをとる」 dozens of A 「数十の A」

(3) require A [rɪkwáɪə] 「A を要求する」 substance [sʌbstens] 「実質」 perish [pəriʃ] 「死滅する」

構文解説

(1)

Ving...で始まる文では、後続の形によって、Ving の働きによって、用法が異なる。V が続く場合は、Ving は V の主語となる動名詞となる。Ving のあとに、, SV...(通例カンマ(,)がある)が続く場合は、Ving は分詞構文(副詞的用法)であり、様々な意味を表す。

(2)

前置詞の後ろには名詞がくるの原則である。従って前置詞の後ろに動詞続けたい場合は動名詞にしなければならない。〈前置詞+動名詞〉には、慣用的なものが多い。on Ving 「～するとすぐに(時)」 in Ving 「～するときに(時)、～する点で」 by Ving 「～することで(手段)」 without Ving 「～なしで」 for Ving 「～して(理由)」

(3)

動名詞に含まれる動詞には、意味の上での主語が必ずある。主語を明示する場合は、動名詞の前に、所有格または目的格の名詞・代名詞を動名詞の前に置く。名詞の場合は、目的格にすることが多い。

(4)

Ving は述語動詞と同じ時制を表すのが原則(例外は、**remember/forget** 等)である。述語動詞よりも前の時制を表す場合は、**having** 過去分詞(完了動名詞)を用いる。He is proud of being a member of the team. 「彼はそのチームのメンバーであることを誇りに思っている」 He is proud of having been a member of the team. 「彼はそのチームのメンバーであったことを誇りに思っている」

He seem to be ill. 「彼は病気ようだ」 He seems to have been ill yesterday. 「彼は昨日病気だったようだ」 He seems to have been ill for a week. 「彼は1週間病気ようだ」

(5)

妨害を表す動詞は、S prevent O from Ving 「Sによって、OはVingできない(直訳SはOがVingするのを妨げる)」の無生物主語でよく用いられる重要な構文である。同じ形で用いられる動詞に、discourage A from Ving 「AにVingを思いとどまらせる」 dissuade A from Ving 「AにVingを思いとどまらせる」 hinder A from Ving 「AがVingするのを妨げる」 keep A from Ving 「AにVingさせない」 prohibit A from Ving 「AがVingするのを禁じる」がある。

(6)

be worth の後に用いられる動名詞(不定詞は不可)は、目的語がかけた形になるのが原則。(○) This city is worth going to. (○) This city is worth visiting. (×) This city is worth going.)

(7)

remember Ving は、過去のことについて「Vしたことを覚えている」の意味、**remember to V** は未来(これからする)のことについて「忘れないでVする」の意味で用いられる。反意語の **forget** も同じ使い方をする。**forget Ving** は「Vしたことを忘れる(過去)」、**forget to V** は「Vしなければならないことを忘れる、Vし損ねる(未来)」の意味を表す。

(8)

it is no use [good] Ving 「～してもむだだ」 There is no V ing 「～することはできない」 (=It is impossible to V) cannot help V ing 「～せざるを得ない」 (=cannot (help) but+原形不定詞) be worth V ing 「～する価値がある」 ※Ving の後続部はOが欠如した形になる。主語が目的語として機能している。on Ving 「～するとすぐに、～する時」 in Ving 「～する時に」 by Ving 「～することによって」 never V without Ving 「Vすると必ずVingする」

NO16 《分詞 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《分詞 TEN》

解答時間 6分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) ここから見ると、その石はライオンのように見える。
 () from here, the stone looks like a lion.
 ①Seeing ②To see ③Seen ④Having seen
- (2) 何をすべきかわからなかったので、私は黙っていた。
 () what to do, I remained silent.
 ①Don't knowing ②No knowing ③Not knowing ④Knowing not
- (3) 彼は試験の準備で忙しい。
 He is busy () ready for the examination.
 ①getting ②to get ③got ④gotten
- (4) 北海道への旅はとても退屈だったけれども、私はそれを楽しんだ。
 Although my trip to Hokkaido was very (), I enjoyed it.
 ①excited ②exciting ③tired ④tiring
- (5) 彼は腕を組みながらソファに横になり、すぐに眠りに落ちた。
 He lay on the sofa with his () and soon fell asleep.
 ①arms folded ②arms folding ③fold arms ④folding arms
- (6) あなたを待たせてごめんなさい。
 I'm sorry to have kept ().
 ①waiting you ②you waited ③you waiting ④you wait
- (7) 彼女の声は大きな部屋でははっきりと聞こえなかった。
 She could not make herself () clearly in the large room.
 ①hear ②hears ③heard ④to hear
- (8) 彼女は子供たちに囲まれて座っていた。
 She sat () her children.
 ①surround ②surrounding ③to surround ④surrounded by
- (9) コンピューターを付けた後で、秘書は重要なメールを上司に送った。
 () on a computer, the secretary sent the important e-mail to her boss.
 ①Turn ②Turns ③Turned ④Having turned

(10) 前日雨だったので、ピクニックは延期された。

() raining the day before, the picnic was postponed.

①It having started

②It has started

③It has been started

④Having been started

(1) Seen from here, the stone looks like a lion.

分詞構文の意味上の主語は、文(主節)の主語に一致。

(2) Not knowing what to do, I remained silent.

分詞構文の否定：not Ving/過去分詞

(3) He is busy getting ready for the examination.

分詞構文の重要構文：be busy Ving 「Ving して忙しい」

(4) Although my trip to Hokkaido was very tiring, I enjoyed it.

感情を表わす動詞派生の形容詞の識別：[現在分詞]=「使役」/過去分詞=[受身]

(5) He lay on the sofa with his arms folded and soon fell asleep.

付帯状況を表わす with O C : O=C の関係に注目

(6) I'm sorry to have kept you waiting.

第 5 文型(SVOC)の補語になる分詞：O=C の関係に注目

(7) She could not make herself heard clearly in the large room.

第 5 文型(SVOC)の補語になる分詞：make oneself understood in A 「A が通じる」

(8) She sat surrounded by her children.

第 2 文型(SVC)の補語になる分詞：S=C の関係に注目

(9) Having worked on a computer, the secretary sent the important e-mail to her boss.

分詞構文の完了形：文(主節)の時制よりも過去またはその時点の完了を表わすときは having 過去分詞

(10) It having rained the day before, the picnic was postponed.

分詞構文の意味上の主語：文(主節)の主語と異なる場合は、明示する。

【3】〔文法総合⑦〕《分詞》

解答時間 15分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選べ。

- (1) 休日が終わったので、私たちは今一生懸命働かなければならない。
The holidays () over, we must now get down to some hard work.
①went ②finished ③have come ④being
- (2) 生徒に与えられたテストは、かなり難しかった。
The () to the students were very difficult.
①given tests ②giving tests ③tests given ④tests giving
- (3) 私はたいてい玄関のドアを閉めたままにしている。
I usually keep the front door ().
①lock ②to lock ③locking ④locked
- (4) どちらの身とを選ぶべきかがわからなかったので、私は忠告を求めることを決心した。
Not () which course to take, I decided to ask for advice.
①being known ②to know ③known ④knowing
- (5) 私の母は、目を閉じたまま椅子に座っていた。
My mother was sitting in the chair with her eyes ().
①close ②closing ③to close ④closed
- (6) 飛行機から見ると、その湖は大きなドーナツのように見える。
() from the airplane, the lake looks like a huge doughnut.
①See ②Seeing ③Seen ④Having seen
- (7) 彼女は昨晚、誕生日ケーキの燃えているろうそくを吹き消した。
She blew out the () candles on the birthday cake last night.
①burning ②burnt ③burn ④to burn
- (8) 公園にいた時、私は一人の少女がベンチでリンゴを食べているのを見た。
When I was in the park, I saw a girl () an apple on a bench.
①eats ②to eat ③eating ④ate
- (9) メジャーリーグの野球について言えば、私はイチローの大ファンである。
() of Major League baseball, I am a great fan of Ichiro.
①Talking ②Discussing ③Saying ④Arguing
- (10) 何を言っているかわからなかったので、私は黙っていた。
() what to say, I kept silent.
①No known ②Not knowing ③Don't know ④Knowing not

- (11) 「クリスがスキーで事故を起こしたことを知っている?」「うん。彼は足を負ったが、大丈夫だと思うよ」
“Do you know that Chris had a skiing accident?”
“Yes. He has a () leg, but I think he’ll be OK.”
①breaking ②broke ③broken ④break
- (12) 彼女は午後ずっと座ってテレビを見ていた。
She sat all afternoon () TV.
①watching ②was watching ③had watched ④watched
- (13) 彼女の英語は通じなかった。
She couldn’t make herself () in English.
①understood ②understands ③to understand ④understanding
- (14) “psychology”という言葉は、あなたの辞書では“P”の下に記載されていないます。
You will find the word “psychology” () under “P” in your dictionary.
①have listed ②listed ③list ④listing
- (15) 私は壊れた椅子を修理しなければならない。
I have to repair the () chair.
①break ②broke ③broken ④breaking
- (16) 彼女は英語を完璧には話すことができないが、ほとんどの状況で彼女の英語は通じる。
She can’t speak English perfectly, but she can make herself () in most situations.
①to understand ②understood ③understanding ④understand
- (17) ケイトは非常に速く英語を話します。私はあれほど速く英語が話されるのを聞いたことがない。
Kate speaks English very fast. I’ve never heard English () so quickly.
①speak ②speaking ③spoken ④to speak
- (18) 簡単な英語で書かれているので、その本は多くの英語の学習者によって読まれた。
() in simple English, the book was read by many English learners.
①Write ②Writing ③Written ④Have written
- (19) 待たせてごめんなさい。
I am sorry to have kept you ().
①waiting ②wait ③waited ④to wait
- (20) 雨だったので、マイクは昨日家にいた。
It () rainy, Mike stayed home yesterday.
①is ②was ③being ④been

(21)ジェリーは腕を組みながら一時間たち続けている。

Jerry has been standing for an hour with his arms ().

①are folding ②folded ③folding ④to be folded

(22)空模様から判断すると、雨になりそうだ。

() from the look of the sky, it looks like rain.

①Judges ②Judging ③Judgement ④Judged

(23)私はジョンソンが講演で歩いているのを見た。

I saw Mr. Johnson () in the park.

①walks ②walked ③to walk ④walking

(24)その川で泳いでいる少年は誰だ。

Who is the boy () in the river?

①swims ②swimming ③swam ④is swimming

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《お茶の水女子大》

It is extremely difficult to discover what goes on when people write. Direct observation of someone engaged in writing or typing tells us little about what is happening “beneath the surface.” And direct observation of the written product gives very limited information, for it fails to preserve the order in which revisions are made, or the amount of time devoted to producing any part of it.

(注) beneath the surface 「水面下」

(2) 《お茶の水女子大》

But class is still a powerful force in American life. Over the past three decades, it has come to play a greater, not lesser, role in important ways. At a time when education matters more than ever, success in school remains linked tightly to class. At a time when the country is increasingly integrated racially, the rich are isolating themselves more and more. At a time of extraordinary advances in medicine, class differences in health and lifespan are wide and appear to be widening.

(注) integrate A [ɪntəgrɛɪt] 「統合する」 racially [reɪʃəli] 「民族的に」

(3)

At your age of eighteen, it is imperative to have a vision in front of you of what to be doing in ten years' time. That period between twenty and thirty years of age is the most critical of all learning periods. If you do not get the required study you need for your future work accomplished during these years, you will more than likely not get it done at all.

(注) imperative [ɪmpəˈrətɪv] 「不可欠な」

(4) 《山形大》

When Lisa was about four, I made one of my frequent visits to her family. Knowing her interest in reading, I brought with me some materials that I had been using in teaching reading at school — some charts associated with a method called Words In Color. By this time, I knew better than to try to give these materials the hard sell; children learn very early to be wary of too much adult enthusiasm.

(注) Words In Color 「ワーズ・イン・カラー」(色彩で教える語い) give A the hard sell 「A を熱心に勧める」

(5)

Agriculture is by far the largest consumer of water, swallowing 60 percent of global consumption. While many believe irrigation a modern necessity, its inefficient systems lead to a 40-60 percent evaporation. Industry accounts for 32 percent of global water consumption. Often used for cooling, much of the water can be treated and recycled, but in most cases is drained as waste.

(注) irrigation [irə'gɛɪʃən] 「灌漑」 evaporation [ivə'pɔːrɪʃən] 「蒸発」

【4】(1)extremely [ekstri:mli] 「極端に」 go on 「起こる、生じる」 limited 「限られた」 preserve A [pri(:)zə:rv] 「A を保存する」 a revision [rivɪʒən] 「書き直し」 be devoted to A 「A に捧げられる」「A にあてられる」

(2) play a part 「役割を果たす」 matter(自動詞) 「重要である」 tightly [taitli] 「強く」「しっかりと」 increasingly [inkri:sɪŋli] 「ますます」 isolate A [áɪsələɪt] 「孤立化する」「引きこもる」 extraordinary [ekstrə:rdənəri] 「並外れて、異常なほど」 lifespan 「寿命」

(3)critical [kritikəl] 「決定的な」 required 「必要とされる」 accomplish A [əkəmplɪʃ] 「A を成し遂げる」 more than likely 「おそらく」

(4) made one of my frequent visits to A 「A に短期滞在する」 a material [mə'tiəriəl] 「教材」「素材」 a chart [tʃɑ:rt] 「図表」 associate A with B 「A と B を結びつける」 know better than to V 「V するほど愚かではない」 be wary of A [wéeri] 「A を警戒する」 enthusiasm [enθju:zi'æzəm] 「熱心」「熱狂」

(5) consumer [kɒnsju:mər] 「消費するもの」「消費者」 global consumption 「地球(全体)の消費」 a necessity [nəsésəti] 「必要なもの」「必需品」 inefficient [inefɪʃənt] 「非率な」 recycle A [ri:sáikl] 「A を再利用する」 drain [dreɪn] 「排出する」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《山形大》

Finland, according to a major international survey, has the best educational system in the world. This news comes after several other studies showing that Finland has the highest rate of teen literacy in the world, the highest percentage of ‘regular readers,’ and the most ‘creatively competitive’ economy, according to the World Economic Forum.

(注) literacy [lɪtərəsi] 「読み書き能力」 ‘creatively competitive’ [kəmpətətɪv] 「創造性における競争力が高い」

(2) 《九州大》

One woman who knows too well the shocking impact of smoking is 63-year-old Audrey Jones. Having lost her husband due to lung cancer in 2000, she couldn’t believe her misfortune when she was also diagnosed with this disease in March this year.

“I had been experiencing back pain for many months, so I eventually went to the doctor in February this year to see what the problem was,” Audrey said. “I just thought it was due to spending years sitting in front of a computer. Had I known what it was, I would have seen the doctor immediately. Lung cancer was the last thing I thought of,” she continued. “My first reaction when I heard the diagnosis was how to tell my three adult children and bring this sorrow upon them again.”

(注) lung cancer 「肺がん」 be diagnosed with A [dàɪəgnəʊst] 「A と診断される」 diagnosis [dàɪəgnəʊsɪs] 「診断」

発展問題(1)survey[sərvéi] 「調査」 (2)misfortune [mɪsfɔːrtʃən] 「不運」 eventually [ɪvɛntʃuəli] 「ついに」 immediately [ɪmɪːdiətli] 「即座に」 sorrow [sárou] 「悲しみ」

構文解説

(1)

現在分詞は「～している(動作)」「～の途中である(未完成)」「～させる(与える、使役)」を表している。”現在分詞”を用いた”(現在)進行形”を元に考えればよい。過去分詞は「～し終わった(完了)(静止)」「～される(受身)」を表す。”過去分詞”を用いた”受動態”“(現在)完了”が元になっている。

(2)

現在分詞および過去分詞が名詞の後ろに置かれるものを後置修飾と呼ぶ。その場合は、修飾される名詞と現在分詞および過去分詞との間に、SV 関係が成立することに注意せよ。
例)a broken window ⇔ a window (is) broken、 a running dog ⇔ a dog is running

(3) 「SVO 現在分詞」と「SVO 過去分詞」と現在分詞または過去分詞の間に、

SVOC の文型で、C に不定詞・現在分詞・過去分詞のいずれかがくる場合は、O と C の間に、be 動詞を補って考える。O を主語として、書き換えてみよう。He kept (o)me (o)waiting. では、が成立している。I couldn't make myself understood in English. では、が成立している。なお、不定詞(原形不定詞)と現在分詞がどちらも可能である場合がある、その場合は、現在分詞は一時的動作を強調し、不定詞は動作全体を表している。

(4)

「have[ged]+O+C(=過去分詞)」は、「使役」(have[get]に強勢)と「被害」(=過去分詞)に強勢)の両方の意味で用いられる。My father had[got]the bathroom cleaned by his daughter. 「父は娘に浴室を掃除させた」(使役)I have had[got] my request refused. 「私は依頼したことを断られてしまった」(被害)

(5)

分詞構文は副詞句として、付帯状況、結果(継続)、時、原因、理由、条件、譲歩などの意味を表す。分詞構文の位置が判断の決め手になることが多い。傾向としては、①文頭にあるとき、「時、理由、条件」、②文中にあるとき、直前の名詞(主に主語)の付加的説明③文尾にあるとき、「付帯・結果(継続)」である。特に、文尾にある場合は、結果で訳すことが多い。結果の分詞構文は、and V で書き換え可能。また、条件は、おもに文頭(Turning... の形中心)で用いられ、主節に will/would が置かれる。譲歩には Admitting... 「...を認めるが」があるが、慣用的なものに限られている。

自習問題 [整序英作文] 《分詞》

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 手に花を持っている男性に話しかけている女性は誰ですか。
Who is (a man / with / the / woman / to / talking) a flower in his hand?
- (2) 先日父によって書かれた本を発見した。
The other day (by / I / written / father / discovered / book / my / a).
〈名城大〉
- (3) 私はフランスに関係のあるすべてのことに魅せられました。
I (by / connected / everything / fascinated / was / with) France.
- (4) 郊外へ通じている道は、車でいっぱいだ。
The (into / roads / of / the / full / country / are / leading) cars.
- (5) うちの庭には一年中、なにかしらの花が咲いている。(2語不要)
In my garden there are some flowers (all / another / blooming / or / other / out / round / the / year). 〈東京理科大〉
- (6) その病院ではプライバシーを守るためになんらの努力もなされていないようである。〈東京都市大〉
There (no / made / preserve / in / to / to / effort / the hospital / be / seems / privacy).
- (7) そのコンサートのチケットは、数枚残っている。
There (left / a / tickets / are / few / the / for) concert. 〈中央大〉
- (8) 自国産業のために、外国企業に門戸を閉ざしたままではいけません。
Don't (foreign enterprises / to / closed / for / keep / the door) the sake of domestic industries.
- (9) メアリーが髪を風になびかせてそこに立っているのが見えた。(1語不要) 〈慶応大〉
I saw (hair / her / Mary / standing / stood / there / waving / with) in the wind.
- (10) そんなに長いことお待たせしてすみません。
I'm sorry (you / we / waiting / kept / have) so long. 〈関東学院大〉
- (11) ドアが開け放してあったので、彼がホーキンスさんと話しているのが聞こえた。
The door was (heard / talking / and / he / open / left / was) to Miss Hawkins.
- (12) 駅への道を聞かれた時、どうしても英語を通じさせることができなかった。
When I was asked the way to the station, I could not (for / in / all / make / understood / English / myself) my efforts. 〈近畿大〉
- (13) お母さん、彼のことをじっくり考えたんだけど、どうしても結婚する気になれないの。(1語句不要)
Mom, () () him again, I really () () () () him.
[like / with / about / having thought / don't / feel / marrying]
- (14) 朝食がすすむと彼女は新聞を読んだ。(カンマを1箇所用いる)
Having (breakfast / she / the / newspaper / finished / her / read).

- (15) 父は、玄関に出るのがおっくうなので、よく居留守を使った。Being (answer / be / door, / father / my / often / out / pretended / reluctant / the / to / to).
- (16) あなたがそこに立っていても、私は歌が歌えない。
I (a song / can't / standing / with / sing / you) there. 〈梅花女子大〉
- (17) スリーマイル島の発電所の事故に刺激を受けて、何千という大学生が、原子力の利用に反対し、その抗議に加わるためワシントンに集まった。
(1 語句不要)
(the accident / at / since / by / stimulated / the Three Mile Island plant), thousands of college students gathered in Washington, D.C. to join the protest against the use of the nuclear power. 〈立正大〉
- (18) その先生は腕組みをしたまま、黒板の前に立っていた。〈愛知学院大〉
The teacher was standing in front of the blackboard (folded / arms / his / with).
- (19) 彼は読書をし、その傍らで妻が手袋を編んでいた。
He sat reading, (wife / his / gloves / knitting / with) beside him.
- (20) 彼女はほおづえをついて、もの思いにふけていた。〈福岡大〉
She was (thought / resting / lost / her head / with / in) on her hands.

自習問題 [整序英作文] 《分詞》

(1) the woman talking to a man with (2) I discovered a book written by my father (3) was fascinated by everything connected with (4) roads leading into the country are full of (5) or other blooming all the year round (another / out 不要) (6) There (seems to be no effort made to preserve privacy in the hospital). (7) There (are a few tickets left for the) concert. (8) keep the door closed to foreign enterprises for (9) Mary standing there with her hair waving (stood 不要) (10) I'm sorry (we have kept you waiting) so long. (11) left open and he was heard talking (12) make myself understood in English for all (13) having thought about / don't feel like marrying (with 不要) (14) finished her breakfast, she read the newspaper (15) Being (reluctant to answer the door, my father often pretended to be out). (16) can't sing a song with you standing (17) Stimulated by the accident at the Three Mile Island plant (since 不要) (18) with his arms folded (19) with his wife knitting gloves (20) She was (lost in thought with her head resting) on her hands.

NO17 《分詞Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [整序] 《分詞》

解答時間 20分

- (1) そんなに長いことお待たせしてすみません。
I'm sorry (you / we / waiting / kept / have) so long. 〈関東学院大〉
- (2) 朝食がすむと彼女は新聞を読んだ。(カンマを1箇所用いる)
Having (breakfast / she / the / newspaper / finished / her / read).
- (3) その先生は腕組みをしたまま、黒板の前に立っていた。〈愛知学院大〉
The teacher was standing in front of the blackboard (folded / arms / his / with).
- (4) 彼は読書をし、その傍らで妻が手袋を編んでいた。
He sat reading, (wife / his / gloves / knitting / with) beside him.
- (5) メアリーが髪を風になびかせてそこに立っているのが見えた。(1語不要)
I saw (hair / her / Mary / standing / stood / there / waving / with) in the wind.
- (6) ドアが開け放してあったので、彼がホーキンスさんと話しているのが聞こえた。
The door was (heard / talking / and / he / open / left / was) to Miss Hawkins.
- (7) 手に花を持っている男性に話しかけている女性は誰ですか。
Who is (a man / with / the / woman / to / talking) a flower in his hand?
- (8) 父は、玄関に出るのがおっくうなので、よく居留守を使った。
Being (answer / be / door, / father / my / often / out / pretended / reluctant / the / to / to). 〈兵庫県立大〉
- (9) 駅への道を聞かれた時、どうしても英語を通じさせることができなかった。
When I was asked the way to the station, I could not (for / in / all / make / understood / English / myself) my efforts. 〈近畿大〉
- (10) 今年も残りわずかしかない。
There are only a few days (end / the / left / before) of the year.

【2】 [整序] 《分詞》 (1) I'm sorry (we have kept you waiting) so long. (2) finished her breakfast, she read the newspaper (3) with his arms folded (4) with his wife knitting gloves (5) Mary standing there with her hair waving (stood 不要) (6) left open and he was heard talking (7) the woman talking to a man with (8) Being (reluctant to answer the door, my father often pretended to be out). (9) make myself understood in English for all (10) left before the end

【3】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1)

The birds were all busily searching for and pursuing the insects, and in a very few minutes they had finished examining the trees near me, and were gone; but not satisfied with what I had witnessed, I jumped up and rushed after the flock to keep it in sight.

(注) witness A [wɪtnɪs] 「A を目撃する」

(2)

The Japanese educational system, rather than merely a source of learning, is seen as the primary path to social and economic success. Those who graduate into higher education later obtain entry to the big companies and government offices, the others being given minor posts and duties.

(3) 《関西学院大》

Natural language after all, is so sophisticated, yet almost all babies learn it faster and more thoroughly than the best computer around. Full of nuances, loaded with meaning and implication, language is a subtle but comprehensive mode of communicating. To most people, it's a genuine mark of being human.

(注) sophisticated[səfɪstəkeɪtɪd] 「高度な」 a nuance[njuːˈɑːns] 「微妙な差異」
「ニュアンス」

【3】 (1)search for A 「A を探し求める」 pursue A [pərsjuː] 「A を追及する」 examine A [egzæmən] 「A を調べる」 flock [flɒk] 「(鳥などの)群れ」 in sight 「目に見えて」

(2) a source of A 「A の源として」 S be regarded as A 「S は A とみなされる」 primary [praɪməri] 「主な」 economic [ɪkəˈnɒmɪk] 「経済的な」 obtain A [əbteɪn] 「A を獲得する」 a duty 「義務」

(3)thoroughly [θəˈrou] 「徹底的な」「完全な」 (be) loaded with A 「A でいっぱいである」「A を積んでいる」 subtle [sʌtl] 「微妙な」 comprehensive [kəmˈprɪhensɪv] 「包括的な」「範囲の広い」

(4) 《東北大》

My daughter Olivia, who just turned three, has an imaginary friend whose name is Charlie Ravioli. Olivia is growing up in Manhattan, and so Charlie Ravioli has a lot of local traits: he lives in an apartment on Madison, he dines on grilled chicken, fruit, and water, and, **having reached the age of seven and a half**, he feels, or is thought, “old.”

(注) Manhattan New York 「市内のハドソン川とイースト川との間にある島」
Madison 「米国ウィスコンシン州の州都」

(5)

According to research, parents spend twice as much time driving a car on weekdays as they spend with their children. **With more Americans living and working** in suburbs, we seem to be tied to cars. No wonder traffic jams have become as unavoidable as death and taxes.

(4)a trait[treit] 「特性」「特徴」 grilled 「焼いた」「炙った」 動詞 grill[gril] 「(焼き網で)焼く」「炙る」

(5)according to A 「Aによれば」 a suburb [sʌbɜːrb] 「郊外」 no wonder 「もちろん」「当然ながら」 unavoidable [ʌn əvɔɪdəbl] 「避けられない」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《愛媛大》

Human nature being what it is, we try to keep our lives steady, stable, and comfortable. We cling to the notion that every problem can be solved and that hardship, pain, or sacrifice can and should be avoided. We resist the pull of the seasons, using our technology to shut out the natural world and keep our distance from one another. But the price of insulating ourselves from the trials of life is to lose many of its joys. As the seasons unfold, they can remind us to look up and see the world anew, to encounter every day with awareness, gratitude, and love.

(注) insulate oneself from A 「A と絶縁する」

(2) 《お茶の水女子大》

How useful is it in our personal lives to settle differences by arguing? Given what I know about having arguments in private life, I have to conclude that it is, in many cases, not very useful. In close relationships it is possible to find ways of arguing that result in better understanding and solving problems. But with most arguments, little is resolved, worked out, or achieved when two people get angrier and less rational by the minute.

発展問題(1) steady [stédi] 「しっかりした」「安定した」 cling to A [kliŋ] 「A に固執する」 sacrifice [sækrəfəis] 「犠牲」 the trials of life 「人生の試練」 unfold[ʌnfóuld] 「明らかになる」 encounter A [enkáuntər] 「A に遭遇する」 gratitude [grætítjù:d] 「感謝」

(2) settle differences 「相違を解決する」 argue [á:rgju:] 「口論する」 conclude that SV... 「SV...と結論づける」 result in A 「結局 S となる」 resolve A [rizálv] 「A を解決する」 work out A 「A を解決する」「A を成就する」 achieve A 「A を達成する」 rational [ræjənel] 「合理的な」 by the minute 「分刻みで」.

構文解説

(1)

分詞構文には、意味の上での主語が必ずある。主語を明示する場合は、分詞の意味上の主語が主文の主語と一致しない場合は、分詞構文の前に、主格の名詞・代名詞を置く。

(2)

Ving は述語動詞と同じ時制を表すのが原則である。分詞構文が表す時が、述語動詞よりも前の時制を表す場合は、having 過去分詞を用いる。なお、having been の場合は、省略されることがある

(3)

過去分詞で始まる分詞構文は、の形からできている。実際には、Being 過去分詞の形になるのだが、being を省略し、過去分詞から始めるのがふつうである。なお、過去分詞から始まる分詞構文の場合でも、主節の主語と SV 関係があることに注意する。

(4)

分詞構文の否定は、not, never などの否定の副詞を分詞の直前に置く。完了形の分詞構文の場合は、「not having+過去分詞」の語順となる。ただし、否定語 never を用いる場合は「never having +過去分詞」「having never +過去分詞」のいずれでもよい。

(5) with+(代)名詞+分詞

独立分詞構文には、「with+(代)名詞+分詞」の形で、付帯状況を表す表現がある。with に続く(代)名詞と分詞との意味関係は、現在分詞の場合は能動的で「～が…して[しながら]」、過去分詞の場合は受動的で「～が、中されて」となる。付帯状況を表す場合で、意味上の主語がつく場合 with+(代)名詞+分詞の形は好まれる。

(6) 形容詞で始まる分詞構文

分詞構文の中には、形容詞・名詞で始まるタイプのものである。直前に being を補って考えると理解しやすい。(例 Unable to talk to her, he remained silent at the party.(≒As he was unable to talk to her, he remained silent at the party)「彼女に話しかけることができなかったので、彼はそのパーティで黙っていた。」)

(7) 書換 副詞節⇒分詞構文

分詞構文を理解するためには、副詞節で書き換えた場合にどうなるかを考えるとわかりやすい。副詞節と分詞構文の書き換えは以下の手順である。

- ①接続詞：省略 *意味を強調する場合は残す
- ⇒②主語の比較：同じ場合は、省略 / 異なる場合は残す(主格)
- ⇒③notの有無：ある場合は、分詞構文の直前に置く(not Ving～)
- ⇒④時制の比較：同じ時を表す場合 Ving/ずれている場合(分詞構文のほうが過去)Having p.p.にする
- ⇒⑤無駄の削除：Being ～ / Having been ～の Being および Having been の削除。

(1) もっともよくある形

When he entered the room, he found a stranger sleeping on the sofa.

部屋に入ると、見知らぬ人がソファで寝ているのを彼は見つけた。

⇨ **Entering the room, he found a stranger sleeping on the sofa.**

- ①when：省略 ②he：省略 he=he ③notなし
- ④entered / found 同じ過去時制：entering ⑤無駄なし

(2) 意味上の主語が残る場合 独立分詞構文

Since the work had been done, he enjoyed watching TV.

仕事が終わったので、彼はテレビを観て楽しんだ。

⇨ **The work [having been] done, he enjoyed watching TV.**

- ①Since：省略 ②the work≠he：残す ③notなし
- ④had been ≠ enjoyed：having been done ⑤[having been]省略可

(3) 時制がずれている場合 分詞構文の完了形

Because I have never spoken to him for a long time, I felt a little nervous.

長い間彼と話していなかったので、少し緊張した。

⇨ **Never having spoken to him for a long time, I felt a little nervous.**

- ①Because：省略 ②I：省略 I=I ③never：havingの前
- ④have never spoken / felt：having spoken ⑤無駄なし

No18 <L&EC>



【1】 [確認テスト]

【2】 [リスニング選択]

【3】 [整序・英作文]《関西学院大》

解答時間 15 分

次の設問(A, B)に答えなさい。

設 問

A. 次の日本文(1, 2)に相当する意味になるように, それぞれ下記(a~h)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき, 並べ替えた語句の最初から 3 番目と 6 番目に来るものの記号をマークしなさい。

(1) あなたが最後に私の家を訪ねてから久しい。

It () last.

- a. been b. since c. you d. a e. visited
f. has g. me h. while

(2) 私の息子は子どものころ野球をしたものだ。

My () child.

- a. enjoy b. as c. games d. used
e. a f. son g. baseball h. to

B. 次の日本文に相当する意味になるように英文の空所を埋めなさい。答えは, 空所に入れる部分のみを記述式解答用紙の所定欄に記入しなさい。

私は隔週の日曜日の午後, 祖母を訪ねることにしています。

It ().

NO19 《不定詞と動名詞》



【1】 [確認テスト]

【2】 [語法] 《不定詞と動名詞》

解答時間 20分

空所に入れるのに最も適切な語句を，下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) She did not () staying at home as she had some sewing she wanted to do.
①mind ②matter ③care ④object 〈センター試験〉
- (2) Dave has not taken his driving test yet, but he expects ().
①having taken it next week ②to take it next week
③taking it next week ④soon take the test 〈東海大〉
- (3) Sue, please don't forget () this letter on your way to the station. It has to get to Brian by Saturday.
①and to mail ②mail ③mailing ④to mail 〈千葉商大〉
- (4) I regret () you that your application has been refused. 〈札幌大〉
①having informed ②to have informed ③informing ④to inform
- (5) I will never forget him () off the top of the building.
①jump ②to jump ③jumped ④jumping 〈龍谷大〉
- (6) She gave () eating meat after reading a book about cruelty to animals.
①in ②down ③out ④up 〈桜美林大〉
- (7) We are going to play baseball this afternoon if it stops ().
①raining ②to raining ③for raining ④to rain 〈東京家政大〉
- (8) What many people () to recognize is that, with friendship, quality is more important than quantity.
①mind ②deny ③put off ④fail 〈立教大〉
- (9) Last night we enjoyed () our high school days. 〈北海学園北見大〉
①to talk over ②talking over ③talk over ④of talking over
- (10) We didn't () to leave Mary out of the plan. It was simply an oversight.
①mean ②forget ③neglect ④seem 〈京都産業大〉
- (11) Don't pretend () jazz. I know you really hate it.
①liking ②liked ③like ④to like 〈獨協大〉
- (12) I tried () a letter in English by myself, but after an hour I gave up.
①having written ②to have written ③to write ④to writing 〈センター〉
- (13) He no doubt regretted () see Nancy when she was in Boston.
①not being able to ②not to be able to
③to not be able to ④being able not to 〈昭和女子大〉

- (14) I suppose you remember () while you were staying in Chicago.
 ①to see me ②saw me ③seeing me ④to seeing me 〈立命館大〉
- (15) Jimmy denied () my model plane, even though he was the only person who was in my room at that time. 〈関西学院大〉
 ①to breaking ②to break ③being broken ④having broken
- (16) I hope () to Canada next year.
 ①about going ②for going ③going ④to go 〈大阪電通大〉
- (17) Do the dishes when you ().
 ①will finish eating ②have finished to eat
 ③finish to eat ④have finished eating 〈関西外語大〉
- (18) I hear that Bill and Jane decided ().
 ①getting married ②marriage
 ③marrying ④to get married 〈京都産業大〉
- (19) Have you ever considered () in sociology at college?
 ①majoring ②to major ③of majoring ④on majoring 〈拓殖大〉
- (20) I can't () to eat in such an expensive restaurant.
 ①spend ②have ③find ④afford 〈センター試験〉
- (21) John has offered () care of my dog while I'm abroad.
 ①take ②taking ③to have taken ④to take 〈大阪国際大〉
- (22) I must remember () a parcel to her tomorrow.
 ①to send ②sending ③having sent ④to have sent 〈城西大〉
- (23) After playing with sand, your hands need ().
 ①to wash ②to be washing ③being washed ④washing 〈日本大〉
- (24) Have you ever tried () on the river?
 ①to have skated ②to be skating ③skate ④skating 〈京都産業大〉
- (25) The teacher () on talking for two hours.
 ①came ②led ③tried ④went 〈獨協大〉

【3】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《福島県立医科大》

Water is used in many ways. We need clean drinking water to stay healthy. Water is also important for many other things that we need. Farms need water to produce crops and raise livestock. Factories need water to make many products. Water is used in power plants that make electricity. Since we all use water in so many ways, we should **remember to take** care of our water sources.

(2) 《金沢大》

Our lives are so bound up with art that we often **fail to recognize** how much we are shaped by it. We are bombarded with examples of graphic art (television commercials, magazine ads, CD jackets, displays in stores) every day; we use art to make statements about who we are and what we value in the way we decorate our rooms and in the style of our dress. In all of these ways we manipulate artistic symbols to make statements about what we believe in, what we stand for, and how we want others to see us.

(3) 《お茶の水女子大》

In 1872, Charles Darwin (1809-1882) **tried giving** a mirror to two young orangutans in the zoo, and described how they played and **tried to kiss** their reflections, but he could not be sure that they recognized themselves. Over a century later, psychologist Gordon Gallup devised a test to find out. He gave a group of young chimpanzees plenty of practice with mirrors, then he anaesthetized* them and painted two obvious red spots above one eye and the opposite ear. When they awoke, he let them look in the mirror. You or I, in such a situation, would immediately see the marks and probably try to touch them or rub them off. So did the chimpanzees. They touched the spots more

often than they touched the same place on the opposite side of their face.

(注) Charles Darwin 「チャールズ=ダーウィン(1809～ 1882 年) 英国の博物学者」 anaesthetize A [ənésθitàiz] 「A (に)に麻酔をかける」

(4) 《東北大》

The best weapon against fear is knowledge. When you list your fears, you gain knowledge of yourself and your motivations. After you've gained that insight, you can go on to gather more objective information about the people who will ultimately influence your decision. If you carefully watch your bosses as they relate to you and to others, perhaps you'll find they bluntly criticize everyone. Or maybe you'll find they are nice to others and negative only with you. From observations like these, you will eventually be able to correctly read your bosses' intentions, reliably predict their behavior, and choose the best plan of action.

(5) 《弘前大》

次の英文は、広告代理店で働くことになった新入社員が、研修後に海外事業部に配属された際の話である。

I regret to say that when I was first introduced to the manager of the department, Mr. Crattenden, I disliked him on sight. Actually, with his cold blue eyes, long nose and two strange rows of pointed teeth, he looked just like a shark in human form! His first words were, “Your desk is over there, Powle. I'm a hard worker and I expect you to work hard, too. You're in charge of the foreign media.” He looked at me without smiling and pointed to a small desk just in front of his.

(注) Crattenden 「クラテンデン」(人名)

[3] (4)a weapon [wépen] 「武器」 a motivation [mòutəvéifən] 「動機付け」 an insight [ínsàit] 「洞察(力)」 objective [əbdʒéktiv] 「客観的な」 ultimately [áltəmitli] 「最終的に」 relate to A [riléit] 「A と付き合う」 bluntly [blantli] 「ずけずけと」「不愛想に」 criticize A [kritəsàiz] 「A を批判する」 negative [négətiv] 「否定的な」 an observation [əbzərvéifən] 「観察」 eventually [ivéntʃuəli] 「結果的には」「結局」 an intention [inténʃən] 「意図」 reliably [riláiəbl] 「確実に」 predict A [pri(:)dikt] 「予測する」

(5)be in charge of A [tʃɑ:rdʒ] 「A を担当する」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《山口大》

Our main coping mechanism on public transport is a form of what psychologists call ‘denial’: we try to avoid acknowledging that we are among a scary crowd of strangers, and to maintain as much privacy as possible, by pretending that they do not exist — and, much of the time, pretending that we do not exist either. The denial rule requires us to avoid talking to strangers, or even making eye contact with them, or indeed acknowledging their presence in any way unless absolutely necessary. At the same time, the rule imposes an obligation to avoid drawing attention to oneself and to mind one’s own business.

(2) 《京都府立大》

‘Pop, have you ever thought about getting a dog?’ Jane asked that evening.

‘Can’t say that I have,’ answered Mr Purdy from behind the evening paper. From time to time he stroked Sir Puss, the large tabby cat that was stretched out on his lap. Meticulously Sir Puss licked a paw and scrubbed it behind his ear. When Jane spoke he paused to stare at her disapprovingly for a long moment before he resumed his routine of licking and scrubbing.

(注) meticulously [mə'tɪkjʊləsli] 「丹念に」

発展問題(1)transport[træns'pɔ:rt] 「交通機関」 denial [dɪnaɪəl] 「否認」 (deny の名詞形) acknowledge A [əknə'dɪʒ] 「A を認める」 scary [skéeri] 「怖い」 maintain A [meɪntéɪn] 「A を維持する」 (=keep up A) pretend that SV...[pri(:)ténd] 「SV...のように振る舞う」 make eye contact with A 「A と目を合わせる」 presence [prézens] 「存在」 absolutely [æbsə'lju:tli] 「絶対」 impose A [ɪmpóuz] 「A を課す」 an obligation [əblə'geɪʃən] 「義務」
 (2)from time to time 「時折」 stroke A [strouk] 「A をなでる」 tabby [tæbi] 「トラ猫」 stretch A [stretʃ] 「A を伸ばす」 lick A [lik] 「A をなめる」 disapprovingly [dɪsə'pru:vɪŋli] 「非難するかのよう」 「不満げに」 scrub A [skrʌb] 「A をこする」

NO20 《関係詞 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《関係詞 TEN》

解答時間 6分

- (1) あちらは私が長い間住んでいる場所です。
That is the place () I have lived for a long time.
①which ②where ③when
- (2) 中国は、私が長い間訪れたいと思っていた国です。
China is a country () I've wanted to visit for a long time.
①which ②where ③in which ④to which
- (3) 私はその問題を解こうとしたが、時間の無駄だと気づいた。
I tried to solve the problem, () I found a waste of time.
①which ②when ③what ④that
- (4) 私の故郷は、20年前とは全く違います。
My hometown is quite different from () it was twenty years ago.
①as ②that ③what ④which
- (5) ここはモーツァルトが夕食後、散歩をしていた公園です。
This is the park () Mozart used to take a walk after dinner.
①that ②why ③which ④where
- (6) 彼は私に2冊本を貸してくれたが、いずれも読んでいない。
He lent me two books, neither of () I have read.
①them ②what ③which ④that
- (7) これは、私があなたに話した雑誌です。
This is the magazine I ().
①spoke to you about ②spoke to you
③spoke you about ④spoke you
- (8) 彼は、私がその小説を書いたと思う人です。
He is the man () I think wrote the novel.
①who ②whose ③whom
- (9) あなたが正しいと思うことをやっていますか？
Are you doing what ()?
①you think you are right ②you think is right
③you think it is right ④it is you think right

【3】 [文法総合⑧] 《関係詞①》

解答時間 15 分

空所に入れるべき適切な語句を選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- (1)今の日本は 20 年前の姿とは大きく違っている。

Japan is now very different from () she was twenty years ago.

①the condition ②what③which ④whom

- (2)何年間も建設されないであろう建物のために、5 エーカーの土地が確保されていた。

Five acres were reserved for the building () would not be constructed for many years.

①which ②by which③of which ④where

- (3)私たちには、住みたいところはどこにでも住める権利がある。

We have a right to live () we want to.

①which ②wherever③whatever ④whichever

- (4)彼は、私たちが先日話題にした少年です。

He is the boy () we spoke the other day.

①whom ②who③of whom ④of that

- (5)羅針盤がどの方向を示そうとも、われわれが北に向かっているとは私は信じられない。

I don't believe we are going north, () the compass may say.

①if ②however③whatever ④because

- (6)私たちが滞在したホテルは非常に快適だった。

The hotel () was very comfortable.

①at that we stayed ②at where we stayed

③we stayed there ④where we stayed

- (7)列車が何時に到着しようとも、私たちは駅にあなたを迎えに行きます。

We'll meet you at the station no matter () time the train arrives.

①when ②in③on ④what

- (8)その運転手は、どんなに一生懸命やっても、車を始動させることができなかった。

The driver couldn't get the car started () how hard he tried.

①all but ②even though③if anything ④no matter

- (9)実際、この場合選択の余地は余りない。どちらでも長持ちすると思う方を取りなさい。

There really isn't much choice in this case; just take () you think will last longer.

①it ②that③which ④whichever

- (10) イギリスは、私が長い間訪れたいと思いつけている国です。
 England is a country () I've wanted to visit for a long time.
 ①where ②in which ③to which ④which
- (11) 選挙運動のやり方は国によって大いに異なる。
 The way () political campaigns are conducted varies widely from country to country.
 ①in that ②in which ③when ④how
- (12) この本を、誰であれほしい人にあげなさい。
 Give this book to () wants it.
 ①whom ②anyone ③someone ④whoever
- (13) 彼は、10年前の臆病者ではない。
 He is not the coward () he was ten years ago.
 ①that ②who ③when ④whom
- (14) 天才にはよくあることだが、彼はしばしば何日であるかを忘れる。
 () is often the case with geniuses, he often forgets the day of the month.
 ①Which ②Such ③So ④As
- (15) この人は、車を盗んだと言われている人です。
 This is the man () they say stole the car.
 ①who ②whom ③whoever ④whomever
- (16) あなたの言っていることにおいては、私はあなたと同意見です。
 I'm with you in () you say.
 ①who ②which ③what ④that
- (17) 私はハイカーの一団に会ったが、彼らの何人かは大学生だった。
 I met a group of hikers, () were university students.
 ①some of them ②many of them
 ③some of whom ④some of which
- (18) あなたが話し合っていた少女は、以前私たちの会社で働いていた。
 The girl () used to work for our company.
 ①you were talking to ②you were speaking
 ③who were you talking to ④whom you were talking
- (19) 私たちをそこに案内してくれたのは、ほんの10歳の子だった。
 The guide () was only ten years old.
 ①who took there ②who took us there
 ③he took us there ④took us there
- (20) 私の時計がこわれたんです。そういうわけで、今朝学校に遅刻したんです。
 My clock was broken. That's () I was late for school this morning.
 ①because ②maybe ③when ④why

【4】 基本〔英文解釈〕《関係詞の基本》

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《京都府立大》

Later, I recognized the wonder of larger creatures, and I mused on the diversity of life and how each part of it interacted intimately with so many other parts. In 1969 I founded the Wildlife Clubs of Kenya, whose purpose is to educate children about life in their land.

(注) the Wildlife Clubs of Kenya 「ケニア野生クラブ」

(2) 《関西学院大》

A recent survey on “the seven ages of man” shows what really matters to people at different stages of their lives. Perhaps unexpectedly, falling in love takes on a growing importance as people grow older. The study found that the over-90s, who might be obsessed with death, in fact regard the forming of new relationships as the most important thing that happens to them.

(注) be obsessed with A [əbséet] 「Aにとりつかれる」

(3) 《神戸大》

Sleep also seems to be the time when the brain’s two memory systems — the hippocampus and the neocortex — “talk” with one other. Experiences that become memories are laid down first in the hippocampus, obliterating whatever is underneath. If a memory is to be retained, it must be shipped from the hippocampus to a place where it will endure — the neocortex, the wrinkled outer layer of the brain where higher thinking takes place.

(注) hippocampus [hìpouk'émpəs] 「海馬」 neocortex 「皮質」 obliterate A [əblítərəit] 「Aを抹消する」

(4) 《北海道大》

With phone prices getting lower and lower and special payment plans designed to encourage teenagers, the mobile's presence in schools seems certain to increase. At one London school 40 percent of a class of 11-year-olds admitted to having beepers or mobile phones. Chatting to friends is the reason why they want them, but when asked by adults why they should have them, all cited parental concern for their safety. When they were questioned more thoroughly, several older students admitted they had deceived their parents in order to get a mobile phone. One student said: "I told them I would be safer, but really I just wanted one because everyone else has them."

(注) special payment plans 「特別な料金プラン」 a beeper 「ポケットベル」

(5) 《群馬大》

By using the web, you can travel through massive amounts of accumulated knowledge without leaving your house. But it is not like a library. This is how the word "surf" came to be used for the experience of looking at web pages: it is almost as if you are being carried by forces that you cannot control. When you go to a library and just sit in a chair, nothing will happen, but with the minimal effort of clicking a mouse you can very quickly be surrounded by information — metaphorically lost at sea.

【4】(1) recognize A [rɛkəgnəɪz] 「Aを認識する」 diversity [dɪvəˈrsəti] 「多様性」 muse on A [mjuːz] 「Aについて考える」 interact with A [ɪntərækt] Aと相互作用する」 intimately 「親密な」 found A 「Aを築く」 a purpose 「目的」 [pəˈrps] (2)survey [sərvéi] 「調査」 matter 「重要である」 unexpectedly [ʌnekspɛktɪdɪlu] 「予想外に」 (3) retain A [rɪtɛɪn] 「Aを保持する」 endure [endjʊər] 「続く」 wrinkled [rɪŋklt] 「皺のよった」 layer [léiər] 「層」 (4) encourage A [enkəːrɪdʒ] 「Aを奨励する」 「Aをその気にさせる」 presence [prézens] 「存在」 cite A [sait] 「Aを引用する」 「Aを挙げる」 question A [kwéstʃən] 「Aを問いただす」 「Aに質問する」 thoroughly [θəˈrouli] 「突っ込んで」 admit A that SV... 「SV...を認める」 deceive A [disíːv] 「Aをだます」 (5) massive [mæsɪv] 「大規模な」 accumulated [ækjʊːmjulɛɪtɪd] 「蓄積した」 minimal [mínimel] 「最小量」 「微量の」 click A 「Aをクリックする」 元は「カチ」という音 metaphorically [mètəf(ɔː)rikeli] 「比喩的に言えば」 be lost at sea 「行方不明になる」

発展問題 (1) occasionally [əkéɪzənəli] 「時々」 capture A [kæptʃər] 「Aを捉える」 a scenic view 「風景」 cherish A [tʃéəriʃ] 「Aを大切にする」 await A [əwéit] 「Aを待つ」 outcome 「結果」 disappointed [disəpɔɪntɪd] 「がっかりした」 (2) parenting 「子育て」 protective [proutéktiv] 「守ってくれる」 night after night 「毎晩」 a horror 「恐怖」 associate A with B [əsóʃiɛit] 「AをBと結びつけて考える」 pleasure [pléʒər] 「喜び」 attractive [ətráektiv] 「魅力的な」 (3) effective [iféktiv] 「効果的な」 promote A [prəumóut] 「Aを昇進させる」 list A 「Aを挙げる」 crucial [krúːʃəl] 「決定的な」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1)

Consider the difference between an amateur and a professional photographer. The person **who** uses his camera occasionally to capture a birthday party, a scenic view, or a family outing will snap a few pictures of the cherished moment, eagerly await the outcome, then, often as not, feel disappointed with the results.

(2) 《愛知教育大》

The fifth thing to be found in a book-loving home is that the parents usually take parenting seriously. They role-play parenting like mad. They know they ought to read to their children, so they do. The kids are caught up in a world of books. At night they are warm and safe with a big, loving, protective parent beside the bed reading them stories night after night. In the daytime they sit on a comforting lap and in the security of a parent's loving warmth listen to all manner of horrors and joys coming out of books. The relationship between parent and child while reading the stories is one of warmth and love **which** makes the child associate books with warmth and love and pleasure and security. How attractive books become!

(注) like mad 「夢中になって」

(3) 《富山大》

In our communication-oriented age, listening is more important than ever. **This is why**, in most companies, effective listeners hold higher positions and are promoted more often than people who are ineffective listeners. When business managers are asked to list the communication skills most crucial to their jobs, they usually rank listening number one.

(注) communication-oriented 「コミュニケーション志向の」

構文解説

(1)

関係代名詞が省略される場合として、(1)目的格の省略(2)主格の省略(3)主格補語の省略がある。特に(1)目的格の関係代名詞は、省略する傾向が強い。この形を接触節と呼ぶ場合もある。(2)主格の省略は、①先行詞の後に **there is, here is** が続く場合(例 **They learned all there was to know about it.** 「それについて知っておくべきことの全てを彼らは学んだ」)②**there is, here is** の後に、先行詞が続く場合(例 **Here are the students took part in his research.** 「彼の研究に参加した学生がここにいます」)③関係代名詞が節の中で主格補語になっている場合(例 **He is no longer the considerate man she was ten years ago.** 「彼はもはや 10 年前のような思いやりのある人ではない」)④関係代名詞の節の中に **I think** などが挿入される場合などがある(例 **She is the man I think is cut out for this job.** 「彼女は私がこの仕事に向いていると思っている学生です」)

(2) ※非制限用法とも言われる

関係詞には”限定用法”と”継続用法”がある。”限定用法”は関係詞が先行詞を修飾し、意味を限定するのに対して、”継続用法”は先行詞の直後にコンマをつけて、その先行詞を補足的に説明する。(例 **He has a son who has become a teacher.**(限定用法)「彼には先生になった息子が 1 人いる」(息子が複数)**He has a son, who has become a teacher.**(継続用法)「彼には息子が 1 人いて、その人は医師になった」(息子は一人)

(3)

“限定用法”の場合の訳し方は、関係詞節から先に訳す場合が多いが、”継続用法”の場合は、訳し下げるのが原則である。その際には、等位接続詞(**and, but, because, though** など)を補って、訳すとうまくいくことが多い。

(4)

the way SV...には、名詞として働く場合と、形容詞として働く場合がある。名詞として働く場合は、**how** と置き換えることができる。なお、**the way how SV...**は不可。例)**The way he spoke attracted the attention of a famous writer.** 「彼の話し方は有名な作家の注意をひいた」。副詞として働く場合は、**as**(様態)と書き換え可能である。例)**He did the way he was told.** 「彼は言われた通りにした」。**This is how SV...**は、**This is the way SV...**と言い換え可能。例)**This is the way he solved the problem.** 「このようにして彼はその問題を解決した」

(5)

each time SV... 「SV するたびに」**evrey time SV...** 「SV するたびに」は、**each time when SV~, every time when SV~** の形であったものが、関係副詞の **when** がとれて接続詞的に働きをするようになったものである。同じ形のものに、以下のものがある。**by the time SV...** 「～するまでに」例) **By the time the sun sets, we will arrive at the destination.** 「日が沈むまでには、私たちはその地点に到着するだろう」**next time SV...** 「次回 SV する時に」例) **Next time bring me that book without fail!** 「次回は必ずその本を持ってきて下さい」。**the first time SV...** 「初めて SV する時に」例) **The first time I met Betty, I was nervous.** 「初めてベティに会ったとき、とても緊張しました」

NO21 《関係詞Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法総合⑦] 《関係詞②》

解答時間 15分

- (21)彼はとても利己的です。他人のことを気づかわない。
Tom is selfish. He thinks he can do () he wants.
①however ②whenever ③wherever ④whatever
- (22)昨日、メアリーは表紙が青色をした本を私にくれた。
Yesterday Mary gave me a book the cover () was blue.
①what ②which ③of which ④that
- (23)あなたがどのルートをとっても、そこに着くのは間に合うでしょう。
() route you take, you will get there in time.
①No matter ②That ③Wherever ④Whichever
- (24)彼は眠れる場所を探した。
He looked for a place ().
①for how to sleep ②in where to sleep
③in which to sleep ④for where to sleep
- (25)読書と精神の関係は、食物と肉体の関係と同じだ。
Reading is to the mind () food is to the body.
①that ②what ③which ④though
- (26)町の中心街には駐車場がほとんどなく、そのことが本当に問題となっている。
There are few parking places downtown, () is really a problem.
①what ②where ③which ④who
- (27)私たちはそれからロンドンへと引っ越し、そこで7年間暮らした。
We then moved to London, () we lived for seven years.
①how ②when ③where ④why
- (28)あなたが私にしてくださる援助はどんなものでも、深く感謝いたします。
I'll deeply appreciate () help you can give me.
①which ②whatever ③anything ④whose
- (29)これが、いわゆるノルマン征服である。
This is () is called the Norman Conquest.
①which ②what ③that ④whichever
- (30)写真を撮るためには、このボタンを押しさえすればよい。
() to take a picture is push this button.
①Do all you have to ②You have to do all
③You have all to do ④All you have to do

- (31)あとでわかったことだが、彼は親切な男だった。
He was a kind man, () I later discovered.
①another ②as ③such ④that
- (32)私はその川を泳いで横断しようと思ったが、それは無理だとわかった。
I tried to swim across the river, () I found quite difficult.
①where ②which ③when ④on which
- (33)ときにどんなに辛く思えることがあっても、自分の研究を続けなさい。
Keep on with your studies, () hard it sometimes seems.
①however ②no matter what ③so ④whatever
- (34)「ぼくはいつ始めたらいいの」「知らないよ。そうしたいと思ったときはいつでも始めろよ」
“What time should I begin?” ”I don’t know. Begin () you want to.”
①however ②whatever ③whenever ④whoever
- (35)これは、私とその意味を理解できない諺です。
This is a proverb () meaning I can’t understand.
①which ②that ③whose ④what
- (36)学生たちには、学習の動機を増大させるような本を読ませてください。
Let students read such books () will promote their motives for studying.
①which ②as ③but ④whom
- (37)私が冷凍庫を持つ十分な理由がいくつかある。
There are several good reasons () I have a freezer.
①when ②who ③why ④whether
- (38)火を起こすことと、車輪の発見の次に生じた、いわゆる文明の最大の勝利は、人間の男性をおとなしくさせたことである。
Next to the striking of fire and the discovery of the wheel, the greatest triumph of () civilization was the domestication of the human male.
①what we call ②how we call ③which is called ④that called
- (39)夜通し、激しい嵐が続き、その間ずっと登山者たちは救出されるのを待った。
The storm raged all night, during () time climbers waited to be rescued.
①that ②when ③whose ④which
- (40)君がはいている靴は、かなり高い値段がするように見える。
The shoes () look rather expensive.
①are wearing ②you are wearing
③that are wearing ④that you wearing

- (41)私は、彼女が話の中で述べていた場所を訪れたことがある。
I have been to the place () in her talk.
①where she spoke of ②which she spoke of
③that she spoke ④of that she spoke
- (42)これは役に立つ本だし、その上、値段も高くない。
This is a useful book and, () is more, it is not expensive.
①that ②what ③this ④where
- (43)彼女は少ないながら持っていたお金をすべてなくした。
She lost () little money she had.
①how ②those
③what ④which
- (44)彼女は、ここから 50km 離れた和歌山に住んでいる。
She lives in Wakayama, () is 50 kilometers from here.
①there ②where ③when ④which
- (45)人びとが宇宙旅行を楽しめるときがまもなくやって来るだろう。
A time will soon come () people can enjoy space travel.
①when ②where ③what ④which
- (46)その物語で私が一番おもしろかったのは、主人公が自分の敵に復讐する決心をしたところです。
The part of the story I enjoyed most was () the hero decided to revenge himself on his enemy.
①which ②in which ③what ④where
- (47)こちらが田中さんで、あなたは昨年お会いになっています。
This is Mr. Tanaka, () you met last year.
①that ②what ③which ④whom
- (48)彼は白髪になりつつあり、そのことで彼の妻はとても悩んだ。
His hair was going gray, () fact bothered his wife a great deal.
①which ②what ③that ④its
- (49)「どうして毎日昼食を抜くの」「そうやって体重を減らすんです」
“Why do you skip lunch every day?” ”That’s () I lose weight.”
①how ②way ③when ④where
- (50)国際会議が昨年開催された町は、湖の近くにある。
The town () the international conference was held last year is near the lake.
①in that ②in where ③which ④in which

【2】〔文法総合7〕《関係詞②》(21)④(22)③(23)④(24)③(25)②(26)③(27)③(28)②(29)②(30)④(31)②(32)②(33)①(34)③(35)③(36)②(37)③(38)①(39)④(40)②(41)②(42)②(43)③(44)④(45)①(46)④(47)④(48)①(49)①(50)④

【3】 基本〔英文解釈〕《関係詞の省略》

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《明治大》

A student recently asked me, “What is the biggest mistake you ever made?” After I had an opportunity to reflect, I said, “The biggest mistake I ever made was anytime I compromised my personal values.” It usually does not happen in big ways with big issues. Generally my values get compromised in small ways for small gains or no gains. But the cost of making small compromises in your values is cumulative, and it can be a big cost to your effectiveness as a leader and a big cost to your total being. It is my observation that individuals who have strong personal values have the most freedom, ability and perspective to learn from other cultures. This is even more important in Asia.

(注) compromise A [kə'mprəmaɪz] 「A をまげて妥協する」
cumulative[kjʊ:mju:lətɪv] 「累積的な」

(2)

It is often said by Westerners that the Japanese are a people of few words, preferring to communicate as much as possible using nonverbal communication. But the Japanese sometimes feel it is necessary to say something at a time a native speaker of English would usually say nothing. This seems very strange to a native English speaker.

【3】 (1)reflect [rɪflɛkt] 「よく考える」 cost 「代償」「犠牲」 observation [əbzərvéɪʃən] 「観察」 perspective [pərspektiv] 「展望」「見方」

(2)Westerners 「西洋人」 a man of few words 「口数の少ない人」 prefer to V 「V することを好む」 communicate [kəmjú:nikèit] 「意思伝達する」 nonverbal [nán vɜ:rbəl] 「非言語の」「言語を使わない」

(3)invisible [ɪnvízəbl] 「目に見えない」 devise A [dɪvaɪz] 「A を思いつく」 an orbit [ɔ:rbit] 「軌道」

(4)visible [vɪzəbl] 「目に見える」 gradualness [grædzuelnɪs] 「徐々」 (gradual の名詞形)

(5)frightening [fraɪtnɪŋ] 「ぎょっとする」「恐ろしい」 not any more 「もう～ない」

(3) 《東北大》

It's the single most famous story of scientific discovery: in 1666, Isaac Newton was walking in his garden outside Cambridge, England — he was avoiding the city because of the *plague — when he saw an apple fall from a tree. The fruit fell straight to the earth, as if tugged by an invisible force. (Subsequent versions of the story had the apple hitting Newton on the head.) This ordinary observation led Newton to devise the concept of universal gravitation, which explained everything from the falling apple to the orbit of the moon.

(注) plague [pleɪɡ] 「疫病」 tug A 「A を引っ張る」
the concept of universal gravitation 「万有引力の概念」

(4) 《東北大》

I think about age the way younger people think about love. I haven't stopped thinking about love, but its mysteries no longer annoy me. I know a lot about love at my certain age. But age is still a mystery, so I think about it. I watch for its visible signs. Those are horrible in their gradualness and irreversibility, and I work hard at slowing their progress.

(注) irreversibility [ɪrɪvəːrsəbɪlɪti] 「不可逆性」「後戻りしないこと」

(5) 《佐賀大》

Left with a small child by her husband, Cinzia felt alone and vulnerable. She had stomach trouble, and her general health had been seriously damaged by years of too many tranquilizers. She felt overwhelmed by crowds, and every time she entered a department store she was overcome with anxiety. The future looked so frightening to her that at age thirty-two she didn't want to live anymore.

(注) vulnerable [vʌlnərəbəl] 「傷つきやすい」「脆弱な」
tranquilizer [træŋkwɪləɪz ə] 「鎮痛剤」 overwhelmed [òuvərhwélmd]
「圧倒される」 be overcome with A 「A でまいる」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1)

The circumstances of which so many complain should be regarded as the very tools with which we are to work, the stepping-stones we are to mount by. They are the wind and tide in the voyage of life, which the skillful mariner generally either takes advantage of or overcomes.

(2) 《関西学院大》

At first glance the effects of population growth on the environment seem obvious. More people use more resources, damage more of the earth, and create more pollution. As the population of a country increases, so does its consumption. Because of this, we might expect the poorer nations, which have the highest populations and the fastest rates of population growth, to cause the most damage to the environment. The truth is more complicated than that.

(3) 《神戸大》

In comparing fossils from different depths in the Samwell Cave area, the researchers found that populations of certain small-mammal species decreased, whereas others increased. Among the species that experienced declines were the Mazama pocket gopher* and the mountain beaver, both of which migrated to cooler areas as soon as temperatures began heating up following the LGM.

(注) Mazama pocket gopher [góufər] 「マザマホリネズミ」 LGM(=Last Glacial Maximum) 「最終氷期最盛期」

発展問題(1) circumstances [səˈrkəmstˈænsɪz] 「環境」 complain of A [kəmpléɪn] 「Aについて不平を言う」 regard A as B 「AをBと見なす」 overcome A [ðʊvərkʌm] 「Aを克服する」
 (2) at first glance 「一見して」 a resource [rɪˈsɔːrs] 「資源」 damage A [dæmɪdʒ] 「Aに害を与える」 consumption [kɒnsʌmpʃən] 「消費」 complicated [kəmplɪkəɪtɪd] 「複雑な」
 (3) compare A [kəmpeə] 「Aを比べる」 decline [dɪklaɪn] 「低下する」「減少する」 migrate [maɪgreɪt] 「移動する」 a temperature [tɛmpərətʃər] 「気温」 imprint A [ɪmprɪnt] 「Aに刷り込む、Aを押す」 tumor [tjuːmə] 「腫瘍」

NO22 《関係詞Ⅲ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法] 前置詞+関係代名詞

解答時間 10分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) I have been to the place () in her talk.
①where she spoke of ②which she spoke of
③that she spoke ④of that she spoke 〈日本大〉
- (2) He is the boy () we spoke the other day.
①whom ②who ③of whom ④of that
- (3) This is the house in () I was born.
①side ②that ③where ④which
- (4) The speed () the computer has developed and spread over the past twenty years is remarkable.
①how ②what ③where ④with which
- (5) The town () the international conference was held last year is near the lake.
①in that ②in where ③which ④in which
- (6) He told me a story () someone played a clever trick.
①which ②what ③on what ④in which
- (7) Poor planning may result in choosing a job () you will not be truly successful.
①that ②in which ③of which ④to whom
- (8) The conditions () these fine works were created were usually of a most difficult kind.
①of which ②to which ③under which ④which
- (9) This is the reason for () he did it.
①that ②what ③why ④which
- (10) The chair () I am sitting is made of pinewood.
①which ②at which ③on which ④whichever

【2】 [文法] 前置詞+関係代名詞(1) ②(2) ③(3) ④(4) ④(5) ④(6) ④(7) ②(8) ③(9) ④(10) ③

【3】〔整序〕前置詞+関係代名詞

解答時間 20 分

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 私たちが立っていたところから樫の木まで 100 メートルもなかった。It was less than a hundred meters (standing / we / where / were / from) to the oak tree.
- (2) 今は題名を思い出せないが、今朝、息子は映画について話をした。This morning my son (I / titles / mentioned / movies / remember / cannot / whose) now.
- (3) この部屋こそ彼が彼女に会った部屋です。(the / her / in / very / this / met / he / is / room). 〈西南学院大〉
- (4) 海から吹く風はきもちがいい。The wind (is / the / pleasant / which / from / blows / sea).
- (5) あなたが先週ワープロを借りた人が返却を求めています。(1 語句不要) The man (return / word processor / last week / whose / it / is asking / from / you borrowed / you / to). 〈武庫川女子大〉
- (6) 私は彼の振舞いから、彼が本気でやるつもりだということがわかった。I could (that / from / he / way / acted / tell / the) he meant business.
- (7) 先日貸した本を返してもらいたい。I (I / lent you / return / the book / to / want / you) the other day.
- (8) これは彼がああ星を観測するのに使った望遠鏡です。(1 語句不要) This is (with / he / that / telescope / observed / the / star / used).
- (9) ここが、ヘースティングズの戦いがあつた所です。This (the battle of Hastings / is / took place / where / the place).
- (10) こうやって人々は要らなくなったものを処分しています。〈東京薬科大〉(no / things / rid / how / get / people / this / they / longer / is / of) need.

【3】〔整序〕前置詞+関係代名詞(1) from where we were standing (2) This morning my son (mentioned movies whose titles I cannot remember) now. (3) This is the very room he met her in (4) which blows from the sea is pleasant (5) whose word processor you borrowed last week is asking you to return it (from 不要) (6) I could (tell from the way he acted that) he meant business. (7) want you to return the book I lent you (8) the telescope he observed that star with (used 不要)(9) is the place where the battle of Hastings took place (10) This is how people get rid of things they no longer

【4】 基本〔英文解釈〕《前置詞+関係代名詞》

解答時間各 15 分

次の英文を読み下線部の意味を日本語で表せ。

(1)

Language is an indispensable instrument of human society. It is the means by which individuals understand each other and are enabled to function together as a community. Indeed, it is unlikely that any human organization could either be formed or long maintained without language. The effectiveness of human society, therefore, is largely dependent upon the clarity, accuracy, and efficiency with which language is used or understood.

(2) 《神戸大》

The late nineteenth century was a rough time for frogs, worms, and a number of other creatures. As the study of physiology blossomed in Europe and America, scientists went wild dividing, dismembering*, and relocating these unfortunate subjects. According to scientific legend, they also slowly heated some of the animals in order to test the extent to which they could adapt to changes in their environments.

(注) dismember [dismémber] 「切断する」「分割する」 relocate A [ri:lóukeit] 「Aを再配置する」「移転する」

【4】(1) indispensable [ɪndɪspɛnsəbəl] 「不可欠な」 instrument [ɪnstrəmənt] 「道具」 means [mi:nz] 「手段」 function [fʌŋkʃən] 「機能」 it is unlikely that SV... 「SV...」 maintain that SV... 「SV...」 effectiveness [ɪfektɪvnis] 「有効」 S be dependent upon A 「SはA次第である」 clarity [klærəti] 「明晰さ」 accuracy [ækjʊərəsi] 「正確さ」 efficiency [ɪfɪʃiənsi] 「効率性」 (2) physiology [fɪziɔlədʒi-ɔ:] 「心理学」 blossom [blɒsəm] 「開花する」 adapt to A [ədæpt] 「Aに適応する」

(3) 《北海道大》

Pesticides make the honeybees forgetful, and they also affect the ways in which they communicate, so either they cannot remember where nectar-producing plants are, or they are unable to inform other bees where to find them. But banning pesticides is very difficult, since they assist in the successful growth of other crops. Banning pesticides might create more food shortages, and we cannot simply revert to a world without agricultural chemicals.

(注) a pesticide [péstəsàid] 「殺虫剤」 revert[rivə:rt] 「戻る」「復帰する」

(4) 《徳島大》

Even the best instructor seems at first to be no help. The ease with which the instructor performs actions that he says are simple but that the student secretly believes are impossible is almost insulting.

(注) insulting [insɔltɪŋ] 「侮辱の」

(3)a pesticide [péstəsàid] 「殺虫剤」 forgetful [fərgétfəl] 「忘れっぽい」 affect A[əfékt] 「Aに影響を与える」 ban A 「Aを禁止する」 assist A [əsíst] 「Aを手助けする」 agricultural chemicals 「農薬」

(4)no help 「全く役立たない」 (=of no help=not helpful) secretly [sí:kritli] 「密かに」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《大阪市立大》

Speech has been part of our communication repertoire only in recent times in evolutionary terms, and is mainly used to convey facts and data. Speech probably first developed between 2 million and 500,000 years ago, during which time our brain tripled its size.

(注) repertoire [répərtwà:r] 「目録」 「レパートリー」

(2) 《高知大》

How can we change the world? Some people may think that they are unable to change the world. They probably wish the world would be different, but they believe that powerful people or governments are the only ones who can bring about change in the world. Sometimes I also feel this way. Through my career in nursing, I hope I can make the world a better place in which to live, at least for a small number of people.

(3)

GPS devices determine the latitude and longitude of the user's location, using radio signals received from satellites. Unlike bulky car navigation systems, portable GPS devices weigh just 100-300 grams. The devices can pinpoint the location of the user on a map on the display, trace the route taken and show the speed at which he is moving and the distance he has come.

(注) Global Positioning System 「全地球測位システム」.

発展問題(1)in evolutionary terms [èvəlú:ʃənəri] 「進化の観点で」 convey A [kənvéi] 「A を伝える」

(2)bring about A 「A を引き起こす」 nursing [nɔ:rsɪŋ] 「看護(士)」 a small number of A 「少数の」

(3)latitude [lætətjù:d] 「緯度」 longitude [lándʒətjù:d] 「経度」 location [loukéiʃən] 「位置」 a satellite [sætélàit] 「衛星」

bulky [bʌlki]

「かさばった」「巨大な」 pinpoint A 「A を正確に狙う」 trace A [treis] 「A を追跡する」

構文解説

(1)

関係代名詞が前置詞の目的語になる場合は、(前置詞+関係代名詞 SV...)と(関係代名詞～+前置詞)の語順となる。

※前置詞+関係代名詞と関係代名詞...前置詞の違い

①前置詞+関係代名詞のほうが、文語的である。②前置詞+関係代名詞 SV...の場合は、関係代名詞は省略することができない。③”前置詞+関係代名詞 SV...”の場合は、”SV...”が完全文なのに対して、”関係代名詞 ...～+前置詞”の場合は、関係代名詞以下は不完全文(前置詞の目的語が欠如)である。

(2)

“先行詞+前置詞+関係代名詞 SV...”の形で、先行詞と前置詞との結びつきが強い表現としてし、①the extent[degree] to which SV...(to some extent 「ある程度」 to と extent が結びついている)(例 They don't see **the extent to which they depend on others.** 「自分たちがどの程度他人に依存しているのかを悟っていない」)②the ease with which SV...(with ease 「容易に」 with 抽象名詞=副詞)(例 **The ease with which he answered the question surprised us.** 「彼が質問に容易に答えたのには我々は驚いた」)③the way in which SV...(in ～ way 「～のほうほうで」 the way in which SV...=the way SV...)などがある。

(3)

関係副詞 how が、This is how SV... 「このようにして SV...」の意味を表す。how の代わりに the way を用いることができるが、the way how という形は不可である。例 **This is how I usually cook fish.**

「こうして私はいつも魚を料理する」同じような形に This is why SV... 「こういうわけで SV...」がある。why を the reason に変えても同じ意味である。the reason why の形はあまり用いられない。例 He insulted her. **That is why she got angry.** 「彼は彼女を侮辱した。そういうわけで彼女は怒ったのだ」

(4)

前置詞+関係代名詞+to V...の形で、先行詞を修飾する場合がある。”前置詞で終わる不定詞の形容詞的用法(名詞+to V...前置詞)”をもとに考えると理解しやすい。この形から、前置詞を前に出し、先行詞(もの場合は which、人の場合は whom)に合わせて which, whom をつけてできる形である。(例 the house to live in ⇔ the house in which to live 「住む家」 / the man to depend on ⇔ the man on whom to depend 「頼るべき人」)。先行詞が、を用いる。文語的な表現。

No23 《関係詞Ⅳ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [重要構文] 関係代名詞 what

解答時間 20 分

- (1) The town is now very different from what it was ten years ago.
- (2) What he says is great, but he doesn't put it into practice.
- (3) You have to get close to what you should be as a professional baseball player.
- (4) We should be judged by what we are, not by what we wear.
- (5) When you reflect on what you have been, you can imagine what you will be.
- (6) It is often said that rice is to Asians what wheat is to Europeans.
- (7) The book is interesting, and what is more, very instructive.
- (8) She got lost, and what was worse, it was getting dark outside.
- (9) You must attend the meeting, and what is more important, express your own opinion.
- (10) This plan has many merits, and what is best of all, easy to carry out.
- (11) I wonder what it is like to travel through space.
- (12) This is what the climate crisis is all about.

【3】 [文法] 関係詞 what

解答時間 10 分

空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) Remember () I've just told you. It'll be very important when you grow up.
①as ②what ③which ④that
- (2) She lost () little money she had.
①how ②those ③what ④which
- (3) () attracted us most was the beautiful scenes.
①That ②Which ③What ④How
- (4) Japan is now very different from () she was twenty years ago.
①the condition ②what ③which ④whom
- (5) Reading is to the mind () food is to the body.
①that ②what ③which ④though
- (6) This is () is called the Norman Conquest.
①which ②what ③that ④whichever

- (7) It was rainy, and () was worse, thundering.
 ①what ②such ③which ④it

【4】 [整序] 関係詞 what

解答時間 20 分

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 私の郷里は 30 年前とは大変違っている。〈中央大〉
 My home town is (ago / different / from / it / thirty / very / was / what / years).
- (2) 彼はなけなしのお金をはたいて新車を買った。
 He took (he / what / little / had / money) and bought a new car.
- (3) 彼女の考えは、いわゆる進歩的なものでした。
 Her (called / were / advanced / notions / is / what). 〈東京家政大〉
- (4) 私がこれから言うことをよく聞きなさい。(1 語不足)
 Listen carefully (tell / I'm / you / to / to / going). 〈中央大〉
- (5) 彼らは燃えそうなものは何でも集めた。
 (would / everything / thought / collected / they / burn / they). 〈東洋大〉
- (6) 誰もが予期していたとおりのことを彼はやった。
 He (did / everyone / expected / he / what / would). 〈東京理科大〉
- (7) 彼は息子に必要な以上の金を与えるべきではなかった。〈名城大〉
 (have / shouldn't / he / was / more money / his son / than / given / necessary).
- (8) 言葉が詩人にとって重要であるのと同じように、事実は科学者にとって重要である。(1 語句不要)
 Facts are to (to / are / similar / words / what / the poet / the scientist).
- (9) 私には相談できる友だちがたくさんいる。
 (a / consult / friends / have / I / lot / of / to / whom / with). 〈山形大〉
- (10) 弟は試験に受かると思ったのに落ちた。(1 語不要) 〈中央大〉
 My brother, (examination / I / pass / supposed / the / though / who / would), has failed.

【2】〔重要構文〕関係代名詞 what(1)今、その町は 10 年前とは大きく異なっている。(2)彼の言うことはすばらしいが、彼はそれを実践しない。(3)プロ野球の選手として君は本来の姿に近づくようにしないとイケない。(4)私たちは身なりでなく、人柄で判断されるべきだ。(5)あなたはこれまでの自分がどのようなものであったかをよく考えれば、どんな人になるか想像することができる。(6)米とアジア人との関係は、小麦とヨーロッパ人との関係に等しい、とよく言われる。(7)その本はおもしろくて、その上とてもためになる。(8)彼女は道に迷い、さらに悪いことには外は暗くなりつつあった。(9)あなたは会議に出席しなければなりません。そしてさらに重要なことは、自分自身の意見を述べなければなりません。(10)この計画は多くの優れた点がある。中でも最も良いのは、実行しやすいことである。(11)宇宙旅行するってどんなものだろう。(12)これこそ気候危機の本質である。【3】〔文法〕関係詞 what (1) ②(2) ③(3) ③(4) ②(5) ②(6) ②(7) ①

【4】〔整序〕関係詞 what (1) My home town is (very different from what it was thirty years ago). (2) He took (what little money he had) and bought a new car. (3) notions were what is called advanced (4) to what I'm going to tell you (what 不足) (5) They collected everything they thought would burn(6) did what everyone expected he would (7) He shouldn't have given his son more money than was necessary (8) the scientist what words are to the poet(similar 不要) (9) I have a lot of friends with whom to consult (10) who I supposed would pass the examination(though 不要)

【5】 基礎 [英文解釈]

解答時間各 15 分

(1)

But after all, what interests us most in a foreign city is not the ruins or the churches or the pictures or the scenes of historical and legendary happenings, but the ordinary life of the place — the crowds in the streets, the traffic, the shopfronts.

(注) shopfronts 「店先」

(2) 《岩手大》

Many intelligent people still think that happiness is the same as fun. The truth is that fun and happiness have little or nothing in common. Fun is what we experience during an act. Happiness is what we experience after an act. It is a deep emotion that lasts for a long time. Going to an amusement park or watching television, for example, are fun activities that help us relax and forget our problems for a short period. But they do not bring happiness, because their positive effects end when the fun ends.

(3)

More than half of my years have gone — perhaps two-thirds of them have gone. My brain is as good as ever it was, and will probably remain so for a very long time yet, but my energy is not and cannot be what it was, and it will gradually decline.

【5】 (1)after all 「結局」 a ruin [rú(:)ən] 「廃墟」 historical [hist(ə)rikel] 「歴史的な」 legendary [lédʒendəri] 「遺産」
(2)emotion [imóʊʃən] 「感情」 last 「続く」 positive [pázətív] 「肯定的な」「良い」
(3) gradually [grədʒuəli] 「徐々に」 decline [dikláin] 「低下する」

(4)

Few animals can see colours; apparently the world as seen even by most mammals is a black and white world, not a coloured world. On the other hand, we are much worse off than many other creatures — dogs, for instance, or some moths—in regard to smell. Our sense of smell is to a dog's **what** an eye capable of just distinguishing big moving objects is to our own eye.

(5) 《センター》

My niece, Ann, is in her third year at university. She has recently started her job search. When she entered the university, she wanted to be an architect and planned to apply for work in an architectural firm. But as she prepared for her job search, she learned that the way people work has changed a lot in the last few years. She discovered that much of the change has occurred because of **what is called** the IT Revolution. The “IT (Information Technology) Revolution” refers to the dramatic change in the way information is perceived and used in today's world.

(4) in regard to A 「Aに関して」 distinguish A [dɪstɪŋɡwɪʃ] (from B 「Aを(Bと)区別する」 an object 「物体」

(5) architect [ɑːrkɪtɛkt] 「建築」 an architectural firm [ɑːrkɪtɛktʃərəl] 「建築会社」 refer to A 「Aを意味する」 perceive A [pərsiːv] 「Aを知覚する」

構文解説

(1)

関係代名詞の **what** は、先行詞を含んでいるのが特徴である。先行詞が漠然としていたり、特に示す必要がないような場合に、用いられる。多くが **the thing(s) which ...** ので言い換えることができる。また、**関係代名詞の特徴である”後続の文が不完全文”は、what でも当てはまる。**また、他の関係代名詞 **who, which, that** の導く節が先行詞を修飾する形容詞節であるのに対して、**what の導く節は名詞節**となる。文中で、**主語, 補語, 目的語**になる。

(2)

what の直後に名詞を伴い、形容詞としてその名詞を修飾しながら接続詞の働きをする場合がある。関係形容詞と呼ばれ、「(... する)すべての～」の意味を表す。”**what little** 不可算名詞 ...”や”**what few** 可算名詞(複数形)...”のように数量形容詞が加わり、「少ないけれども(...する)すべての～」という意味を表す形もある。

(3)

what A is all about の形で「A とは一体何か、A の本質」を表す。”**what S is**” 「S とは何か」を強調したものに近い。(例 **That's what teaching is all about.** 「それが、教えるということだ」「教えることとは、まさにそのようなことだ」)

(4)

“**what S is like**”の S に形式主語 **it** を用いて、真主語の **to V** を **like** の後ろに持っていった形。**what is it like to V** 「「～するのはどのようなことか」の意味を表す。**is** のまえに助動詞が置かれたり、**is** の代わりに **look/feel/seem** などが用いられることもある。(例 **He doesn't know what it is like to live without love.** 「愛なしで生きることは、どういうことか彼はわかってい」 **Do you know what it feels like to speak in public?** 「人前で話すのがどんな感じかわかりますか」)

No24 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>



- 【1】 [講習会確認テスト]
- 【2】 [リスニング]
- 【3】 [整序・英作文]《関西学院大》

解答時間 15分

次の設問(A, B)に答えなさい。

設 問

A. 次の日本語(1, 2)に相当する意味になるように, それぞれ下記(a~g)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき, 並べ替えた語句の最初から 2 番目と 6 番目に来るものの記号をマークしなさい。

(1) 歴史は過去の物語に過ぎないと思える人もいるかもしれない。

Some people may think that history () the past.

- | | | | |
|----------|------------|--------|---------|
| a. of | b. nothing | c. is | d. than |
| e. story | f. more | g. the | |

(2) 日本に住んでいたとき, なんて日本人は礼儀正しく親切なのだろう, と気づかずにはいられなかった。

In the years I lived in Japan, I () the Japanese were.

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------|
| a. polite | b. and | c. help | d. how |
| e. friendly | f. noticing | g. couldn't | |

B. 次の日本語に相当する意味になるように英文の空所を埋めなさい。答えは, 空所に入れる部分のみを記述式解答用紙の所定欄に記入しなさい。

たいていの人の意見が一致することが一つあるとすれば, それは幸せになりたいということだろう。

(), it's that they want to be happy.

No25 《Vocablury Check》



【1】〔語彙検定〕

第2回 語彙検定

【2】〔英文解釈〕

解答時間 20 分

次の各英文(1)～(3)の下線部を和訳しなさい。

(1)

To be yourself is very difficult, because you think that what you are is not what you desire to be, and that if you could only change what you are into something noble it would be marvellous; but that never happens. Whereas, if you look at what you actually are and understand it, then in that very understanding there is a transformation.

(2) 《早稲田大》

You will not disarm your foreign hosts, guests, or colleagues simply by showing you understand their culture; your actions and demeanor must prove that you have already to some extent entered their world. Whether it's the way you shake hands or order a coffee, evidence of an ability to mirror the customs and gestures of the people around you will prove that you esteem them (well enough to want to be like them. By adopting people's habits and mannerisms, you eventually come to understand in the most elemental way what it is like to be them. They, in turn, become more trusting and open.

(注) disarm [disá:rm] 「敵意を和らげる」

demeanor [dimí:nər] 「態度」「挙動」 a mannerism [máenərìzem] 「癖」

(3) 《愛知教育大》

Researchers are trying to create machines that can think like humans, understand the spoken word, and beat even the best chess players. The human brain is made up of billions of cells called neurons that make up the physical system for thinking. It is perhaps the most complex system in the world. To build something like that in a computer is what artificial intelligence is all about.

(注) a neuron [njúeran] 「神経細胞」
artificial intelligence [à:rtəfijel] 「人工知能」

【2】(1)noble [núubl] 「高貴な」 marvellous [má:rveləs] 「驚くべき」 transformation [tr`ænsfərméijən] 「変容」
(2)mirror A 「Aを模倣する」 esteem A [estí:m] 「Aに敬意を払う」 adopt A [ədápt] 「Aを採用する」 in turn 「すると」
eventually [ivéntʃuəli] 「最終的に」
(3) make up A 「Aを作る」

NO26 《関係詞V》



【1】 [確認テスト]

【2】 [文法] 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞

解答時間 10 分

空所に入れるのに最も適切な語句を，下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) He can do () he likes with the money.
①which ②however ③whatever ④that
- (2) () happens you may rely on my friendship.
①Whenever ②Whatever ③Whoever ④However
- (3) Give this book to () wants it.
①whom ②anyone ③someone ④whoever
- (4) () is able to drive can take part in it.
①Any people who ②Whenever he ③Which person ④Whoever
- (5) () is worth doing at all is worth doing well.
①Whichever ②Whatever ③Whoever ④Whomever
- (6) I'll deeply appreciate () help you can give me.
①which ②whatever ③anything ④whose
- (7) () excuses he may make, I cannot forgive him.
①However ②Whatever ③What ④How
- (8) We have a right to live () we want to.
①which ②wherever ③whatever ④whichever
- (9) "What time should I begin?" "I don't know. Begin () you want to."
①however ②whatever ③whenever ④whoever
- (10) Keep on with your studies, () hard it sometimes seems.
①however ②no matter what ③so ④whatever
- (11) You don't have to sit through the whole lecture. You may leave () you like.
①at time ②the time ③what time ④whenever
- (12) () rich a man may be, he will not always be happy.
①Whichever ②No matter what ③Whoever ④No matter how

【3】 [整序] 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞

解答時間 20 分

日本語とほぼ同じ意味になるように()内の語句を並べかえなさい。

- (1) 彼女は興味を持っているものを何でも見せてもらえるでしょう。
(be / in / interested / is / she / she / shown / whatever / will).
- (2) 彼はどんなに注意して書いても、しばしば間違える。
He often makes mistakes, (carefully / he / may / however / write).
- (3) どんなにその問題が難しくても、決してあきらめてはいけない。
Never give up (difficult / is / the / no / problem / how / matter).
- (4) 誰から聞いたにしても、そんな話は信じてはなりません。
You should not believe such a story, (from / you / heard / it / whoever).
- (5) 列車がいつ着いたとしても我々は駅でお迎えします。〈近畿大〉
We will meet you (at / no matter / the station / time / what / your)
train arrives.
- (6) いくら速くやっても、彼はいつも私のことを非難する。
(do / how / I / it / matter / no / quickly), he always criticizes me.
- (7) 君は将来どんな仕事に就いてもうまくやるだろう。(1 語不要)
You'll (in / do / may / you / well / settle / business / whatever)
undertake in the future.
- (8) その日から後は、彼女といっしょにいないときはいつも、さびしい気持ち
が私につきまとった。〈立命館大〉
From that day on, I (a haunting loneliness / away from / felt / her / I
was / whenever).
- (9) 日本中、どこへ行こうと、車文明からは逃げられない。(1 語不足)
You (civilization / no / car / matter / cannot / from / you / in / escape /
Japan / go).
- (10) 誰でも、1 着になったら賞金を千円あげます。
(first / wins / in / whoever / 1,000 / comes / as) the prize. 〈専修大〉

【2】 [文法] 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞(1) ③(2) ②(3) ④(4) ④(5) ②(6) ②(7) ②(8) ②(9) ③(10) ①(11) ④(12) ④

【3】 [整序] 関係詞③複合関係代名詞/複合関係副詞(1) She will be shown whatever she is interested in (2) however carefully he may write (3) Never give up (no matter how difficult the problem is). (4) whoever you heard it from (5) We will meet you (at the station no matter what time your) train arrives.(6) No matter how quickly I do it (7) do well in whatever business you may (settle 不要) (8) felt a haunting loneliness whenever I was away from her (9) cannot escape from car civilization no matter where you go in Japan 〈where 不足〉 (10) Whoever comes in first wins 1,000 as

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

(1)

Most of the work that most people have to do is not in itself interesting, but even such work has certain great advantages. To begin with, it fills a good many hours of the day without the need of deciding what one shall do. Most people, when they are left free to fill their own time according to their own choice, are at a loss to think of anything sufficiently pleasant to be worth doing. And whatever they decide on, they are troubled by the feeling that something else would have been pleasanter.

(2)

Whoever has to deal with young children soon learns that too much sympathy is a mistake. Children readily understand that an adult who is sometimes a little stern is best for them; their instinct tells them whether they are loved or not, and from those whom they feel to be affectionate they will put up with whatever strictness results from genuine desire for their proper development.

【4】(1) in itself 「それ自体」 an advantage [ædvæntidʒ] 「利点」 to begin with 「まず第一に」 fill A 「Aを満たす」 are left free to 「自由にVするよう任される」 according to A 「Aに従って」 be at a loss to V 「Vするのに困惑する」 sufficientl
y ~ to V [sʌfɪjɪntli] 「Vするほど十分に〜」 (= ~ enough to V) trouble A 「Aを困らせる」
(2) deal with A 「Aを扱う」 sympathy [sɪmpəθi] 「同情、共感」 stern 「厳しい」 an instinct [ɪnstɪŋkt] 「本能」 affectionate
[əfɛkʃənɪt] 「愛情のある」 put up with A 「Aを我慢する」 S result from A 「SはAから生じる」 genuine [dʒɛnjuɪn] 「純
然たる」 proper [prəpər] 「適切な」 cannot avoid Ving 「Vingせざるを得ない」 (= cannot help Ving) an origin [ɔ(ː)rɪdʒɪn]
「起源」

【5】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《山口大》

Water is a precious natural resource that must be used carefully for the benefit of all living creatures on our planet Earth. Each one of us needs to come up with ideas to keep water clean at home, at work, and in school. There may be no one single, comprehensive answer; yet, every effort, however small, is certainly not just a drop in the bucket.

(2) 《大阪大》

In conversation, one is likely to find out certain things about the other person quite easily. He will learn these things not so much from what the other man says as from how he says it, for whenever we speak we cannot avoid giving our listeners clues about our origins and the sort of person we are.

【5】 (1) precious [préʃəs] 「貴重な」 for the benefit of A 「Aのために」 comprehensive [kàmprihénsiv] 「包括的な」 bucket [bʌkɪt] 「バケツ」

(2) conversation [kànvərséɪʃən] 「会話」 cannot avoid Ving 「Vせざるを得ない」 (=cannot help Ving) an origin 「起源」 「生まれ」

発展問題

解答時間 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《筑波大》

Creative writing cannot be taught; it can only be learned. A teacher cannot tell a man how to write; he can tell him only how to write better. The teacher can conduct or guide or direct; he can save the writer time — perhaps years — by showing him the shortcuts and by helping him solve the technical problems that use up time and energy. He can help him overcome emotional blocks that keep him from writing. The teacher can even strike a match and set the writer afire. However, the flame itself is not in the teacher but in the writer.

All writing that is not directly copied from another source is creative. A letter is creative. An advertising slogan is creative. Whatever goes through the mind of a human being and is altered by it is creative.

(注) slogan [slóugən] 「スローガン」 「標語」

(2)

I am a writer as I might have been a doctor or a lawyer. It is so pleasant a profession that it is not surprising if a vast number of persons adopt it who have no qualifications for it. It is exciting and various. The writer is free to work in whatever place and at whatever time he chooses; he is free to idle if he feels ill or dispirited.

発展問題(1)conduct A[kándakt] 「A を指導する」 a shortcut 「近道」 technical [téknikel] 「技術的な」 overcome A [óuvərkam] 「A を克服する」 emotional [imóufənel] 「感情的な」 a block 「障害」 strike a match 「マッチをする」 flame [fleim] 「炎」

(2)a profession [prouféfen] 「職業」 a vast number of 「かなりの数の」 a qualification [kwàlifikéifən] 「資格」「能力」 be free to V 「自由に V する」 dispirited [dispíritid] 「気力を失った」

構文解説

(1)

関係代名詞に-everをつけた whoever, whomever [文語], whichever, whatever を複合関係代名詞と呼ぶ。複合関係代名詞は先行詞を含んでおり、名詞節を導く場合は「any～＋関係代名詞」、副詞節を導く場合は「no matter 関係代名詞」と置き換えることができる。

※複合関係代名詞：名詞節

who(m)ever ～ = anyone who(m) ～ (～する人はだれでも) whichever ～ = any[either]one that ～ (～するものはどれでも[どちらでも]) whatever ～ = anything that ～ (～するものは何でも)

※複合関係代名詞：副詞節

who(m)ever = no matter who(m)～(たとえだれが[を]～しようとも) whichever = no matter which～(たとえどちらが[を]～しようとも) whatever = no matter what～(たとえ何が[を]～しようとも)

(2)

複合関係代名詞のうち, whichever と whatever は直後に名詞を伴い、関係形容詞としても用いられる。例 You should read whichever book is interesting. 「どちらも面白い方を読むべきだ」

長文読解 5

次の英文の下線部(1)～(3)を日本語に訳しなさい。

(1) We tend to have a better memory for things that excite our senses or appeal to our emotions than for straight facts and dry statistics. This means that you might overestimate the number of times your colleague wore a red tie, or underestimate how often he wore a gray one, simply because red is a brighter color. Similarly, you might ignore all the enthusiastic online recommendations for a new restaurant because one good friend told you that she recently ate the worst dinner of her life there. Majority consensus contradicts your friend, but her personal story and facial expressions are what you recall every time you walk by the restaurant.

Our decisions can also be affected by the vividness and tangibility* of the consequences of each choice. Have you ever noticed that you spend with greater abandon when you use a credit card instead of cold hard cash? Research has shown that people are willing to spend significantly more when paying with a credit card than with cash — over twice as much in some studies.

② When we take bills out of the wallet and hand them over, our senses register that we now have less money. But when the cashier swipes a piece of plastic and gives it back to us, it feels as if we aren't paying anything at all.

Even the order in which we encounter options can affect their availability. We tend to better remember the first and last options in a group, so rather than focusing on the merits of each alternative, we may be influenced primarily by the position in which each appeared. ③ This is why items displayed at either end of a store shelf sell more than those in the middle, and it's also the reason an interviewer might unconsciously pay more attention to the first and last candidates in a job interview.

出典 : Sheena Iyengar, *The Art of Choosing* (一部改変)

(注) tangibility 有形性, 感知可能性

tend to V 「V する傾向である」 appeal to A 「A に訴える」 an emotion [imóuʃen] 「(強い)感情」 statistics [stətístiks] 「(複数扱い)統計」

「統計学」 overestimate [óuv(ə)réstimeit] 「過大評価する」 colleague [káli : g] 「同僚」「仲間」 underestimate [ʌ`nd(ə)réstimət] 「過小評価する」 enthusiastic [enθjù : ziæstik] 「熱狂した」 recommendation [rèkəməndéiʃən] 「忠告」「推薦」 consensus [kənsénsəs] 「同意」 contradict A [kànrədíkt] 「否定」「矛盾する」 recall A [riko : l] 「思い出す」 affect A [əfékt] 「影響する」 abandon 「気まま」「無我夢中」 credit [krédit] 「信用」「クレジット」 significantly [signífikəntli] 「著しく」「《文修飾》重要なことに」 swipe A [swáip] 「強打する」 encounter [enkáuntər] 「出会う」「直面する」 availability [əvèiləbíləti] 「入手可能であること」「利用できること」 focus on A [fóukəs] 「焦点を合わせる」 merit [mérit] 「長所」 influence A [ínfluəns] 「影響を与える」 primarily 「主に」「基本的に」 (primary [práimèri] 「主要な」「基本的な」) unconsciously [ʌ`nkə'n(t)ʃəs] 「意識を失った」「無意識の」 pay attention to A 「A に注意を払う」 a candidate [kændidèit] 「候補者」「志願者」

NO27 《関係詞》[発展問題 PLUS]



解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(10)の下線部を和訳しなさい。

(1)

Investigation often discloses that the child has never actually been taught to obey. As a result he may have a disregard for rules, orders, and authority. The parents who are responsible for such signs of anarchy among the young are not, as one might expect, always neglectful, indifferent, casual fathers and mothers. They are often intellectually sophisticated men and women who take their responsibilities to their children seriously.

(注) anarchy [æ'nɑ:ki] 「無法状態」

(2) 《青山学院大》

It turns out, too, that the everyday things parents do with young children, the baby-talk and the peek-a-boo*, the kisses and the jokes, are far more subtle and intricate than was previously thought. They appear intricately designed to teach babies just the things they need, in a way that electronic toys or videos can't begin to approach. For example, it turns out that the high-pitched sing-song voice all adults use when talking to babies makes the sound structure of language particularly clear.

(注) peek-a-boo 「いないいないばあ」

(1)disclose that SV...disclose 「SV を明らかにする」obey [oubéi] 「従う」as a result 「結果として」a disregard [disrígá:rd] 「無関心」「軽視」authority [əθə:rəti] 「権威」anarchy 「無政府状態、無法状態」neglectful [niglékftəl] 「不注意な」「怠慢な」indifferent [indiferənt] 「無関心な」casual [kægʒuel] 「のんきな」「あてにならない」sophisticated [səfistəkèitid] 「洗練された」

(2)It turns out that SV... 「SV...とわかる」subtle [satl] 「微妙な」intricate [intri:kɪt] 「複雑な」intricately 「複雑に」high-pitched 「ピッチの高い」particularly [pə:tíkju:lərli] 「特に」

(3) 《佐賀大》

People are often advised “not to be afraid of failure.” There are a lot of people who suffer setbacks because of this advice. There are also a lot of people who suffer failure despite being warned against it. And there are those who fail without being told either way.

I wonder if **those who** advise people not to be afraid of failure really mean it. Are they ready to forgive their son if he goofs off because he is not afraid of **failing in an exam**? Children know that this kind of advice is not made in earnest, and that they will be scolded if they fail. (Come to think of it, things you are told not to be afraid of are always scary.)

(注) goof off 「さぼる」

(4)

People may be keenly interested in the activities of foreign nations for political reasons and they may need to acquire **that** close knowledge of current affairs **which** travel abroad and the reading of foreign newspapers and journals alone can supply.

(3)a setback [sɛtb`æk] 「つまづき」「失敗」 despite A [dispáit] 「Aにもかかわらず」 warn A [wɔ:rn] 「Aに警告を与える」 in earnest [ə:rnɪst] 「本気で」 scold A [skould] 「Aを叱る」 come to think of it 「考えてみると」 scary [skéeri] 「恐ろしい」

(4) keenly 「激しく」 current affairs [kə:rent] 「現在のできごと」

(5)

Plants may be said to have their habits as well as animals. Many flowers close their petals during rain; the advantage of which is that it prevents the honey and pollen from being spoiled or washed away.

(注) pollen [pólən] 「花粉」

(6)

The best way to make yourself liked and to make friends is to like people enough to become interested in what interests them, and to be outgoing and friendly. Don't overlook this rule! The truly interested and outgoing person is very rare. Most of us go through life mentally wrapped in the cotton wool of our own affairs. We go about thinking of what we are going to do, what we hope or fear is going to happen to us, instead of thinking or caring about what happens to those about us.

(5) spoil A [spɔil] 「A を台無しにする」 (spoil の過去分詞) wash A away 「A を洗い流す」

(6) outgoing 「陽気な」 overlook A [óuvərlúk] 「A を見落とす」 mentally 「精神的に」 wrap A 「A を包む」 cotton [kátn] 「木綿」 go about Ving 「Ving に取り組む」 instead of A 「A の代わりに」

(7)

The interest in many good books is limited to a definite period of history. They do not possess the universal appeal that results from dealing with the fundamental questions which confront men in all times and places and in a way that men in all times and places can understand. Great books, on the contrary, go beyond the provincial limits of their origin. They remain as world literature. The ones we are sure are great are the ones men everywhere turn to again and again through the centuries.

(8)

I have always wondered at the passion many people have to meet the celebrated. The prestige you acquire by being able to tell your friends that you know famous men proves only that you are yourself of small account. The celebrated develop a technique to deal with the persons they come across. They show the world a mask, often an impressive one, but take care to conceal their real selves. They play the part that is expected from them and with practice learn to play it very well, but you are stupid if you think that this public performance of theirs corresponds with the man inside.

(7)S be limited to A 「SはAに限られる」 definite [défanit] 「限られた」「明確な」 possess A [pəzéz] 「Aを所有する」
an appeal 「魅力」 confront A [kənfrʌnt] 「Aに面と向かう in a way that SV... 「SV...のように」 on the contrary [kántrèri]
「それどころか」 provincial [prouvínʃel] 「地方の」

(8)wonder at A 「Aに驚く」 passion [pæʃən] 「情熱」 the celebrated 「有名人」 prestige [prestí:ʒ] 「特権」 of small account
「つまらない」 (of ~抽象名詞=形容詞)come across A 「Aに偶然である」 impressive [imprésviv] 「印象的な」 conceal A
[kənsí:l] 「Aを隠す」 correspond with A [kə(:)rəspánd] 「Aに一致する」

(9) 《慶応大》

A striking example of the pleasure garden in our century is the Disney theme park — a unique American creation that, thanks to modern technology, is able to produce wonder and illusion far beyond **that which** could be achieved in earlier times. Unique too is the theme park's erasure of the present in favor of not only a mythic past but also a starry future — in favor, moreover, of a frankly designed Fantasyland peopled by characters from fairy tales and from Disney's own fertile imagination.

(10)

Hope is the forerunner of the greatest of all states of mind. Hope sustains one in times of emergency when, without it, fear would take over. Hope is the basis of the most profound form of happiness which comes from the expectancy of success in some, as yet unattained, plan or purpose. Poor indeed is the person who cannot look toward the future with the hope that he will become **the person he would like to be.**

(9)striking [stráikiŋ] 「際立つ」 illusion [ilú:ʒen] 「幻想」 erasure [iréiʃər] 「消去」 mythic[míθik] 「神話の」「神話的な」
starry [stá:ri]frankly 「率直に」 fertile [fə:rtel]
(10)forerunner 「先駆者」 sustain A [səstéin] 「Aを維持する」 emergency [imə:rdʒensi] 「非常事態」 profound
[proufáund]expectancy 「予期」 unattained 「未達成」

構文解説

(1)

先行詞(the only man)を 2 つの関係代名詞(that,who)が導く節によって限定する用法を、関係代名詞の二重限定という。この用法では、最初の関係代名詞はよく省略される。(例 His latest work is the first book I have read that deeply impressed me. 「彼の最新作は私がこれまで読んだ中で私を強く感動させた最初の本だ」)

(2)

直後に名詞を伴い、"which 名詞 ..."の形で、形容詞としてその名詞を修飾しながら関係詞として用いられることがある。この用法の which は関係形容詞と呼ぶ。非限定用法の場合に限られ、かなり文語的な表現である。例 She may be late, in which case we will wait. 「彼女は遅れてくるかもしれませんが。其の場合は待ちます」

(3)

関係代名詞 as には、①先行詞に the same,such,as [so]がつく場合に用いられる場合(例 I've made **the same** mistakes **as** I made last time. 「私はこの前と同じ誤りをしてしまった」)②比較級の as～as 構文中の as 以下で用いられる場合(例 I don't think the house is **as big as** we hoped. 「その家は私たちが望んでいたほど大きくないと思う」)③前の節全体や一部を先行詞とする場合(例 **As was expected**, won the prize. 「期待されたとおり彼は賞を得た」)がある。

(4)

関係代名詞 than は先行詞に比較級が用いられている場合に用いる。関係代名詞 than は主格と目的格しかない。(例 He has **more** money **than** is needed 「彼は必要以上もお金を持っている」 He has **more** books **than** he can read in his life. 「彼は一生かかっても読み切れないほどの本を持っている」)

(5)

代名詞 that が関係代名詞 which の先行詞になる場合がある。that which (S)V... 「(S)V... こと(もの)」のいを表す。この場合,what で書き換えられることが多い。
代名詞 those が関係代名詞 who の先行詞になる場合がある。those who (S)V... 「(S)V... 人々」。もともと those people who (S)V... の形から、people が省略された形と考えるとよい。

(6)

関係代名詞が修飾する先行詞を明確に示すために、先行詞の前に that/those を置く場合がある。先行詞明示の that/those と呼ばれる。なお、この場合の that/those は特に訳出する必要はない。

No28 《比較 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [精選問題] 《比較 TEN》

解答時間 6分

- (1) 庭が小さければ小さいほど、その世話をするのも容易になる。
The smaller the garden, () to look after it.
①it is easier ②it is easily ③the easier it is ④the easily it is
- (2) 三姉妹のうち、ジェーンが最も歌が上手い。
Of the three sisters, Jane was () singer.
①the better ②the best ③a best ④a better
- (3) 彼女は、彼の性格ゆえに一層彼を愛していると言っている。
She says she loves him all () for his character.
①more ②less ③the most ④the more
- (4) 彼女は賢いというよりも賢明です。
She is () than clever.
①wise ②wiser ③more wise ④more wiser
- (5) スーザンは彼女のクラスでずば抜けて最高の学生です。
Susan is () student in her class.
①much best ②very the best ③much the best ④the much best
- (6) もっとも賢いチンパンジーですら飛べないのと同様に話すことはできない。
Even the brightest of chimpanzees can no () speak than they can fly.
①less ②more ③most ④least
- (7) これは、2つの中でより役立つほうです。
This is () of the two.
①much more useful ②very more useful
③the more useful ④the most useful
- (8) 彼はあなたより10歳年上である。
He is ten years senior () you.
①than ②above ③to ④over
- (9) 彼が多くの本を持っているので私は驚いた。彼の蔵書は少なくとも5千冊ある。
I was surprised that he had a lot of books. There were () five thousand books in his library.
①not more than ②not less than
③no more than ④at most
- (10) 私の弟は、私が持っているよりもずっと多くの本を持っています。
My brother has () good books than I have.
①many more ②much more ③very much more ④very more

- (1) The smaller the garden, the easier it is to look after it.
The 比較級 SV..., the 比較級 SV~. 「...すればするほど、ますます～」
- (2) Of the three sisters, Jane was the best singer.
S is the 最上級 名詞 of A(複数名詞) 「SはAの中で最も...の～だ」
- (3) She says she loves him all the more for his character.
(all) the 比較級 for 名詞[because of A/ because SV...] 「...がゆえにそれだけ～」
- (4) She is more wise than clever.
同一人物の異なる性質を比較する場合は、more ... than～を用いる
- (5) Susan is much the best student in her class.
最上級の強調：much / by far
- (6) Even the brightest of chimpanzees can no more speak than they can fly.
A is no more B than C is D 「CがDでないようにAはBでない」
*A is no less B than C is D 「CがDであるのと同様にAはBである」
- (7) This is the more useful of the two.
二者の比較では、比較級の前に定冠詞 the をつける。*特定の the
- (8) He is ten years senior to you.
比較対象を than ではなく to を用いるラテン形容詞：be superior to A 「Aより優れている」 be inferior to A 「Aより劣っている」 be junior to A 「Aより若い」
- (9) I was surprised that he had a lot of books. There were not less than five thousand books in his library.
no less than A 「Aも」 *no more than A 「わずかA」 not less than A 「少なくともA」 not more than A 「せいぜいA」
- (10) My brother has many more good books than I have.
many more 複数名詞 than A 「Aよりずっと多くの...」

No29 《比較Ⅱ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

1. He is **as tall as** his father.
2. The climate here is **as mild as** that of Osaka.
3. We sold the house at **as good a price as** we could.
4. The movie is **not as[so] appealing as** the original.
5. Mr. White is **not as[so] young as** he looks..
6. This river is three times **as wide as** that one.
7. His desk is **half the size of** mine.
8. Please return me the book **as soon as possible**.
9. He is **as diligent a boy as any** (boy) in his class.
10. He was **as cheerful as ever**.
11. Shakespeare is **as great a writer as ever lived**.
12. He read **as many as** ten books yesterday.
13. We are walking **as far as** three kilometers.
14. We are in **as beautiful a country as any** in the world.

1. 〈原級 as ... as ~ 「〜と同程度...」〉
彼は父親と同じくらいの背の高さだ。
2. 〈原級 as ... as ~ 「〜と同程度...」〉 ※比較対象は同種でなければならない。
この気候は大阪の気候と同程度穏やかである。
3. 〈原級 as 形容詞 a[n] 名詞 as ~〉 ※as ... as で、...に名詞がくる場合、as 形容詞 a[n] 名詞 as ~ の語順となる。
私たちは家をできるだけよい値で売った。
4. 〈not as ... as ~ 「〜ほど...でない」〉
その映画は原作ほど人の心を動かさない。
5. not as ... as ~ 「〜ほど...でない」
ホワイト氏は見かけほど若くはない。
6. 〈X times(twice/half) as ... as ~ 「〜の X 倍の...」〉
この川はあの川の 3 倍の川幅だ。
7. 〈X times (twice/half) the 名詞 of ~ 「〜の X 倍の...」〉 =X times(twice/half) as ... as ~
彼の机は私の机の 2 倍の大きさがある。=(His desk is twice as large as mine.)
8. 〈as ... as possible [S can] 「できる限り」〉
できるだけ早くその本を返してください。
9. 〈as ... as any ~ 「どの〜にも劣らぬ...」〉
彼は彼のクラスのだれにも劣らぬ勤勉な少年だ。
10. 〈as ... as ever 「相変わらず」〉
彼はいつもながら陽気だった。
11. 〈as ... as ever lived 「これまででない...」〉 ※これまで生きてきた中で...
シェークスピアは不世出の作家である(=これまでで最も偉大な作家である)。
12. 〈as many as 数字「〜も」〉
彼は昨日 10 冊も本を読んだ。
13. 〈as far as ... 「〜も」(距離) 強調表現 ※as early as ... 「...も(早く)」 as long as... 「...も(長く)」
私たちは 3 キロも歩いている。
14. 〈as... as any 「誰(何)にも劣らぬ...」〉
私たちは世界のどの国にも劣らぬ美しい国にいる。

【3】 [英作文]

解答時間 15分

Read the following dialogue between persons A and B, then put the underlined parts (1), (2), (3), (4) into English.

A : In spite of globalization, (1)日本の大学生は海外留学をあまりしたがるな
い傾向にあるよね。

B : I think so. (2)どうして彼らは海外のことに無関心になっているのかなあ。

A : Because of information technology or IT, they can quickly and easily get
lots of information from around the world. However, in a global society, (3)
自分自身の経験を通して深く考えることが、より大切になってくるよ。

B : Sure. I agree. (4)彼らはさまざまな文化に触れることで視野を広げるべき
だよ。

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間各 10 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

In the economic sense American equality means in practice equality of opportunity; everyone should have as good a chance as everyone else of achieving wealth by his own efforts; everyone is an independent person, free to make his own place in the world with a minimum of restrictions imposed by the structure of his society.

(2) 《東京工業大》

Wind is always blowing somewhere, but it is not always windy where electricity is needed. But wind can easily produce at least twice as much electricity as the electricity America generates from rivers. And wind can do so while giving little damage to the environment.

【4】 (1) in the economic sense [ɛkənámik] 「経済的な意味で」 in practice 「実際」 equality of opportunity 「機会の平等」 achieve A [ətʃi:v] 「A を得る」 independent [ɪndɪpéndənt] 「自立した」 a minimum of A [mínəməm] 「最低限の A」 a restriction [rɪstrɪkʃən] 「制約」 impose A [ɪmpóuz] 「A を課す」

(3) 《山形大》

In a recent study of Alzheimer* patients, it was found that a certain region of the brain was less than half the size of that of a non-Alzheimer patient of comparable age. Even more dramatic was the discovery that the rate of thinning of this brain region is far greater in Alzheimer patients than in normal aging persons. Thus, Alzheimer's disease is a catastrophic event for the brain, with devastating consequences, but it is not the natural destiny of us all.

(注) Alzheimer [æɪlzhɑːm ər] 「アルツハイマー」

(4)

Each nation has its own peculiar character which distinguishes it from others. But the peoples of the world have more points in which they are all like each other than points in which they are different. One type of person that is common in every country is the one who always tries to do as little as he possibly can and to get as much in return as he can. His opposite, the man who is in the habit of doing more than is strictly necessary and who is ready to accept what is offered in return, is rare everywhere.

(3)comparable[kámperəbl] 「同じ」 dramatic[drəmǽtik] 「劇的な」 rate 「率」 catastrophic [k`ætəstráfik] 「壊滅的な」 devastating [dévəstèitiŋ] 「破壊的な」 a consequence [kánsikwəns] 「結果」 a destiny [déstəni] 「運命」

(4)peculiar [pikjú:ljər] 「変な、奇妙な」 distinguish A from B[distingwiʃ] 「A と B を区別する」 in return 「お返しに」 be in the habit of Ving 「Ving する習慣である」 be ready to V 「すすんで V する」

構文解説

(1)

程度が同じであることを表すには **as～as...** を用いる。その否定には **not as[so] ～ as ...** の形にする。なお、前の **as** は指示副詞、後ろの **as** は接続詞である。比較構文(原級・比較級)では、**as/than**(接続詞)に続く文で、①省略②代用③倒置などが生じる場合が多い。

(2)

比較構文にて、「X倍」を表す場合には、「半分」は **half**、「2倍」は **twice**、「3倍」以上には **three times** など **X times** の形の倍数詞を用いて表す。(例 **Our team has three times as many staffs as theirs.** 「私たちのチームには彼らのチームの3倍のスタッフがいる」)

(3)

as ～ as の形以外に、倍数を表す構文に、**X times the [名詞] of A** 「AのX倍の[名詞]」がある。**X times as large as A** ⇔ **X times the size of A**、**X times as old as A** ⇔ **X times the age of A**、**X times as many [名詞] as A** ⇔ **X times the number of A** 等がある。(例 **His school is three times the size of ours.** 「彼の学校は私たちの学校の3倍の大きさがある」= **His school is three times as large as ours.**)

as ～ as possible [one can] で「できるだけ～」を表す。過去時制では、**can** ではなく **could** にする。(例 **He collected as many stamps as possible.** 「彼はできる限り多くの切手を集めた」= **He collected as many stamps as he could.**)

not as[so] [原級] as B は「AはBほど～でない」と、AとBの程度が違うことを表す。**so** よりも **as** のほうが口語的である。(例 **She doesn't work so hard as you.** 「彼女はあなたほど一生懸命働かない」)

as～as ever の形で、「あいかわらず～」の意味で用いる。**ever** はもともと **at any time** の意味を表す。(例 **In spite of poverty, his family looks as happy as ever.** 「貧乏であるが、彼の家族は相変わらず幸せそうだ」)

as ... as any～ は、比較対象が特定の人や物ではなく、漠然と広範囲のものを対象とすることによって「誰(どれ)にも劣らず」と度合いの強さを強調する慣用表現。(例 **He is as honest as any in the village.** 「彼は村で誰にも劣らず正直である」**She is as elegant a woman as any person alive.** 「彼女は世にもまれな上品な女性だ」)

〈**as many[much]as+数詞**〉は数や量が多いことを強調し、「...もの～」の意味で用いられる。数の多さについては **many**、量の多さについては **much** を用いる。さらに、回数の多さを表す場合は、**as often as**(例 **as often as ten times** 「10回も」、時間の長さを強調する場合は、**as long as...**(例 **as long as three days** 「3日間も」、距離の長さを強調する場合は、**as far as...** 「...も」(例 **as far as three miles** 「3マイルも」、時間・時期が早いことを表す場合は、**as early as...** 「早くも...」(例 **as early as the sixteenth century** 「早くも16世紀には)、時間・時期が遅いことを表す場合は、**as late as ...** 「...になってようやく」(**as late as yesterday** 「昨日になってようやく」)最近のことを強調する場合は、**as recently as ...** 「つい...」(**as recently as last month** 「つい先月」)を用いる。

No30 《比較Ⅲ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [英作文]

解答時間 15分

次の対話の下線部(1), (2)を英訳しなさい。

X: 平均寿命(the average life span)が延びるのはいいけど, いろんな問題も生じてくるよね。

Y: (1)このまま寿命が延びつづけると, 近い将来には, 若い人二人で老人一人を支えることになるらしいよ。

X: 寝たきり老人(a bedridden old man / woman)とか, 痴呆症, 介護の問題なども, 益々深刻化するね。

Y: 頭の痛い問題だね。

X: それを防ぐには, (2)老人になっても寝込まないように, 若いうちから健康に気をつけなくちゃいけないわけだ。

【3】 〔基本構文〕

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

There is as much need for the education of feeling as for the education of thinking. The one cannot be left to chance any more than the other. And, although the general emphasis in educational practice is by no means so intellectual as it was fifty years ago, it is open to question whether we have yet appreciated all that the education of feeling involves.

(2) 《奈良女子大》

Most children start producing words some time between the ages of eight and twelve months or so, and many children have ten words in their vocabulary by the age of fifteen months. Things gradually pick up speed from that point on. Whereas an eighteen-month-old child may learn only one or two new words a day, a four-year-old will often acquire a dozen, and a seven-year-old will pick up as many as twenty. (That's more than one per waking hour!)

【3】 (1)leave A to chance 「A を偶然に委ねる」 by no means 「決して～でない」 intellectual [ˌɪntelɪkʃənl] 「知性面の、知性の」 it is open to question whether SV... 「SV...かどうかは疑わしい」 appreciate A [əˈpriːʃiəɪt] 「A を評価する」 involve A [ɪnˈvɒlv] 「A を必要とする」
(2)gradually[grædʒuəli] 「徐々に」 from A on 「A 以降」 Whereas S'V..., SV.... 「S'V...だけれども, SV....」 acquire A[əkwáɪə] 「A を身に着ける」 pick up A 「A を覚える」

(3)

Foreign cultural influences have greatly enriched Japan and have made it culturally as international as any nation in the world. Japan has also been fully open to foreign technology and as a result has now become a world leader in science and technology.

(4) 《早稲田大》

While an increasing number of new electronic-learning methods* are removing barriers of time and distance for students interested in international exchange programs*, the old-fashioned, face-to-face method of learning is just as popular as ever.

(注) electronic-learning methods 「電子工学を利用した学習法」 international exchange programs 「国際交流講座」

(3) enrich A [enrítʃ] 「A を豊かにする」 international [ɪntərnæʃənl] 「国際的な」 is open to A 「A にかかれている」
 (4) remove A [rɪmú:v] 「A を取り除く」 an international exchange program [ɪntərnæʃənl] 「国際交流講座」 old-fashioned 「旧式の」 face-to-face 「顔と顔をつき合わせる」

No31 《比較Ⅳ》



【1】〔確認テスト〕

【2】〔基本構文〕

1. In Europe soccer is **more** popular **than** baseball.
2. The population of Yokohama is **larger than** that of Kyoto.
3. Ann studies **harder** now **than** in her school days.
4. I like my hometown **better than anywhere else**.
5. Takeshi is about ten kilograms **heavier than** me. (=Takeshi is heavier than me by about ten kilograms.)
6. She looks much **younger than** she (really) is.
7. This watch is **less** expensive **than** mine. (=This isn't as[so] expensive as mine.)
8. Time is **more** precious **than anything else**.
9. Mt. Everest is **higher than any other** mountain in the world.
10. My house is **the larger of the two** (houses).
11. He is **more** kind **than** honest.
12. It's getting **darker and darker**.
13. The singer became **more and more popular**.
14. He finished the job **sooner than** I had expected.
15. His mother is kind, but his father is **still[even] kinder**.
16. He is **junior to** me by two years.(=He is younger than I by two years.)
17. He **prefers** mountains **to** sea.(=He likes mountains better than sea.)

1. 〈比較級 than ... 「...よりも」〉
ヨーロッパでは野球よりサッカーのほうが人気がある。
2. 〈比較級 than ... 「...よりも」〉※as ... as ～と同様に、比較対象は同種でなければならない。
横浜の人口は京都より多い。
3. 〈比較級 than ... 「...よりも」〉※now と in her school days が対等の関係(ともに副詞)になっていることに注意。
アンは学生時代よりもよく勉強する。
4. 〈比較級 than ... 「...よりも」〉※good/well-better-best 不規則活用
私は他のどんな場所よりも自分の故郷が好きだ。
5. 〈比較級と修飾語: 数字 単位 比較級 than ～ 「～よりも 数字 単位 分だけ...」〉
タケシは僕より約 10 キロ重い。
6. 〈比較級と修飾語: much 比較級 than ～ 「～ずっと」〉
彼女は年よりもずっと若く見える。
7. 〈less ... than ～ 「～ほど...でない」 =not so ... as ～
この時計は私のほど高価ではない。
8. 〈比較級...than anything else 「他のどんなものよりも...」〉※他のどんな人よりも場合は anyone else となる。
時間は他のどんなものよりも貴重である。
9. 〈比較級 ... than any other 名詞 「他のどんなの 名詞 よりも...」〉※意味上最上級表現
エベレストは世界の他のどの山よりも高い。
10. 〈比較級 of the two 〉※比較級のあとに of the two などが続く場合は、比較級の前に the をつける
私の家は、その2つのうちの大きい方です。
11. 〈同一人・物中の比較〉※同一人・物中の比較では、常に more ... than～の形を用いる。
彼は正直というよりも親切なのだ
12. 〈比較級 and 比較級 「ますます...」〉
だんだん暗くなってきた。
13. 〈比較級 and 比較級 「ますます...」〉
その歌手はますます人気者になった。
14. 〈比較級 than S expected 「S が思っていたよりも」〉※この場合は、主節が過去形なので、それ以前に思っていたことをあらわすために had expected と過去完了形になっている。
彼は私が思っていたより早くその仕事を終えた。
15. 〈even/still 比較級 「さらに一層」〉
彼のお母さんは優しいが、彼のお父さんはさらに優しい。
16. 〈junior to A 「A より年下の」〉※than ではなく to を続ける(ラテン)比較級 ※inferior to A 「A より劣って」
この車は、あの車より劣っている。
17. 〈prefer A to B 「B より A が好き」〉※than ではなく to を続ける比較級
彼は海よりも山が好きだ。

【3】 基本〔英文解釈〕《比較級》

解答時間各 10 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

In college classes in America a higher value is placed upon efficiency and directness of expression than on certain forms of politeness that are observed in other countries. If a professor asks students whether they have understood an explanation he has given, he wants a straightforward ‘yes’ or ‘no’.

(2) 《金沢大》

In most cultures, both parents invest heavily in their children. However, men’s investment of time in direct child care is generally less than that of women. This is an evolved strategy that reflects specialization of labor between the sexes. The man provides protection and resources, whether meat in primitive ages or salary in modern days, while the woman does most of the direct care.

【3】 (1) place an emphasis upon A [émfæsis] 「A を強調する」 efficiency [ifjensi] 「効率(性)」 politeness 「礼儀正しさ」 observe A [əbzə:rv] 「A を遵守する」 straightforward [strèitfɔ:rwɔ:d] 「直線的な、無駄のない」
(2) invest A [invést] 「A に投資する」 evolve [iválv] 「進化する」 strategy [strátədʒi] 「戦術」 reflect A 「A を繁栄する」 specialization [spéʃlalaiz éiʃən] 「専門化」 provide A [prouváid] 「A を与える」 protection [proutékʃən] 「保護」 a resource [rí:sɔ:rs] 「財産」 primitive [prímitiv] 「原始の、原始的な」

(3)

These days, many products are nearly identical* to one another in quality and price. If products are almost the same, what makes consumers buy one brand instead of another? Although we might not like to admit it, commercials on television and advertisements in magazines probably influence us much more than we think they do.

(注) S be identical to A 「SはAにそっくりである」

(4) 《九州大》

The researchers then followed up with the participants every two years, contacting them to assess changes in their physical and mental functioning. At the end of the study, 319 participants had developed dementia, including 221 with Alzheimer's disease. The research subjects with higher physical function scores at the start of the study were three times less likely to have developed dementia than those with lower initial physical function scores.

(注) dementia 精神性痴呆

(3) a consumer 「消費者」 admit A [ædmít] 「Aを認める」 probably 「おそらく」 influence A [ínfluəns] 「Aに影響を与える」

(4) participant [pɑ:rtísəpənt] 「参加者」 contact A 「Aと接する」 assess A [əsés] 「Aを評価する」 physical [fízikel] 「物理的、肉体的」 functioning [fʌŋkʃən íŋ] 「機能」 a subject [sʌbdʒíkt/] 「被験者」 initial [íníʃel] 「初期の」

構文解説

(1) 比較対象の同種性

比較構文では、比較対象が対等でなければならない。「今日は沖縄よりも東京のほうが暑い」は、It is hotter in Tokyo today than Okinawa.ではなく It is hotter in Tokyo today than in Okinawa.とする。比較しているのは、in Tokyo と in Okinawa とともに前置詞句(対等)でなければならない。

(2)

比較構文では、比較対象が対等でなければならない。「この天気は東京よりも変わりやすい」は、The weather of this area is more changerable than Tokyo.ではなく、The weather of this area is more changerable than that of Tokyo.とする。比較されているのは The weather of this area と that of Tokyo(the weather of Tokyo)であって、Tokyo(都市)ではない。なお、比較対象が複数の場合は、those...を用いる。(例 The books he wrote are more interesting than those bought here. 「彼が書いた本はここで買える本よりも面白い」)

(3)

than の後に、S think(expect/hope 他)が続いて、「S が思っている(期待している、望んでいる)以上」の意味を表す。

(4) 《九州大》

A...less+原級+than Bは「AはBほど～でない」の意味で、A...not as(so)+原級+as Bと同じ意味を表す。後者のほうが口語的であり、一般的に用いられる。(例 Your report is less interesting than Tom's. 「あなたのレポートはトムのレポートほどよくない」=Your report is not so interesting as Tom's.)

発展編

(5)

比較級+than any other... 「他のどの...よりも～」の意味を表す。意味上最上級とほぼ同じ意味となる。(例 He studies harder than any other student in this class. 「彼はこのクラスのどの生徒よりも一生懸命勉強する」=He studies the hardest in this class.)また、than anything else 「ほかの何よりも」than anyone else 「他の誰よりも」も用いられる。(例 Health is more important than anything else. 「健康は何よりも重要だ」 She helped me more than anyone else. 「彼女は他の誰よりも私を手伝ってくれた」)

(6) 《千葉大》

比較級の前に、様々語句を置いて、比較の程度の差をはっきりと示すことがある。比較級の前に a little, a bit(少し), a lot, lots, much(ずっと), far(はるかに), even, some, still(さらに), rather, somewhat(いくぶん)などをつける。(例 His report seems a little better than yours. 「彼のレポートの方が少し良いようだ」)

原級や比較級を用いて、最上級の意味を表すことができる。"No other A ...as 原級 as B. 「Bほど原級なAはない」(=Bがもっとも原級だ)"No other A...比較級 than B. 「B以上に比較級なAはない」(=Bがもっとも比較級だ)"A is 比較級 than any other B. 「Aは他のどのBよりも比較級だ」(=Bがもっとも比較級だ) (例 He is the most popular in the class. ⇨No other student in the class is as popular as he. ⇨No other student in the class is more popular than he. ⇨He is more popular than any other student in the class. 「彼はクラスで最も人気がある」)

junior(年下の), senior(年上の), superior(すぐれた), inferior(劣った)などの話尾が or で終わる形容詞(ラテン形容詞)は, than ではなく to を用いる。(例 He is five years junior to me. 「彼は私より5才年下である」)

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1)

The history of other animal species shows that the most successful in the struggle for survival have been those which were most adaptable to changes in their world. We have made ourselves by means of our tools beyond all measures more adaptable than any other species, living or extinct; and we continue to do so with gathering speed.

(注) the struggle for survival [strʌgl] [sərváivel] 「生存競争」

(2) 《千葉大》

The discovery of our ignorance should not be conceived as a negative thing. Ignorance is a vessel* waiting to be filled, permission for growth, a foundation for the electrifying* encounter with mystery.

When the present century comes to an end, we can claim with optimism that we know both more and less than we knew at the beginning: more because our inventory* of knowledge has been greatly expanded, less because the scope of our ignorance has been even more greatly realized.

Timothy Ferris writes: “No thinking man or woman ought really to want to know everything, for when knowledge and its analysis is complete, thinking stops.”

(注) vessel 「器」 electrifying 「電撃的な」 inventory [ínvəntɔ:ri] 「目録」 Timothy Ferris 1944 年生まれのアメリカ人。作家。

発展問題(1) adaptable [ədæptəbl] 「適応能力のある」 with gathering speed 「ますます速い速度で」
 (2) comes to an end 「終わる」 claim that SV... 「SV...と主張する」 optimism [óptəmizem] 「楽観(主義)」 expand A [ekspænd] 「Aを拡大する」 a scope [skoup] 「範囲、視野」 ignorance [ígnərəns] 「無知」 an analysis [ənælésls] 「分析」

No32 《比較Ⅴ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [英作文]

解答時間 15 分

下線部を英訳しなさい。

(A)

X: (1)きみの英語の発音はとてもきれいだね。 留学したことがあるの？

Y: うん。イギリスの大学で一年間勉強したんだ。(2)だから僕の英語は、どちらか
らかというとイギリス^{なま}訛りなんだ。

X: なるほどね。(3)どこがどう違うのかわからないけど、標準的なアメリカ英語とは違うと思ったんだ。

(B)

昨年しねんの夏なつに、ギリシアギリシアのアテネアテネでオリンピックオリンピックが開催開催された。(4)新聞報道によると世界の色々な国いろいろな国から、多くの人々おほくの人々がオリンピックオリンピックの観戦くわんせんにやっやって来きたそう
だ。何事なにごともなく無事むじに終わおってよよかった。

その一方そのひとで、世界せかいではテロテロや(5)戦争で命いのちを奪さらわれ、仕事しごとを失うい、飢えうや病やま気に
苦しくるしみんでいるたたくさんさんの人々ひとがいるいるという事こと実じを忘われてははななららない。今いまこそ私わたし
達たちは、世界せかいの平和へいについて真ま剣けんに考かんえるべきべきだと思おもう。

【3】 基本〔英文解釈〕《比較級》

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

Differences between peoples do, of course, exist and, one hopes, will always continue to do so. But at least the opportunities for travel today have revealed to more people than ever before that the Englishman or Frenchman or German or American is not some different kind of animal from themselves. Yes, travel does broaden the mind. And learning the language and culture of another nation does liberalize one's outlook. It is to be hoped that more and more of the ordinary people in all countries will have the opportunity to do both things in the future.

(2) 《広島大》

If you are stuck* with a problem, just turning your gaze from the past to a future in which the problem is no longer with you is a major change in the way of viewing the problem. Then, of course, you have to work backward to the present to figure out what you could do to make that future a reality, rather than just an appealing fantasy. It is important to acknowledge the past rather than to deny or ignore it. However, it is just as crucial to focus your attention on where you'd like to be.

(注) be stuck with A 「A にぶつかる」

【3】 (1) exist [egzɪst] 「存在する」 reveal that SV...[rɪvɪ:l] 「SV...を明らかにする」 broaden A [brɔːdn] 「Aを広げる」 liberalize A [lɪbərəlaɪz] 「Aを自由にする」 outlook 「見解、見識」
 (2) gaze [geɪz] 「眼差し、視線」 figure out A 「Aを理解する」 make A a reality 「Aを現実にする」 appealing [əpiːlɪŋ] 「魅力的な」 a fantasy 「空想」

(3) 《県立広島大》

I was 12, when an English friend first introduced me to the world of bad language. I picked up a lot of swear words from her, but could never quite bring myself to use them much. In Japan, through friendly arguments with friends and watching a strange Japanese TV program, I found that being rude to someone in Japan is not so much about what you say, but how you say it.

(4) 《弘前大》

Most people see the problem of love primarily as that of *being loved*, rather than that of *loving*, of one's capacity to love. Hence the problem to them is how to be loved, how to be lovable. In pursuit of this aim they follow several paths. One, which is especially used by men, is to be successful, to be as powerful and rich as the social margin* of one's position permits. Another, used especially by women, is to make oneself attractive, by cultivating one's body, dress, etc.

(注) margin [má:rdʒən] 「限界」

(3) swear [sweər] 「罵り」 bring oneself to V 「Vしたい気になる」 an argument [á:rgjumənt] 「議論」

(4) hence [hens] 「従って」 in pursuit of A 「Aを求めて」 cultivate A [káltəvèit] 「Aを磨く」

構文解説

(1)

比較級+and+比較級で「ますます...、だんだん...」の意味で用いられる。程度が次第に増加または減少していくことを示し、「だんだん～,ますます～」の意味を表す。(例 He got angrier and angrier at her. 「彼は彼女にだんだん腹が立ってきた」)比較級に more を用いる形容詞・副詞は〈more and more+原級〉の形になる。(例 He found English more and more interesting. 「彼は英語がだんだん面白くなってきた」)

(2) 《広島大》

no longer は「もはや～でない」の意味をあらわす。not ...any longer となる場合もある。また、no longer が文頭(SVの前)にでると、後続が倒置(疑問文と同じ語順)になることに注意しよう。(例 We can keep her waiting no longer.(=We can't keep her waiting any longer)⇒No longer can we keep her waiting. 「私たちはもはや彼女を待たせることはできない」)

(3)

not so much A as B の形で、「A というよりむしろ B」の意味を表す(=not A so much as B)。等位接続詞的に働くため、A と B は文法的に対等な形がくる(A が不定詞であれば、B も不定詞)。なお、as が but に変わった形 not so much A but B も同じ意味を表す。(例 He is interested not so much in mathematics as[but] in physics. 「彼は数学というよりもむしろ物理学に興味がある」)

(4)

A rather than B の形で「B よりむしろ A」「B ではなくて A」の意味を表す。not so much A as B と同じように、等位接続詞的に働くため、A と B は文法的に対等な形がくる。なお、rather を more に変えた形 A more than B(more A than B)も同じ意味を表す。He was a scholar rather than a teacher. 「彼は教師というよりはむしろ学者だった」(=He was a scholar more than a teacher.)would rather A than B 「B よりむしろ A したい」も重要表現。

(5)

know better than to～は「～するほどばかりではない(「～するよりは分別がある」が原義)」の意味を表す。know well 「分別がある」がもとになっている。

(6)

much[still] less～は「なおさら～ない」の意味で、否定文に続けて用いる。much [still] less の後には強調したい語句をつける。等位接続詞的に働くことに注意。(例 He doesn't want to drink any water, much still to eat any food. 「彼は水を飲みたくない、ましてや食べ物は食べたくない」)less の後の to eat any food は、to drink any water に対応している。

(7)

「ずっと多くの...」表す場合は、後続の名詞が可算名詞か不可算名詞かによって、使い分ける。many more 可算名詞の複数形, much more 不可算名詞とする。(例 She has many more books than you. 「彼女はあなたよりずっと多くの本を持っている」 This project requires much more money than we think. 「この計画には、私たちが考えているよりもずっと多くのお金が必要である」)

(8)

other than A の形で「A 以外(の)」の意味を表す。A には、語・句・節がくる。(例 I do not wish my son other than he is. 「私の息子は今のままでよい」)

(9)

more than 形容詞・副詞の形で、「このうえなく形容詞・副詞、非常に形容詞・副詞」の意味を表す。(例 His works are more than popular among young people. 「彼の作品は若者なかでものすごい人気だ」)。less than 形容詞・副詞で、「けっして形容詞・副詞でない」「すこしも形容詞・副詞でない」の意味を表す。(例 Her latest movie is less than exciting. 「この序の最近の作品は全く面白くない」)

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)(3)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《名古屋大》

Adele Faber and Elaine Mazlish, co-authors of the helpful handbook *Siblings Without Rivalry**, began to explore sibling conflict while their children were growing up and fighting. They emphasize that parents shouldn't compare a kid with a sibling — even favorably. Most parents know better than to ask, “Why can't you be more like your brother?” Comparison puts one child against another, and it subtly damages their relationship when a parent says, “You're much better organized than your sister.” Each child should be appreciated individually — though not necessarily equally — and should be praised as if he were an only child.

(注) *Siblings Without Rivalry* 『競争なき兄弟姉妹』

(2) 《県立広島大》

Most young people have difficulty contemplating their own old age or preparing for the discomfort and dependency that often accompany it. Likewise, the world today finds it hard to confront its collective aging, much less the difficult political and economic choices that aging societies will have to make. Yet we can no longer afford denial. The accumulating evidence is now overwhelming: The world stands on the threshold* of a social transformation — even a revolution — with few parallels* in humanity's past. Indeed, this revolution has already begun.

(注) threshold [θrɛʃhəʊld] 「入口」 a parallel [pəˈræləl] 「類似(した例)」

(3) 《秋田大》

We Japanese have a long history of the foreign language complex, and this complex often leads us to welcome everything that comes from overseas with open arms. If we really wish to acquire, through a foreign language, knowledge that is worth acquiring, we should be fully aware of the effects on this complex. If many more Japanese people learn to speak English fluently, perhaps we won't feel that English is much more beautiful than Japanese. And if we seriously study other foreign languages as well, the “beauty”, or the deceiving quality, that the English language has now might be lost. At any rate, though, foreign language education in this country still has a long hard climb ahead of it.

発展問題(1)co-authors 「共著者」 sibling [sɪblɪŋ] 「兄弟姉妹」 conflict[kɒnflɪkt] 「争い」 emphasize A [ɛmfəsaɪz] 「Aを強調する」 compare A [kəmpeə] 「Aを比べる」 favorably [fə'veərəbli] 「好意的に」 organized [ɔ:rgənàɪzd] 「きちんとしている」 appreciate A [əprɪ:ʃiət] 「Aを賞める」 individually [ɪndəvɪdʒuəli] 「個々に」
 (2)contemplate A [kɒntəmplət] 「Aを熟考する」 discomfort [dɪskɒmfərt] 「苦痛」 dependency [dɪpɛndensi] 「依存」 accompany A [əkɒmpəni] 「Aに伴う」 likewise [laɪkwàɪz] 「同様に」 confront A [kɒnfrʌnt] 「Aに立ち向かう」 political 「政治的」 economic 「経済的」 denial 「否定」 accumulating 「蓄積していく」 overwhelming [əuvərhwélmiŋ] 「圧倒的な」 transformation [tr`ænsfərméɪʃən] 「変化、変容」 revolution [rɛvəlú:ʃən] 「革命」
 (3)welcome A 「Aを歓迎する」 acquire A [əkwáɪə] 「Aを獲得する」 deceive A [disi:v] 「Aを騙す」 at any rate 「とにかく」 ahead of A 「Aの前に」

長文読解 6

次の英文の下線部(1)～(3)を日本語に訳しなさい。

One thing that is important to very many English people is *where they are from*. For many of us, whatever happens to us in later life, and however much we move house or travel, the place where we grew up and spent our childhood and adolescence retains a special significance. Of course, this is not true of all of us. More often than in previous generations, families may move around the country, and there are increasing numbers of people who have had

a nomadic* childhood and are not really “from” anywhere. (1)But for a majority of English people, pride and interest in the area where they grew up is still a reality. The country is full of football supporters whose main concern is for the club of their childhood, even though they may now live hundreds of miles away. Local newspapers crisscross* the country in their thousands on their way to “exiles” who have left their local areas. And at Christmas time the roads and railways are full of people returning to their native heath* for the holiday period.

Where we are from is thus an important part of our personal identity, and for many of us an important component of this local identity is the way we speak — our accent* and dialect*. (2)Nearly all of us have regional features in the way we speak English, and are happy that this is so, although of course there are upper-class people who have regionless accents, as well as people who for some reason wish to conceal their regional origins. The vast majority of the population, however, speak in a manner which identifies them as coming from a particular place. They speak like the people they grew up with, and in a way that is different from people who grew up somewhere else. (3)Of course, people may change the way in which they speak during their lifetimes, especially if they move around the country, but most of us carry at least some trace of our accent and dialect origins with us all of our lives.

出典：Peter Trudgill, *The Dialects of England* (一部改変)

(注) nomadic 遊牧民的な，頻繁に転居する

crisscross ～を縦横に動く，～の中を行き来する native heath 生まれ故郷

accent (個人・集団・地方などに特有の)発音，なまり dialect 方言

adolescence [ˌædəˈleɪsəns] 「青年期」「青春」 retain A [reɪˈteɪn] 「保持する」 concern [kənˈsɜːrn] 「関係」「関心」「心配」「事業」 exile [ˈɛɪleɪzəl] 「亡命」「流浪者」「追放人」 identity [aɪˈdɛntəti] 「同一であること」「本人であること」「自己同一性」「アイデンティティ」 component [kəmˈpɒnənt] 「部品」 identify A as B [aɪˈdɛntəfəɪ] 「...を～と認識する」 origins [ɔː(ɾ)ˈrɪdʒɪn] 「名」「起源」「(しばしば origins)生れ」「素性」

No33 《比較VI》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

1. **Nothing is more important than** health, but nothing is less valued.
2. **No other student in my class is as tall as** Ken.
3. **No other student in my class can swim faster than** Takashi.
4. **There is nothing as interesting as** his latest report.

1. 〈Nothing ... more ~ than A. 「Aほど～なものはない」〉
健康ほど重要なものはないが、これほど軽んじられるものもない。
2. 〈No other 名詞 ... more ~ than A. 「Aほど～なものはない」〉
僕のクラスでケンより背が高い生徒はいない。
3. 〈Nothing ... as ~ as A. 「Aほど～なものはない」〉
僕のクラスのどの生徒もタカシほど早く泳げない。
4. There is nothing as ... as A./There is nothing more ... than A. 「Aほど...なものはない」
彼の最新のレポートほど面白いものはない。

【3】 [英作文]

解答時間 15分

教師と生徒の会話を読み、下線部(1)～(3)を英語に直しなさい。

生徒： 先生、(1)英語がすらすら話せるようになるにはどうしたらいいですか？

教師： うーん、そうだね. . . (2)まず文法の基礎を学んで、きちんと英文が読めるようになることだね。

生徒： あの一、私は英会話の力をつけたいんですが。

教師： (3)文法を学ぶことも読む能力をつけることも、話す際に大いに役立つんだよ。話せるようになることだけを急がないようにね。ほかに音読の練習も話す力を伸ばすのには効果的だよ。

(問題文は 2009 年 8 月 1 日付け朝日新聞「オピニオン」を参考に作成)

【4】 基本〔英文解釈〕《no で始まる原級・比較級》

解答時間 30 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

Great as Einstein is as a physicist, he is still greater as a man. He achieved a fame greater than that of any other scientist, although no other man is so indifferent to fame and so uncomfortable about publicity as he is.

(2) 《大阪市立大》

You may think that by now biologists must know everything there is to know about living things. In fact, millions of species of organisms have not even been named yet, let alone studied. Those that are well known show us that life is far from predictable. Nothing that you can read in science fiction is as strange as some of the creatures that actually live on this planet.

【4】(1)achieve A [ə'tʃi:v] 「A を達成する」 be indifferent to A [ɪndɪfərənt] 「A に無関心である」 publicity [pʌblɪsəti] 「人気」

(2)a biologist [baɪələdʒɪst] 「生物学者」 an organism [ɔ:rgənɪzəm] 「生物」 far from A 「決して A でない」 (=not at all)predictable [prɪ (:) dɪktəbl] 「予想可能な」

(3)

Nothing is more essential to intelligent, profitable reading than sensitivity to what words imply. The difference between reading a book or story or essay or poem for surface meaning and reading it for implication is the difference between listening to the New York Philharmonic Symphony Orchestra on a battered old radio and listening to it on a high-fidelity stereophonic record player.

(4) 《慶應義塾大》

In a highly competitive world, school is a battleground where the only thing that matters is finishing top of the class. Nowhere is that more true than in East Asia, where education systems are built on the principle of “exam hell*.” Just to stay competitive, millions of kids across the region spend evenings and weekends at institutions called “cram schools*.” Devoting eighty hours a week to academic work is not uncommon.

(注) exam hell 「受験地獄」 cram schools 「塾」

(3) profitable [práfitəbl] 「利益のある」 imply A [implái] 「A を暗示する」 surface [sə:rfis] 「表面」 implication [implikéifən] 「暗示、示唆」 battered [bætərd] 「打ちつぶされた、使い古された」 high-fidelity 「高忠実度の」
 (4) a competitive world [kəmpétətív] 「競争社会」 battleground 「戦場」 matter 「重要である」 principle [prínsəpl] 「原理」 an institution [ínstətjú:ʃən] 「施設」 devote A to B [divóút] 「A を B に捧げる」 a academic work [ækədémik] 「学業」

構文解説

(1)

否定語+as[so]+原級+as ...で「...ほど～なものはない」の意味を表す。(例 Nothing is so interesting than this movie. 「この映画ほど面白いものはない」)

(2)

〈否定語+比較級+than A〉で、「Aより～なものはない」の意味を表す。否定語には、〈no(other)+単数名詞〉の他に、nothing [nobody, no one, none]なども用いられる。(例 Nothing surprised us more than his sudden tears. 「彼の突然の涙以上に驚かせたものはない」)。また、There is で始めた There is nothing more ... than A.の形も同じ意味を表す。

(3)

Nowhere is more ~than Aで「Aほど～なところはない」の意味を表す。Nowhere が文頭に出ると、その後が倒置構文(疑問文の語順)となることに注意。(例 Nowhere is humor more valued than in Osaka. 「大阪ほど、ユーモアが評価されるところはない」)

練習問題

日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

- (1) 今までに読んだすべての小説の中で、これほど感動したものは他になかった。

Of all the novels I've read so far, (as / has / me / moved / much / no / other / so) this one.

- (2) 幸せな家庭を持つことほど、真の喜びを人に与えてくれるものはない。

Nothing in the world (a happy family / as / gives / having / people / much real pleasure / so).

- (3) 日本では、富士山が一番高い山です。

In Japan, (Mt. Fuji / higher / other / no / mountain / is / than).

- (4) 早起きほどつらいものはない。

(as / getting / hard / in / is / morning / nothing / so / the / up early).

- (5) インターネットほど面白いものはない。

(is / more / the / than / Internet / there / interesting / nothing).

練習問題(1) no other has moved me so much as (2) gives people so much real pleasure as having a happy family
(3) In Japan, (no other mountain is higher than Mt. Fuji). (4) (Nothing is so hard as getting up early in the morning).
(5) (There is nothing more interesting than the Internet).

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1)

Of all the issues in the new millennium*, none is more important than population growth. If the trend of accelerating growth continues, the world's population will double in less than 50 years.

(注) millennium 「千年 (間)」

(2)

A knowledge of one or more foreign languages must today be regarded as an essential part of the education of everybody. There has never been a time when a knowledge of languages was more necessary than in this age in which we live.

発展問題(1)accelerate [æksə'leɪrət] 「加速する」 double[dʌbl] 「2倍になる」 in less than A 「A以内に」
(2)essential 「不可欠な」

(3) 《大阪市立大》

You may think that by now biologists must know everything there is to know about living things. In fact, millions of species of organisms have not even been named yet, let alone studied. Those that are well known show us that life is far from predictable. Nothing that you can read in science fiction is as strange as some of the creatures that actually live on this planet.

(4) 《滋賀大》

There is nothing more likely to annoy people than a mis-spelling of their name; and nothing more likely to fascinate them than an account of their name's origins. Very few, however, know where their name comes from. The study of personal names, in any case, suffers from the same kind of research difficulties as does the study of place names.

(注) annoy A [ə'noɪ] 「A を困惑させる」

(3)a biologist [baɪələdʒɪst] 「生物学者」 an organism [ɔ:'rgənɪzəm] 「生物」 far from A 「決して A でない」 (=not at all) predictable [prɪ(:)dɪktəbl] 「予想可能な」

(4)fascinate A [fæ'sɪneɪt] 「A を魅了する」 an account [ə'kaʊnt] 「説明」 suffer from A 「A で苦しむ」

No34 《比較Ⅶ》



【1】〔確認テスト〕

【2】〔基本構文〕

1. Yuko is **the tallest player in our club.**
2. This is **the most interesting of the five movies.**
3. This novel is **the most moving that I have ever read.**
4. California is **the third largest state** in the United States.
5. Naoki is **by far the tallest boy** of them all.
6. The mist was **thickest** at the top of the mountain.
7. **The slightest mistake** may lead to a serious accident.
8. The guests were, **for the most part**, girls.
9. I **don't have the slightest idea** about that accident.
10. I cannot finish this job before seven **at the best.**
11. The food wasn't good, but **at least** it was cheap.
12. The cherry blossoms are now **at their best.**
13. The park was **not damaged in the least.**

1. 〈the 最上級 in A 「A の中でもっとも...」〉 ※最上級は、3 者以上で用いる。※in 範囲
ユーコは私たちのクラブで一番背が高い選手です。
2. 〈the 最上級 of 数字/all 名詞の複数形 「~の中でもっとも...」〉 ※of 数字/all 名詞の複数形
5本の映画の中でこれが一番おもしろい。
3. 〈the 最上級 that S have ever 過去分詞 「S がこれまで~した中でもっとも...」〉
この小説は私がこれまで読んだ中で最も感動的だ。
4. 〈the 最上級 序数 名詞〉
カリフォルニアはアメリカ合衆国で3番目に大きい州だ。
5. 〈by far the 最上級〉 ※最上級の強調には, much, by far などを用いる。
ナオキは彼ら(全部)のうちでずばぬけて背が高い。
6. 〈同一人・物での最上級 | the をつけない〉
かすみは山の頂上が一番濃かった。
7. 〈even の意味を含む最上級〉
ごくわずかな誤りでも大事故を引き起こすことがある。
8. 〈for the most part 「大部分」〉
宿泊客は、大部分は少女でした。
9. 〈don't have the slightest idea of/about A 「A について全く知らない」〉
その事故についてはまるっきり知らない。
10. 〈at the best 「せいぜい」〉
どうみても7時までにはこの仕事は仕上げられない。
11. 〈at least 「少なくとも」〉
その食事はおいしくなかったが、少なくとも安くはあった。
12. 〈at one's best 「最高潮」〉
桜は今が見ごろです。
13. 〈not in the least 「けっして~ない」〉
その公園はまったく損傷を受けていなかった。

【3】 [英作文]

解答時間 15分

下線部(ア)～(エ)を英訳しなさい。

A: 最近の若者を見ているとあまり周囲を気にしていないというか、自己中心的な言動が目立つような気がするよ。

B: (ア)それは今に始まったことじゃないよ。

A: そうかなあ。

B: (イ)若者は自分自身のことには大いに関心があるが、世間からどう見られているかあまり気にとめないものだよ。いつの時代でも若者は自分のことで精一杯で周りを見るゆとりがないんだ。

A: そうかもしれないけれど、やはり今の時代はこれまでになかったタイプの若者が多くなってきているという気がするね。

B: 要するに君は、今の若者は昔と違う、と言いたいんだろうが、(ウ)それは年長者が若者について語るときにいつも言っていることだと思う。単にそれだけだよ。

A: (エ)人間というものは、どんな時代に生きてもそれほど変わらないということかな。

B: まあ、そういうところだね。

【4】 標準〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

When God created man and the beasts, He made a wide gap between them. The dog, seeing the gap, ran forward and leapt over to join the man. This story tries to explain the special relationship between them. The dog was the first of the tamed animals and our close relationship since ancient times has made the dog the most responsive and obedient to his master of all the creatures.

(2)

Today Hong Kong has returned to Chinese control, but even now, it is not like other Chinese cities. It seems that no matter who owns Hong Kong, it will always be a unique, and wonderful, place. The British played their best in shaping this city, and now it is the turn of the Chinese to make their impression. But whatever happens, Hong Kong will always be one of the most exciting, and one of the most fascinating, cities anywhere in the world.

【4】(1) a gap 「溝」 leapt 「飛び上がる」(leap の過去形) tamed 「飼いならされた」 ancient [éinjent] 「古代の」 responsive [rispánsiv]

(2) unique [ju (:) ní:k] 「唯一無二の」 turn 「順番」 impression [impréjen] 「印象」 fascinating [fæsnèitiŋ] 「魅力的な」

(3) 《中央大》

Capitalism* is the most successful wealth-creating economic system that the world has ever known; no other system, as the distinguished economist Joseph Schumpeter pointed out, has benefited “the common people*” as much.

(注) capitalism[kæpətəlɪzəm] 「資本主義」 the common people 「庶民」

(4) 《岐阜大》

Millennia* ago the earliest explorers, at sea in wooden boats or on foot in deserts and jungles, carried with them the same ancient mysterious device that scuba divers and high-altitude mountaineers* use today. It was by far the most complicated yet most reliable piece of equipment aboard Apollo 11 when it landed on the moon. In the entire universe, no system more complex has ever been discovered than the human body.

(注) millennia ago 「数千年前」 high-altitude mountaineers 「高い山に登る人たち」

(3) economic [ɛkənámik] 「経済の」 distinguished [dɪstɪŋgwɪʃt] 「著名な」 economist [ɪkánəməst] 「経済学者」 point out A 「Aを指摘する」 benefit A [bénéfɪt] 「Aに恩恵をもたらす」

(4) high-altitude [áɛltətju:d] 「高緯度の」 complicated [kámplɪkèɪtɪd] 「複雑な」 reliable [rɪláiəbl] 「信頼できる」 equipment [ɪkwɪpmənt] 「装備」 aboard A [əbo:rd] 「Aに乗船して」

構文解説

(1)

3つ以上のものを比べてその中でAが最も程度が高いことを示すのが、最上級である。the 最上級 in A / of A の形で、「AはAの中で一番～」の意味を表す。形容詞・副詞の最上級にはふつう the をつける。原則として、副詞の最上級には the をつけないのだが、最近では the をつけることが一般的になりつつある。in A / of A で比較の範囲・対象が限定されたり、形容詞と同形の副詞を用いる場合にその傾向が強い。また、最上級表現では、範囲を限定する必要があり、Aが単数の名詞の場合は in を複数の名詞の場合は of を用いる。(例) He is the tallest boy in this class. ≡ He is the tallest boy of all in this class. 「彼はクラスで最も背が高い」。また、範囲の限定に関係詞節が用いられることもある。(例 This is the most boring game that I have ever watched. 「これは、私がこれまで見た中で最も退屈な試合だ」)

(2)

in 単数名詞 / of 複数名詞以外に、比較の範囲を関係代名詞の節を用いて表す場合がある。(例 This is the most expensive watch that I have ever bought. 「これは私が買った中で最も高価な時計である」) than 以下には経験を意味する完了形の副詞 ever を使うことが多い。

(3)

one of the+最上級+複数名詞で「一番～なものの1つ」の意味を表す。最上級の後に名詞の複数形が来ることに注意。(例 Japan is one of the richest countries in the world. 「日本は世界で金持ちの国の一つである」)

(4)

the least 形容詞[副詞]の形で、「(程度が)一番～でない」の意味を表す表現もよく用いられる。(例 This movie is the least interesting this year. 「これは今年最もつまらない映画だ」)

(5)

最上級を強める語句には、much, by far, possible, very などを用いる。much, by far は the+比較級の前に置く。(例 The river is by far the longest in this country. その川はこの国ではずば抜けて最も長い)なお、possible[imaginable]で最上級を強調する場合は、the 最上級 possible (名詞)と the 最上級 名詞 possible の2つの形がある。

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《佐賀大》

A recent study has shown that, if you want to be at your best in learning, being humble is your tool. The humblest students, who think they know the least, do more tests and research when given a problem, and prove to be more efficient than those who think they already have the answer. It is hardly surprising. A learner who overestimates her own knowledge is in trouble, just as an athlete who underestimates her competitors will lose. Being humble means you work harder and prepare yourself better.

(2) 《京都大》

Until recently, studying music in school was regarded as a luxury. A child's math and language skills or scientific problem solving were considered to deserve the major portion of the curriculum*, while music, art, and other related subjects received only passing attention at most. Music teachers faced competing demands from extra lessons*, sports practice, and play rehearsals. But with the help of science, this erosion* of time devoted to music looks like being halted and even reversed.

(注) curriculum 「カリキュラム」 extra lessons 「補修」 erosion 「侵食」「削減」

発展問題(1) be at one's best in learning 「学習において本領を発揮する」 humble [hʌmbl] 「謙虚な」 efficient [ɪfɪjənt] 「能率的な」「有能な」 overestimate A[ˌoʊvəˈrɛstəˈmeɪt] 「過大評価する」 underestimate A[ˌʌndər stəˈmeɪt] 「過小評価する」 a competitor [kəmˈpɛtətər] 「競争相手、対戦相手」 prepare oneself [pri(:)ˈpeər] 「準備する」
(2) luxury [lʌkʃəri] 「贅沢」 deserve A[dɪzəˈrv] 「Aに値する」 passing [ˈpæsiŋ] 「はかない、僅かな」 face A 「Aに直面する」 competing [kəmˈpiːtɪŋ] 「競合する」 (A is) devoted to B 「(Aは)Bに捧げられる」 halt A 「Aを止める」 reverse A [rɪˈvɜːrs] 「Aを反対にする」 halt halt 「止める」

No35 《比較Ⅶ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

1. It is difficult to persuade him, and is **as difficult** to bring him here.
2. This meeting is very important, but tomorrow's party is **much more**.
3. I am as eager to participate in that project **as she in this one**.
4. They seem to have worked harder **than did the students I'm teaching**.
5. We have to save money for our son, but **more necessary** is to teach him how to use money.
6. Tom is as likely **as we are** to talk her into joinining us.
7. He was more eager **than I was** to study biology and chemistry.
8. You will be more irritated **than if you tell her the truth**.

1. 〈比較対象の省略|as ...が省略されている場合〉
彼を説得することはむづかしいし、ここに連れてくるのも同程度むづかしい。
...is as difficult to bring him here (as to persuade him). ()内が省略された部分
2. 〈比較対象の省略|than ...が省略されている場合〉
... much more (important than this meeting). ()内が省略された部分
この会議は重要であるが、あすのパーティはもっと重要だ。
3. 〈比較構文と省略|as/than ...の部分に省略がある場合〉
...as she (is eager to participate) in this one. ()内が省略された部分
私は、彼女がこの計画に参加したのと同程度その計画に参加した。
4. 〈比較構文と倒置|as/than ...の部分に倒置がある場合〉
... than did the students I'm teaching(s) (the students I'm teaching worked hard が元の形)
彼らは私が指導している生徒以上に努力したようだ。
5. 〈倒置構文|than ...の文頭移動〉
息子のために貯金しなければならないが、もっと必要なのは、彼にお金の使い方を教えることだ。
6. 〈比較対象の前置〉(Tom is as likely to talk her into joinining us as we are.)
トムは私たちと同程度彼女を説得して、私たちに参加させる可能性がある。
7. 〈比較対象の前置〉(He was more eager to study biology and chemistry than I was.)
彼は私よりも熱心に生物学と化学を勉強した。
8. 〈比較級 than if SV～「SV～するほうがより...」〉... than (you will be irritated) if you ～
彼女に本当のことを言う方があなたは腹が立つだろう。

【3】 [英作文]

解答時間 15分

次の A と B の会話を読み，下線部(1)～(4)を英語に直しなさい。

A： (1)海外で日本の文化に出くわすとき，がっかりすることが多いよ。

B： 例えば，どんな例があるの？

A： 日本の寿司は今どこの国でも食べられるよね。でも，(2)見かけはほとんど同じでも，素材は大きく変わっている。アボカドが入っていたりするもの。

B： ぼくはそれも日本の文化の一つだと思うよ。(3)味が違っても，日本文化が海外で受け入れられている証拠だよ。

A： そうかな。(4)あそこまで変わってしまうと，もはや日本独特ではないよ。

B： じゃ，今から一緒に寿司屋に行って，実際に食べながら考えてみようよ。

【4】 標準〔英文解釈〕

解答時間各 15 分

次の各英文(1)～(4)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1) 《北海道大》

At present, noise pollution may not seem as serious a problem as global warming or air and water pollution. Nevertheless, if the situation remains unchanged, noise pollution will continue to disrupt society, damage human health and make our daily lives less comfortable.

(2) 《神戸大》

Climate is the product of so many variables* — rising and falling carbon dioxide* (CO₂) levels, the shifts of continents, solar activity — that it is as difficult to comprehend the events of the past as it is to predict those of the future. Much is simply beyond us. Take Antarctica. For at least twenty million years after it settled over the South Pole Antarctica remained covered in plants and free of ice. That simply shouldn't have been possible.

(注) variables 「可変要素」 carbon dioxide [daiáksaid] 「二酸化炭素」

【4】 (1) noise pollution [pə'lu:ʃən] 「騒音公害」 disrupt A [disrʌpt] 「Aを混乱させる」 damage A [dæmɪdʒ] 「Aに害を与える」

(2) comprehend A [kəm'pri:hénd] 「Aを理解する」 predict A [pri(:)dɪkt] 「Aを予測する」 Antarctica [æntá:rktikə] 「南極大陸」 settle 「落ち着く」

(3) 《大阪大》

The way something feels depends on its weight, texture, and temperature. When you pick something up, it feels different than it does if you simply push it or rub your fingers along its surface. Sensory cells throughout your body send messages relating to touch to your brain, and your brain knows how to interpret those messages.

(4) 《明治大》

Some people say that subjects like gravity* or the states of matter are too old and too simple to be interesting. But in truth, no science is really that simple. “Most of us are in daily contact with at least as much that we do not understand as were the Greeks or early Babylonians*,” my friend the physicist likes to say. “Yet we have learned not to ask questions about how the power steering on our cars works or how polio vaccine* is made or what is involved in the freezing of orange juice. We end up in the paradoxical situation in which one of the effects of science is to dampen curiosity.”

(注) gravity [græviti] 「重力」 early Babylonians [b`æbəlouniən] 「古代バビロニア人」 polio vaccine [væksí:n] 「ポリオワクチン」

(3) texture [tékstʃər] 「手触り」 rub A 「Aをこする」 surface [sə:rfis] 「表面」 relate to A 「Aに関する」 interpret A [intə:rprət] 「Aを解釈する」

(4) the power steering [stíəriŋ] 「パワーステアリング」 end up in A 「結局Aに終わる」 paradoxical [p`ærədəksikəl] 「矛盾した」 dampen A [dæmpən] 「Aをそぐ」

構文解説

(1)

文脈から比較対象が明らかな場合は、省略することが多い。(例 His father was very worried about their sons, but his mother was less, because they had mobile phones. 「彼の父は息子たちのことをとても心配していたが、母親は子供たちに携帯電話を持たせていたのでちちほど心配していなかった」)less のあとに worried about them(=their sons) than he(=his father) が省略されている。

(2)

more... と than が離れていて比較対象がわかりにくくなる場合に、than... が前に移動することがある。(例 He is more able than my sister is to speak English well. 「彼は私の妹よりも英語を上手に話すことができる」 (=He is more able to speak English well than my sister is.)。as~as 構文でも、同様のことが生じることがある。He is as familiar as you are with what happened there. 「彼はあなたと同じくらいそこで起きたことをよく知っている」

(3)

比較構文(as~as... / more ~than ...)では、as(後ろの as)、than の後続部が、反復を避けるために①省略②代用③倒置等が生じる場合がある。この as および than は文法的に言えば副詞節を導く接続詞で、同じ形を避けるために、①省略②代用③倒置等が生じているのである。

(4)

than if SV... では、than SV if SV... から、than の直後の SV が反復を避けるために省略されてできた形である。「if... の場合よりも」と主節は訳出しない方がよい。

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《一橋大》

Questionable friendships are regularly debated in TV programmes, newspaper columns and journals. However, it seems to me that another, more fundamental, question is rarely asked. What exactly is friendship? What is its nature, its rules, its promise? How can one tell the difference between its many forms? How does it compare to, and mix with, the connections shared between lovers and within families? These questions are more difficult to answer than it might first seem because friendship is hugely diverse.

(2) 《岩手大》

Perhaps there may be some of you here, and certainly there are many elsewhere, who will say that the whole answer to my question “How to Be Free and Happy” is summed up in one simple sentence — “Get a good income!” That is an answer which I think is generally accepted. However, I think that it is a mistake to imagine that money is a very much more important thing in producing happiness than it actually is. I have known in the course of my life a great many rich people, and I can hardly think of one of them who appears to be either happy or free. I have known a great many people who were extremely poor — they also could hardly be happy and free. But in the intermediate realms you find most happiness and freedom. It is not great wealth or great poverty that brings most happiness.

発展問題(1) a column [káləm] 「記事」 fundamental [fʌndəməntl] 「根本的な」 compare to A 「A と比べる」 mix with A 「A と結びつく」 diverse [daivə:rs] 「多様な」

(2) sum up A 「A を要約する」 income [ínkʌm] 「収入」 in the course of A 「A の中で」 appear to V 「V のように思われる」 extremely [ekstri:mli] 「極端に」 intermediate [intəmi:diit] 「間の」 a realm [relm] 「領域」 poverty [pávərti] 「貧困」

No36 《比較Ⅸ》



【1】〔確認テスト〕

【2】〔基本構文〕

1. A whale is **no more** a fish **than** a horse is (a fish).
2. I am **not** able to live by myself **any more than** is my sick mother.
3. She is **no less** kind **than** her late mother used to be.
4. The satellite was **no bigger than** a soccer ball.
5. **No more than** ten people applied for the job.
6. He had **no less than** five English-Japanese dictionaries.
7. She has **not more than** ten dollars on her.
8. **Not less than ten** people applied for the job.
9. He is **nothing more than** a stranger here.
10. He is **nothing less than** a liar.

1. 〈A is no more B than C (is) D. 「C が D でないの同様に、A は B でない〉
=A whale is not a fish any more than a horse is (a fish).
くじらが魚でないのは馬が魚でないのと同様である。
2. 〈A is not ... B any more than C (is) D. 「C が D でないの同様に、A は B でない〉
私は病気の母と同様に一人で暮らしていけない。
3. 〈A is no less B than C (is) D. 「C が D であるのと同様に、A は B だ〉
彼女は亡くなった母親と同様に親切な人だ。
4. 〈A is no bigger than B 「A は B と同然ちいさい〉 ★一種の比喩表現
その衛星はサッカーボールほどの大きさしかなかった。
5. 〈no more than A 「A しか」 =only〉
その仕事に 10 人しか応募しなかった。
6. 〈no less than A 「A も」 =as many/much as〉
彼は 5 冊も英和辞典を持っていた。
7. 〈not more than A 「せいぜい A」 =at most〉
彼女は 10 ドルしか持っていない。
8. 〈not less than A 「少なくとも A」 =at least〉
その仕事には少なくとも 10 人が応募した。
9. 〈nothing more than A 「せいぜい A」 =only〉
彼はここでは、単なるよそ者だ。
10. 〈nothing less than A 「まさしく A」〉
彼はまさに嘘つきそのものだ。

【3】(1) ②(2) ①(3) ②(4) ③(5) ④(6) ①(7) ①(1) good friends is no less important than making (2) can no more play the violin than a baby can (3) My parents are no (more able to read Japanese classics than I) am.

【3】 〔文法確認〕

[A] 空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) I was surprised that he had a lot of books. There were () five thousand books in his library.
①not more than ②not less than
③no more than ④at most 〈皇學館大〉
- (2) A whale is (). 〈関西外語大〉
①no more a fish than a horse is
②not more a fish than a horse is
③none a fish more than a horse is
④no fish more than a horse is
- (3) I am no () able to operate this machine than he is.
①very ②more ③much ④far 〈中央大〉
- (4) The Americans don't accept Fascism () they do Communism.
①any less than ②no less than
③any more than ④no more than 〈東邦大〉
- (5) No one can tell another person in any definite way how he should spend his free time, () how he ought to breathe. 〈京都外大〉
①no more than ②much less than
③any better than ④any more than
- (6) The wristwatch will cost () forty thousand yen, but I don't care.
①no less than ②at last ③in the least ④at best 〈日本大〉
- (7) Sunlight is no () necessary to good health than fresh air.
①less ②better ③much ④little 〈西日本工大〉

[B] 日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

- (8) よい友人との付き合いは、お金を稼ぐのと同様に大切なことである。
Making (important / friends / than / less / is / good / making / no) money.
- (9) 僕はバイオリンをひくことにかけては赤ん坊同然だ。
I (play the violin / can no more / a baby / than / can). 〈関西大〉

(10) 私の両親は、私同様、日本の古文を読むことができない。〈中央大〉

My parents are no (to / more / classics / Japanese / than / able / read / I)
am.

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間 30 分

次の各英文(1)～(5)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

There is not any modern nation but has, in some way, contributed to our science or art or literature. Each country has given something to the sum of beauty and knowledge of the world. Music and art and science do not observe political or geographical boundaries any more than do the sunshine and the rain.

(2)

If you choose your friends on the ground that you are virtuous and want virtuous company, you are no nearer to true friendship than if you choose them for commercial reasons. Besides, who are you that you should be setting a price upon your friendship?

【3】 (1)contribute to A [kən'trɪbjʊ:t] 「Aに役立つ」 literature [lɪtərəʃər] 「文学」 observe A [əbzə:rv] 「Aを遵守する」
a geographical boundary [dʒi:əgrə'fɪkəl] [bə'ʊndəri] 「地理的境界線」

(2)on the ground that SV... 「SV...を根拠に」 commercial [kəmə:'rʃəl] 「営利的な」 set a price upon A 「Aに値を付ける」

It still remains the truth that one cannot jazz through education any more than one can jazz through life. The learning must always involve a severe intellectual discipline—an enduring of hardness and a cheerful acceptance of difficult work.

(4)

Reading is to the mind what food is to the body. If you try to do without it, you simply cannot. On the other hand, if you try to read more than your system can absorb, you can easily lose your appetite for reading. You must remember, therefore, that your mind is no less sensitive to injury than your body.

(5)

The distance of the Sun from the Earth is, roughly speaking, ninety-three millions of miles. If it were possible to travel to the Sun in a railway train, night and day without stopping, at the uniform rate of forty miles an hour, it would require no less than two hundred and sixty-five to reach its destination.

(3) a discipline [dɪsəplɪn] 「訓練」 enduring [endʒʊəriŋ] 「耐えること」 (endure A 「Aに耐える」)

(4) an appetite [æpəˈtaɪt] 「食欲、欲望」 sensitive to A 「Aに敏感である」 a destination [dɛstəˈneɪʃən] 「目的地」

(5) roughly speaking [rʌfli] 「大雑把に言えば」 night and day 「日夜」

構文解説

(1)

A is no more B than C is D.で「CがDでないと同様にAもBでない」の意味を表す。AがBでないことを表すために、通常ありえない「CがDでない」例を引き合いに出して強調する表現。not ~ any more than ... (no を not ~ any に変えたものと考えれば良い)の形も同じ意味を表す。than 以下で①省略②代用③倒置(省略・代用に伴って倒置(助動詞+S[...])が生じる)が生じることが多い。

(2)

“not more ~ than ...” 「...ほど~でない...以上に~ではない」は“more ~ than ...”の単純な否定文である。He is not more diligent than his father.は Not[he is more diligent than his father.]と考えれば良い。また、比較は等号・不等号で考えるとわかりやすく、“not more ~ than ...”は“more ~ than ... (~ > ...)”を否定したもの、つまり“~ ≤ ...”である。「同等またはそれ以下」となる。

(3)

“not less ... than ~” 「...に勝るとも劣らないほど~である」は“less ~ than ...”の単純な否定文である。He is not less diligent than his father.は Not[he is less diligent than his father.]と考えれば良い。“not less ... than ~”は“less ... than ~ (~ < ...)”を否定したもの、つまり“~ ≥ ...”である。「同等またはそれ以上」となる。

(4)

(1) 「no more than + 数詞」は数・量の少ないことを強調し、no more は差が0(ゼロ)を表しており、than 以下と同数であることを表すと同時に、否定(more ではない)の意味を持っている。「たった~だけ(=only)」の意味を表す。
 (2) 「no less than + 数詞」は数・量が多いことを強調し、no less は差が0(ゼロ)を表しており、than 以下と同数であることを表すと同時に、肯定の意味(less ではない)を持っている。「~も(ある)(=as many[much] as)」の意味を表す。
 (3) 「not more than + 数詞」は「~より多くはない、多くても~」を表す。more than + 数詞「数字以上」を否定していると考えれば良い。
 (4) 「not less than + 数詞」は「~より少なくはない(~かそれ以上) → 少なくとも~」less than + 数詞「数字以下」を否定していると考えれば良い。

(5)

no more than 数字に似た形で、no better than ... 「~も同然」 no later than ... 「~までには必ず」 no smaller than ... 「~ほど大きい」 no bigger than ... 「~ほど小さい」がある。no fewer than 数字も、数の多いことを強調して、「~も」の意味を表す。no less than と異なり、数のみに用いる。

(6)

nothing more than A で「~にすぎない」「~でしかない」の意味を表す。only 書き換えることが可能。A には、名詞、動詞がくる。(例 He is nothing more than a dictator. 「彼は独裁者にすぎない」)。また、do nothing more than V 「Vするしかない」は do nothing but V と同義である。(例 She did nothing more than cry at the news. 「彼女はその知らせを聞いて、泣くしかなかった」)。

(7)

「nothing less than A」は「~にほかならない」「まさしく~で」の意味を表す。A には、名詞、形容詞が来る。一種の強調表現。(例 His theory was nothing less than a revolution 「彼の理論は、革命と呼ぶべきものだった」)。

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《県立広島大》

The fashion industry is no more able to preserve a style that men and women have decided to abandon than to introduce one they do not choose to accept. In America, for instance, huge advertising budgets and the wholehearted cooperation of magazines such as Vogue and Esquire have not been able to save the hat, which for centuries was an essential part of everyone's outdoor (and often of their indoor) costume. It survives now mainly as a utilitarian protection against weather, as part of ritual dress (at formal weddings, for example) or as a sign of age or individual eccentricity.

(注) trading advantages 「貿易上の便宜」

(2) 《山口大》

Human societies have always had problems to face, but many of the problems at the beginning of the 21st Century are different and certainly no less serious than those of the past. Up until recently, most of our problems concerned the struggle of people and societies to feed themselves, and to overcome or prevent diseases and natural disasters.

発展問題(1) preserve A「Aを維持する」abandon A「Aを捨てる」introduce A「Aを導入する」a budget「予算」wholehearted 「心底の、全面的な」costume「衣装」utilitarian「実用的な」a protection「保護」(a utilitarian protection「実用品」)ritual 「祭礼用の」eccentricity「変わっていること」(individual eccentricity「他とは自分が異なっていること」)
(2)concern A「Aも関わる」struggle「闘い、努力」overcome A「Aを克服する」prevent A「Aを防ぐ」a disaster「災害」conflict[kánflikt]「争い」territory「領域」military「軍事の」superiority「優位性」relatively「相対的に」powerless 「無力な」adapt to A「Aに適応する」

No37 《比較X》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

1. **The more** we learn, **the better** we realize our ignorance.
2. **The older** we get, **the less** sure of our health we feel.
3. **The more difficult** the problem [is], **the greater** the satisfaction in solving it [is].
4. All of us become **the busier**, **the further** civilization advances.
5. **As you study more**, **the more** you discover your ignorance.
6. **The more unique** each person is, **the more** he contributes to the wisdom of others.

1. 〈The 比較級~, the 比較級... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉基本形
学べば学ぶほど、[それだけいっそう]自分の無知を悟る。
2. 〈The 比較級~, the 比較級... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★lessを用いる場合
年をとればとるほど、われわれは自分の健康に自信が持てなくなる。
3. 〈The 比較級~, the 比較級... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★isが省略される場合
問題がむずかしければむずかしいほど、それを解く満足感は大い。
4. 〈SV...the 比較級, the 比較級~. 「~すればするほど、いっそう...だ」〉
文明が進歩すればするほど、われわれは皆忙しくなる。★主節と従属節が入れかわる形(倒置形)
5. 〈As SV 比較級~, the 比較級... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★isが省略される場合
★the 比較級~が As SV~に代わる場合
学べば学ぶほど、ますます自分が無知であることがわかる。
6. 〈The 比較級~, the 比較級... 「~すればするほど、いっそう...だ」〉★...が倒置構文になる場合
各人が個性的であればあるほど、それだけ他人の英知に寄与する。

【3】 [文法確認]

[A] 空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①~④から1つずつ選びなさい。

(1)The more I thought about it, () certain I became that Jekyll was mad.

- ①even more ②the more ③mostly ④it was almost 〈長岡造形大〉

(2)She says she loves him all () for his character.

- ①more ②less ③the more ④the most 〈防衛大学校〉

(3)A good tale is none the () for being twice told.

- ①least ②worse ③excellence ④good 〈青山学院大〉

(4)“I love your garden. It’s so neat.”

“Well, the smaller the garden, () to look after it.”

- ①it is easier ②it is easily
-
- ③the easier it is ④the easily it is 〈センター試験〉

(5) Although intonation is seldom taught in some language courses, it is () important for communicating accurately.

①none the less

②all the more

③much more

④none the worse 〈慶應大〉

(6) The higher you climb up the mountain, () it will be.

①cold ②colder ③the coldest ④the colder 〈大阪商大〉

(7) I will help Tom all () for his hard work.

①more ②less ③the more ④the most 〈関西学院大〉

[B] 日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

(8) 早く終われば、それだけ早く帰れます。

The faster we finish, (leave / the / can / we / sooner). 〈立正大〉

(9) 彼女にはいたずらっぽいところがあるからますます好きだ。

I like her (the / her / all / for / better) naughtiness. 〈駒澤大〉

(10) その問題は考えれば考えるほど、難しくなるように思えた。

The more I thought about the problem, (the / difficult / to / more / become / it / seemed). 〈立正大〉

【3】 (1) ②(2) ③(3) ②(4) ③(5) ①(6) ④(7) ③(8) the sooner we can leave (9) all the better for her (10) The more I thought about the problem, (the more difficult it seemed to become).

【4】 基本〔英文解釈〕

解答時間 30 分

次の各英文(1)～(5)を音読したうえで、下線部を和訳しなさい。

(1)

But the more we study the annuals of the past, the more shall we rejoice that we live in a merciful age, in an age in which cruelty is abhorred*, and in which pain, even when deserved, is inflicted reluctantly and from a sense of duty.

(注) abhor [əbʰɔːr] A 「Aをぞっとさせる」

(2)

The less control people had over their work, the higher their blood pressure during work hours. Moreover, blood pressure at home was unrelated to the level of job control, indicating that the spike* during work hours was specifically caused by lack of choice on the job.

(注) spike[spaik] 「怪我」

(3)

The more things a man is interested in, the more opportunities of happiness he has and the less he is at the mercy of fate, since if he loses one thing he can fall back upon another.

(4)

The senses are no longer the supreme means of enjoyment, but the affections are engaged, and we love the things around us all the more because they are familiar.

(5)

Motherly love for the growing child, love which wants nothing for oneself, is perhaps the most difficult form of love to be achieved, and all the more deceptive because of the ease with which a mother can love her small infant.

【4】(1)an annual [ænjuel] 「年代記」 rejoice that SV...[rɪdʒɔɪs] 「SV...を喜ぶ」 merciful [mə:rsəfəl] 「慈悲深い」 deserve A [dɪzə:rv] 「Aに値する」 inflict A [ɪnflɪkt] 「Aを加える」 reluctantly [rɪlʌktentli] 「いやいや」 a sense of duty 「義務感」
(2)blood pressure [prɛʃər] 「血圧」 indicate that SV...[ɪndɪkèɪt] 「SV...を示す」
(3)an opportunity [əpɔ:tjù:nəti] 「機会」 at the mercy of A [mə:rsɪ] 「Aのなすがまま」 fate 「運命」 fall back upon A 「Aに頼る」
(4)no longer 「もはや～でない」 supreme [səprɪ:m] 「崇高な、最高の」 an affection [əfɛkʃən] 「愛情、愛着」
(5)motherly 「母親としての」 deceptive [dɪsɛptɪv] 「人を惑わすような」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《奈良女子大》

How can we give our exhausted brains a much-needed rest? One way is by taking periodic breaks to shift gears. Research shows that 90 minutes is about the longest amount of time people can sustain mental focus with maximum intensity. After an hour and a half at your computer, you'll actually increase your productivity if you step back and do something else for a few minutes. The more different the task, the better.

(2) 《立教大》

Time is our most valuable possession. In classical economics, the rarer a resource and the more uses to which it may be put, the greater its value. Gold, for example, has no intrinsic value. It is no more than yellow metal. However, veins of gold are rare, and gold has many uses. People first used gold to make jewelry; more recently, it has become a conductor in electronic components. The relation between *scarcity and value is well known, so gold's extremely high price comes as no surprise.

(注) intrinsic [intrínsik] 「固有の」 a vein [vein] 「鉱脈」 「静脈」 a conductor [kɒndʌktər] 「伝導体」 scarcity [skéərsəti] 「希少性」

発展問題(3)exhausted [egzɔːstɪd] 「疲れ切った」 periodic [piəriədɪk] 「定期的に」 shift gears 「ギアを入れ替える」 sustain A [səsteɪn] 「Aを維持する」 maximum [mæksɪmə] 「最大限の」 intensity [ɪnténsəti] 「集中」

(4)possession [pəzəʃən] 「財産」 put A to use 「Aを利用する」 a component [kəm্পóunənt] 「部品」 comes as no surprise 「驚くことではない」

構文解説

(1)

the+比較級+of the two は「2つ[2人]のうち~のほう」の意味を表す。「2つ(2人)1のうちの1つ(1人)」に限定する表現なので、限定の the がつく。(例 He chose the more economical plan of the two. 「彼は二つのプランのうちでより経済的な(費用がかからない)方を選択した」)

(2) 基本的な考え方

The+比較級~, the+比較級. の形で、「~すればするほど,(それだけ)ますます...」の意味を表す。基本的な考え方は、「一方の程度(形容詞・副詞)の変化に応じて, もう一方も程度(形容詞・副詞)が変化する」様を表す。この構文では, 前半部の The+比較級~が副詞節で, 後半部の the+比較級が主節となる。前半部の the は「~につれて」を表す接続詞(=as)で, 後の the は「その分だけ」を表す指示副詞である。前半部の副詞節が主節の the を修飾しているとも考えることもできる。この構文での注意点は, 前半部分も, 後半部分も文なので, 文型が成立しているということです。例えば, 「The harder he studied mathematics, the more interested[(x)the more interesting] he became in it. 「彼は数学を勉強すればするほど数学が好きになった」では, the harder は, studied にかかる副詞で, the more interested は, became の補語(C)となっている。前半部は, he studied mathematics hard から, 後半部は he became interested in it から出来ていると考えると理解がしやすい。

(3) The +比較級~, the+比較級. の倒置形

The+比較級~, the+比較級. で, 副詞節と主節が入れ替わって倒置形となる場合がある。その場合は, SV...the+比較級, the+比較級 S'V'~. 「S'V'~すればするほど, SV...」となる。(例 He became the more interested in mathematic, the harder he studied it. 「彼は数学を勉強すればするほど数学が好きになった」)

(4) The +比較級~, the+比較級. 構文上の注意

The+比較級~, the+比較級. では, be 動詞や it is などが省略されることがある。(例 The greater <are> our wishes, the greater <are> our efforts. 「願いが大きければ大きいほど, 努力はいる」, 前半部, 後半部ともに <are> が省略されている。

(5)

the+比較級+理由(時・条件)を示す句(節)の形で、「~なので(~の時・~ならば)ますます...」の意味を表す。この場合の the は, The+比較級~, the+比較級. 構文の後半部の the(指示副詞)と同じ働きで「その文だけ一層...」を表している。「all [副詞] the+比較級」で「なおさら[かえって]いっそう~」の意味を表し, いろいろな理由を示す句・節を伴う。

(6)

「none the+比較級+for...」は「...だからといってそれだけ~ということは絶対はない」の意味を表す。
(例 He is none the happier because his wife looks beautiful. 「彼は妻が美人だからといって, それだけ幸せというわけではない」)

長文読解 fortunate[fo:rtʃenət] 「幸運な」 spoil[spɔɪl] 「(甘やかして)だめにする」 pamper[pæmpər] 「甘やかす」 sensitive[sensətɪv] 「敏感な」 「気を配る」 complimentary[kəmplɪməntri] 「お世辞の」 「敬意を表す」 belittle[bɪlɪtl] 「価値を下げる」 「見下す」 spill[spɪl] 「こぼれる」 at first glance 「一目で」 consciously[kɑ:'n(t)ʃəsli] 「意識して」 「故意に」 assume[ə'su:m] 「思い込む」 「(役割など)引き受ける」 represent A [rɪprɪzɛnt] 「表現する」 「代表する」 peculiarity[pɪkjʊ:liærəti] 「異常」 「な態度」 「風変わり」 「特性」 matter [mætər] 「重要である」 potential [pəʊtəntʃəl] 「可能性のある」 「潜在的な」 「可能性」 assumption [ə'sʌmpʃən] 「前提」 erroneous[erə'ʊniəs] 「間違いのある」 「間違った」 profoundly(profoundly [prəʊfáund] 「重大な」 「深い」)essentially(essentially [esénjel] 「不可欠の」 region[rí:dʒən] 「地域」 「分野」 「(体の)部分」 mystic[mɪstɪk] 「神秘的な」 tribal [traɪbəl] 「部族の」 consequences [kɒnsɪkwəns] 「《通常(複)で》 影響(必然)の結果」 「重要性」 affect A[səfekt] 「(直接的な)影響を与える」 deal with A[di:l] 「Aに取り組む」

長文読解 5

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

Growing up, Americans hear that theirs is the strongest country, the freest and most fortunate, the most open to new ideas and change. ⁽¹⁾We also hear that it is the world's most violent society, the most spoiled and pampered, the least sensitive to other cultures and their values. The real significance of such messages, whether complimentary or belittling, rarely sinks in. America is a large country, and most of its people never leave. Its popular culture has spilled over into nearly every part of the world. Americans can buy blue jeans in Thailand, watch *The CBS Evening News* in Korea, find *USA Today* almost anywhere they go. At first glance Tokyo, Singapore, and Frankfurt may look like cities in the United States: ⁽²⁾It is not surprising, then, that many Americans should half consciously assume that America represents a universal culture, that other countries are steadily becoming more like it, that its peculiarities cannot matter very much. The world is full of potential Americans, since people can come from any other society and be accepted here. Therefore the world may seem to be full of potential Americas too.

The assumption is erroneous: the United States is not an ordinary society. The differences between America and other cultures run deep and matter profoundly. They are differences of kind, not just of degree. Of course people are essentially the same anywhere on earth, but cultures are not. America is unusual because of its fundamental idea of how a society holds itself together. American society is not made of people who all happened to be living in a certain region or who have some mystic tribal tie. It's made of people who came or were brought here from somewhere else. ⁽³⁾This is perfectly obvious, but some of the consequences of the fact are not, and they affect our dealings with the rest of the world every day.

No39 《that I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

(1)

1. This is the very book **that** I wanted to read.
2. Statistics show **that** very few people live to be a hundred.
3. He was ignorant of **the fact that** the town had been destroyed.
4. Bring the painting closer **so that** I may see it better.
5. I was excited, **so that** I could not get to sleep.
6. This is **so** easy **that** a child can read it.
7. The question is **not so** easy **that** anyone can answer it.
8. **Now that** you have passed your test, you can drive on your own.
9. I was glad **that** she visited me unexpectedly.
10. Man is said to be different from other animals **in that** man uses language.
11. The story is good **except that** it is a little too long.

★〈代名詞の that〉 The gravity of the moon is one-sixth of that of the earth. 「月の重力は地球の6分の1である」も重要。

1. 〈関係代名詞の that〉 ★名詞(先行詞)を修飾、主格・目的格・所有格になる
これはまさに私が読みたかった本だ。
2. 〈名詞節 that〉 ★主語・目的語・補語になる
統計によれば百歳になるまで生きる人はほとんどいない。
3. 〈同格名詞節 that〉
彼は街が破壊されていたという事実を知らなかった。
4. 〈副詞節 that: ~ so that S may[will/can] V...(目的)〉
私をもっとよく見えるように、その絵をもっと近くへ持ってきなさい。
5. 〈副詞節 that: ~ , so that SV...(結果)〉
興奮していたので、私は寝つかれなかった。
6. 〈副詞節 that: so ~ that SV...(程度)〉
この本はとてもやさしいので子供でも読める。
7. 〈副詞節 that: not so ~ that SV...(程度)〉
その問題は誰でも答えられるほど容易ではない。
8. 〈副詞節 that: Now that SV..., ~ (理由)〉
君はもう試験に受かったのだから、一人で運転できるよ。
9. 〈副詞節 that: 感情を表す表現 that SV...(理由)〉
私は彼女が突然訪ねて来てくれてうれしかった。
10. 〈in that SV... 「SV...という点で」〉
言葉を使うという点で人間は他の動物と異なるといわれている。
11. 〈except that SV... 「SV...を除いて」〉
その物語は少し長すぎるという点を除けばけっこうだ。

(2)

1. Don't forget **the fact that** smoking is a danger to your health.
2. **The news that** he was still alive reached us.
3. She was seized by **a sudden fear that** she was being followed.
4. She cherishes **the hope that** he will return.
5. Is there **any likelihood that** Mr. Black will agree to the plan?
6. There is **no probability that** the money will be paid.

1. 〈同格の that : the fact that SV... 「SV...という事実」〉★the 情報・事実 that SV...
喫煙は健康にとって危険なものだという事実を忘れてはならない。
2. 〈同格の that : the news that SV... 「SV...という事実」〉★the 情報・事実 that SV...
彼はまだ生きているという知らせが私たちに届いた。
3. 〈同格の that : the fear that SV... 「SV...という恐れ」〉★the 動詞派生の名詞 that SV...
彼女はだれかに後をつけられているという恐怖に突然襲われた。
4. 〈同格の that : the hope that SV... 「SV...という希望」〉★the 動詞派生の名詞 that SV...
彼女は彼が戻ってくるという希望を心に抱いている。
5. 〈同格の that : the hope that SV... 「SV...という希望」〉★the 可能性を表わす名詞 that SV...
ブラックさんがその計画に賛成する見込みがありますか。
6. 〈同格の that : the hope that SV... 「SV...という希望」〉★the 可能性を表わす名詞 that SV...
そのお金は支払われる可能性はまったくくない。

(3)

1. That she is ill is obvious.
2. The reason for my absence is that I was ill.
3. I admit that he is sincere.
4. The idea that money can buy everything is wrong.

1. 〈名詞節 that : 主語の場合〉★That she is ill が主語
彼女が病気だということは明らかだ。
2. 〈名詞節 that : 補語の場合〉
私が休んだ理由は病気だったからです。
3. 〈名詞節 that : 目的語の場合〉★admit 「～を認める」の目的語
彼に誠意があることは認める。
4. 〈名詞節 that : 同格の場合〉★the 抽象名詞 that SV... 「SV...という抽象名詞」
お金があれば何でも買えるという考えは間違っている。

【3】 [英文解釈]

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《県立広島大》

Most young people have difficulty contemplating their own old age or preparing for the discomfort and dependency that often accompany it. Likewise, the world today finds it hard to confront its collective aging, much less the difficult political and economic choices that aging societies will have to make.

(2) 《岩手大》

Your job as a parent is to help your children decide what's worth getting and then show them the right way to go about it. The lesson they'll learn is that getting takes more effort than saying, "Gimme*."

(注) “gimme”は”give me”のくだけた言い方に由来する表現

【3】 (1)contemplate A [kántəmplèit] 「A を熟考する」 prepare for A [pri(:)péər] 「A に備える」 discomfort [diskʌmfɔ:t] 「不快」「苦痛」 dependency 「依存」 accompany A [əˈkʌmpəni] 「A を伴う」 aging societies 「高齢化社会」

(3) 《九州大》

Our growing dependence on technologies of all forms is a double-edged sword. The fact that our modern world has, at least on the face of it, become increasingly reliable has, paradoxically, made us weaker and weaker. People are no longer able to cope for more than a very short time when these systems fail.

(注) a double-edged sword 「諸刃の剣」 on the face of A 「A を一見したところ」

(4) 《群馬大》

Most of what we learn, we learn through language. This is true even of our commonsense knowledge, all that we learn before, and outside of, our schooling; but it is especially true of educational knowledge. Language is so central to the whole of the educational process that its role was never even talked about, since no-one could conceive of education without it.

(3) reliable [rɪˈlaɪəbəl] 「信頼できる」 no longer 「もはや～でない」 cope (with A) 「(A に)対処する」

(4) commonsense [kɑːmənˈsɛns] 「常識(的)」 conceive of A [kənˈsiːv] 「A を想像する」

構文解説

(1)

接続詞は、大きく分けて、等位接続詞と従属接続詞の2種類がある。等位接続詞とは、and, but のように、語と語、句と句、節と節を文法的に対等なものを結ぶ接続詞。and, but, or がその代表的なものである。他方、従属接続詞は、that, because, when などのように、SV を従えて、一つの意味の固まり(従属節)を作る。文中での役割に応じて、名詞節(文中で、主語、補語、目的語、同格)、形容詞節(名詞を修飾。関係詞節がその代表)、副詞節(名詞以外を修飾)の3種類がある。さらに、副詞節は意味によって、時、条件、理由、結果、目的、譲歩など様々に分類される。

(2)

名詞節、形容詞節と副詞節の区別は、接続詞に導かれる部分がなくても文法的に成立するかどうかで判断する。接続詞に導かれる部分がなくても文が成立すれば、形容詞節と副詞節であり、不成立であれば、名詞節となる。なお、同格の名詞節の場合も、無くても文が成立する。if, when, whether など名詞節・副詞節両方の使い方がある接続詞には注意。例“ I don't know if he will accept our proposal.” 「私は彼が私たちの提案を受け入れてくれるかどうかかわからない」[名詞節] know の目的語になっている。“if he will accept our proposal” がなければ文は成り立たない。“I will be glad if he accepts our proposal.” 「彼が私たちの提案を受け入れてくれればうれしい」[副詞節] if SV... を取り除いても文は成立する。

(3)

同格名詞節と形容詞節は、ともに名詞を修飾するが、以下の2点で文法的に異なる。一点目は、同格の名詞節が修飾する名詞は、fact, news などの抽象名詞に限定されるが、関係詞節にはそのような制限はない。二つ目は同格名詞節 that の場合は、that の後続の文が完全文となるのに対して、関係詞節を導く that の後続の文は不完全となる。関係詞節の that は、that が文法的に、主語、目的語、補語として働くため、後続の文が、主語、目的語、補語のいずれかが欠如した形になる。例“ She doesn't know the fact that he explained to me.” 「彼が私に説明した事実を彼女は知らない」[関係代名詞] explained の目的語がない不完全文のため、関係代名詞(that は目的格)である。例“ She doesn't know the fact that he had explained it to me.” 「彼女が私にそれを説明したという事実を知らない」[同格名詞節] he had explained it to me は、文として成立している(完全文)のため、同格名詞節である。

(4)

情報系: fact 「事実」 idea 「考え」 opinion 「意見」 rumor 「うわさ」 news 「知らせ」
 可能性系: possibility 「可能性」 likelihood 「可能性」 certainty 「可能性」 risk 「恐れ」
 V that SV 系: doubt 「疑い」 fear 「恐れ」 hope 「見込み」 thought 「考え」 notion 「概念」
 suggestion 「提案」 assumption 「思い込み、仮説」 proof 「証明」 suspicion 「疑惑」 knowledge 「知識」 consciousness 「意識」

V that SV 系とは名詞(動詞派生の名詞)を動詞に戻した時に that 節を目的語に取る場合は、同格名詞節を導くことができる場合が多い。

(5)

that は「～(する)ということ」の意味で、名詞節を導く。that 節は文中で主語・目的語・補語の働きをする。例“ That he is confident in himself is certain.” 「彼は自分に自信があるということは確かだ」(=It is certain that he is confident in himself.) [主語になる that 節]。“All that we know is that he is confident in himself.” 「私たちが知っている精々のことは、彼は自分に自信があるということだ」[補語になる名詞節]。“She doesn't know that he is confident in himself.” 「彼女は彼が自分に自信があるということを知らない」[目的語となる名詞節 that]

(6)

要求・提案などを表す動詞に続く that 節中では、should(《米》では動詞の原形(should を省略))を用いる。動詞が過去形の場合も“should V”または“動詞の原形”を用いる。“My father suggested that the trip be deferred for a week.”「父は旅行を1週間延期するよう提案した」このタイプの動詞には以下のものがある。suggest「提案する」advise「忠告する」command「命令する」demand「要求する」insist「強く要求する」propose「提案する」require「要求する」などである。

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《京都工芸繊維大》

Many of us think that we don't hold prejudicial thoughts against people. We see ourselves as free of prejudice. But the process is much more complicated. The reality is that no one can avoid prejudice because it is built into our socialization. All humans have prejudices, but they are so normalized and taken for granted that they are often very difficult to identify.

(注) socialization「社会化(すること)」normalize A [nɔ:rməlaɪz]「A を常態化する」

(2) 《県立広島大》

That the world is fully alive to* the need for an international language is evident from the number of attempts that have been made to supply that need artificially. Between 1880 and 1907 fifty-three universal languages were proposed. Some of these enjoyed an amazing, if temporary, vogue. In 1889 Volapük claimed nearly a million adherents. Today it is all but forgotten.

(注) be alive to A「A に気づいている」

発展問題(1)prejudicial [prɛdʒudɪʃəl]「偏った」prejudice [prɛdʒudɪs]「偏見」complicated [kəmplɪkəɪtɪd]「複雑な」identify A [aɪdɛntɪfaɪ]「A を見極める」

(2)artificially [ɑ:rtɪfɪʃəlɪ]「人工的に」temporary [tɛmpərəri]「一時的に」vogue [vɒg]「流行」a adherent [ædhɪərənt]

(3) 《横浜市立大》

Trust is an important expectation in American education. The “honor system*,” imposed by the teacher and the school, demands that the student be honest in all areas of schoolwork. Violation of the honor system can result in failing a course, having a permanent record of the violation in the student’s files, and even being suspended or forced out from the university.

(注) honor system 「自主監督制度」

(4) 《横浜市立大医》

As philosopher Francis Bacon put it in 1620, “the human understanding, once it has adopted an opinion, collects any instances that confirm it, and though the contrary instances may be more numerous and more important, it either does not notice them or else rejects them, in order that this opinion will remain unshaken.”

(3)impose A [impóuz] 「A を課す」 violation[vàioléifən] 「違反」 result in A 「結局 A になる」 permanent [pə:rmənənt] 「永久の」 suspend A [səspénd] 「A を一時中断する、A を定額させる」 force A out of the university 「A を退学させる」 endanger A [endéindʒər] 「A を危機に晒す」 cheat 「カンニングをする」 state A 「A を「述べる」 is expected to V 「V することが期待される」
 (4)put A 「A を述べる、A を表現する」 once SV... 「一度 SV...すれば」 adopt A [ədápt] 「A を採用する」 contrary [kántrèri] 「反対の」 reject A [ridʒékt] 「A を拒絶する」

No40 《that II》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

1. **It is this watch that** my uncle gave me as a keepsake.
2. **It was her mother who** objected to their marriage.
3. **It was yesterday that** Mike bought this racket.
4. **It is through play that** a child learns and grows.
5. **It was because he was ill that** he decided to return home.
6. **It was not what he said but the way he said it that** made me suspicious.
7. **It is how effectively you use the available time that** counts.

※波線部が強調部分

1. 〈強調構文：名詞の強調〉
私のおじが形見にくれたのはこの時計である。
2. 〈強調構文：〉
2人の結婚に反対したのは彼女の母親だった。
3. 〈強調構文：副詞の強調〉
マイクがこのラケットを買ったのは昨日でした。
4. 〈強調構文：前置詞句(副詞句)の強調〉
子供が学び、成長するのは遊びによってである。
5. 〈強調構文：副詞節の強調〉
彼が帰国の腹を決めたのは病気だったからだ。
6. 〈強調構文：相関語句(not A but B)の強調〉
疑わしいのは彼の発言ではなくて、彼の言い方であった。
7. 〈強調構文：名詞節(疑問詞 SV)の強調〉★この場合の count は「重要である」の意味。
重要なのは使える時間をどのように有効に使うかである。

【3】 [文法]

[A]空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選びなさい。

- (1) Was () Jack that sent me the book?
①he ②it ③who ④him
- (2) It was only when I read her letter () I realized what was happening.
①how ②that ③why ④which
- (3) It was because of the storm () the trains were halted.
①what ②that ③how ④when (東海大)
- (4) It was not until she had arrived home () remembered her appointment with the dentist.
①who ②what she ③when she ④that she (同志社大)

(5) I can't remember () it was that I was supposed to tell you.

①that ②what ③before ④this (大阪経大)

(6) It was John () broke the window.

①he ②whom ③who ④what (駿河台大)

[B] 日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

(7) 彼が両親に手紙を書くのは金が必要なときだけだ。

(it / he / he / his / is / writes / needs / only / parents / that / money / to / when).

(8) 事の真相を知ったのは翌日のことでした。

It was not (the / we / next / until / that / day / learned) the truth. (中京大)

(9) いったい君はポケットに何を入れているのですか。

(have / is / it / what / you / that) in your pocket? (国士舘大)

(10) 肝心なのは何を読むかではなくて、どう読むかだ。

It is not what you read but (that / it / how / read / counts / you). (慶應大)

【3】 (1) ②(2) ②(3) ②(4) ④(5) ②(6) ③(7) It is only when he needs money that he writes to his parents (8) until the next day that we learned(9) What is it that you have (10) how you read it that counts

【4】 [英文解釈] 《強調構文》

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(6)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《群馬大》

次の英文は、外国語の書くことの大切さを述べた文である。

The importance of writing is coming to be more and more recognized. It is through the written mode that links with the outside world are formed. Whereas we need a listener in order to speak, a reader can be found anywhere within reach of a postman. And books and magazines are even handier than records, tapes, and radio broadcasts. But writing has a further advantage: it can help us to speak.

(2) 《茨城大》

We take it for granted that every normal human being can talk, just as we take it for granted that he can eat, sleep, or walk. This common attitude toward language is in part entirely correct: every normal human being beyond infancy can use language to communicate with his fellow human beings. It is precisely this ability that distinguishes man as the “talking animal” most sharply from all other beings.

(3)

No matter where you go, no matter who your ancestors were, what school or college you have attended, or who helps you, your best opportunity is in yourself. The help you get from others is something outside of you, while it is what you are, what you do yourself that counts.

(4) 《群馬大》

The idea of fighting over language might seem strange, but it's all too common. Why do people sometimes feel so strongly about their language that they take up arms* against speakers of another? What is it about language that can generate tensions that last for generations? The answers to these questions lie in the close relationship between language and identity, particularly ethnic identity.

(注) take up arms 「武器を取る」

(5) 《九州大》

Right and left are not easy concepts for children to master. It is not until they are nine and a half to ten that they begin to have a proper understanding of the nature of the terms.

(6)

When you have lived as long as I have, you will discover, I hope, that it is not what one sees on the outside, so much as what is in the inside of a man, which makes him happy and contented, or the contrary.

[4] (1)mode 「方法」「やり方」 a link 「結びつき」 whereas SV... 「SV...だけれども」 (=Thoguh SV.../While SV...)
 (2)take it for granted that SV... 「SV...を当然とみなす」 attitude [ætətjù:d] 「態度、姿勢」 in part 「幾分」 entirely 「まったく」 beyond infancy [ɪnfənci] 「幼児期を終えている」 communicate with A 「A と意思疎通する」 precisely [pri(:)sáislɪ] 「まさに」 distinguish A from B [dɪstɪŋgwɪʃ] 「A と B を区別する」 sharply 「はっきり」
 (3)an ancestor [ænsəstər] 「祖先」 attend A [əténd] 「A に通う」 SV...while SV'... 「SV...。他方 SV'...」
 (4)generate A [dʒénərèit] 「A を生み出す」 a tension [ténʃən] 「緊張」 ethnic [éθnik] 「民族の」
 (5) a concept [kánsept] 「概念、考え」 master A [máéstər] 「A を習得する」 a term [tə:rm] 「用語」
 (6)discover A [dɪskʌvər] 「A に気づく、A を発見する」 contented [kənténtɪd] 「満足した」 contrary [kántrəri] 「反対の」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《鹿児島大》

It is only when you see ‘eye to eye’ with another person that a real basis for communication can be established. While some people can make us feel comfortable when they talk with us, others make us feel ill at ease and some seem untrustworthy. Initially, this has to do with the length of time that they look at us or with how long they hold our gaze as they speak.

(2) 《埼玉大》

次の英文は、文章を速く読む技術(速読技術)について述べたものです。

When children learn how to read they often point with their finger to the words they are reading. We have traditionally regarded this as a fault and have told them to take their fingers off the page. It is now realised that it is we and not the children who are at fault. Instead of insisting that they remove their fingers we should ask them to move their fingers faster. It is obvious that the hand does not slow down the eye, and the added values that the aid gives in establishing a smooth rhythmical habit are immeasurable.

発展問題(1)feel ill at ease「気詰まりを感じる」 untrustworthy[ʌntrʌstwəːrði]「信頼に値しない」 initially rɪˈɪʃəl(ə)l
[ɪnɪˈʃəl]「まず第一に」 gaze [geɪz]「視線」
(2)point to A「Aを指さす」 a fault [fɔːlt]「間違い」 remove A [rɪmʊːv]「Aを取り除く」 rhythmical「リズムカル」
immeasurable [ɪmˈeɪʒərəbl]「計り知れない」

構文解説

(1)

文中のある部分(名詞要素または副詞要素)を強めるために、その部分を **It is / that** で挟んで出来た形を強調構文と呼ぶ。「...するのは文中のある部分(名詞要素または副詞要素)だ」の意味を表す。**that** の代わりに強調する部分が「人」の場合は **who**、「物」の場合は **which** が用いられることもある。例「He was taken to this hospital yesterday.」 「彼は昨日この病院には運び込まれた」の文から、3通りの強調構文が可能である(破線部が強調されている要素)。①It was he that(who) was taken to the hospital yesterday. 「昨日この病院には運び込まれたのは、彼だ」②It was to the hospital that he was taken yesterday. 「昨日彼が運び込まれたのは、この病院だ」③It was yesterday that he was taken to the hospital. 「彼がこの病院に運び込まれたのは、昨日だ」

(2)

強調構文の否定文は「It isn't ... that ~」、疑問文は「Is it ... that ~?」の語順になる。例「It wasn't to the park that I wanted to go yesterday.」 「昨日私が行きたかったのは、公園ではなかった」。「Is he that often studies in this library?」 「この図書館でよく勉強するのは彼ですか」

(3)

強調構文を用いて、疑問詞を強調する場合は、「**疑問詞 is it that ...?**」の語順となる。例「What was it (that) made her so sad?」 「一体何が彼女をそんなにも悲しませたのか」。間接疑問文の場合は、「**疑問詞 it is that ...**」となる。例「I don't know how it is (that) we should deal with the problem.」 「どのように、この問題を扱うべきか私はわからない」。いずれの場合も **that** は省略可能である。

(4)

強調構文「It is ... that ~」の **that** が省略されることがある。例「It was just the man our company has long been looking for.」 「私たちの会社が長く探していたのは、まさにそのような人だ」

(5)

「It is ... that ~」の形では、①強調構文の場合、②形式主語構文の場合、③it が前出の語を指す代名詞で、**that** が関係代名詞の場合がある。特に、①②の区別は重要である。識別方法は以下の通り。

手順①：It is ... that ~の「...」にくる要素で識別する

It is ... that ~の「...」にくる要素が、形容詞の場合は形式主語構文(形容詞、動詞を、強調構文で強調することはできない)、副詞要素の場合は強調構文(副詞要素は、補語になれないため)である。

例「It was only then that he realized the effectiveness of reading.」 「その時になって初めて、彼は読書の効用に気づいた」 「only then」と副詞が来ている段階で強調構文とわかる。

手順②：It is / that を取り除いて識別する

①で判別できない場合には、It is ... that ~が強調構文なのか形式主語構文なのかを区別するために、It is と that を取り除いて考える。It is / that を取り除いて文が完全な文になれば強調構文、不完全な文であれば形式主語構文である。例「It was two years ago that I first met him.」 「私が初めて彼と出会ったのは2年前のことだ」 ⇒ Two years ago I first met him.=完全文。「It is a fact that they hide an important fact.」 「彼らは重要な事実を隠しているのは事実だ」 ⇒ a fact they hide an important fact では、a fact の文法的働きが説明できない。

手順③：it が前出の語を指す代名詞で、that が関係代名詞の場合

例 “Language is one of our greatest inventions. It is the means that enables us to communicate effectively.” 「言語は、私たちの最大の発明の一つである。それ(言語)は、私たちが意思伝達を効果的に行うことができる手段である」 it は language を受ける代名詞。that は主格の関係代名詞。

(6)

形だけでは、強調構文なのか、それとも It が前出の名詞を受ける代名詞で that が関係代名詞の場合なのかわかりにくい場合がある。例 “He was reading a book then. It was the book that I had given him on his birthday.” 「その時彼は本を読んでいた。それは、私が彼の誕生日にあげたものだった」。もし “He was reading a book then.” がなく “It was the book that I had given him on his birthday.” だけであれば、強調構文ともとれる可能性がある 「私が彼の誕生日にあげたのはその本だ」

(7)

強調構文は、強調する部分に相関語句(not A but B 「A でなく B など」)が用いられる場合がある。例 “It was not I but you that told a lie to her.” 「彼女に嘘をついたのは、私ではなくあなただ」この形が発展して、“but you”が後ろに移動すると、“I was not I that told a lie to her, but you.”となる。強調構文と相関語句がともに用いられる場合は、重要な語句を後ろに移動させる場合があることに注意しよう。

No41 《English composition》



- 【1】 [確認テスト]
- 【2】 [リスニング選択]
- 【3】 [英作文選択]

解答時間 15 分

次の A と B の会話を読み、下線部(1)～(4)を英語に直しなさい。

A: (1)海外で日本の文化に出くわすとき、がっかりすることが多いよ。

B: 例えば、どんな例があるの？

A: 日本の寿司は今どこの国でも食べられるよね。でも、(2)見かけはほとんど同じでも、素材は大きく変わっている。アボカドが入っていたりするもの。

B: ぼくはそれも日本の文化の一つだと思うよ。(3)味が違っても、日本文化が海外で受け入れられている証拠だよ。

A: そうかな。(4)あそこまで変わってしまうと、もはや日本独特ではないよ。

B: じゃ、今から一緒に寿司屋に行って、実際に食べながら考えてみようよ。

No42 《thatⅢ》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文] 程度・結果を表わす構文

1. They tied me up **so that I couldn't** escape.
2. They are working day and night **in order that they may** finish the building by the fixed time.
3. I've gained **so much weight that** I can't run fast.
4. The doctor has **so many patients that** he is always busy.
5. I was excited, **so that** I could not get to sleep.
6. **So great** was his emotion **that** he could not utter a word.
7. He was **not so tired that** he could hardly walk.
8. It is **such a beautiful day that** I'd like to go fishing in the river.
9. His anxiety was **such that** he could hardly sleep.

1. 〈so that S can V... : 目的〉
彼らは私が逃げられないように私をきつく縛った。
2. 〈in order that S can V... : 目的〉
彼らは期限までに建築を終えるように日夜休みなく働いている。
3. 〈so ~ that S V... : 結果・程度〉
私は体重がととも増えたので速く走れない。
4. 〈so ~ that S V... : 結果・程度〉
その医者とはとても多くの患者をかかえているので、いつも忙しい。
5. 〈、 so that SV... : 結果〉
興奮していたので、私は寝付かれなかった。
6. 〈so 形容詞 be S that SV... : 倒置〉
感動のあまり、彼は一言も発することができなかった。
7. 〈not so ~ that SV...〉
ほとんど歩くこともできないほど、疲れてはなかった。
8. 〈such ~ that SV...〉
とても素晴らしい日なので川に魚釣りに行きたい。
9. 〈Such be S that SV... : 倒置〉
彼は心配のあまりほとんど眠れなかった。

【3】〔文法〕

[A] 空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から一つずつ選びなさい。

- (1) This piano is () heavy that we need five people to move it.
 ①so ②too ③very ④such (千葉大)
- (2) It is () that I'd like to go on a picnic.
 ①a lovely day such ②such a lovely day
 ③so a lovely day ④too lovely a day (北海学園大)
- (3) () was his eloquence that everybody was moved to tears.
 ①Hardly ②What ③When ④Such (関東学院大)
- (4) When she saw all her children safe at home, her delight was () that she could not speak a word.
 ①so ②great ③such ④very much (愛知大)
- (5) Emily wrote down his telephone number (). (同志社大)
 ①so that she would not forget it ②lest she should not forget it
 ③in order to not forgetting ④for fear that she should not forget it
- (6) I taped the artist's speech () my students could listen to it later.
 ①what ②if ③so ④which (城西大)

[B] 日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

- (7) 努力しないでうまくいくほど才能ある人はほとんどいない。
 Few (succeed / effort / that / so / they / competent / people / can / without / are).

-
- (8) 天気が悪かったのでぼくたちは一日中家にいた。
 It was (bad / stayed / such / that / we / weather) home all day. (帝京大)

-
- (9) 彼女はとても有能だったので、何にでも対処できた。(愛知工大)
 Her (she / such / could / ability / that / was) cope with anything.

-
- (10) 電話がよく聞こえるようにラジオを切ってください。(東洋大)
 (the telephone / the radio / I / turn off / better / that / hear / so / can).
-

【3】 (1) ①(2) ②(3) ④(4) ③(5) ①(6) ③(7) people are so competent that they can succeed without effort (8) such bad weather that we stayed (9) ability was such that she could (10) Turn off the radio so that I can hear the telephone better

【4】 〔標準 英語構文〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《富山大》

No one suspected that shy, young Albert Einstein* would grow up to change the world. He was so slow in learning to speak that he was considered a bit dull-witted*.

(注) Albert Einstein 「アインシュタイン」 物理学者で相対性理論の提唱者
dull-witted 「理解力が遅い」

(2) 《神戸大》

When we first move from darkness to light, we are unable to open our eyes fully, but after a few minutes we get used to the new environment and can function in it perfectly. In fact, we adapt so readily that after a while we barely notice the intensity of the light around us.

【4】 (1)suspect that SV...[səspékt] 「SV...と思う」 be slow in A 「A が遅い」
(2) function [fʌŋkʃən] 「機能する」 adapt [ədæpt] 「適応する」 after a while 「しばらくして」 notice A [nóutis] 「A に気づく」 barely A [béərli] 「かろうじて A する」 (肯定)intensity [inténsəti] 「A の強さ」

(3) 《佐賀大》

We should always struggle to be as good as we can, but being human can never mean being perfect. We face situations so complex that no one could possibly get them right all the time. Psychiatrist David Burns writes of a prominent attorney who dreaded making mistakes or losing a case for fear his colleagues would no longer respect him. When he shared this fear with them, he discovered to his surprise that his colleagues liked him better when he made mistakes because they saw him as more human.

(4) 《中央大》

Speech is such a familiar part of daily life that we rarely pause to consider what it is. It seems as natural to humans as walking, and only less so than breathing. Yet it needs just a moment's reflection to convince us that this naturalness of speech is but an illusion.

(5) 《センター》

He said that he and his sister began using rocks to make a small pool in a mountain stream. “We wanted to catch baby fish and collect them in the pool so that the three of us could watch them swim around for a while before we let them escape back into the river.”

(3)struggle to V [strʌg] 「Vしようとする」 prominent [prəmənənt] 「著名な」 attorney [ətə:rni] 「弁護士」 dread A [dred] 「Aを恐る」 for fear (that) SV... 「SV...を恐れて」 to one's surprise 「～が驚いたことに」 a colleague [káli:g] 「同僚、仲間」

(4) pause to V [pə:z] 「立ち止まって V する、ちょっと V する」 a reflection [riflɛkʃən] 「熟慮」 convince A that SV...[kənvɪns] 「AにSV...を確信させる」 illusion [ilú:ʒən] 「幻想、錯覚」

(5)swim around 「泳ぎまわる」 (around:副詞)for a while 「しばらくの間」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 倒置構文

So intimate is the relation between a language and the people who speak it that the two can scarcely be thought of apart. A language lives only so long as there are people who speak it and use it as their native tongue, and its greatness is only that given to it by these people. A language is important because the people who speak it are important — politically, economically, commercially, socially, culturally. English, French, and German are great and important languages because they are the languages of great and important peoples; for this reason they are widely studied outside the country of their use.

(2) 《茨城大》倒置構文

Cycle theft is a perennial* Oxford problem. With so many bikes on the streets and (at least until recently) a comparative lack of adequate storage facilities, the opportunities for bike theft are almost unlimited. Such was the volume of cycle crime in the city that Thames Valley Police* set up a specialist unit whose sole aim was the reduction of bike theft and the recovery of stolen cycles. The results have been impressive: bike crime statistics have dropped twice in the last two years, and so far in 1997 the rate is down by 20%.

(注) perennial [pə'reniəl] 「1年中の、年がら年中の」 Thames Valley Police テムズバレー警察：テムズ川

発展問題(1)intimate [ɪntəmət] 「密接な」 scarcely [skɛərsli] 「ほとんど～ない」 think of A apart 「A を分けて考える」 only so long as SV... 「SV...する限り」 a native tongue 「母国語」 politically [pə'litikəli] 「政治的に」 economically [ekə'nəmi:kəli] 「経済的に」 commercially 「商業的に」 [kə'mɜ:ʃjəli]
(2) comparative [kəmpə'retɪv] 「比較的、相対的」 adequate [ædɪkwɪt] 「適切な」 a facility [fə'sɪləti] 「設備」 sole [səʊl] 「唯一の」 statistics [stætɪstɪks] 「統計、統計資料」

構文解説

(1)

so that SV...の形で、結果または目的を表す。結果を表す場合は、soの前にカンマが置かれることが多く、目的を表す場合は、that節内に、助動詞 may, can, willなどが置かれることが多い。ただし、例外も多く最終的には文脈で判断する必要がある。例「She always keeps the garden clean so that her children can run about there.」「彼女は、子供たちが走り回ることができるようにいつも庭をきれいにしている」"It rained hard in the morning, so that we had to put off the departure."「朝雨が激しく降っていた。だから、私たちは出発を延期しなければならなかった」なお、この構文では、thatが省略される場合がある。例「He suddenly came, so those present at the party were confused.」「彼が突然やってきたので、パーティに出席した人々はとても困惑した」

(2)

“so ... that SV ~”“such ... that SV ~”の形で、「とても...なのでSV～」と結果を表す。例「He walked so fast that one of us got lost on the way.」「彼はとても早く歩いたので、私たちの一人が途中で道に迷った」"This is such a pleasant park that a lot of people visit this place regardless of seasons."「ここはとても素晴らしい公園なので、多くの人が季節に関係なくこの場所を訪れる」

(3) 書換 so ... that SV... ⇔ ... enough to V / too ~ to V]

so ... that SV ~は、不定詞を用いた“... enough (for A) to V”“too ~(for A) to V”で書き換えることができる。例“This desk is so big that we can study together.”⇔“This desk is big enough for us to study together.”「この机はとも大きいので私たちは一緒に勉強できる」“He spoke so fast that we couldn’t understand him.”⇔“He spoke too fast for us to understand his explanation.”「彼はとても早く話したので、私たちは彼の説明が理解できなかった」

(4)

so ... that SV~で、...に名詞が入る場合は、“so 形容詞 a[n] 名詞”の語順になることに注意。この構文で用いられる so は副詞であり、形容詞を修飾するため、形容詞が名詞の前に出てきた形となっている。例“This is so difficult a problem that no one can deal with it.”「これはたいへんむづかしい問題なので、誰も扱うことができない」(×) This is so a difficult problem that no one can deal with it.

(5)

“S be such that ~.”の形で「Sは大変な[すごい]ものなので～だ」の意味を表す。この場合の such は、so greatの意味で用いられている。また、この構文では、強調のために such は文頭にも置くことがあり、その場合は倒置(Such is S that ~)が起こる。例“His insight is such that he will easily detect your lies.=Such is his insight that he will easily detect your lies.”「彼の洞察力はすごいので、彼は簡単にあなたの嘘を見破るだろう」

(6)

“He was **not so tired that** he couldn't walk further.”の英文を「とても...なので SV～」で訳すと「彼はとても疲れていないので、歩くことができなかった」とすると意味不明な訳となる。“so ... that SV～」の元の意味が「それほど...。～ほど」「そのように...。～のように」である。「彼はそれほど疲れていなかった。(どれほど)もう歩けないほどは」⇒「彼はもう歩けないほどには疲れていなかった」。また、so ～ that の間に過去分詞が置かれることがある。この場合も、so の本来の意味である「そのように」に戻って、「そのように～されている。(どのように)～のように」と考える。例“**Our school is so made that** all the students can study until ten.”「私たちの教室は(そのように)作られている。(どのように)すべての生徒が 10 時まで勉強できるように」⇒「私たちの教室はすべての生徒が 10 時まで勉強できるように作られている」

(7)

“..., so much so that SV～”「...だ、とてもそうなので、SV...」の意味を表す。この構文は、“so ... that SV～”の so...that のあいだに、前出の形容詞または副詞を受ける so の直前に強調の副詞 much をつけて出来た形である。通例“so much so that SV～”のまえに、カンマ(,)またはダッシュ(-)を置くことが多い。例“**He is very good at mathematics — so much so that** he has no problem to solve in this text.”「彼はとても数学が得意だ。とても得意なので、このテキストには解けない問題はない」

No43 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>



- 【1】 [講習会確認テスト]
- 【2】 [リスニング]
- 【3】 [整序・英作文]《関西学院大》

解答時間 15 分

下記の設問(A, B)に答えなさい。

設 問

A. 次の日本文(1, 2)に相当する意味になるように、それぞれ下記(a~h)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき、並べ替えた語句の最初から 2 番目と 6 番目に来るものの記号をマークしなさい。ただし、大文字にすべき語も、問題文中ではすべて小文字になっています。

(1) 競技場を建てる前に、考えておかなければならないことがいくつかある。

There are several things which () stadium.

- a. into b. be c. before d. a e. taken
f. account g. must h. constructing

(2) あなたの寛大なお申し出がなければ、私たちは子供たちを幸せにすることができなかつたでしょう。

(), we could not have made our children happy.

- a. not b. your c. had d. offer
e. for f. been g. generous h. it

B. 次の日本文に相当する意味になるように英文の空所を埋めなさい。答えは、空所に入れる部分のみを記述式解答用紙の所定欄に記入しなさい。

ソーシャルメディア上のコミュニケーションは、肯定的にも否定的にもわれわれの関係に変化をもたらした。

Communication ().

No44 《Vocablury Check》



【1】 [語彙検定]

第3回 語彙検定

【2】 [英作文選択]

解答時間 15分

Read the following dialogue between persons A and B. Then put the underlined parts into English.

A : Now our freshman year has just started! (1)覚えることが沢山あって緊張するなあ。 We are required to take so many courses as well. Here is my weekly schedule.

B : Let me see. Oh, it seems that you have registered for too many courses.
(2)例えばこの講義は、今年はずしも取らなくても良いんだよ。

A : Is that so? That's a relief to hear. I heard that Professor Ando's course is very hard.

B : Well, we are going to have a really tight schedule anyway. (3)サークル活動やアルバイトが出来る時間があるかなあ。 (4)でもとにかく大学生活をめいっぱい楽しまなきゃね!

No45 《省略構文 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

(1)

1. She is said to be good at skiing, and so he **is**.
2. He always tries to do more than we **can**.
3. The people who have been abroad are not always familiar with foreign affairs than those who **have not**.
4. You don't have to go to the party unless you want **to**.
5. This work must be done by you, and **that work by your sister**.

1. 〈be 動詞のあとの省略〉※is のあとに good at skiing が省略されている。
彼女は、スキーが得意だと言われているが、実際そうである。
2. 〈助動詞のあとの省略〉※can のあとに、try が省略されている。
彼は常に私たちができる以上のことをしようとする。
3. 〈have (not)のあとの省略〉※have not のあとに been abroad が省略されている。
外国に行った人はそうでない人よりも外国を必ずしも外国を知っているわけではない。
4. 〈代不定詞〉※to のあとに go to the party が省略されている。
君は行きたくなければそのパーティーに行く必要はない。
5. 〈動詞の省略〉※work と by の間に、"must be done"が省略されている。
この仕事は君が、あの仕事は君の妹がしなければならない。

(2)

1. Keep an eye your bag **while walking**.
2. **As a boy**, I used to swim in the pond.
3. He seems to have been in poor health **when young**.
4. A book, **if read through**, may be said to be cheaper than anything else.
5. He did not speak **unless spoken to**.

※副詞節中で"be"が省略される場合は、S が主節の主語と同じ、be 動詞の時制が、主節と同じでなければならない。

1. 〈副詞節中の<S be>の省略:while の場合〉
歩行中にかばんから目を離さないように。
2. 〈副詞節中の<S be>の省略:as の場合〉
子供の頃、よくその池で泳いだものだ。
3. 〈副詞節中の<S be>の省略:when の場合〉
彼は若いころ体が弱かったようだ。
4. 〈副詞節中の<S be>の省略:if の場合〉
私たちが一冊の本を通読したとすれば、こんな安いものはないと言える。
5. 〈副詞節中の<S be>の省略:unless の場合〉
彼は話しかけられないとしゃべらなかつた。

【3】 〔文法〕

[A] 空所に入れるのに最も適切な語句を、下の①～④から1つずつ選びなさい。

- (1) She never speaks unless () to.
①speak ②speaking ③speaks ④spoken 〈東京家政大〉
- (2) Cancer can be cured if () in time.
①discover ②to discover ③discovering ④discovered 〈東京電機大〉
- (3) There are few mistakes, if (), in his composition.
①ever ②anything ③some ④any 〈愛知工大〉
- (4) Would you read my letter and correct the mistakes, if ()?
①ever ②any ③not ④never 〈センター試験〉
- (5) Cold chicken is delicious () a salad.
①when eaten with ②when eating with
③with when eaten ④with when eating 〈センター試験〉
- (6) Gary got hurt seriously while () soccer. Now he is in the hospital.
①to play ②played ③playing ④he had played 〈明治大〉

[B] 日本語とほぼ同じ意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

- (7) 彼は食事中に新聞を読む癖がある。
He (reading / while / a / in / habit / the / meal / is / of / having / a / paper).
-
- (8) 彼女はこちらから話しかけないかぎり、口を開かない。(3語不要)
She never speaks a word ()()().
[by / if / spoken / to / told / unless] 〈東京理科大〉
-

(1) ④(2) ④(3) ④(4) ②(5) ①(6) ③(7) is in the habit of reading a paper while having a meal (8) unless spoken to (by / if / told 不要)

【4】 〔標準 英文解釈〕

解答時間各 20 分

次の各英文(1)~(4)の下線部を和訳しなさい。

(1)

Dad often made surprise visits to our schools to find out if and when we were ready to skip. Because of his home-training program— spelling games, geography quizzes, and the arithmetic and languages— we sometimes were prepared to skip; but never so prepared as Dad thought we should be.

(2) 《首都大東京》

* 下線部をわかりやすく説明しなさい。

At one time I was collecting coincidence stories, and a friend of mine remarked: ‘So, after all, you do believe in mysteries?’ But I do not. Coincidences are sometimes amazing, but there is nothing mysterious about them: they are bound to happen according to the very logical and unmysterious laws of probability.

(注) coincidence stories [kouínsædens] 「偶然の一致の話」

【4】 (1) made a surprise visit 「不意に訪れる」 be ready to V 「Vする準備が出来ている」 skip 「飛び級する」 geography [dʒi(:)ɑːɡrəfi] 「地理」 be prepared to V [pri(:)pɛəd] 「Vする準備が出来ている」 (=be ready to V)
 (2) remark A [rɪmɑːrk] 「Aと発言する」 amazing [əmeɪzɪŋ] 「おどろくべき」 be bound to V 「きっとVする」 unmysterious [ʌn mɪstɪəriəs] 「神秘的な」 probability [prəbəbɪləti] 「確率」

(3) (代不定詞) 《埼玉大》

Now we have entered an age where technology has ways of making you talk, even when you don't want to. You don't even need to have anyone present or nearby. We know now that people will answer cell phones wherever they are and whenever they ring, even in the library and the museum, and that they will place calls, too.

(4)

We must never forget that we may also find meaning in life even when confronted with a hopeless situation, when facing a fate that cannot be changed. For what then matters is to bear witness to the uniquely human potential at its best, which is to transform a personal tragedy into a triumph, to turn one's crisis into a human achievement.

(3) place a call 「電話をする」

(4) S be confronted with A [kənfrʌnt] 「S は A に直面する」 hopeless [hóuplis] 「絶望的な」 a fate [feit] 「運命」 matter [mætə]

「重要である」 (What matters is A. 「重要なのは A である」) witness to A [wítnis] 「A の証し」 uniquely [ju(:)ní:kli] 「固有に」 transform A into B [trænsfɔ:rm] 「A を B に変える」 tragedy [trædzədi] 「悲劇」 triumph [[tráíəmf]] 「勝利」 a crisis [kráisis] 「危機」 achievement [[ətʃi:vmənt]] 「偉業」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《関西学院大》

Few things prepare you for meeting a great ape in the wild. It is all too easy to be sentimental about animals, but even so, after a couple of hours' hard walking through the Borneo rainforest*, the first sight of the ape high above us left us silent with wonder. For here was the magnificent man of the forest, orang-utan, in his natural habitat. Totally wild, totally unused to humans, aware of our presence but unconcerned, the huge ape swung slowly through the branches like a gymnast. In the heart of Borneo it seems that nature is uncontrollable and unable to be destroyed. It is all too easy to forget that it is, in fact, as fragile as a butterfly's wing.

(注) the Borneo rainforest 「ボルネオの熱帯雨林」

(2) 《新潟大》

次の英文は、左利きを右利きへ修正することへの反論の一部である。

Science, however, provides its own compelling argument for leaving left-handers alone. The brain, after all, is divided into two hemispheres, each with its own distinct function and each directing the motor functions of the body's opposite side.

発展問題(1) prepare A for B [pri(:)péər] 「A に B の心構えさせる」 sentimental [sɛntəməntel] 「感傷的な」 magnificent [mægnɪfəsənt]

「偉大なる」 habitat [hæbitˈæt] 「生息地」

(2) compelling [kəmˈpɛlɪŋ] 「人を動かさずにはおかない、魅力的な」 direct A [dɪrɛkt] 「A を指示する」 opposite [əˈpɒzɪt] 「反対の」

構文解説

(1)

省略は主に、①反復の回避、②簡潔な表現、の理由で生じることが多い。省略に関しては、日本語と同じ考え方でよい場合が多い。例えば「母は若い時、母は一日 12 時間働いた」という趣旨の内容を日本語で表す場合も、多くは、「母は」を省略して「若い時、母は一日 12 時間働いた」で意味は誤解なく通じる。英語も同様に反復を回避するため“**When (she was) young, my mother worked twelve hours a day.**”と“**she was**”を省略することができる(副詞節中の **S be** の省略)。省略によって「母」を 2 回表すこと(反復)を回避することができる。また、省略しても誤解が生じることのない“**is(are)**”“**it is**”“**there is**”を省略して文を簡潔することもある。

例“**How kind (it is) of you to pick me up at the statin.**”「私を駅まで迎えに来てくれるなんてなんて君は親切なんだ」

(2)

反復を避けるために名詞が省略されることがある。**例**“**Are these books yours?**” “**No, they are my sister’s (books).**” 「これらの本はあなたのですか」「いいえ、私の妹のものです」

(3)

疑問文に対する応答文では、動詞とそれに伴う語が重複する場合は省略する。**例**“**Have you finished? — Yes, I have (finished).**” 「もう終わりましたか。—ええ、終わりました」また、“**So [助動詞] S**”や“**Neither(Nor) [助動詞] S**”の **S**(主語)の後続部にも省略が生じることが多い。

例“**I can’t speak Chinese, and neither can she (speak Chinese).**” 「私は中国語が話せないし、彼女も話せない」

(4)

不定詞の後続部が、前出の動詞部分と重複する場合は、同型反復を避けるために“**to**”だけを残してあとは省略する(**to**を代不定詞とも呼ばれる)。**例**“**You don’t have to go if you don’t want to (go).**” 「行きたくなければ行かなくてもよい」“**He played in the river, although he was often told not to (play in the river) by his mother.**” 「彼はその川で遊んだ、もっとも、彼の母親にしばしばそうしないように言われていたけれども」

(5)

“**SVX and (but, or) S’V’X**”で、同じ形(文型)が続くときに、同型反復を避けるため、共通なもの省略されることがある。**例**“**Some people are interested in science and others in music.**” 「科学に興味があるものもいれば、音楽に興味がある者もいる」**others** の後に“**are interested**”が省略されている。

(6)

副詞節中の“**S be**”が省略されることがある。この場合の、**S** は主節の主語と同一であり、時制も主節の動詞と同じ時制でなければならない。**例**“**Don’t touch your mobile phone while (you are) eating.**” 「食事中は携帯電話に触れてはいけません」“**Though (he was) very tired, he reviewed today’s homework.**” 「彼は疲れていたけれども、今日の宿題の見直しをした」

(7)

分詞構文では、“being”“having been”が省略される場合がある。文を短くする意図を持つ分詞構文では、文脈から意味が通じるので、“being”“having been”を省略するのである。“being”“having been”の省略には、主に2つのパターンがある。一つは、文頭の“being”“having been”が省略される場合、もう一つは意味上の主語の後の“being”“having been”が省略パターンである。①の文頭の Being が省略されると、“(Being)形容詞(名詞)..., SV...”の形になる。形容詞(名詞)で始まる、分詞構文と考えてもよい。例“Unable to meet her demands, he was forced to leave the place.”「彼は彼女の要求にこたえることができなかつたので、その場を去らざるをえなかつた」。主節の後に形容詞が続くこともある。例“He hurried to the station, forgetful of all his sorrows.”「彼はすべての悲しみを忘れて、駅まで走り出した」。二つの目のパターンである、意味上の主語の後の“being”“having been”が省略されるタイプもある。例“The rainy season (been) over, our children like to go sea-bathing.”「梅雨が終わると、私たちの子供は海水浴に行きたがる」。“They got out of the classroom, their faces (being) pale and wan.”「顔面蒼白で、彼らはその教室から出てきた」

No46 《省略構文Ⅱ》



【1】〔確認テスト〕

【2】〔基本構文〕

(1)

1. How kind (it is) of you to help me!
2. He, no matter how busy (he is), writes home to his parents at least once a month.
3. What (would you do) if you saw a man from another planet?

1. 〈感嘆文中の it is の省略〉
私を手伝って下さってありがとうございます。
2. 〈"no matter how ..." 構文中の S be の省略〉
彼はどんなに忙しくても、月に少なくとも一度は故郷の父母に便りをします。
3. 〈What if SV...〉 ※What と if の間に "would[will] you do" または "would[will] happen" が省略。
他の惑星から来た人を見たらどうしますか。

(2)

- 1 The man he is talking with is a member of our team.
- 2 This is the reason she is on good terms with my mother.
- 3 She is no longer the person she was ten years ago.
- 4 He is not the man we think is cut out for this job.

1. 〈関係詞の省略〉 ※目的格の関係詞は省略されるのが普通
彼が話している人は、私のチームのメンバーだ。
2. 〈関係副詞の省略〉 ※the reason (why) SV...
こういうわけで彼女は私の母と仲が良い。
3. 〈補語になる関係詞の省略〉 the person の後に関係代名詞 that が省略されている。
彼女はもはや 10 年前の彼女ではない。
4. 〈主格の関係詞の省略〉 ※the man の後に関係代名詞 who が省略されている。
彼は私たちがこの仕事にふさわしいと思っている人ではない。

(3)

1. The cloth feels softer than it looks (soft).
2. I am as interested in jazz as you (are interested) in movies.
3. I have never been as happy with you (as now).
4. Time is important, but safety is far more important (than time is).
5. The sooner you give up, the greater (is) the benefits.

1. 〈比較構文における省略①〉 ※looks のあとに soft が省略されている。
その布は見た目よりも柔らかい。
2. 〈比較構文における省略②〉 ※than のあとに is interested が省略されている。
あなたが映画に興味を持っているのと同じくらい私はジャズに興味がある。
3. 〈比較対象の省略①〉 ※as now が省略されている。文脈から明らかのため。
私はあなたといてこれほど嬉しかったことはない。
4. 〈比較対象の省略②〉 ※important のあとに than time が省略されている。
時間は大切だが、安全はさらにもっと大切だ。
5. 〈"The 比較級 ..., the 比較級..." 構文中の S be の省略〉
禁煙するのが早ければ早いほど、そのメリットは大きくなる。

【3】 [標準 英文解釈]

次の各英文(1)~(4)の下線部を和訳しなさい。

解答時間各 20 分

(1) 《宮崎大》

All effective writing, whatever the style, has three characteristics: purpose, form, and appropriateness. What makes writing effective when the purpose is to entertain might be inappropriate when the intention is to persuade. What makes for good writing in a comic novel would probably be ridiculous in a business memo.

(2) 《京都府立大》

If humans were truly at home under the light of the moon and stars, we would go in darkness happily, the midnight world as visible to us as it is to the vast number of nocturnal* species on this planet. Instead, we are diurnal* creatures, with eyes adapted to living in the sun's light.

(注) nocturnal [nɔktə:rnel] 「夜行性の」 diurnal [daɪə:rnel] 「日中活動する」

【3】 (1)a characteristic [k'ærəktərɪstɪk] 「特徴」 inappropriate [ɪnəprəʊpɪɪt] 「不適切な」 ridiculous [rɪdɪkjʊləs] 「滑稽な」

(2)a creature [kri:tʃə] 「生き物」 adapt to A [ədæpt] 「A に調整する」

(3) 《高知大》

次の英文は、表情(facial expressions)が感情に与える影響について述べた文である。

Sometimes, just making a facial expression can cause us to experience a particular emotion. For example, if you are in a bad mood, but put on an artificial smile, you will start to feel better faster. In other words, sometimes the facial expression actually starts the emotional process, rather than the other way around. So if you greet someone with a cheerful expression on your face, both of you will be more likely to feel cheerful.

(4) 《宮崎大》

In Japan, March is graduation month. Saying good-bye to those you have studied and played with is difficult. Even though everyone goes their separate ways after graduation, people always want to continue friendships. However, even with firm friendships, it is usual for contact to lessen with time.

(3) artificial [ɑːrtəfɪʃəl] 「人工的な」 (an artificial smile 作り笑い) in other words 「言い換えれば」 the other way around 「その反対」

(4) goes one's separate ways 「それぞれ別の道を行く」 lessen[ˈlesn] 「減る」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《福井大》

Researchers have estimated that up to half of all language students experience high levels of language anxiety. When people are confronted with a situation they think will make them anxious, the most expected response is to avoid the situation and thus avoid the discomfort. However, in most language classrooms, avoidance is not possible; learners are expected to find some way to cope with the anxiety.

(2) 《信州大》

This problem of being willing to be yourself is “as old as history,” says Dr. James Gordon Gilkey, “and as universal as human life.” This problem of being unwilling to be yourself is the hidden cause behind many neuroses* and psychoses* and complexes. Angelo Patri has written thirteen books and thousands of syndicated* newspaper articles on the subject of child training, and he says: “Nobody is so miserable as he who longs to be somebody and something other than the person he is in body and mind.”

(注) neuroses [njueróusi : z] 「ノイローゼ」(neurosis の複数形) psychoses [saikóusiz :] 「精神病」(psychosis の複数形) syndicated[síndəkèitid] 「共同発表の」

発展問題(1)estimate that SV...[éstəməit] 「SV...と見積もる」 up to A 「Aまで」 anxiety [æŋgzáɪəti] 「不安」 discomfort [diskʌmfərt] 「不快」 cope with A 「Aに対処する」
(2)be unwilling to V [ʌnwíliŋ] 「V したがるらない」

構文解説

(1)

比較対象が文脈から明らかな場合は、省略されることが多い。例“He is good at palying tennis, but his brother is even better (than he).”「彼はテニスが得意であるが、彼の兄はさらに上手である」比較対象である he が、文脈から明らかなので省略されている。例“He has never been as happy (as now).”「彼はこれほど幸せだったことはない」as now が無くても意味が十分通じるため省略されている。

(2)

if で始まる副詞節には、慣用的に〈主語+be 動詞〉が省略されるものがある。省略される主語は、主節の主語と一致しないことが多い。“if any”「仮にあれば」「if(when) possible」 「可能な場合は」「if necessary」 「必要であるならば」などがある。例“Correct errors, if any.”(if any=if there are any errors) 「誤りがあるならば、訂正してください」 “Come with us, if possible.”(if possible = if it is possible) 「できるなら私たちと一緒に来てください」

(3)

“What about ...?” “How about ...?” 「...はどうですか」は、もとはそれぞれ“What (do you think) about ...?” “How (do you say [think]) about ...”から、情報量が少ない部分を省略してできた慣用表現である。例“How about playing chess?” 「チェスをしませんか」

(5)

関係代名詞の目的格は原則として省略される。また関係副詞も先行詞が限定的であるため省略されることが多い。例“The man (that) you talked about yesterday is my uncle.” 「あなたが昨日話していた男性は、私の叔父です」 “Tell me the reason (why) you got so angry at him.” 「あなたが彼にあればほどおこった理由を教えてください」

(6)

一般的には、主格の関係代名詞は省略できないが“There is” “Here is”などに続く場合や、関係詞節に “there is”がある場合、関係代名詞の直後に I think などが挿入される場合などは省略できる。例“There’s a Yamada are looking for you.” 「山田さんという方があなたを捜しています」 “He has found a man (that) he thinks will know the truth of the accident.” 「その事故の真相を知っていると思う男の人を彼は見つけた」

(7)

関係代名詞がその後に続く節の中で補語の役割を果たしている場合、which または that を使うか省略するのが原則である。限定用法で用いられる場合は、which, that を省略されることが多い。例“Takeko is not the woman she used to be.” 「タカコは以前のような女性ではない」なお、継続用法で用いる場合は、省略できない。例“His mother was an able doctor, which he is not.” 「彼の母親は有能な医師だったが、彼はそうではない」

(8)

比較構文“as ... as ~” “比較級 ... than ~”の“as ~” “than ~”の部分で省略が生じる場合がある。例“He is as good at tennis as I (am good) at guitar.” 「私がギターが得意なのと同じくらい彼はテニスが上手い」は、同型反復を避けるために“am good”が省略されている。

(9)

“The **比較級**, the **比較級**”での”be 動詞”または”S be”が省略されることがある。例 “The more passengers there are in the car, the greater (is) the risk of an accident for young drivers.” 「車の中に乗客が多ければ多いほど、若い運転手にとっては自己のリスクが大きくなる」

(10)

副詞節 **whatever** ..., **however** ... のなかで”be 動詞””S be”が省略されることがある。例 “Whatever the reason (was), you shouldn’t have kept her waiting.” 「理由がなんであれ、彼女を待たせるべきではなかった」

(11)

感嘆文中で、状況が明らかな場合は”S be 動詞”が省略されることもある。例 “What an honest boy (he is)!” 「なんと正直な少年なんだ」 また、“it is”が省略されることがある。 “How cruel (it is) of you to say such a thing !” 「そんなことを言うなんて君はなんて残酷なんだ」

(12)

文頭の “There is” “It is” が省略される場合もある。慣用的なものが多い。例 “It is” No wonder (that) he is so indifferent to our project. 「彼があんなにも私たちの企画に無関心なのは当然だ」 “There is” No doubt (that) they will overcome the difficult situation in the end.” 「きっと彼らはその難局を最終的には乗り越えるだろう」

ハイレベル英文解釈Ⅱ

(1) 《東京大》

There is a clear history of change in social ways of thinking about and living with snow in America. Snow has been a constant in American history, but its cultural meanings have not. According to one historian, we can divide this evolving history of snow in America into six periods. In the first period, Americans simply survived their snow. Then, in the next period, they gradually began to identify with snow, to think of it as a part of their national identity, a symbol of something clean and pure.

(2) 《鳥取大》

Speech is perhaps man's greatest gift. It may be, as some people maintain, that animals, fish, birds, bees, even plants and flowers have particular speech of their own, but in no other species on earth is the art of communicating through sound more fully developed than in man. And the more advanced the society of man, the richer the language he speaks and the greater the variety of sounds he employs.

(1)constant [kánstent] 「一定の」 divide A [déváid] 「A を分ける」 evolve [iválv] 「進化する」 identify with A [aidéntəfài] 「A と一体化する」 a symbol [símbel] 「象徴」

(2)maintain that SV... 「SV...と主張する」 particular [pərtíkjuələr] 「特有の」 employ A [emploi] 「A を用いる」

(3)nightmare [náitmèər] 「悪夢」 a synonym[sínənim] 「同義語」 struggle [strʌgl] 「苦悩」 assignment [əsáinmənt] 「課題」 remove A [rimú:v] 「A を取り除く」 composition[kəmpəzɪjən] 「執筆」「構成」 critical [kritikəl] 「批判的な」 cluster[klʌstər] 「房」「クラスター」 pop A [pə'p] 「A を飲み込む」 caffeine [kæfi:n] 「カフェイン」 weep [wí:p] 「しくしく泣く」 dawn[də:n] 「夜が明ける」

(4)confirm A [kən'fɜ:rm] 「A を確認する」 display A [displéi] 「A を示す」 a thrill [θ ríl] 「わくわく感」 a motivation [mòutəvéiʃən] 「意欲」 performance[performance] 「成績」 recount A [rikáunt] 「A を詳しく述べる」 inflate A [infléit] 「A を膨らませる」

(3) 《上智大》

次の英文は、エッセイの書き方について述べたものである。

For many students, 'essay' and 'nightmare' are virtual synonyms. That blank computer screen...the struggle for an idea...those first words! Perhaps the walls are closing in on you right now just thinking about it. But help is at hand. The written assignment is not an arcane* branch of metaphysics, or an art that only the lucky few can master. Far from it. So long as a couple of rules are observed, much of the pain can be removed from the entire process of essay composition. This book tells you all you need to know about producing work that will impress even the most critical of readers. So no more late nights locked into the computer cluster, popping caffeine pills, weeping over your keyboard. A new day is about to dawn.

(注) arcane[arcane] 「難解な」 metaphysics[mètəfɪzɪks] 「形而上学」

(4) 《一橋大》

次の英文は、子供の褒めることに書かれた英文の一節である。頭の良さをほめることへの問題点を提起している英文である。

The children who had been praised for their cleverness worried more about failure, tended to choose tasks that confirmed what they already knew, and displayed less tenacity* when the problems got harder. Ultimately, the thrill created by being told 'You're so clever' gave way to an increase in anxiety and a drop in self-esteem, motivation and performance. When asked by the researchers to write to children in another school, recounting their experience, some of the 'clever' children lied, inflating their scores. In short, all it took to knock these youngsters' confidence, to make them so unhappy that they lied, was one sentence of praise.

(注) tenacity [tənæsəti] 「固執」「粘り強さ」

No47 《副詞節 I》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

(1) 《目的語になるもの：名詞節と副詞節の区別》

1. I don't know if it will rain tomorrow.
2. Please call me if it rains tomorrow.

1. 〈名詞節〉
明日雨が降るかどうかわかりません。
2. 〈副詞節〉
明日雨ならば私に連絡ください。

(2) 《副詞節の位置① 基本》

1. **If it stops even raining anyhow**, probably, we will go out.
2. We'll finish the work **even if it takes us all day**.
3. This tool, **if it is used carelessly**, can be very dangerous.
4. I know that **if we discuss it**, we can find a solution that will satisfy both of us.

1. 〈文頭：主節に先行する〉
とにかく雨さえ止めば、出かけられるだろう。
2. 〈文尾：主節に後続する〉
我々は、一日中かかってもその仕事を仕上げてしまうつもりだ。
3. 〈文中：挿入〉
この道具は、不注意に使われると、とても危険なことがある。
4. 〈that 節の中〉※that 接続詞 SV..., SV...の形になる。文が長くなることに注意。
一度話し合いをすれば、お互いに満足のいく解決方法を見つけられると思います。

(3) 《副詞節の位置② 名詞節中の副詞節の位置》

1. What annoys me is that though I object, she insists on buying it.
2. He told me that when he was young, he was very eager to be popular.
3. **They said that because it was snowing heavily**, the game would be put off.

1. What annoys me is [that (though I object), she insists on buying it].
しゃくにさわるのは、私が反対なのに彼女はそれを買うとってきかないことです。
2. He told me [that (when he was young), he was very eager to be popular].
若い頃には、人気者にとってもなりたかったと、彼は私に言った。
3. **They said [that (because it was snowing heavily), the game would be put off].**
彼らは雪が激しいので、試合は延期されるだろうと言った。

(4) 《副詞節の位置③ 訳し下す副詞節》

1. I attended the meeting, **though** my father told me not to.
2. Some people like classical music, **while** others like popular music.
3. The candle grew shorter and shorter, **until** at last it went out.
4. I was leaving home, **when** it started to rain.
5. He is badly off, **because** his books don't sell well.

1. 〈SV..., though S'V'~「もっとも S'V'~だが」〉譲歩の付け足し
★SV..., but S'V'~「SV...だが、SV~」との違いに注意
私はその会議に出席した、もっとも父はその会合に出席しないように言っただけでも。
2. 〈SV..., while S'V'~「一方 S'V'~である」〉対比
クラシック音楽が好きな者もいれば、ポップスが好きな者もいる。
3. 〈SV..., when S'V'~「..., その時 S'V'~」〉継続
ろうそくはだんだん短くなって、ついに消えてしまった。
4. 〈SV..., until S'V'~「..., そしてついに S'V'~」〉継続
私が家を出ようとしていると雨が降り出した。
5. 〈SV..., because S'V'~「というのは S'V'だから」〉理由の付け足し
彼は本があまり売れないので暮らし向きが悪い。

【3】〔基本構文〕

(1)

1. I thought that the cap didn't match the color of his hair.
2. She asked me whether I was satisfied with that present.
3. Where he comes from isn't important to me.
4. I understood well what he meant to you.
5. Whoever has talked with him has been inclined to help him.
6. I was surprised at the news that he was a finalist.

1. 〈名詞節を導く that〉※that は名詞節以外にも、形容詞節、副詞節を導くことができる。
私はその帽子は彼の髪の色に合わないと思った。
2. 〈名詞節を導く whether〉※whether/if は名詞節以外にも、副詞節を導くことができる。
彼女は私にプレゼントが気に入ったかどうか尋ねた。
3. 〈名詞節を導く疑問詞 where〉※疑問詞は、間接疑問文として文の要素となる。
彼がどこ出身であるかは私には重要ではない。
4. 〈名詞節を導く関係代名詞 what〉※what が、間接疑問文になる場合もある。
私は彼があなたに言ったことの真意がよくわかる。
5. 〈複合関係詞〉★whoever ...=anyone who ...
彼と話したことがある人なら誰でも、彼を助けたい。
6. 〈同格名詞節 that〉
私は彼が決勝に出場するという知らせを聞いて驚いた。

(2)

1. **When** did you begin studying English?
2. He asked me **when** I was going to buy a new car.
3. I don't know **when** to go.
4. **When** it rains, the buses are late more often than not.
5. Wait till eight, **when** he will be back.
6. I recall the moment **when** the younger brother was born.
7. Sunday is (the day) **when** I am busiest.
8. He works **when** he might rest.
9. He will never give in **even when** he is wrong.
10. The game had **hardly** started **when** they scored the first point.
11. **No matter when** you may come, you will find him at his books..

1. 〈疑問副詞「いつ〜」〉★直接疑問文
君はいつ英語を学び始めたのか。
2. 〈疑問副詞「いつ」〉★間接疑問文
私がいつ新車買うつもりかと彼はたずねた。
3. 〈疑問詞 to V「いつVすべきか」〉★不定詞の名詞的用法
いつ行くべきかわからない。
4. 〈副詞節を導く接続詞「〜するとき」〉
雨が降る時には、バスはよく遅れる。
5. 〈副詞節を導く接続詞(whenの前にカンマをつける)〉★継続用法「そして(それから)SV...」
8時までお待ちなさい、その時分には彼も帰ってきます。
6. 〈関係副詞「〜する先行詞」〉★先行詞 the moment を修飾
私は弟が生まれた瞬間を覚えている。
7. 〈関係副詞「〜する先行詞」〉★先行詞 the day は省略可能
日曜日は私が最も忙しい日だ。
8. 〈副詞節を導く接続詞「〜するときでも」〉★譲歩を表す
彼は休んでもよい時に働く。
9. 〈even when SV〜「〜するときでも」〉★譲歩を表す
彼は自分が悪くても決して認めようとしなない。
10. 〈hardly ~when...「〜するとすぐに...」〉
試合が始まるとすぐに、彼らは先制点をあげた。
★=Hardly had the game started **when** they scored the first point.
11. 〈no matter when SV〜「いつ〜しても」〉★whenever SV〜と書き換え可能
きみがいつ訪れても、彼は本を読んでいる。

【4】 [標準 英文解釈]

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《京都教育大》

When the child is first left with a minder, enough time should be allowed so that this isn't done with a great rush and fuss*. The child should be clearly told **where** you are going and **when** you will be back to pick him up. Despite the explanation, the young toddler* will not understand and may shed copious* tears on your departure. The minder should be left with a contact telephone number and told to telephone you if they have the slightest worry. They will help ensure a better standard of care for the child and some early warning for you if anything goes wrong.

(注) with a great rush and fuss 「大急ぎで慌てて」 toddler 「よちよち歩きの幼児」 (toddle [tádl] の名詞形) copious [kóupiəs] 「大量の」 romp [ramp] 「はしゃいで遊ぶこと」

(2) 《大阪府立大》

次の英文は、一般の人からの質問“Why are more people right-handed?”に対する専門家による回答である。

In the 160 years in which “handedness” has been studied we have learned quite a lot, but we still cannot precisely describe **what** causes humans preferentially* to use one hand over the other, or **why** human populations are biased toward right-hand use rather than left-hand use.

(注) preferentially [prèfərənjəli] 「優先的に」

【4】 (1) shed tears 「涙を流す」 slightest (slight [slait] 「わずかな」の最上級) ensure A [enʃúə] 「Aを確保する」
 (2) precisely [pri(:)sáisli] 「正確に、はっきりと」 bias A [báias] 「Aに偏向する」

(3) 《東京工業大》

次の英文は、電気・通信の発明に先立って活躍した科学者の話の一部である。

We'd like to think that we're pretty sophisticated these days, with our e-mails, faxes, etc.; but give us some wire, wood and a few other parts of an old phone and see how we'd get along. I doubt if any one of us today could come up with something that worked.

(4) 《岐阜大 医》

One issue that researchers have been interested in is whether the neural organization for language in bilingual individuals differs from that observed in monolinguals. Investigations of this issue have taken a number of twists and turns, some that suggest differences and some that do not.

(注) neural organization [nɜːrɡənizéɪʃən] 「神経機構」 twists and turns 「紆余曲折」

(3)sophisticated [səfɪstəkəɪtɪd] 「洗練された、高度な」 come up with A 「Aを思いつく」

(4)a monolingual [məʊnɒlɪŋɡwəl] 「モノリンガル、ひとつの言語しか話せない人」 an investigation 「調査」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《大阪市立大》

Everyone knows what perceptions are. They are “what we take in”. What people forget is that our perceptions are just perceptions. They are not reality. How we see things depends on what we learned as children or from our environment. I think of perceptions as filters because they shape realities and block out other versions. Of course, men and women filter reality in very different ways. So it’s almost as if we live in entirely different realities. And like the couple in the room, we end up arguing over whose perception is the real one.

(2) 《愛知教育大》

Even though experts believe almost all of us would do better with more sleep, we don’t all need eight hours a night. As a general rule, the older we get, the less sleep we need. For each of us though, only our bodies can tell us how much we need. If we take notice of the way we feel and perform during the day, we can judge for ourselves. Working this out and then getting yourself into a state of sleep fitness is the easiest way to get more out of life — and even help yourself to live longer.

発展問題(1)a perception [pərsəpʃən] 「知覚」 take in A 「Aを理解する」 a filter [fɪltə] 「フィルター」 block out A 「Aを」 end up Ving 「結局Vingになる」 argue over A [ɑ:rgju:] 「Aについて議論する」
 (2)as a general rule 「一般的通則として」 take notice of A 「Aに注目する」 work out A 「Aを解決する」 state [steit] 「状態」 sleep fitness 「適切な睡眠」 get more out of life 「人生からより多くのものを引き出す」

構文解説

(7)

等位接続詞とは、対等の関係にある語・句・節を結び付ける。例えば **and** の場合は、“名詞 **and** 名詞”、“不定詞 **and** 不定詞”、“前置詞＋名詞 **and** 前置詞＋名詞”また、“補語 **and** 補語”といったように、文法的に対等のものがくる。“**and, but, or, for, so, yet**”などがあります(数は少ない)。特に英文読解では、“**and**” “**or**”が何と何とを対等に結びつけているのかを把握することが大切である。

(8)

従位接続詞(Subordinate Conjunction)とは、文の要素の一部(S,O,C,M)となる節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。“**that, if, whether, while, when, since, as, because, unless, though, than**”そのさまざまな種類がある。

(9)

従位接続詞に導かれる節(意味のかたまり)は、文中での働きによって、名詞節、形容詞節、副詞節に分類することができる。接続詞に導かれる節が文中で、S,O,C または“同格”として働く節を名詞節と呼ぶ。例“**I hope that he will get over the difficulty for himself.**”「彼がそのこんなを自力で乗り越えるだろうと思う」**that** に導かれる節(破線部)は、動詞 **hope** の目的語になっている。形容詞節とは、関係詞節(関係代名詞節、関係副詞節)が代表である。例“**This is the most interesting book that I have ever read.**”「これは私が読んだ中で最も面白い本だ」関係代名詞 **that** に導かれる節(破線部)は、先行詞“**the most interesting book**”を修飾している。接続詞に導かれる節が文中で、M(修飾語)として働く節を副詞節と呼ぶ。例“**He knows her well because their mothers are sisters.**”「彼は彼女のことをよく知っている、なぜなら、お母さんどうしが姉妹だから」接続詞 **because** に導かれる節が“**He knows her well**”を修飾している。また副詞節では、その副詞節が導く意味の塊がなくても文が成立していることに注意する。このばあいであれば、**because** 節がなくても、文“**He knows her well**”は成立している。

働きがひとつに限定される接続詞が大半だが、接続詞 **that** のように、名詞節、形容詞節、副詞節のいずれにもなるものや、接続詞 **if, whether** のように、名詞節、副詞節のいずれかになるものなどがある。

(10)

名詞節と副詞節は、文中での働きから区別する。文中での働きが、S,O,C または“同格”であれば、名詞節。M であり、文全体を修飾している(名詞を修飾するのは形容詞節)場合が、副詞節である。副詞節の場合は、その副詞節の部分がなくても文が成立する。例えば“**whether he is rich or not**”という形だけでは、名詞節か副詞節かの判断は難しい。“**I don't know whether he is rich or not.**”「彼が金持ちかどうか私は知らない」では、“**whether he is rich**”は、**know** の目的語となっているので、名詞節であるが、“**Whether he is rich or not, he won't buy such an expensive car.**”「彼が金持ちであってもそうでなくても、彼はそんな高価な車は買わないだろう」“**Whether he is rich or not,**”の部分がないと、文が成立するので、副詞節となる。

(11)

時を表す副詞節(**when, if**)中では、未来のことであっても、現在形で書くのが原則である。したがって、“**when**”“**if**”節の中に、未来を表す語句がある場合は、名詞節と判断できる。例“**I'll ask him when he comes back.**”“**Do you know when he will come back?**”なお、“**if**”節内であっても、**will** を用いる場合がある。例“**If you will go, I will go.**”「もし君がいくつもりなら僕も行くよ」

(12)

接続副詞(Conjunctive Adverb)とは、副詞と接続詞の性質を兼ね備えたものだ。意味的に見れば、接続詞と間違いやすいが、働きは異なることに注意。however「しかしながら」therefore「従って」otherwise「さもなければ」moreover「さらに」“などがある。また、“for example”, “in short”など 2 語以上からなるものもある。

(13)

接続副詞は、文法的には、接続詞(文と文をつなぐ働き)ではなく、「副詞」である。例^(○)“He was very interested in history. Thus, he often visits old temples and shrines.”「彼は歴史に大変興味を持っていた。だから、古い寺や神社によく行く」。(×)He was very interested in history, thus, he often visits old temples and shrines.接続副詞の中には、接続詞の働きを持つもの(though,so など)があるので、注意が必要である。

(14)

例“Though he was very tired, he helped her with her homework.”「彼はとても疲れいたけれども、彼は彼女の宿題を手伝った」接続副詞”He was very tired. He helped her with her homework, though.”「彼はとても疲れいた。とはいっても、彼は彼女の宿題を手伝った」

(15)

however には、接続詞と接続副詞両方の用法がある。例“At first she was a poor dancer. Soon she improved significantly, however.”「最初は、彼女はダンスが下手だったが、しかしながらすぐにもものすごく上達した」例“However boring his lecture is, you should listen carefully.”「彼の講義がどんなに退屈であっても、しっかり聞くべきだ」(=No matter how boring his lecture is, you should listen carefully.)接続詞の場合の“however 形容詞/副詞”は“no matter how 形容詞/副詞”で書き換え可能である。

(16)

接続副詞は、一般的文頭に置く場合が多いが、元来副詞なので、文中や、文末も置く場合がある。なお、日本語に訳す場合は、一旦文頭に移してから訳すことが原則である。例“I’ve never read the book. Therefore I don’t know how interesting it is.”「私はその本を読んだことがない。従って、それがどれくらい面白いのかわからない」例“I’ve never read the book. I don’t know, therefore, how interesting it is.”例“I’ve never read the book. I don’t know how interesting it is, therefore.”

(17)

before,after のように接続詞と前置詞両方の働きを持つものがある(なお、before,after には副詞の働きもある)。区別が必要である。例“You should wash your hands before having a meal.”“You should wash your hands before having a meal.”

(18)

接続詞として”理由”を表す because が、前置詞句として働く場合は、“because of A”とする。例“I couldn’t play outside because it rained heavily.”例“I couldn’t play outside because of the heavy rain.”「雨が激しく降っていたので外で遊べなかった」。同じタイプのものに、「A までに」の意味を表す場合に、A に名詞が続く場合は、前置詞 by を用いて”by A”とし、A に SV...が続く場合には、“by the time SV...”を用いる。例“I had to come home by the sunset.””I had to come home by the time the sun set.”「私は日が沈むまでに帰宅しなければならなかった」

(19)

名詞節を導く接続詞は、大きく分けて 6 種類ある。①that SV... 「～ということ」 ②if/whether SV... [～かどうか] ③疑問詞 SV... ④関係詞 what (S)V... ⑤複合関係詞 whatever/ whoever/ whomever/ whichever SV ... 「～すること・ものはなんでも、～する人は誰でも、～するものはどれでも」 ⑥同格名詞節 that[whether]がある。

(20)

接続詞 that が導く節“that SV...”は、文中の働きによって、名詞節(S,O,C,同格名詞節)、形容詞節(=関係詞)、副詞節のいずれにもなる。判別には、文法的知識が必須である。

(21)

疑問詞に導かれる節が、文全体の一部になるものを間接疑問文と呼ぶ(疑問詞で始まり、“?”で終わるものが直接疑問文)。間接疑問文は、文中で S,O,C のいずれかとして機能する。例“Let me know when he will come here.”「彼がいつここに来るか教えてください」。“when he will come here.”は know の目的語になっている。なお、間接疑問文の内部では、“SV の語順となる”ことと”動詞の時制(形)を文の動詞の時制を基準に変える(時制の一致)”ことに注意が必要である。例“I didn’t know if it would rain the next day.”「私は翌日は雨かどうか知らなかった」。“I didn’t know”と”Will it rain tomorrow”を合わせたために、となっている。

(22)

“the way SV...”は、文中の働きによって、副詞節「～ように」(=as)または名詞節「～方法」(=how)となる。“I like the way he talks.”「私は彼の話し方が好きだ」(=how he talks)。名詞節の場合は、その部分を省略すると文が成立しないのが原則。ここでは、“I like”だけでは文は成立しない「私は好き(?)」。例“My mother prepared the fish the way my father liked it.”「母は、父の好みに合うように魚を調理した」(=as my father liked it)。副詞節の場合は、その部分が無くても文が成立する。“My mother prepared the fish”だけでも意味は通じる。

(23)

“whether SV...”は、文中の働きによって、副詞節「～であってもなくても」または名詞節「～かどうか」となる。例“I don’t know whether he will succeed (or not).”「彼が成功するかどうか分からない」。例“Whether he will succeed (or not), I continue to support him.”「彼が成功しようが姉妹と、私は彼を支援し続ける」

(24)

“if SV...”は、文中の働きによって、副詞節「～あれば」「～であったとして」または名詞節「～かどうか」となる。例“He asked me if I was a good pianist.”「彼は、私にピアノが得意かどうか尋ねた」。例“If you are good pianist, please play a tune on my next birthday.”「ピアノが上手であれば、次の私の誕生日に 1 曲演奏してください」

例“I’ll tell you later if I can find the time.”「時間が取れるかどうかのちほどお知らせします」例“I’ll tell you later, if I can find the time.”「もし時間が取れたら、のちほどお知らせします」コンマをつけるつけないで意味が変わることに注意。誤解を避けたいのであれば、名詞節の場合は、if を whether に変える。

(25) 発展

whether と if は書き換えできる場合が多いが、以下の場合は、whether の代わりに if を用いることはできない。①不定詞が続く場合：“She didn’t know whether to accept.. or refuse his offer.”「彼の申し出を受け入れるべきか断るべきか彼女はわからなかった」②or not が直後に続く場合：“We don’t care whether or not you agree to the..

project.”「私たちは君がその計画に同意しようがしまいが関係ない」③主節として用いられる場合：“Whether it snows or not doesn't make any sense.”「雪が降る降らないは問題でない」④あいまいさが生じる場合：Let me know whether they are coming late.「彼らが遅れてくるかどうか知らせてください(※ifの場合は、「彼らが遅れてくるならば」の意にも取れる)⑤前置詞に続く場合：“She is very worried about whether her son is in good health.”「彼女は息子が健康かどうかとても心配している」⑥二者択一を聞く場合：“He asked whether I preferred movies or music.”「私が映画と音楽とどちらが好きか彼は聞いてきた」

No48 《副詞節Ⅱ | while / though》



【1】〔確認問題〕

【2】〔基本構文〕

(1)

1. I was injured **while** I was skiing.
2. While I admit that the task is difficult, I don't think that it's impossible.
3. He is interested in literature, **while** I prefer to major in natural science.
4. Let's take a rest for a **while**.
5. It is worth **while** to read this book.

1. 〈接続詞：時「～している間」〉
私はスキーでけがをした。
2. 〈接続詞：譲歩「～だけれども」〉※文頭で用いる
その仕事の困難なのは認めるが不可能とは思わない。
3. 〈接続詞：対比・対照「...、かたや～だ」〉※訳し下げるのが普通
彼は文学に興味があるが、私は自然科学を専攻したい。
4. 〈名詞：「間」〉※for a while「少しの間」
ちょっと休みましょう。
5. 〈名詞：「間」〉※It is worth while to V... 「Vする価値がある」
この本は読むだけの価値がある。

(2)

1. **Though** it was cold, he didn't light the fire.
2. **Even though** it was raining, she went out.
3. **Although** he may be clever, he is not wise.
4. He pretends **as though** he had nothing to do with the case.
5. We may draw a prize, though I think not.
6. This was an exciting, though not popular, movie.

1. 〈副詞節：Though SV... 「SV...だけれども」〉
寒かったが、彼は火をつけなかった。
2. 〈副詞節：Even though SV... 「SV...だけれども」〉
雨が降っていたけれども彼女は外出した。
3. 〈副詞節：Although SV... 「SV...だけれども」〉
彼は賢いかもしれないが、彼は知恵はない。
4. 〈副詞節：as though SV... 「SV...であるかのように」〉=as if SV...
彼はその事件に関係がなかったようなふりをしている。
5. 〈SV..., though S'V'～ 「もともと S'V'～だが」〉譲歩の付け足し
★SV..., but S'V'～ 「SV...だが、SV'～」との違いに注意
くじが当たるかもしれない、だめだとは思うが。
6. 〈形容詞 1, though 形容詞 2, 名詞 「形容詞 2 だけれども though 形容詞 1 名詞」〉
これは、人気はないけれども面白い映画だ。★though が等位接続詞扱い。

【3】 [標準 英文解釈]

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《北海道大》

Noise pollution is an unfortunate byproduct* of civilization. While people may become accustomed to the troublesome sounds of modern life, they should not ignore their harmful effects. Noise pollution is hazardous* to health in general. Loud noise can disrupt* sleep, increase stress, and raise blood pressure. Noise pollution can also inflict* psychological damage: people exposed to loud sounds can become irritable and aggressive.

(注) byproduct[báɪprədəkt] 「副産物」 hazardous [hæzərdəs] 「危険な」 disrupt A [dɪsɹʌpt] 「A を妨げる」 inflict A [ɪnflɪkt] 「A を与える」

(2) 《一橋大》

In fact, recent research has revealed only one significant difference, in terms of content, between male and female gossip: men spend much more time talking about themselves. Of the total time devoted to conversation about social relationships, men spend two thirds talking about their own relationships, while women only talk about themselves one third of the time.

(3) 《名古屋大》

A recent series of studies has shown that children can solve math problems better if they are told to use their hands while thinking. Another recent study suggested that stage actors remember their lines better when they are moving. And in one study published last year, a group of people asked to move their eyes in a specific pattern while puzzling through a logical problem were twice as likely to solve it.

(4) 《北海道大》

Contemporary science has its roots in the achievements of amateur scientists of centuries past. Although they lacked what we would define as formal scientific training, they worked out the basic laws of physics and principles of chemistry. They invented instruments. And they discovered, documented, sketched, and painted planets, comets, fossils, and species.

(5) 《北海道大》

Sachiko has been living in the UK for 25 years and is married to a British man. She has a few Japanese friends, but most of her professional and personal life is conducted in English. In most situations she is happy to use English, though she has never lost her Japanese accent and still cannot understand some of the subtleties of English grammar, such as when to use “the” instead of “a”, or the present perfect*.

(注) the present perfect 「現在完了形」(文法用語)

【3】(1)troublesome[trʌblsəm]「迷惑な」 psychological [səɪkələdʒɪkəl]「精神的」 be exposed to A[ekspəʊzd] Aにさらされる」 irritable [ɪrɪtəbl]「怒りやすい」 aggressive [ægrɪsɪv]「攻撃的な」

(2)content [kántent]「内容」 devote A to B [dɪvəʊt]「AをBに捧げる」

(3)envision A as B [envɪʒən]「AをBと見なす」 all-purpose「万能の」 collaborative [kələbərəɪtɪv]「共同的な」 go on「生じる」(what 節内いで用いられる場合) specific [spəsɪfɪk]「特定の」 puzzle through A「Aを解く」

(4)contemporary [kəntəmperəri]「現代の」 have one's roots in A「Aに起源がある」 an achievement [ətʃɪːvmənt]「業績」 lack A「Aを欠いている」 define A as B「AをBとして定義する」 formal「正式な」 physics [fɪzɪks]「物理学」 a principle [prɪnsəpl]「原理」 invent A [ɪnvɛnt]「Aを発明する」 sketch A「Aをスケッチする」 a comet [kəmit]「彗星」 a fossil [fəseɪl]「化石」

(5) conduct A[kəndʌkt]「Aを行なう」 a subtlety[sʌ'tlti]「微妙さ」(subtle「微妙な」)

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《島根大》

次の英文は、夏のひどい熱波のときに母のエアコンが故障した場面である。

For the preceding few months, she had been particularly needy. There had been unusual expenses to pay, in addition to the regular ones. Doctors' bills, summer clothes, a brief trip to the seashore.... It seemed as though no day had passed that she hadn't called me about a new bill she wanted me to pay. So when she called and told me she needed a new air conditioner, I lost my temper. "Not now!" I screamed, hanging up on* her.

(2) 《東京大》

Chess masters can exhibit remarkable memory for the location of chess pieces on a board. After just a single five-second exposure to a board from an actual game, international masters in one study remembered the locations of nearly all twenty-five pieces, whereas beginners could remember the locations of only about four pieces. Moreover, it did not matter whether the masters knew that their memory for the board would be tested later; they performed just as well when they glanced at a board with no intention to remember it. But when the masters were shown a board consisting of randomly arranged pieces that did not represent a meaningful game situation, they could remember no more than the beginners.

発展問題(1) preceding[prɪsɪːdɪŋ]「先立つ、前の」needy[niːdi]「非常に貪欲な」(=greedy)a bill「請求書、法案、紙幣」lose one's temper「癩癩を起す」scream[skriːm]「金切声をあげる」hang up on A「Aの電話を切る」
(2)exhibit A [egzɪbɪt]「Aを示す」remarkable [rɪmáːrkəbl]「驚くほどの、著しい」exposure [ekspóʊʒər]「晒す」(exposeの名詞形)nearly「ほとんど」it did not matter whether SV...「SV...かどうかは大切ではない」test A「Aを試す」glance at A「Aを見る」with no intention to V「Vする意図がなく」consist of A「Aからなる」randomly [rændəmli]「でたらめに」arrange A [əreɪndʒ]「Aを配置する」represent A [rɛprɪzɛnt]「Aを意味する、Aを表す」

構文解説

(1)

while は、接続詞または名詞として機能する(名詞としての while は(2)を参照)。接続詞として機能する while に「時」「譲歩」「対比」の意味があるが、その意味は主に文中での位置によって決まることが多い。主節に先行する場合は「時」または「譲歩」を表し、主節に後続する場合は「対比」を表すことが一般的である。また、「時」を表す while の中で進行形が用いられる場合は、“S be”が省略され”while Ving...”の形になることが多い。

(2)

接続詞 while は「動作」や「状態の継続している時間[期間]」を表わす副詞節をつくる。while の節中に進行形が多く用いられる。例“While walking around the park, I came across the former president in our company.”「公園を散歩している時に、私たちの会社の前社長に偶然出会った」。また、「時」を表す”while SV...”は前置詞”during”を用いて言い換えることができる場合が多い。例“He came to see my sister while I was away.”「私が留守中に彼が私の妹に会いに来た」(= He came to my sister you during your absence.)

(3)

接続詞 while が「譲歩」(=though SV...)を表す場合がある。「譲歩」を表す while は、主に”主節に先行する”ことが多い。“While S’V..., SV~”「S’V...だが、SV~」例“While the project seems difficult, I don’t doubt that it is very interesting.”「その企画は実行がむづかしいようだが、間違いなくとても面白い」(=Though the project seems difficult, I don’t doubt that it is very interesting.)また、譲歩を表す while は、接続詞”though”や前置詞句”in spite of Ving”に書き換えられる場合が多い。

(4)

接続詞 while が「対比・対照」を表す場合がある。「対比・対照」を表す while は、“主節に後続する”ことが多い。“SV..., while S’V~”「SV...である一方、S’V~」(訳し下すことに注意)。“My mother is for this plan, while my mother (is) against it.”「私の母この計画に賛成である一方、父はそれに反対である」なお、この場合の while は、訳し下すことから等位接続詞的に働いていると考えられる。

(5)

接続詞 whereas は while と同じく「対比・対照」を表す。while よりも文語体である。例“Some students are clumsy with their hands, **whereas** others are skillful with their hands.”「手先が不器用な生徒もいる一方で手先が器用な生徒もいる」この場合の whereas も等位接続詞的に働いていると考えられる。

(6)

接続詞 though は、文頭、文中では、主に「逆接」を表す。“Though S’V..., SV~”「S’V...であるけれども、SV~」例“Though it is a good quality, this pen is a little expensive.”「このペンは良い品質だが、少し高い」。この場合の”though”は”although”と書き換えることができる。“though”を強調したい時は、“even though SV...”の形にする。

(7)

接続詞 **though** は、主節の後続する場合は、追加、補足的に用いられて「もっとも～だけれども」を表す。“SV..., though S'V'～”「SV...である。もっとも S'V'～だが」**例**“He may win the game, though he must practice much harder.”「彼はその試合に勝つかももしれない。もっとも、もっと一生懸命練習しなければならないが」。この場合の”**though**”は”**although**”と書き換えることができない。

(8)

“as though SV...”(=as if SV...)で「まるで～のように」という意味を表す。as though, as if に続く節内は仮定法過去や仮定法過去完了が用いられるが、口語では直説法を用いることも多い。**例**“He talked as though he knew everything about her.”「彼は彼女についてなんでも知っているかのような口ぶりだった」**例**“You look as if you are sick.”「あなたはまるで気分が悪いように見える」

(9)

though には接続副詞「もっとも～だが」(文中、文尾で用いられる)を表す用法がある。**例**“His request was demanding. I enjoyed it very much, though.”「彼の要求はきつかった。もっとも私たちはそれを大いに楽しんだのだが」この場合の”**though**”は”**although**”と書き換えることができない。

(10)

thoughと**although**は、接続詞としては、互換性がある(“**although**”のほうが形式ばった語)。“**although**”は「主節に先行する(文頭)」場合に用いられ、“**though**”は文頭、文中、文尾のいずれでも用いることができる。なお、**though**には接続副詞としての用法があるが、“**although**”にはない。また、as though, even thoughなどでは、“**though**”の代わりに“**although**”を用いることはできない。

No49 《副詞節Ⅲ | if》



【1】〔確認問題〕

【2】〔基本構文〕《重要接続詞の攻略 if》

(1)

1. If it stops even raining anyhow, probably, it will go out.
2. I wonder **if** these shoes will last well.
3. **Even if** he is in trouble, Mac is always optimistic.
4. **If anything**, my grandfather seems happier than before.
5. There are **few, if any**, mistakes in his composition.
6. She **seldom, if ever**, goes to bed before eleven.
7. Your report is pretty good, **if not** excellent.
8. **If you should** come this way again, please drop in.
9. **If I were to** be reborn, I would like to be a bird.
10. She acted **as if** she knew French well.
11. **It seems as if** things would change for the better.
12. He smiled **as if to** welcome her.
13. I want to go on a journey around the world **if possible**.
14. You can keep this dictionary **if necessary**.
15. **What if** the rainy season should set in tomorrow.
16. **If only** she been home when I called yesterday.

1. 〈副詞節を導く if 「もし～ならば」〉
とにかく雨さえ止めば、出かけられるだろう。
2. 〈名詞節を導く if 「～かどうか」〉
この靴は長持ちするかな。
3. 〈副詞節を導く even if SV 「たとえ～であっても」〉
たとえ困っていても、マックはいつも楽天的だ。
4. 〈if anything 「どちらかといえば」〉
どちらかと言えば、私の祖父は以前より幸福そうだ。
5. 〈few[little], if any. 名詞「ほとんど～ない」〉★few を強調する if any
彼の作文にはまずほとんど誤りはない。
6. 〈seldom[rarely], if ever, V 「めったに～しない」〉★seldom[rarely を強調する if ever
彼女はまずめったに 11 時前に寝ることはない。
7. 〈A if not B 「B でないとしても A」〉★等位接続詞的に用いる
君のレポートは、優秀とは言えないまでもかなりよい。if at all
8. 〈if S should V 「万一 SV すれば」〉★実現性の低い仮定
こちらの方へまたいらっしゃることがありましたら、お立ち寄りください。
9. 〈if S were to V 「仮に SV すれば」〉★仮定法
もしも私が生まれ変わるなら、鳥になりたい。
10. 〈as if SV... 「まるで SV するかのよう」〉★as if 節の中は仮定法を用いる場合が多い。
フランス語をよく知っているかのように振る舞った。
11. 〈It seems as if SV... 「まるで SV であるように思われる」〉
世の中は好転するかのよう思われる。
12. 〈as if to V 「まるで V するかのよう」〉
彼は彼女を歓迎するかのようになこりと笑った。
13. 〈if possible 「可能ならば」〉
可能ならば私は世界一周旅行をしたい。
14. 〈if necessary 「必要ならば」〉
きみは必要なら、この辞書は持っていいよ。

15. 〈what if SV... 「SV...ならどうなるだろう」〉
 万一明日梅雨に入ったらどうしよう。
16. 〈if only SV... 「SV...であればなあ」★=I wish SV...〉
 昨日電話したときに、彼女が家にいてくれたらな。

【3】〔標準問題〕副詞節の攻略 〈only if SV... / unless SV...〉

解答時間各 20 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《早稲田大》

Adapting to a new culture involves overcoming obstacles and setbacks.
People can do that only if they believe in their own ability. If they persevered
 in the face of challenging situations in the past, their confidence would grow.
 A person who doesn't believe herself capable of understanding people from
 unfamiliar cultures will often give up after her efforts meet with hostility or
 incomprehension*. By contrast, a person with high motivation will, upon
 confronting obstacles, setbacks, or even failure, reengage with greater vigor.

(注) incomprehension [ɪnkəmˈpriːhənʃən] 「無理解」

(2) 《北九州市立大》

The earth is covered by the territories of some 200 independent states,
 but the number of nations and languages is far greater: about 6,000 exist
 today. However, only one third of these languages are in constant use and
 most scholars agree that by the end of the 21st century around half of today's
 existing languages will be gone — for even if books and writings survive,
without somebody who knows how to pronounce the words within them, they
will soon fall out of use.

【3】(1) overcome A [ðʊvəˈkʌm] 「A を克服する」 an obstacle [əbˈstækəl] 「障害」 a setback [setˈbæk] 「挫折、つまづき」
 persevere [pəˈrsəviə] 「屈せずやり続ける」 challenging [tʃæləndʒɪŋ] 「困難な、やりがいのある」 confidence [kənˈfɪdəns]
 「自信」 unfamiliar cultures 「異国文化」 hostility [hɒstɪləti] 「敵意」 by contrast 「対照的に」 motivation [məʊtəˈveɪʃən]
 「動機」 confront A [kənˈfrʌnt] 「A に直面する」 reengage [riːˈeɪŋɡeɪdʒ] 「再開する、再び雇う」 vigor [ˈvɪɡər] 「精力」
 (2) a territory [təˈrɪtəri] 「領土」 be in use 「使用されている」 existing [ɪɡzɪstɪŋ] 「既存の」 fall out of use 「使われなくな
 なる」

(3) 《九州大》

Population decline poses a serious danger to the developed world. Yet there is nothing inevitable about it. History shows that governments can raise birthrates close to sufficiently stable levels — if only they adopt the right kinds of policies. This means making available high-quality and affordable child care, offering families financial support, and supporting mothers who pursue careers.

(4) 《名古屋大》

次の英文は、兄弟姉妹間の比較の害について述べたものである。

Adele Faber and Elaine Mazlish, co-authors of the helpful handbook *Siblings Without Rivalry*, began to explore sibling conflict while their children were growing up and fighting. They emphasize that parents shouldn't compare a kid with a sibling — even favorably. Most parents know better than to ask, “Why can't you be more like your brother?” Comparison puts one child against another, and it subtly damages their relationship when a parent says, “You're much better organized than your sister.” Each child should be appreciated individually — though not necessarily equally — and should be praised as if he were an only child.

(注) *Siblings Without Rivalry* 「競争なき兄弟姉妹」

(3) decline [dɪklaɪn] 「低下(する)」 inevitable [ɪnɛvɪtəbl] 「必然的な」 stable [stéɪbl] 「安定した」 available [əvɛɪləbəl] 「利用できる、手に入る」 affordable [əfəːrdəbl] 「余裕がある」

(4) explore A [ɪksplɔːr] 「Aを研究する」 sibling [sɪblɪŋ] 「兄弟姉妹」 conflict [kɒnflikt] 「対立」 subtly [sʌtli] 「微妙に」 organized [ɔːrgənàɪzd] 「きちんとしている」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《滋賀大》

Much, if not most, of the behavior of animals is instinctive, the product of the individual animal's genetic inheritance; learning plays only a small role in determining their actions. Most of our behavior is not instinctive. Our actions are a product of very complex learning processes. This is enormously important to people directly involved with human problems. If human actions were governed by instinct, that is, inherited genetically, there would be little hope for the success of programs aimed at changing human behavior patterns. We would be enslaved, just as other animal species are, by the slow processes of biological adaptation.

(2) 《信州大》

Take your favorite works of translated fiction. How many translators do you know by name? I would venture to guess, “Not very many, if any at all.” This would be especially true for works translated into English. Some authors who are born with English as their native language even nurture a mild bias against people who translate, thinking that “Those who do, write; those who don't, translate.” In the English-speaking world, the translator is sometimes so little regarded as to not even have his/her name placed on the book's cover.

発展問題(1) instinctive [ɪnstɪŋktɪv] 「本能的な」 genetic [dʒənetɪk] 「遺伝的な」 inheritance [ɪnhɛrɪtəns] 「相続」 enormously [ɪnəʊrɪməslɪ] 「ものすごい」 be involved with A 「A と関わる」 govern A 「A を支配する」 instinct 「本能」 enslave A 「A を奴隷化する、A を支配する」 biological adaptation 「生物学的適応」
 (2) translate A [trænzleɪt] 「A を翻訳する」 by name 「名前は」 venture to V [vɛntʃər] 「あえて V する」 nurture A [nʌːrtʃər] 「A に養分を与える、A を育む」 a bias [baɪəs] 「偏見」

構文解説

(1)

接続詞 if SV...は条件を表します。「SV ならば」とする”単なる仮定”と「SV する限り」と”限定的な仮定”(=only if SV...)がある。“単なる仮定”を表す類似表現として”supposing (that) SV...”“suppose (that) SV...”がある。さらに”未来の不確かな仮定”を表す表現として”in case S should V...”がある。なお should を含む場合は、想定されて事態が起こる可能性が低いという意味合いを含む。

(2)

“even if SV...”は、「たとえ～であっても」(譲歩)の意味を表す。例“Even if you don't assist me, I will continue this project.”「たとえあなたが手伝ってくれなくても、私はこの計画を続けるつもり」。even though SV...「SV...だけれども」(SV が確定)と異なり、even if SV...の場合は、SV...が仮定の話である。例“Even though you don't assist me, I will continue this project.”「あなたは手伝ってくれないけれども、私はこの計画を続けるつもり」

(3)

if only SV...は、①「～であればなあ」(=I wish S 仮定法)②「SV...だけとしても」を表す。例“I want to challenge the task if only because it is very difficult.”「むつかしいという理由だけでも私はその仕事に挑戦したい」if only for A「A という理由だけでも」if only because SV...「SV...という理由だけでも」は、覚えておきたい表現。

(4)

only if SV...は、「SV...の場合のみ(それ以外は不可)」と強い限定を表す。例“I will lend you this book only if you use it carefully.”「あなたがこの本を丁寧に扱う場合のみ貸してあげる」“限定的な仮定”(=only if SV...)を表す類似表現としては”provided (that) SV...”, ”providing (that) SV...”, ”on condition (that) SV...”がある。これらは仮定法では用いることができない。

(5)

“as if SV...”で「まるで SV...かのように」の意味を表す。as if の中は、仮定法を用いるのが原則だが、口語では直接法も用いられる。例“He looks as he were[is] dying.”「彼はまるで死にかけているように見える」as if to V「まるで to V するかのように」や、It seems[looks] as if SV...「まるで SV...のように思われる[見える]」も頻出表現。

(6)

“A if not B”で「B でないとしても A」の意味を表す。等位接続詞的に用いられる表現で、AB には文法的に対等なものがある。例“This plan is hard if not impossible to put into practice.”「この計画は実行することが不可能ではないとしてもむつかしい」

(7)

接続詞 if 節内で省略が生じることがある。例“If suddenly spoken to, everybody will be surprised.”「突然話しかけられれば、誰もが驚くだろう」。副詞節中で省略可能な S be は、①主節の主語と同じ場合、②主節と時制が同じ場合 に限られる。

(8)

“What if SV...”で①「SV...ならどうなるだろうか」(What will happen if SV...?の略)②「SV...しても問題ない」(What does it matter if SV...?の略)の意味を表す。①②の訳し分けは、形からではむつかしく、前後関係から判断する場合が多い。例“**What if she ignores my plan?**”「彼女が私の計画を無視したらどうなるだろうか」「彼女が私の計画を無視してもかまうものか」のどちらの意味でも解釈可能。

(9)

if anything 「どちらかといえば」 if possible 「可能な場合は」 if necessary 「必要な場合は」 if any 「たとえあるとして」

No50 《副詞節IV | as》



【1】 [確認問題]

【2】 《基本 as》

(1)

1. **As** I got off the bus, I saw him entering the movie theater.
2. **As** time passed, things seemed to get worse.
3. Behave **as** a gentleman does.
4. **As** rust eats (into) iron, so care eats (into) the heart.
5. **As** her dress was old, Anne bought a new one.
6. Great **as** Leonardo da Vinci was **as** a painter, he was greater still **as** a scientist.
7. Try **as** you may, you won't find it easy to solve the problem.
8. Language **as** we know it is a human invention.
9. Don't trust such men **as** praise you to your face.
10. Mother will treat you **the same as** she does me.
11. **As** we expected, she married Tom.
12. **As** parents, we are concerned about our children's future.
13. All the children dressed up **as** animals.
14. As a child, he lived in London.
15. He is **as** busy **as** a bee from morning till night.
16. He has hundreds of friends and **as** many enemies.

1. 〈接続詞：時間「～する時に」〉
バスを降りた時に、私は彼が映画館に入っていくところを見た。
2. 〈接続詞：比例「～するにつれて」〉
時がたつにつれて、事態はもっと悪くなるように思えた。
3. 〈接続詞：様態「～するように」〉
紳士がするようにふるまいなさい。
4. 〈接続詞：様態「～するように」〉 ★As SV~, so SV.... 相關的に用いる
錆(さび)が鉄をむしばむと同じように心労は心をむしばむ。
5. 〈接続詞：理由「～なので」〉
ドレスが古かったので、アンは新しいものを買った。
6. 〈接続詞：譲歩「～だけれども」〉 ★"形容詞・副詞 as SV..."の形で用いる
レオナルド・ダ・ヴィンチは画家として偉大ではあったが、科学者としてよりいっそう偉大であった。
7. 〈接続詞：譲歩「～だけれども」〉 ★"動詞 as SV..."の形で用いる
どんなに努めてみてもその問題を解くのは容易なことではないだろう。
8. 〈接続詞：形容詞節を導く as〉
われわれの知っているような言語は人間の創り出したものである。
9. 〈関係代名詞：先行詞に the same/such がつく場合〉
面と向かってほめるような人を信頼するな。
10. 〈関係代名詞：先行詞に the same/such がつく場合〉
母は君をぼくと同じように遇するだろう。
11. 〈関係代名詞：先行する節の内容を受ける〉
私たちが予想したとおり、彼女はトムと結婚した。
12. 〈前置詞「～として」〉
私たちは親として子どもたちの将来を心配している。

13. 〈前置詞「～のように」〉
子どもたちはみんな動物のように仮装していた。
14. 〈～のころ〉★接続詞とも考えられる
子どもころ彼はロンドンに住んでいた。
15. 〈副詞：「同程度」〉★as ～ as ... / 後ろの as は接続詞
彼は朝から晩までハチと同じように忙しい。

【3】 〔標準問題〕《重要接続詞の攻略 as》

解答時間各 30 分

次の各英文(1)～(5)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《神戸大》

The speed with which any object falls is related to its mass* and surface area* — which is why a feather falls more slowly than a pebble of the same weight. As a tiny water drop grows, its mass becomes more important than its shape, and the drop falls faster. Even a large drop having a radius* of 100 microns* has a downward speed of only about 27 centimeters per second (cm/s). And because ice crystals have more irregular shapes, their downward speeds are relatively smaller.

(2) 《東京大》

Just as it is hard to decide who is lying and who is not, it is also much more difficult than we tend to think to tell what is a lie and what is not. “Everybody lies,” Mark Twain wrote, “every day; every hour; awake; asleep; in his dreams; in his joy; in his grief.”

【3】 (1) a pebble [pébl] 「小石」 a crystal [krístel] 「結晶」
(2) a grief [gri:f] 「悲しみ」「悲嘆」

(3) 《香川大》

My teaching experience here has been limited to two private high schools, but two very different schools. One is a very old Christian boys' school in Sendai, the other a relatively new girls' school in Yokohama. Different as they are, the schools share characteristics common to any high school here. Two of these characteristics impress me as quite uniquely Japanese. One is the concept of the homeroom (and the role of the homeroom teacher). The other is the nature and importance of club activities.

(4) 《山口大》

Successful people accept life as it is. Part of that is understanding that things worth achieving don't come quickly or easily. They come with a price. They come as the result of time, effort, sacrifice, and pain. Because life is hard.

(3) limited 「限定されている」 a characteristic [k'ærəktərístik] 「特徴」 common to A 「Aに共通の」 impress A as B [imprés] 「AにBと印象付ける」 concept [kánsept] 「考え、概念」
(4) achieve A [ətʃi:v] 「Aを成し遂げる」 sacrifice [sækrəfàis] 「犠牲」

発展問題

解答時間各 20 分

次の各英文(1)(2)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《関西学院大》

At first glance the effects of population growth on the environment seem obvious. More people use more resources, damage more of the earth, and create more pollution. As the population of a country increases, so does its consumption. Because of this, we might expect the poorer nations, which have the highest populations and the fastest rates of population growth, to cause the most damage to the environment. The truth is more complicated than that.

(2) 《神戸大》

Our Sun is a fairly ordinary star, a bit brighter than most but not exceptionally so. There are many stars much bigger and brighter, while most stars are smaller and fainter. The Sun is not an especially variable or active star, and it has no enormous chemical or magnetic peculiarities. It is not a very young star, nor is it old and nearing the end of its life. It is, in short, truly exceptional in only one way: it is very close to the Earth — in fact, at just the right distance to make life as we know it possible.

発展問題(1)at first glance「一見」the effect of A on B「A の B への影響」a resource[rɪːsɔːrs]「資源」pollution [pəluːʃən]「汚染」consumption [kənsʌmpʃən]「消費」complicated [kəmplɪkəɪtɪd]「複雑な」(=complex)
(2)ordinary [ɔːrdenəri]「平凡な、普通の」exceptionally [eksɪpəʃənəl]「例外的なほど」faint [feɪnt]「かすかな、わずかな」enormous [ɪnɔːrməs]「ものすごい」magnetic [mæɡnɛtɪk]「磁石の、地磁気の」a peculiarity[pɪkjʊːliærəti]「特性」

構文解説

(1)

as の主な用法としては、①接続詞②関係代名詞③前置詞が挙げられる。例“As it is getting dark, I have to come go home.”「暗くなってきたので、帰らなければならない」例“As is often the case with him, he eats four times a day.”「彼にはよくあることだが、彼は一日4回食べる」例“We regarded him as very considerate.”「私たちは彼がとても思いやりがあるとみなしている」

(2)

接続詞 as には、①[時]「～する時に、～しながら」②[比例]「～するにつれて」③[様態]「～するように、～するやり方で」④[対照]「～であるが、～と違って」⑤[理由]「～なので」⑥[比較] as ... as A とかの後ろの as(前の as は副詞)⑦[譲歩]「～だけれども」など様々な意味がある。as の原義は、「同」(同時、因果(同時発生)、同様、同程度)であることを抑えて上で、文脈から意味を判断する必要がある。

(3)

“just as SV...”で「(ちょうど)SV...するように」「(ちょうど)SV...するように」の意味を表す。副詞 just が as(「様態」の意)を強調している。例“Just as you are not free, I'm not free either.”「あなたが暇でないのと同様に私も暇ではない」例“I heard something going off just as I got out of the room.”「部屋を出ようとした途端に何かが発火するのを聞いた」just as の形では、比較の as...as～を強調した just as...as～「～と全く同じ」や、would just as well V「むしろVしたい」(=would rather V)、just as well「好都合だ」も重要表現。例“You should save just as much money as he.”「君は彼と同じ程度お金を貯めるべきだ」例“I would just as well come home without doing anything.”「何もしないでむしろ帰った」It's just as well,「(それは)好都合です」

(4)

「形容詞/副詞 as SV...」「SV...だけれども」(まれに「SV...なので」を表す。例“Young as he is, he is a man of ability.”「若いが、彼は才能がある男だ」(=Though he is young, he is a man of ability.)Powerful as he was, he carried this suitcase here.「彼は力が強いので、このスーツケースここまで運んだ」as の代わりに“though”“that”が用いられることもある。また、アメリカでは“As 形容詞/副詞 as SV...”の形が用いられることもある。例“As late as it was, I had to give him a hand.”「遅かったけれども、彼を助けてあげなければならなかった」(=Though it was late, I had to give him a hand.)

(5)

“as S be”は、「Sのまま」意味を表す。例“I love you just as you are.”「あるがままの君を愛する」。なお、“as it is”の形で慣用的に用いられるものがある。文頭で用いて、「(仮想に反して)実際は」例“If I had time, I would want to help you. As it is, I cannot.”「時間があればおてつだいたいのですが、実際は手伝えない」文中、文尾で「現状のまま」を表す。例“His condition is very bad as it is.”「彼の今のままでも容態はとても悪い」

(6)

接続 as 節内では、“as 助動詞 S”となる場合がある。これは、主節の動詞以下を do(have/be 動詞)で代用した上で、形を整えるために語順(S と動詞)が変わって出来た形である。例“My father was, as was my mother, indifferent to money.”「父は、母と同じくお金に無頓着であった」(as my mother was indifferent to money | . was indifferent to money を was 一語に置き換えた上で、my mother..と was が入れ替わっている)例“The way we

「speak, as does what we say, sometimes has some influence on us ourselves.」 「話す内容と同様に、話し方も私たち自身に影響を与える」 (as what we say sometimes has some influence on us ourselves | sometimes 以下を does に変えた上で、what we say と does が入れ替わっている)

(7)

様態の as を使った重要構文に”As S’V..., so SV...” 「 As S’V..., so SV...」 例”As rust eats iron, so care eats the heart. 「錆が鉄を虫食むのと同様に心配は心を虫食む」 この構文では、so 以下に①倒置②”助動詞 S”の形となる場合がある。例”As the lion is king of beasts, so is the eagle king of birds. 「ライオンが獣の王であるのと同様、鷲は鳥の王である」 (so the eagle is king of birds | 主語”the eagle”と動詞”is”のご順が入れ替わっている) As a success contributes to your life, so does a failure. 「成功があなたの人生に寄与するように失敗もまたあなたの人生に役立つ」 (so does a failure | contributes to your life を does に置き換えて、主語”a failure”と語順が入れ替わっている)

(8)

名詞 as S know it(them)の形で「S が知っている(のと同様の)名詞」の意味を表す。修飾される名詞が単数の時は it を複数の時は them を用いる。「同様に」を表す副詞節 as が拡張して出来た形。例”Language as we know it is a human invention.” 「われわれが知っている言語は人間が作り出した」 また、as の中が過去分詞の場合もある”名詞 as (it is) 過去分詞”の形になる。例”She was singing the song as unknown to us.” 「彼女は私たちが知らないような歌を歌っていた」

ハイレベル英文解釈Ⅲ

解答時間各 20 分

次の英文(1)～(6)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《愛知教育大》

A couple of weeks ago, as I waited on the platform for the train to arrive, I saw a man with a boy's haircut walking toward me on the arm of a pale woman. All of his actions were exaggerated, as was the volume of his voice. As he exclaimed loudly about something or other, the pale woman gazed straight ahead with half a smile on her lips. She was clearly used to the behavior and took little notice.

(2) 《東京工業大》

Many years ago, when I was still in high school, I was extremely fond of chewing gum, especially during class hours. However, sooner or later the chewing gum would either lose its taste or I would become bored with it. After a while, I would start looking around, wondering how I could get rid of the gum nice and quietly. As you might have guessed by now, yes, I was that kid sticking his used gum underneath the desk. And as I grew older, I started noticing that I wasn't the only one deviating from the social norms that society has laid out for us. How often is it that we conveniently forget to return dirty food trays in the cafeteria? Or let our dogs poop in the park and head off before anyone has a chance to notice?

(1)exaggerate A [egzædʒə'reɪt] 「A を誇張する」 exclaim [ekskleɪm] 「絶叫する」 gaze (at A) [geɪz] 「A を見つめる」
(2)extremely 「極端に」「非常に」 get rid of A 「A を取り除く」 stick A 「A を張り付ける」 deviate from A 「A から逸脱する」 a norm 「基準」 conveniently 「都合よく」 cafeteria 「カフェテリア」

(3) 《東北大》

As is well known, the more important a decision is, the harder it is to stay objective. Fear is a major reason — fear can develop into mental crisis when a great deal depends on a decision. For example, suppose you find yourself in a job with no future. After several years, you get the uneasy feeling that you may be about to lose your job and so consider leaving. Perhaps you feel that your bosses are treating you differently. You've been trying to evaluate what they think of you and whether they are looking for a reason to fire you. No matter how hard you try to be objective, you can't help but be influenced by your fear.

(4) 《福島大》

Around the age of three a child learns in very subtle ways about grammar and correct speech. As this new awareness is incorporated in language behavior, a child begins to use proper grammatical structure. Instead of saying, "John want milk," he says, "May I have some milk?" By this stage in a child's life it can produce and respond to around 900 words. As we can see, there is a snowball effect inherent in learning to speak. The more a child is spoken to, the more it will learn to speak. As in most human endeavors, practice leads to proficiency.

(3)objective 「客観的な」 a crisis 「危機」

(4)subtle 「微妙な」 awareness 「意識」 incorporate A 「Aを組み入れる」 proper 「適切な」 grammatical 「文法の」
respond to A 「Aに反応する」 snowball 「雪だるま」 inherent 「固有の」 an endeavor 「努力」 proficiency 「熟練」

(5) 《京都府立医科大》

Like distinctive forms of dress, children's games, once so visible on the streets of our towns and cities, are also disappearing. Even the idea of a children's game seems to be slipping from our grasp. A children's game, as we used to think of it, requires no instructors or umpires or spectators; it uses whatever space and equipment are at hand; it is played for no other reason than pleasure. But Little League baseball and Pee Wee football, for example, not only are supervised by adults but are modeled in every possible way on big league sports. Umpires are needed. Equipment is required. Adults cheer and jeer from the sidelines. It is not pleasure the players are seeking but reputation.

(6) 《福井大》

Tempting as it may be, it's important to remember that when you're angry, hurried, or feeling reactive*, this is not the time to send your thoughts by e-mail. It is always better to wait until you cool off on an issue or gain some perspective before you air what's on your mind. If you feel like writing a letter, go ahead and do so, but write it out longhand* or, at the very least, do so when you're not on-line. That way, you will have time to reflect on what you're saying and how it will be received. You can always choose to send the letter later, but at least you'll have the option of not doing so, if you so choose.

(注)reactive すぐ反応しそうな longhand 手書きで

(5)distinctive 「特徴的な」 visible 「ありふれた」「見ることができる」 slip 「抜け落ちる」 grasp 「把握」 an umpire 「審判」 supervise A 「Aを監督する」 model A 「Aを手本とする」 equipment 「道具」 reputation 「評判」
(6)hurry 「急ぐ」 cool off 「冷静になる」 an issue 「問題」 a perspective 「視点」 air A 「Aを流す」 at the very least 「少なくとも」 (=at least)reflect on A 「Aについて熟考する」 an option 「選択肢」

No51 <LISTENING//ENGLISH COMPOSITION>



- 【1】 [確認テスト]
- 【2】 [リスニング]
- 【3】 [整序・英作文] 《関西学院大》

解答時間 15分

次の設問(A, B)に答えなさい。

設 問

A. 次の日本文(1, 2)に相当する意味になるように、それぞれ下記(a~h)の語句を並べ替えて正しい英文を完成させたとき、並べ替えた語句の最初から 4 番目と 7 番目に来るものの記号をマークしなさい。

- (1) 残念ながら、彼が仕事に復帰するまでには、あと 3 週間かかる予定です。

Unfortunately, () returns to work.

- a. he b. it c. more d. take e. three
f. until g. weeks h. will

- (2) 私の変わりやすい心情が養われたのはこの場所であったかと思われる。

I () my changeable disposition.

- a. developed b. here c. I d. if
e. it f. that g. was h. wonder

B. 次の日本文に相当する意味になるように英文の空所を埋めなさい。答えは、空所に入れる部分のみを記述式解答用紙の所定欄に記入しなさい。

二人は互いにおはようと挨拶し、前日に何が起こったか思い出そうとした。

The two ().

No52 《副詞節 V | whether/when》



【1】 [確認テスト]

【2】 [基本構文]

(1)

1. Whether he has the operation depends upon the availability of the organ.
2. I question whether this measure is legal.
3. It is yet to be seen whether this plan will succeed or not.
4. It makes no difference whether you agree or not.
5. You must make it clear whether you can come.
6. I will carry out my plan, whether you agree or not.

1. 〈名詞節 whether : 「～かどうか」〉 ※the availability of A⇒A is available
彼が手術するかどうかは、移植する臓器の提供次第だ。
2. 〈名詞節 whether : 「～かどうか」〉
この措置が合法かどうか疑問である。
3. 〈形式主語 : It ... whether SV...〉 ※be yet to V 「まだ V していない」
この計画がうまくいくかどうかはまだわからない。
4. 〈形式主語 : It ... whether SV...〉 ※makes no difference 「重要ではない」 It makes no difference whether SV...
「SV...かどうかは重要ではない」
君が賛成しようとしまいと変わりはない。
5. 〈形式目的語 : V it C whether SV...〉 ★make it clear whether SV... 「SV...かどうかははっきりさせる」
来られるのかどうかははっきりしてくれ。
6. 〈副詞節 : whether SV... (or not)SV... 「SV が～しようとしまいと」〉
君が同意しようとしまいと、私は自分の計画を実行する。

【3】 [基本構文]

(1)

1. Do you remember when we first met ?
2. When she comes, I'll hand it to her.
3. When the flatterer pipes, then the devil dances.
4. He will never give in even when he is wrong.
5. He is kind except when he is drinking.
6. It is only when you have your own children that you realize the trouble of parenthood.
7. Only when you keep practicing every day will you become stronger.
8. He was waiting for the momnet when she said something.

1. 〈名詞節 when SV... 「いつ SV する」〉
私たちが最初に出会ったのはどこか覚えていますか？
2. 〈副詞節 when SV... 「SV...するとき」〉
彼女が来たらそれを手渡しておきます。 ※彼女が来ることが予想されている状況
3. 〈When S'V~, then SV... 「S'V~のとき、SV...」〉
お世辞に乗せられると、身の破滅を招く。
4. 〈even when SV~ 「～するときでも」〉 ★譲歩を表す
彼は自分が悪くても決して認めようとしなない。
5. 〈except when SV~ 「～するときを除いて」〉
彼は酒を飲んでいなければ優しい。
6. 〈It is only when SV~ that SV... 「SV~して初めて SV...する」〉
自分の子供を持つてはじめて親の苦勞がわかる。

7. 〈Only when SV... **助動詞** SV「SV～して初めて SV...する」★倒置構文
毎日練習を続けて初めて、あなたはさらに強くなれる。
8. 〈関係副詞 when SV...〉★the moment when SV...「SVする瞬間」
彼は彼女が何かを言う瞬間を待った。

【4】〔標準問題〕《重要接続詞の攻略 whether》

解答時間各 30 分

次の各英文(1)～(4)の下線部を和訳しなさい。

(1) 《高崎経済大》

Fast-food restaurants are very popular because the service is fast and the food is inexpensive. For many people, this is more important than the quality of the food. These restaurants are also popular because the food is always the same. Furthermore, people know that **whether** the restaurant is in the north or south of a city, the food will be the same. If they eat in New York or San Francisco, it will still be the same.

(2) 《高知大》

If you were walking in the woods, and suddenly the path split into two different roads, which one would you choose: the one covered with grass that few people had taken or the cleared one that many others had already walked down? Anyone who has read the poet, Robert Frost, probably recognizes this situation from one of his most famous poems, “The Road Not Taken.” After carefully considering both roads, the speaker of the poem chooses the grassy* one, or “the one less traveled by.” Then he says that this choice “has made all the difference.”

“To make the difference” is an expression that always has a positive meaning in English, **whether** you’re talking about something big or small. In Frost’s poem, of course, saying that the less traveled road has made all the difference suggests that the speaker has made the right choice.

【3】(1)furthermore [fəːrðərmɔːr] 「さらに」

(2) split [split] 「割る、分かれる」cleared 「綺麗になった」(clear A 「Aを取り除く」)recognize A [rékəgnàiz] 「Aを認識する」

expression 「表現」(express の名詞形)traveled 「人が歩いた」

(3) 《九州大》

It took our species hundreds of thousands of years to reach a population of 10 million, and we now are adding 10 million people every six weeks. Global population is around 6 billion and it is estimated to reach 7 to 11 billion in the next 50 years. It is unclear, however, whether the Earth's ecological life-support systems can sustain this many people, at least at current standards of living. Humans currently consume 40 percent of the food available to sustain land animals, and 45 percent of the available freshwater on Earth. Our *toxic pollutants have spread across the planet and are causing serious effects, which we are only now beginning to recognize, on the health and behavior of humans and wildlife.

(注) toxic pollutants [táksik] [pəlú:tənt] 「有毒汚染物質」 asteroid [áestərɔɪd] 「小惑星」 biodiversity [baɪodəvə:rsəti] 「種の多様性」 mention A 「Aに言及する」

(4) 《鹿児島大》

It is only when you see 'eye to eye' with another person that a real basis for communication can be established. While some people can make us feel comfortable when they talk with us, others make us feel ill at ease and some seem untrustworthy. Initially, this has to do with the length of time that they look at us or with how long they hold our gaze as they speak.

(3) estimate O to be C [éstəmeɪt] 「OCと見積もる」 ecological [ékələdʒɪkəl] 「生態系の」 sustain A [səsteɪn] 「Aを維持する、Aを支える」 current [kə:rent] 「現在の」 consume A [kɒnsjú:m] 「Aを消費する」 available [əvəɪləbl] 「利用できる、入手できる」

(3) establish A [estəbliʃ] 「Aを確立する」 feel ill at ease 「気まずく感じる」 untrustworthy 「信頼できない」 initially [ɪnɪʃəli] 「最初は」 gaze [geɪz] 「視線」

構文解説

(1)

接続詞”when SV...”は、①名詞節②副詞節の用法がある。副詞節として、when の前に副詞がついた”even when SV...” “except when SV...” “It is only when SV... that SV～” “Only when SV... 助動詞 SV～”ものがある。

(2)

“even when SV...”の形で、「SV...するときですら」の意味を表す。例”It’s cool around here even when it’s summer.” 「夏であってもこのあたりは涼しい」

(3)

“even when SV...”の形で、「SV...するとき以外は」の意味を表す。例”He never phones me except when he is hard up for money.” 「彼はお金に困ったとき以外は、決して電話してこない」

(4)

when が only と結びついて”only when SV...”の形で、「SV...してはじめて」の意味を表す。この構文では、①主節の前に出る②only と when が離れている③強調構文 の3パターンがある。訳し方は①②③とも同じ。「彼は彼女と一緒にいる時だけリラックス出来ます」は、以下の3通りで表すことができる。①Only when he is with her can he relax. ②He can only relax when he is with her. ③It is only when he is with her that he can relax.

構文解説

冬期第1講に記載

“whether SV...”は、文中の働きによって、副詞節「～であってもなくても」または名詞節「～かどうか」となる。例”I don’t know whether he will succeed (or not).” 「彼が成功するかどうか分からない」。例”Whether he will succeed (or not), I continue to support him.” 「彼が成功しようが姉妹と、私は彼を支援し続ける」

(1)

名詞節 whether SV... 「～かどうか」は、文中で①主語②補語③目的語となる。例”Whether they give monetary support doesn’t matter.” 「彼らが金銭的支援をしてくれるかどうかは重要ではない」 例”I can’t decide whether to postpone the meeting.” 「会議を延期すべきかどうか決めかねている」 例”The point is whether or not she will receive our offer.” 「要は彼女が私たちの提案を受け入れるかどうかだ」 また、whether には “whether to V” 「Vすべきかどうか」と不定詞が続く場合があります。例”We have to decide whether to employ him or not.” 「私たちは彼を採用すべきかどうか決めねばならない」 (= We have to decide whether we should employ him.)

名詞節 whether SV... が抽象名詞のあとに用いられて、同格を表す場合もある。例 The question whether his remark is reasonable is interesting. 「彼の発言が理にかなっているかどうかはよいう問題はおもしろい」

whether A or B, または whether A or not [no], 時に whether A or whether B の形をとるが、間接疑問ではふつう or not を省く。whether 節が長いときは whether の直後に or not を置く

(2)

副詞節 whether SV...は「～であっても(なくても)」の意味を表す。例“Whether I win or lose, I want to play fairly.”「勝とうが負けようが私は正々堂々と戦いたい」「whether A or B」「A であれ B であれ」のように、主節がない形で用いられることもある。例“Whether interesting or boring, we should have listened to his lecture more carefully.”「面白からうが、退屈であろうが、私たちは彼の講義をもっとしっかりと聞くべきだった」

whether は no matter whether で書き換えることができる。

長文読解 6

次の英文を読んで、下線部を和訳しなさい。

(1)The assertion that mathematics has been a major force in the molding of modern culture, as well as a vital element of that culture, appears to many people incredible or, at best, an extreme exaggeration. This disbelief is quite understandable and results from a very common but mistaken conception of what mathematics really is.

(2)Influenced by what he was taught in school, the average person regards mathematics as a series of techniques of use only to the scientist, the engineer, and perhaps the financier. The reaction to such teachings is distaste for the subject and a decision to ignore it.

Such a decision by the layman is wrong. The subject is not a series of techniques. (3)These are indeed the least important aspect, and they fall as far short of representing mathematics as color mixing does of painting. The techniques are mathematics stripped of motivation, reasoning, beauty, and significance. (4)If we acquire some understanding of the nature of mathematics, we shall see that the assertion of its importance in modern life and thought is much more credible.

長文読解 assertion [ə'sə:ʃjən] 「断言」 mold[mould] 「造る」「形づくる」 vital [váitl] 「不可欠な」 incredible [inkrédəbl] 「驚くべき」「信じられない」 at best 「せいぜい」 exaggeration[igzæ`dʒərəiʃən] 「大げさに考える[言う]こと」「誇張」 disbelief[dìsbilí:f] 「不信」 conception[kənsépʃən] 「概念作用」 regard A as B 「AをBと見なす」 distaste[dístéist 「嫌悪(感)」 ignore [ignə:r] 「無視する」 layman[léimən] 「しろうと」 fall short of A 「Aに足りない」 strip A of B[stri:p] 「AからBを剥ぎ取る」 acquire [əkwáiar] 「獲得する」「習得する」 credible[krédəbl] 「信用出来る」

© Comprehensive English Elementary

2023年 3月20日 初版

編集 スタディ・コラボ

発行者 (株)ドゥクエスト

〒662-0042

神戸市東灘区岡本 1-12-14